

平成二十一年度

特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書

静岡県・静岡県総合健康センター

平成 21 年度
特定健診・特定保健指導に係る
健診等データ報告書

静岡県

静岡県総合健康センター



古紙配合率70%再生紙を使用しています。
紙へリサイクル可

この印刷物は、600部作成し、1部あたりの印刷経費は268.6円です。

平成 21 年度 特定健診・特定保健指導に係る

健診等データ報告書

平成 23 年 3 月発行

発行：静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課
(〒420-8601) 静岡県静岡市葵区追手町 9-6
[TEL : 054-221-2779]

編集：静岡県総合健康センター
(静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課総合健康班)
(〒411-0801) 静岡県三島市谷田 2276 番地
[TEL : 055-973-7002]
[<http://www.sukoyaka.or.jp/sougou-center/index.html>]

アドバイザー：浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島俊之
(静岡県総合健康センター研究顧問)

はじめに

高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号）に基づき、平成 20 年度から、特定健康診査・特定保健指導事業が開始されました。

特定健診等のデータは、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策を行う上で非常に重要なデータであります。「標準的な健診・保健指導プログラム（平成 19 年 4 月 厚生労働省健康局）」において、都道府県の役割として、医療保険者等の協力を得て、特定健診等のデータを分析・評価し、都道府県における健康づくり施策等に反映させることとされています。

静岡県では、平成 20 年度の特定健診・特定保健指導のデータについては、市町国保及び国保組合の協力を得て、平成 21 年度末に「平成 20 年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」を作成し、平成 13 年度から 22 年度までの健康増進計画「しずおか健康創造 21 アクションプラン」における指標の評価や生活習慣病予防対策の資料として活用してまいりました。

平成 21 年度の特定健診・特定保健指導のデータについては、市町国保、国保組合に加え、共済組合の協力も得て、本書「平成 21 年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」をまとめることができました。

現在、静岡県では、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”」づくりの実現に向けて、平成 23 年度からスタートする「ふじのくに健康増進計画」を策定しているところです。新計画「ふじのくに健康増進計画」においても、この特定健診等のデータにより、健康課題の明確化や地域差の確認を行うこととしています。数値目標として、「特定健診受診率 70%以上」や「特定保健指導実施率 45%以上」、「メタボリックシンドローム該当者の推定数 10%減少」等の目標を定めております。本書を活用し、地域の健康課題を明確にして、予防すべき疾病及び対象集団を明らかにし、効果的な生活習慣病予防対策に役立ててまいります。

今後の特定健康診査・特定保健指導事業の効果的な実施等、生活習慣病予防対策に御活用いただければ幸いと存じます。

最後に、報告書の作成に当たり、御協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月

静岡県健康福祉部医療健康局長
曾田 尚寿

目 次

I 解説

1 背景及び目的	1
2 検査項目別平均値及び標準偏差（性別年齢階級別）の作成方法	1
3 異常者等該当率（性別年齢階級別）の作成方法	1
4 標準化該当比の作成方法	2
5 健診結果を活用する場合の注意点	4
6 参考文献	4

II 概要

1 平成 21 年度 特定健診の状況（市町国保・国保組合・共済組合の合計）	
(1) 健診受診者の傾向	5
(2) 検査項目別平均値	6
(3) 異常者等該当率	10
2 市町国保・国保組合	
(1) 健診受診者の傾向	15
(2) 検査項目別平均値	16
(3) 異常者等該当率	24
(4) 標準化該当比（市町国保のみ）	
ア 項目別のマップ	33
イ 項目別の数値表	39
ウ 市町国保別（35 市町国保（静岡市、浜松市は区ごと））のグラフと数値表	69
3 共済組合	
(1) 健診受診者の傾向	114
(2) 検査項目別平均値	115
(3) 異常者等該当率	119

III 平成 21 年度の特定健診・特定保健指導の法定報告より受診率の比較

124

IV 参考資料

1 データ範囲のチェック	125
2 標準的な質問票	126
3 指標の定義一覧	127
4 「平成 21 年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データの使用について （平成 22 年 10 月 28 日付け医健第 282 号）」 「平成 20 年度及び 21 年度特定健診に係る健診等データの使用について （平成 22 年 11 月 30 日付け医健第 323 号）」	128
5 法定報告 特定健診・特定保健指導情報の集計情報（年代一覧）	131
6 第 56 回東海公衆衛生学会の抄録（平成 22 年 7 月 24 日）	137
7 第 47 回静岡県公衆衛生研究会の抄録（平成 23 年 2 月 10 日）	138

I 解説

1 背景及び目的

今般の「医療制度改革大綱」（平成 17 年 12 月 1 日 政府・与党医療改革協議会）を踏まえ、「生活習慣病予防の徹底」を図るため、平成 20 年度から、高齢者の医療の確保に関する法律により、医療保険者に対して特定健診が義務付けられ、実施された。

特定健診等データは、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策を行う上で非常に重要なデータである。そこで、地域の健康課題を明確にして、予防すべき疾病及び対象集団を明らかにし、効果的な生活習慣病予防対策に活用するため、特定健診等データを医療保険者単位及び市町単位、健康福祉センター（保健所）単位で総合的に分析・評価し、「平成 21 年度 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」を作成した。

本報告書では、市町や健康福祉センター（保健所）等の関係者が、地域の実情を踏まえた具体的な目標値の設定や、目標の達成度の評価に活用できるよう、各健診項目の平均値及び標準偏差、異常者等該当率を算出した。また、20 年度と 21 年度の比較を国保のデータを用いて行った。さらに、市町国保については、標準化該当比（内臓脂肪症候群、肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症、喫煙習慣等）を算出し、各項目の標準化該当比を一度に把握するため、項目ごとにマップ化をした。また、市町国保ごと（政令市については区ごと）に、標準化該当比をグラフ化して掲載した。

2 検査項目別平均値及び標準偏差（性別年齢階級別）の作成方法

(1) 資料

平成 21 年度特定健診を受診した 40 歳以上 75 歳未満のデータを用いた。

なお、項目ごとに分析を行っているため、全項目を受診していない者のデータも分析対象としている。

(2) 検査項目

使用した項目は、BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪（トリグリセリド）、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c、AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GT (γ -GTP)、ヘマトクリット値、血色素、赤血球数とした。

平均値及び標準偏差は、項目ごとに、測定を実施した者のみのデータを用いた。集計には、統計ソフト SPSS (ver. 17.0) を用いた。

3 異常者等該当率（性別年齢階級別）の作成方法

(1) 資料

平成 21 年度特定健診を受診した 40 歳以上 75 歳未満のデータを用いた。

なお、項目ごとに分析を行っているため、全項目を受診していない者のデータも

分析対象としている。ただし、高血圧症、脂質異常症、糖尿病の判定において、服薬の有無が未入力の人や検査項目が不足している等、判定不可能な者を分析対象から除外した。

(2) 検査項目と異常値及び判定区分の設定

使用した項目は、BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪（トリグリセリド）、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c 及び標準的な質問票とした。

異常値及び判定区分は、「都道府県健康増進計画改定ガイドライン（確定版）」（平成 19 年 4 月 厚生労働省健康局）の参酌標準をもとに作成した「しずおか健康創造 21 アクションプラン」の指標定義（参考資料 p127）を使用した。

集計には、統計ソフト SPSS（ver. 17.0）を用いた。

4 標準化該当比の作成方法

(1) 資料

平成 21 年度特定健診を受診した市町国保加入者の 40 歳以上 75 歳未満のデータを用いた。

(2) 検査項目と異常値及び判定区分の設定

使用した項目は、前記「異常者等該当率（性別年齢階級別）」の結果のうち、内臓脂肪症候群該当者、内臓脂肪症候群予備群、肥満（BMI25 以上または腹囲基準値以上）、高血圧症有病者、高血圧症予備群、脂質異常症有病者、糖尿病有病者、糖尿病予備群、習慣的喫煙者とした。

異常値及び判定区分は、前記「異常者等該当率（性別年齢階級別）」の作成方法の（2）と同様である。

(3) 標準化該当比の計算

受診者の性別年齢構成が保険者により異なるのを補正する目的で、標準化死亡比（SMR）の計算方法に準じて、「標準化該当比」を算定した。

まず、静岡県市町国保加入者の特定健診結果から、性別年齢階級別に該当者の割合を計算した。次に、当該保険者の性別年齢階級別の受診者数に、静岡県市町国保全体の該当者の割合を乗じて集計した人数を、その保険者の該当者数の期待者数とした。そこで、実際の特定健診結果で該当と判定された性別の人数（該当者数）を期待者数で除し、これに 100 を乗じた値を標準化該当比とした。

【算定式】

標準化該当比 = { 当該保険者の性別総該当者数 / (当該保険者の性別年齢階級別受診者 (判定可能者) 数 × 静岡県の性別年齢階級別該当者出現率) の総和 } × 100

(4) 有意差検定

当該保険者の標準化該当比と基準である静岡州市町国保（100）との差が偶然であるか否かを示すために、ポアソン分布を用いて検定をした¹⁾。

(5) 読み取りと利用上の注意

標準化該当比は、静岡州市町国保（基準）を100とするため、保険者の標準化該当比が100より大きい場合、保険者の該当者出現率は静岡州市町国保より高く、100より小さい場合、静岡州市町国保の該当者出現率よりも低いことを示す。

【例】標準化該当比=110とは？

静岡州市町国保(100)に比べて1割(1.1倍)該当者出現率が高い。

ただし、受診者数が少ない保険者の場合には、その偶然的要素により変動するものであるため、標準化該当比の値にも偶然変動を含んでおり「真の値」を示すものではなくなる。

そこで、統計上の手法を用いて、95%信頼区間を算出した。

今回の分析においては次の4段階に区分した。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時…有意に低い (1)
 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限 \geq 100」の時…低い有意ではない (2)
 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限 \leq 100」の時…高い有意ではない (3)
 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時…有意に高い (4)

※ () 内の数字は、標準化該当比 (p39～p68) の結果の番号と同じ。

※ 「有意に高い」とは、当該保険者の標準化該当比が静岡州市町国保（100）に比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

(6) グラフ化・マップ化

県内地域の標準化該当比の傾向を見るため、内臓脂肪症候群該当者、肥満、高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者、習慣的喫煙者等の項目について、グラフ化及びマップ化をした (p33～p38、p69～p113)。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

マップ化の色分けは次の通りとした。

有意性	色	判定
1	青	有意に低い (P<0.05)
2	水	低い有意ではない
3	桃	高い有意ではない
4	赤	有意に高い (P<0.05)

5 健診結果を活用する場合の注意点

- * 本報告書は、国民健康保険及び共済組合に加入し、健診を受診した者を分析対象とした。また、「平成 21 年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データの使用について」（平成 22 年 10 月 28 日付け医健第 282 号 静岡県健康福祉部長）及び「平成 20 年度及び 21 年度特定健診に係る健診等データの使用について」（平成 22 年 11 月 30 日付け医健第 323 号 静岡県健康福祉部長）（参考資料：p128～p130）で同意の得られた健診データ項目について分析している。そのため、一定の偏りのある標本であると考えられる。したがって、本報告書の結果のみから、その地域住民全体の健康状態を推定することには、慎重でなければならない。
- * 本報告書では、項目ごとに分析を行っているため、全項目を受診していない者のデータも健診受診者としている。また、実施年度中における加入及び脱退等の異動者も、健診受診者に含めている。そのため、保険者が行った特定健診における法定報告の報告対象者数（参考資料：p131～p136）とは異なる。
- * 分析対象者は、健診受診者のうち、判定に必要な項目が受診されている者とした。つまり、分析は項目ごとに行っているため、全項目を受診していない者のデータも分析対象としている。
- * 平成 21 年 11 月 18 日厚生労働省令第 159 号により、平成 21 年 4 月からは実施年度中に 75 歳になる 75 歳未満の者も特定健診の対象に含まれることとなったが、統計処理を行う上で 20 年度と同様に、年度内年齢が 40 歳以上 75 歳未満の者を分析対象とした。
- * 本報告書は、個人情報情報を削除したデータによる分析のため、「健診受診者」の評価を行うことはできるが、「個人」のレベルの評価を行うことができない。そのため、「個人」の評価や「保健指導参加者」の評価については、医療保険者が主となり、検査データと保健指導のデータを使いながら取り組んでいただきたい。
- * 本報告書では、結果は概要のみ掲載した。集計データは静岡県総合健康センターのホームページ（<http://www.sukoyaka.or.jp/sougou-center/index.html>）よりダウンロードできるので、御活用ください。
- * 本調査結果は、統計学的な処理に基づき、コメントを記述している。
- * グラフの対象者数については（ ）内で併記した。
- * 本調査結果に掲載している数値は四捨五入のため、内訳合計が総数と合わないことがある。

6 参考文献

- 1) Schoenberg BS: Calculating confidence intervals for rates and ratios. *Neuroepidemiology* 2: 257-265, 1983

II 概要

1 平成21年度 特定健診の状況（市町国保・国保組合・共済組合の合計）

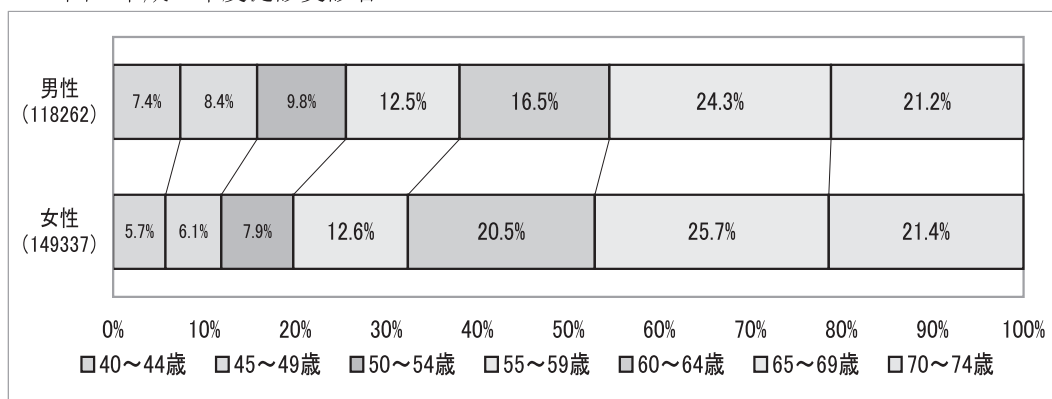
(1) 健診受診者の傾向

国保加入者及び共済組合の平成21年度の特定健診受診者を性別、年齢階級別に集計した。

平成21年度の健診受診者数は、総数267,599名、男性118,262名、女性149,337名であり、女性が男性と比較して約1.3倍であった。国保は男性に比べ女性の受診者が多く、共済は女性に比べ男性の健診受診者が多い。

市町国保は、60～74歳の受診者が多く、共済組合では、40～59歳の受診者が多い。

図1. 平成21年度健診受診者



平成21年度健診受診者数（性別、年齢階級別）

男性		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
市町国保		3293	3474	4468	7732	17172	28311	24734	89184
		3.7%	3.9%	5.0%	8.7%	19.3%	31.7%	27.7%	100.0%
国保組合		315	434	478	647	556	399	224	3053
		10.3%	14.2%	15.7%	21.2%	18.2%	13.1%	7.3%	100.0%
共済組合		5115	6077	6589	6376	1733	75	60	26025
		19.7%	23.4%	25.3%	24.5%	6.7%	0.3%	0.2%	100.0%
合計		8723	9985	11535	14755	19461	28785	25018	118262
		7.4%	8.4%	9.8%	12.5%	16.5%	24.3%	21.2%	100.0%

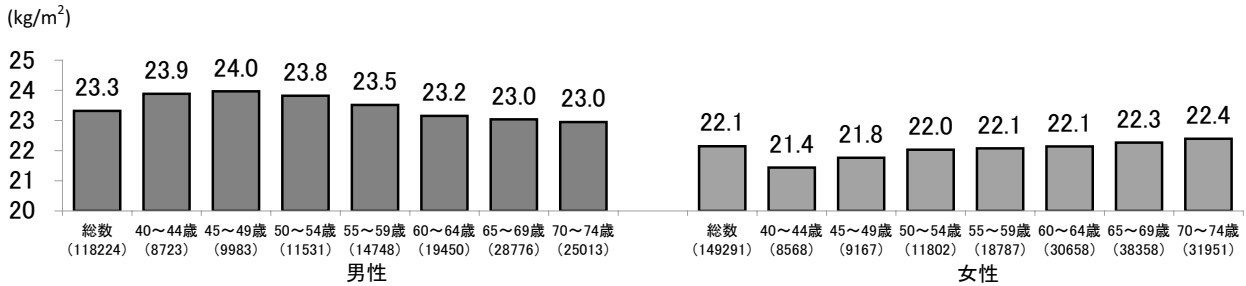
女性		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
市町国保		3692	4261	6226	14130	29242	37826	31471	126848
		2.9%	3.4%	4.9%	11.1%	23.1%	29.8%	24.8%	100.0%
国保組合		665	653	626	569	482	343	205	3543
		18.8%	18.4%	17.7%	16.1%	13.6%	9.7%	5.8%	100.0%
共済組合		4214	4258	4953	4097	948	198	278	18946
		22.2%	22.5%	26.1%	21.6%	5.0%	1.0%	1.5%	100.0%
合計		8571	9172	11805	18796	30672	38367	31954	149337
		5.7%	6.1%	7.9%	12.6%	20.5%	25.7%	21.4%	100.0%

(2) 検査項目別平均値

各項目について、平均値を性別、年齢階級別で示した。

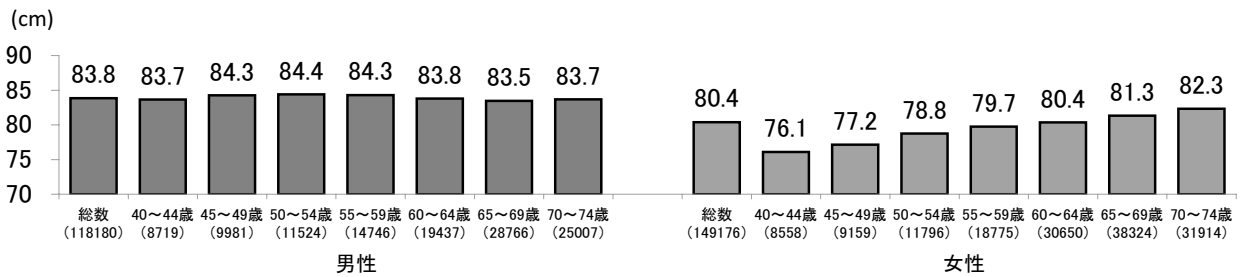
BMI平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなり、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図2. BMI平均値



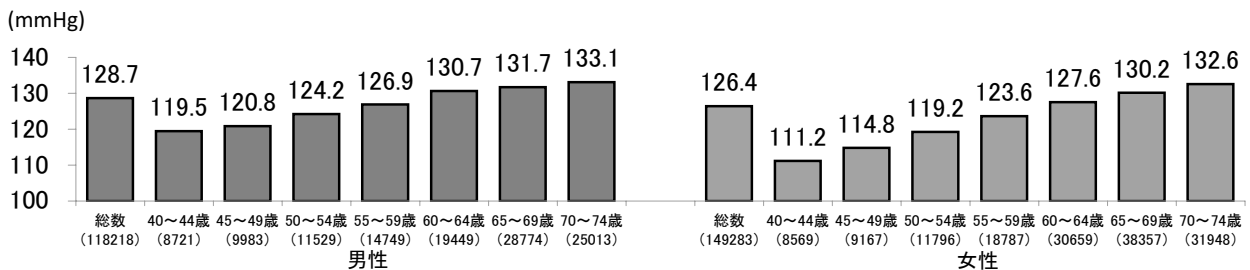
腹囲平均値は、男性は年齢階級による大きな違いはなかったが、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図3. 腹囲平均値



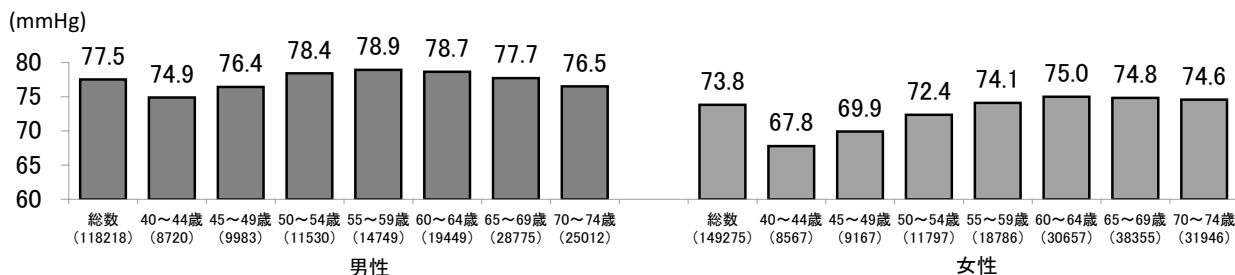
収縮期血圧平均値は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図4. 収縮期血圧平均値



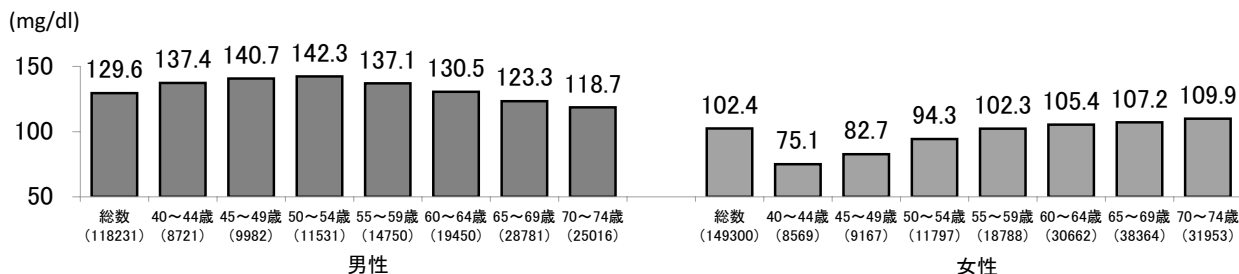
拡張期血圧平均値は、男女とも60歳頃までは高くなったが、その後は横ばいとなった。

図5. 拡張期血圧平均値



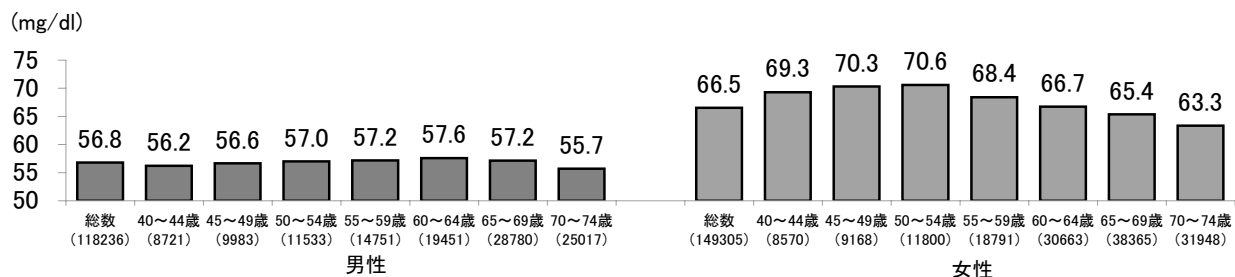
中性脂肪平均値は、男性は年齢が上がるにしたがって低くなり、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図6. 中性脂肪（トリグリセリド）平均値



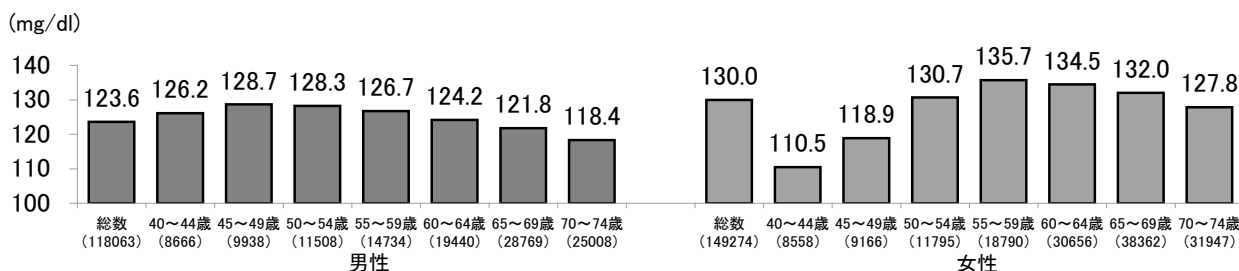
HDLコレステロール平均値は、男性は女性と比較して、全年齢階級で低かった。女性は、50~54歳が最も高く、その後は低くなった。

図7. HDLコレステロール平均値



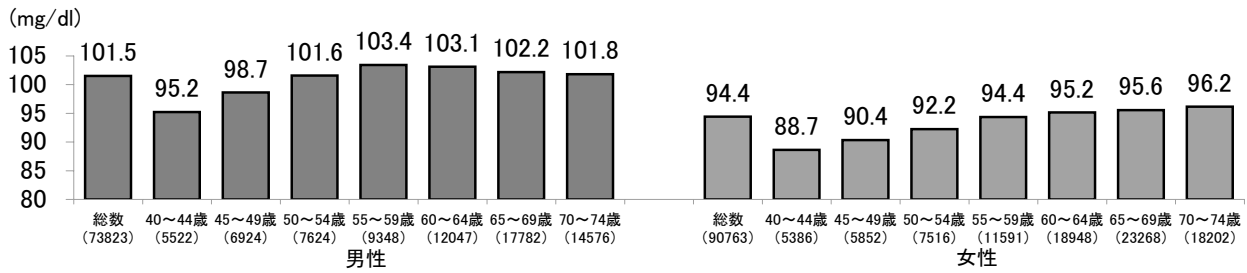
LDLコレステロール平均値は、男性は45~49歳で最も高く、年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は55~59歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなったが、その後は低くなった。

図8. LDLコレステロール平均値



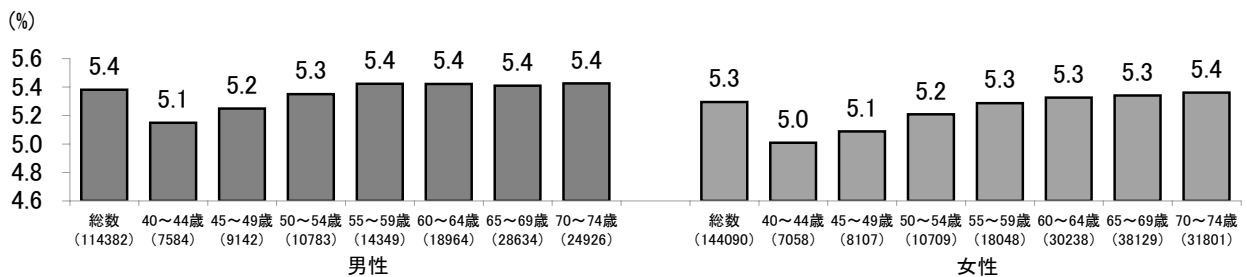
空腹時血糖値平均値は、男性は55～59歳まで高くなり、その後ほぼ横ばいとなった。女性は年齢階級が上がるにしたがって、緩やかに高くなった。

図9. 空腹時血糖平均値



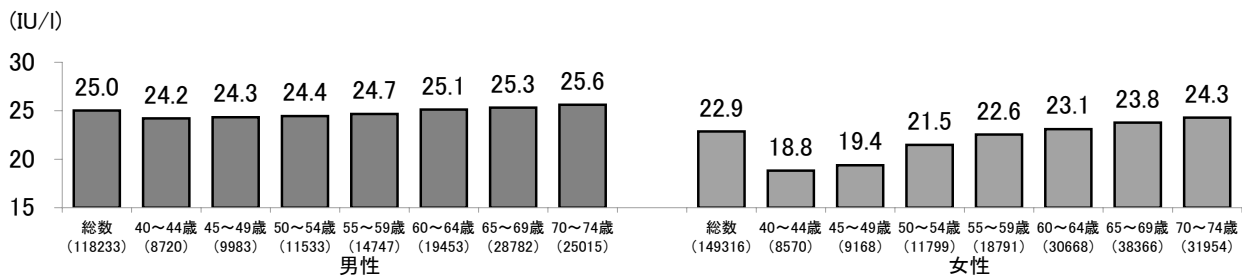
HbA1c平均値は、男女とも55～59歳まで高くなり、その後ほぼ横ばいとなった。

図10. HbA1c平均値



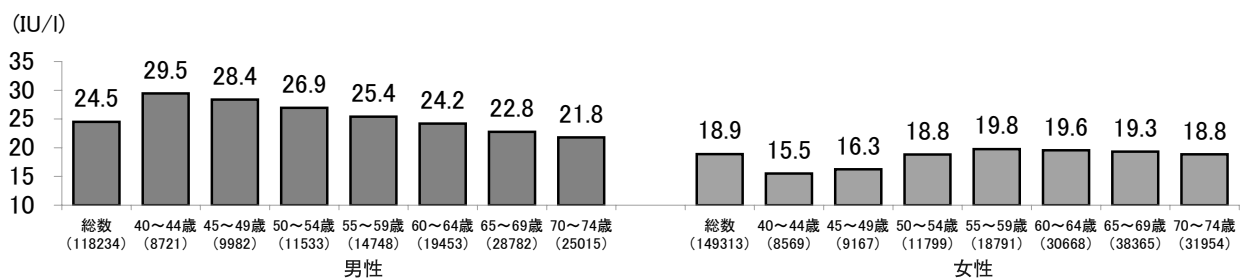
AST (GOT) 平均値は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図11. AST (GOT) 平均値



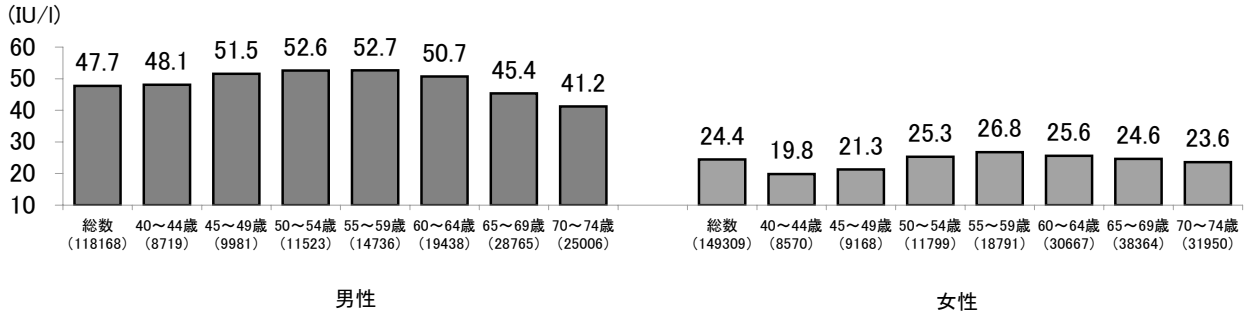
ALT (GPT) 平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は、55～59歳までは高くなり、その後は低くなった。

図12. ALT (GPT) 平均値



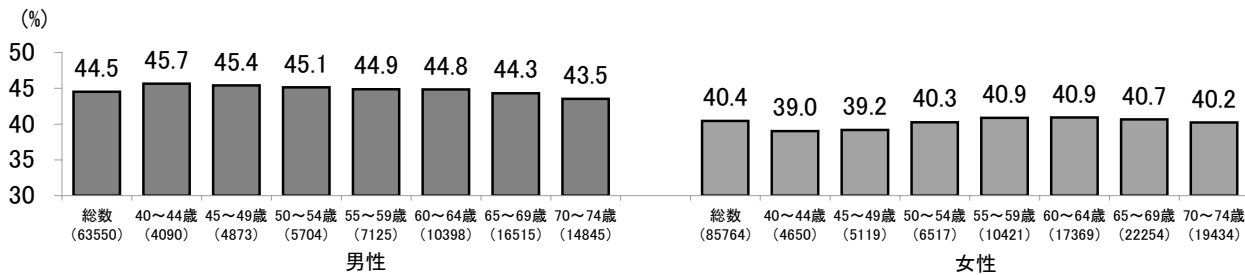
γ-GT(γ-GTP)平均値は、男女とも55～59歳までは高くなり、その後は低くなった。女性は男性に比べ、全年齢階級で低かった。

図13. γ-GT(γ-GTP)平均値



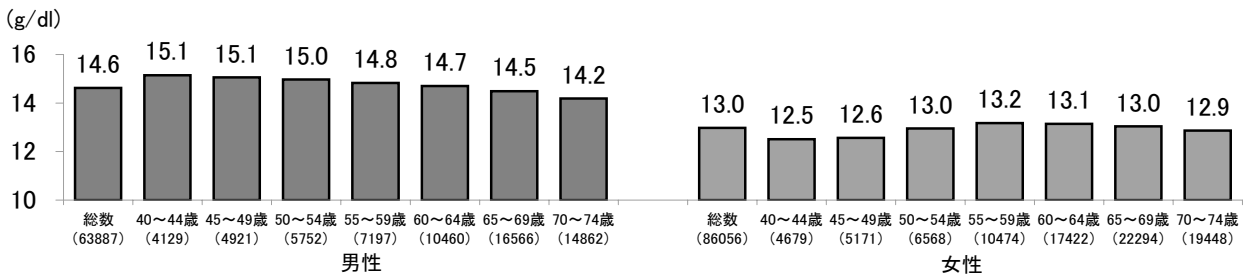
ヘマトクリット平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに低くなった。女性はほぼ横ばいとなった。

図14. ヘマトクリット平均値



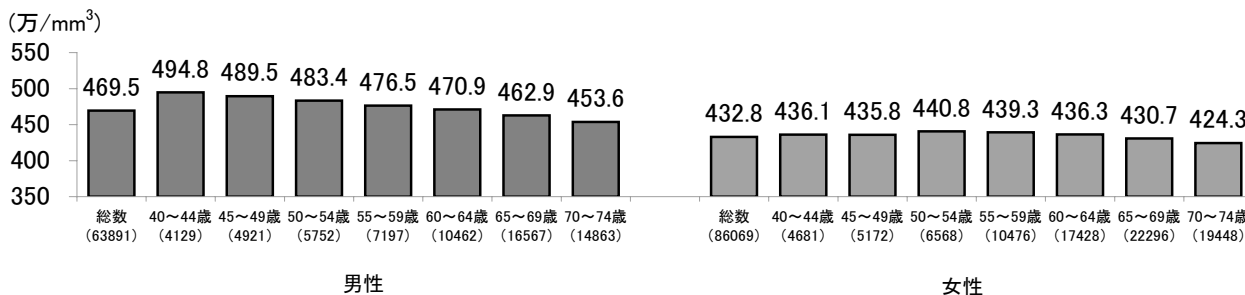
血色素量平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに低くなった。女性はほぼ横ばいとなった。

図15. 血色素量平均値



赤血球数平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって、緩やかに低くなった。女性はほぼ横ばいとなった。

図16. 赤血球数平均値

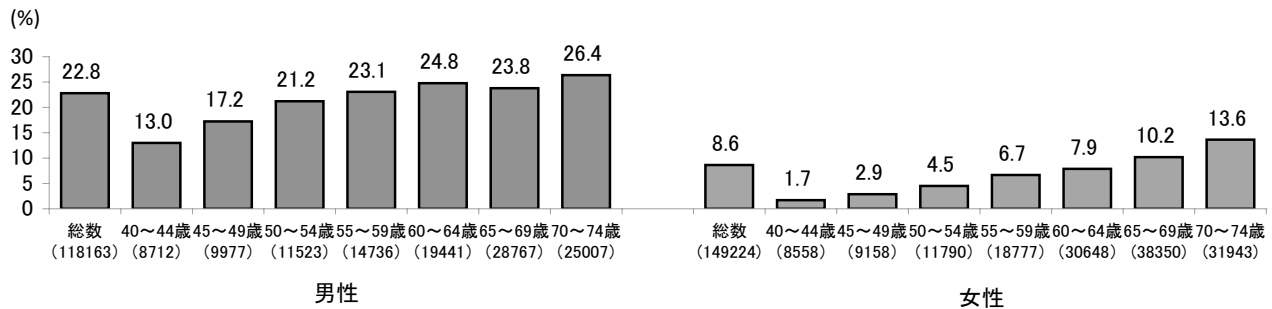


(3) 異常者等該当率

健診データ及び標準的な質問票について、性別、年齢階級別に割合を求めた。

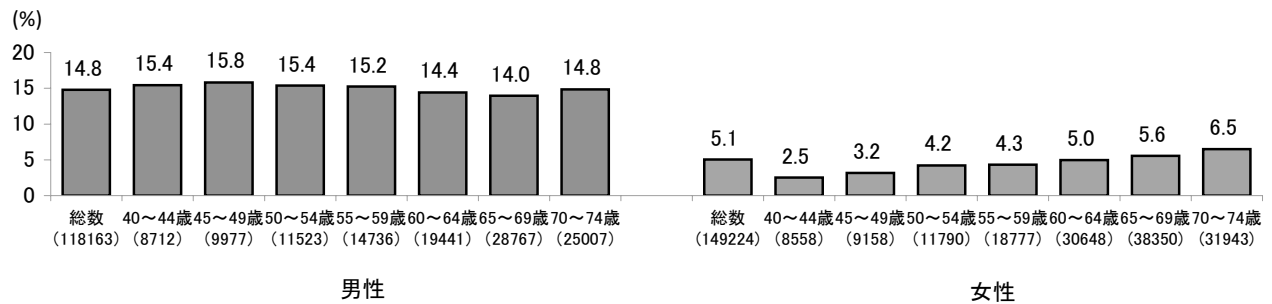
メタボリックシンドロームの該当者は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図17. メタボリックシンドローム該当者



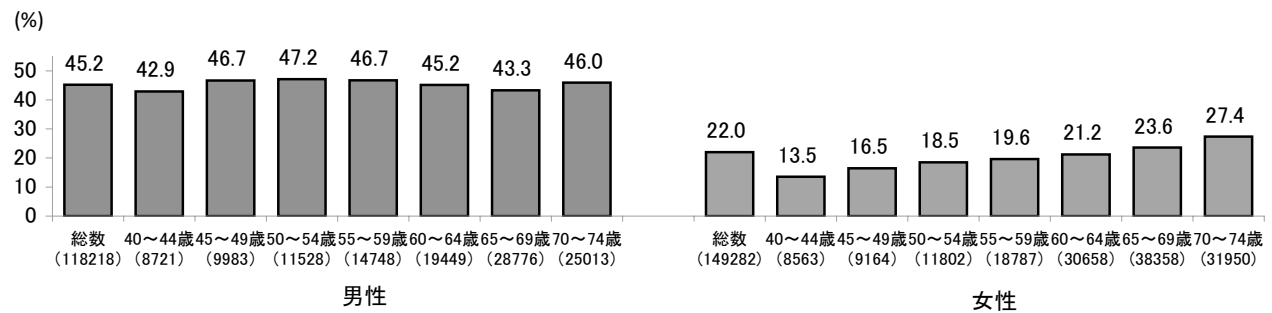
メタボリックシンドローム予備群は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに高くなった。

図18. メタボリックシンドローム予備群



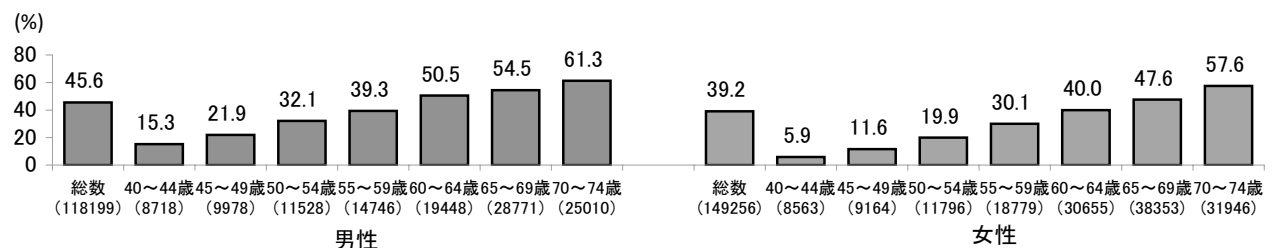
肥満者の割合は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに高くなった。

図19. 肥満者



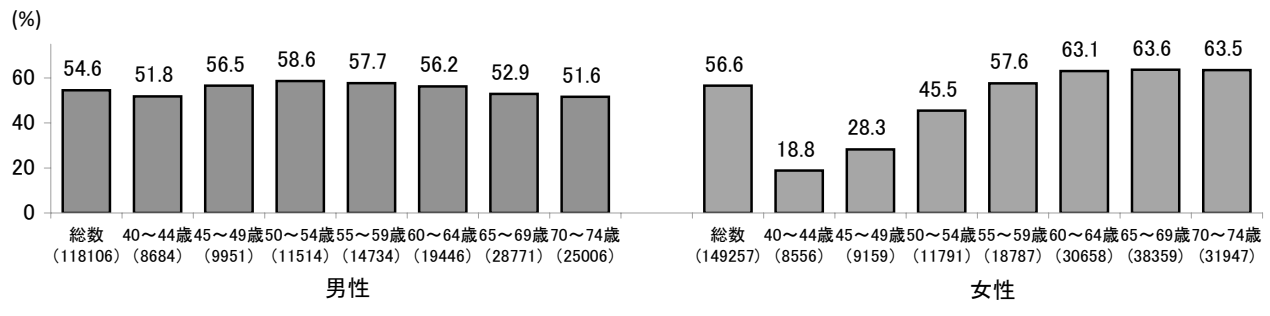
高血圧症有病者の割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図20. 高血圧症有病者



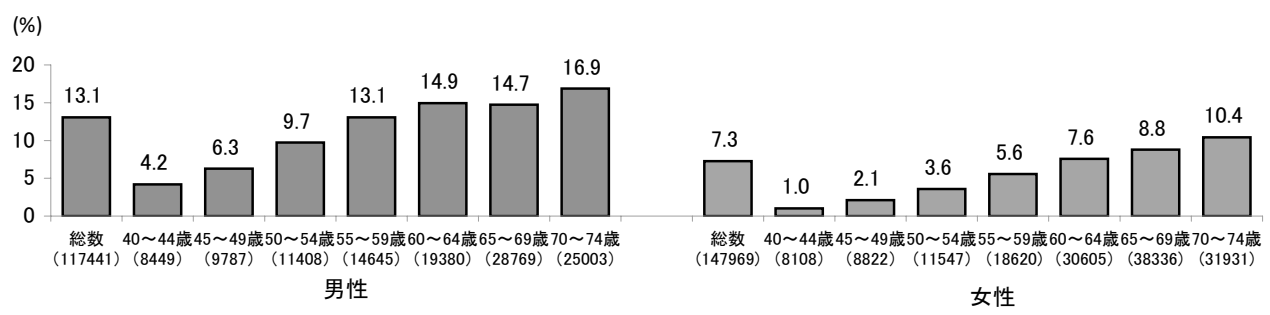
脂質異常症有病者は、男性はほぼ横ばい、女性は60～64歳までは高くなり、その後はほぼ横ばいとなった。

図21. 脂質異常症有病者



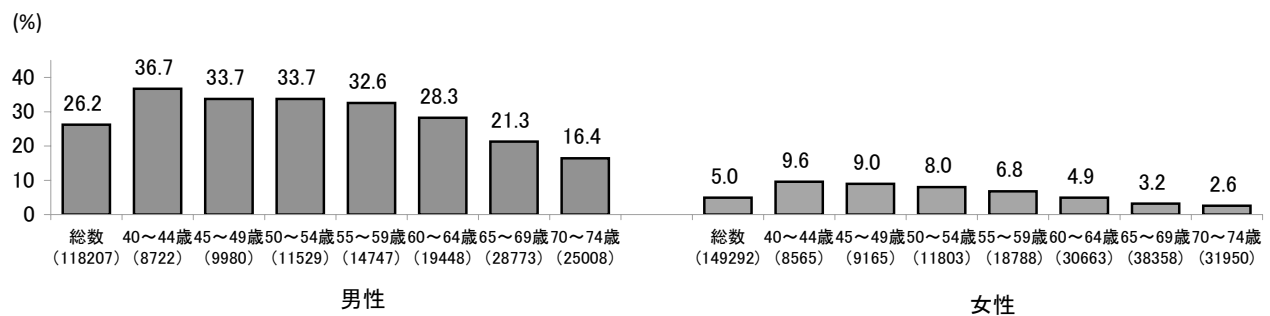
糖尿病有病者は、男女とも、年齢階級が上がるにしたがって、高くなった。

図22. 糖尿病有病者



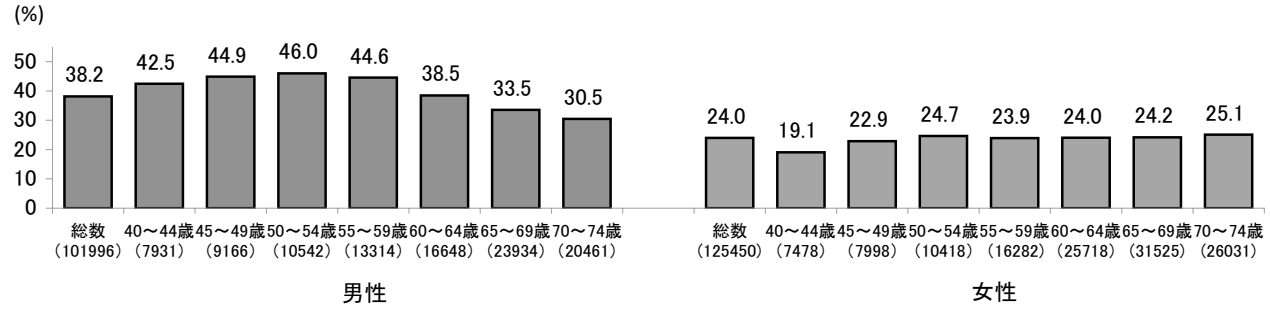
習慣的喫煙者は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって、低くなった。

図23. 習慣的喫煙者



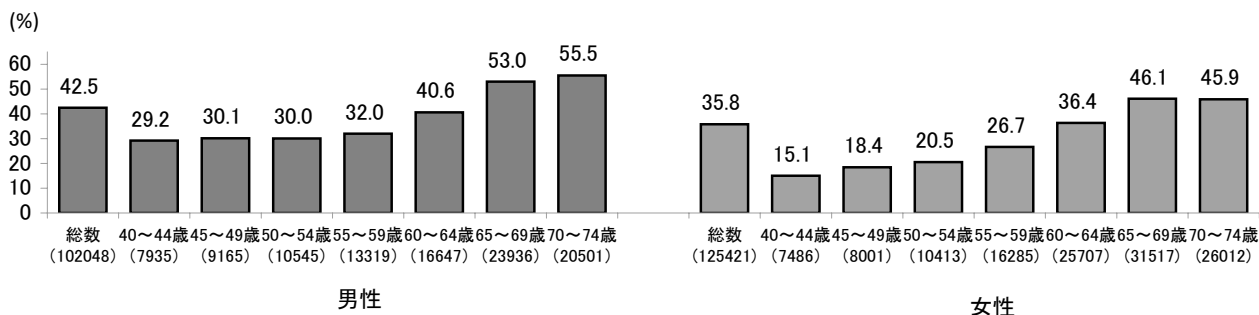
20歳の時の体重より増加している割合は、男性は50～54歳で最も高く、年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性はほぼ横ばいとなった。

図24. 20歳の時の体重から10kg以上増加している



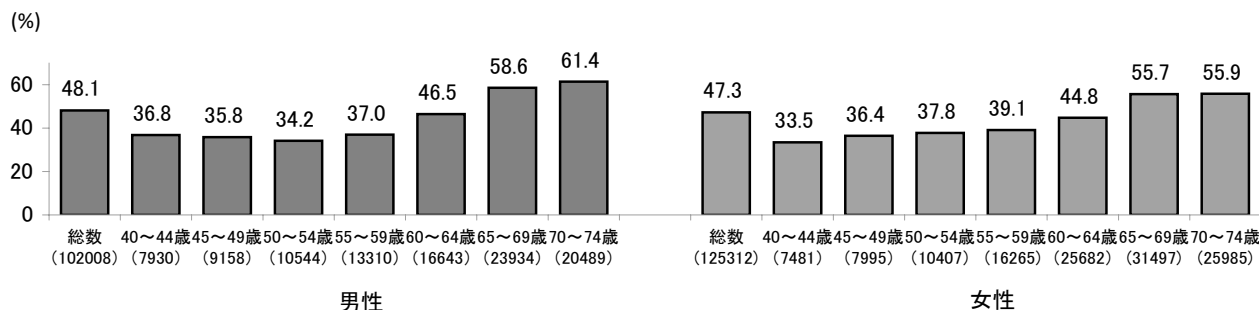
運動習慣のある割合は、男性は40～59歳まではほぼ横ばい、その後高くなった。女性は、年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図25. 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施



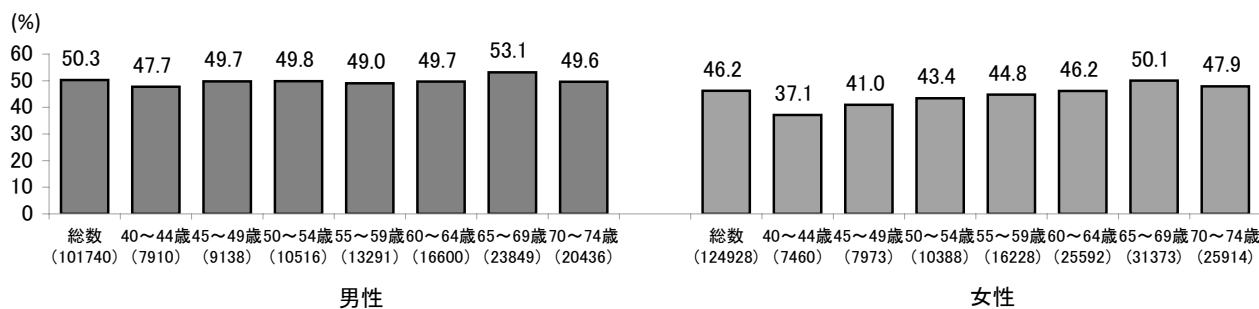
身体活動は、運動習慣と同様な傾向がみられた。男性は40～59歳まではほぼ横ばい、その後高くなった。女性は、年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図26. 歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施



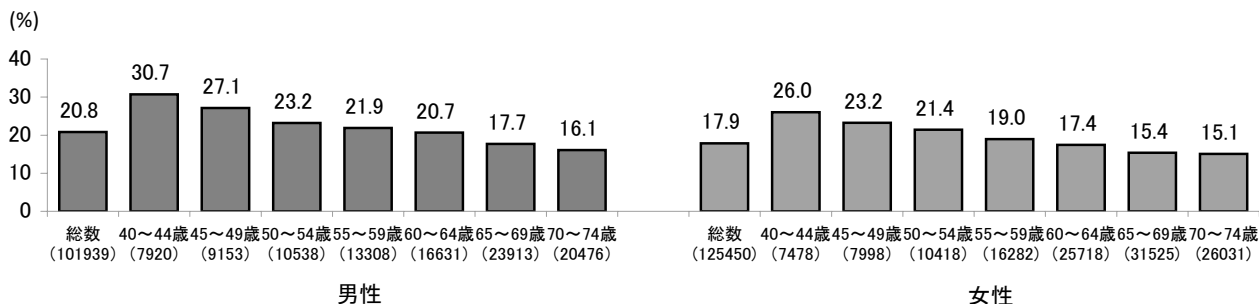
歩く速度は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって65～69歳までは高くなった。

図27. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い



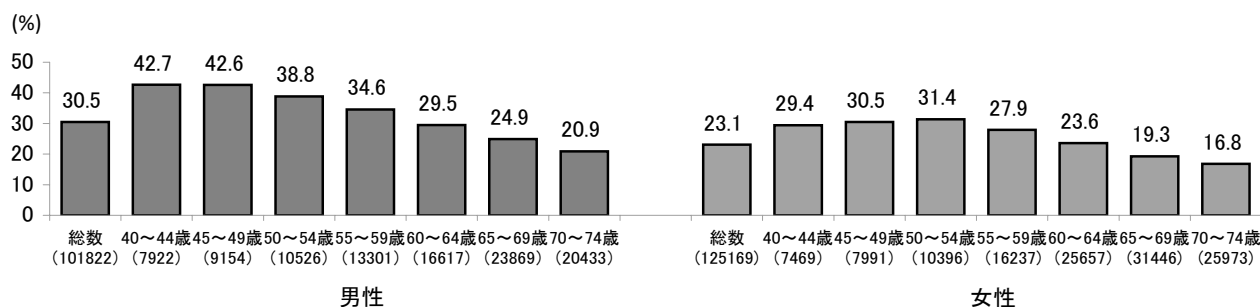
この1年間で体重の増減があった者の割合は、男女とも、年齢階級が上がるにしたがって低くなった。

図28. この1年間で体重の増減が±3kg以上あった



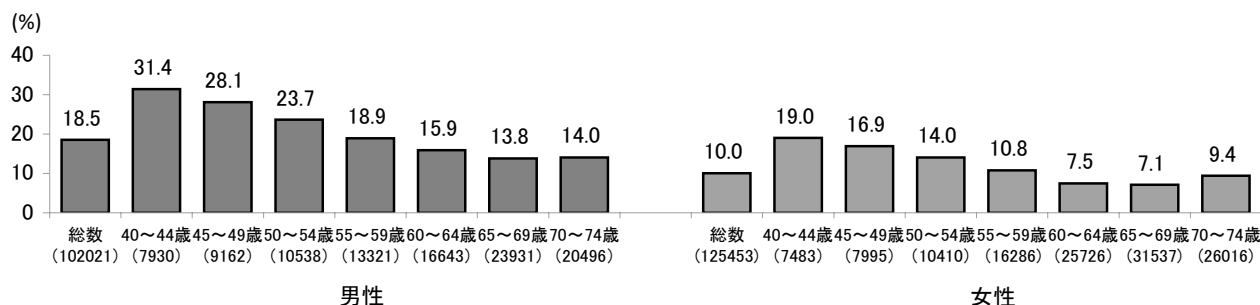
早食いの割合は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は50～54歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。男性に比べ、女性はすべての年齢階級で低かった。

図29. 人と比較して食べる速度が速い



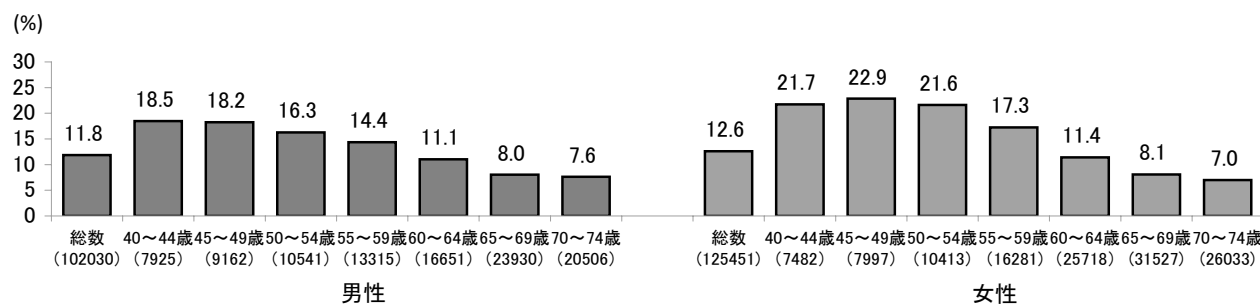
就寝前に夕食を食べる割合は、男女とも、年齢階級が上がるにしたがって、低くなった。男性に比べ、女性はすべての年齢階級で低かった。

図30. 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある



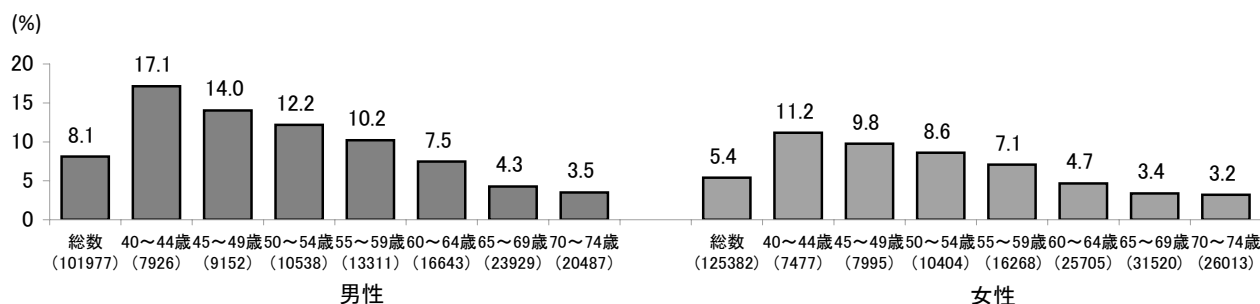
夕食後に間食をとる割合は、男女とも50～54歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。

図31. 夕食後に間食をとることが週に3回以上ある



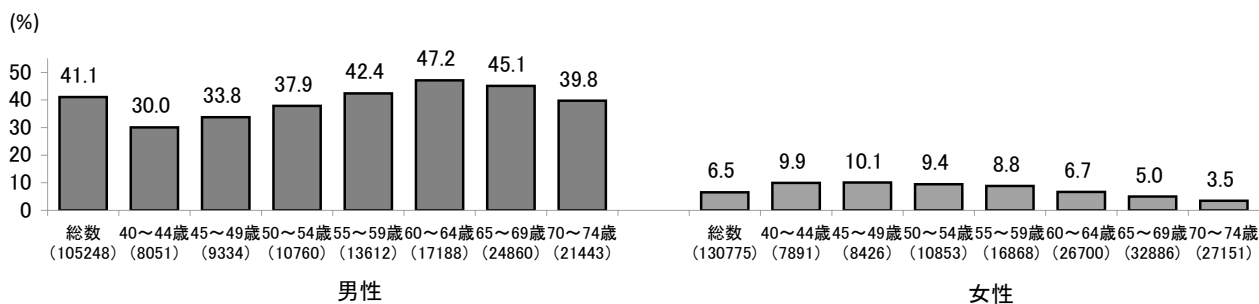
朝食を欠食する割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって、低くなった。男性は女性に比べて全年齢階級で高かった。

図32. 朝食を抜くことが週に3回以上ある



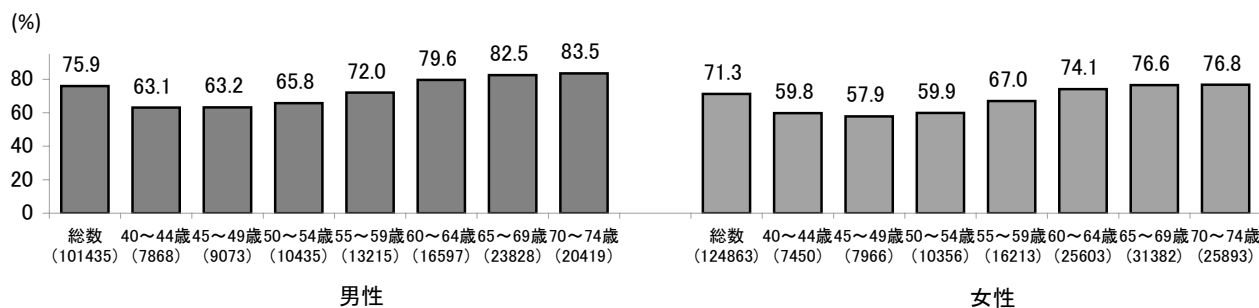
毎日飲酒する割合は、男性は60～64歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後低くなった。女性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。

図33. お酒を毎日飲む



睡眠で休養がとれている割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって、高くなった。

図34. 睡眠で休養が十分とれている



2 市町国保・国保組合

(1) 健診受診者の傾向

国保加入者の特定健診受診者を性別・年齢階級別に集計した。

図35は健診受診者の年齢階級別の割合を性別に示した。

21年度の受診者数は、総数222,628名、男性92,237名、女性130,391名であり、女性が男性と比較して1.4倍であった。60～74歳の受診者が全体の4分の3を占めた。

図36は20年度の特定健診受診者との比較を示した。

男女とも、70～74歳を除くすべての年齢階級で、受診者数は増加した。

図35. 平成21年度健診受診者（市町国保・国保組合）

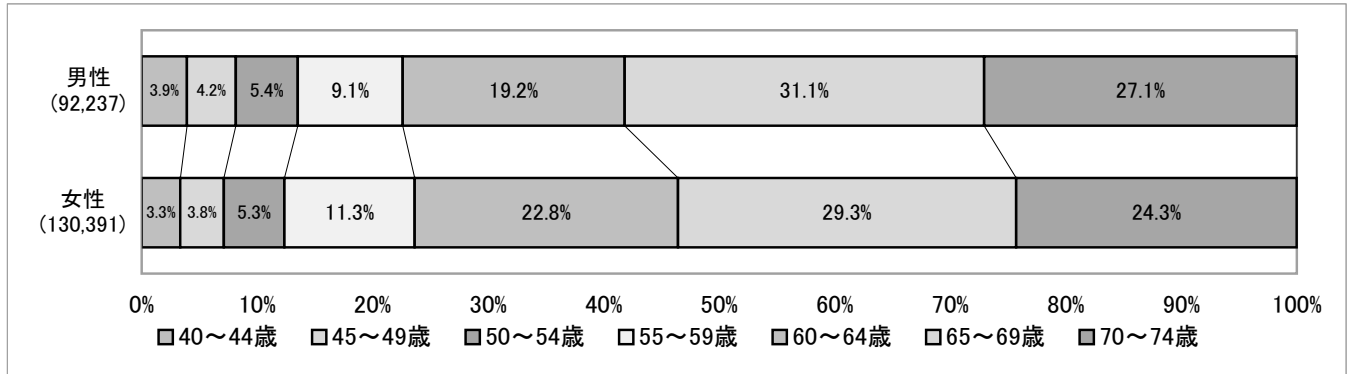
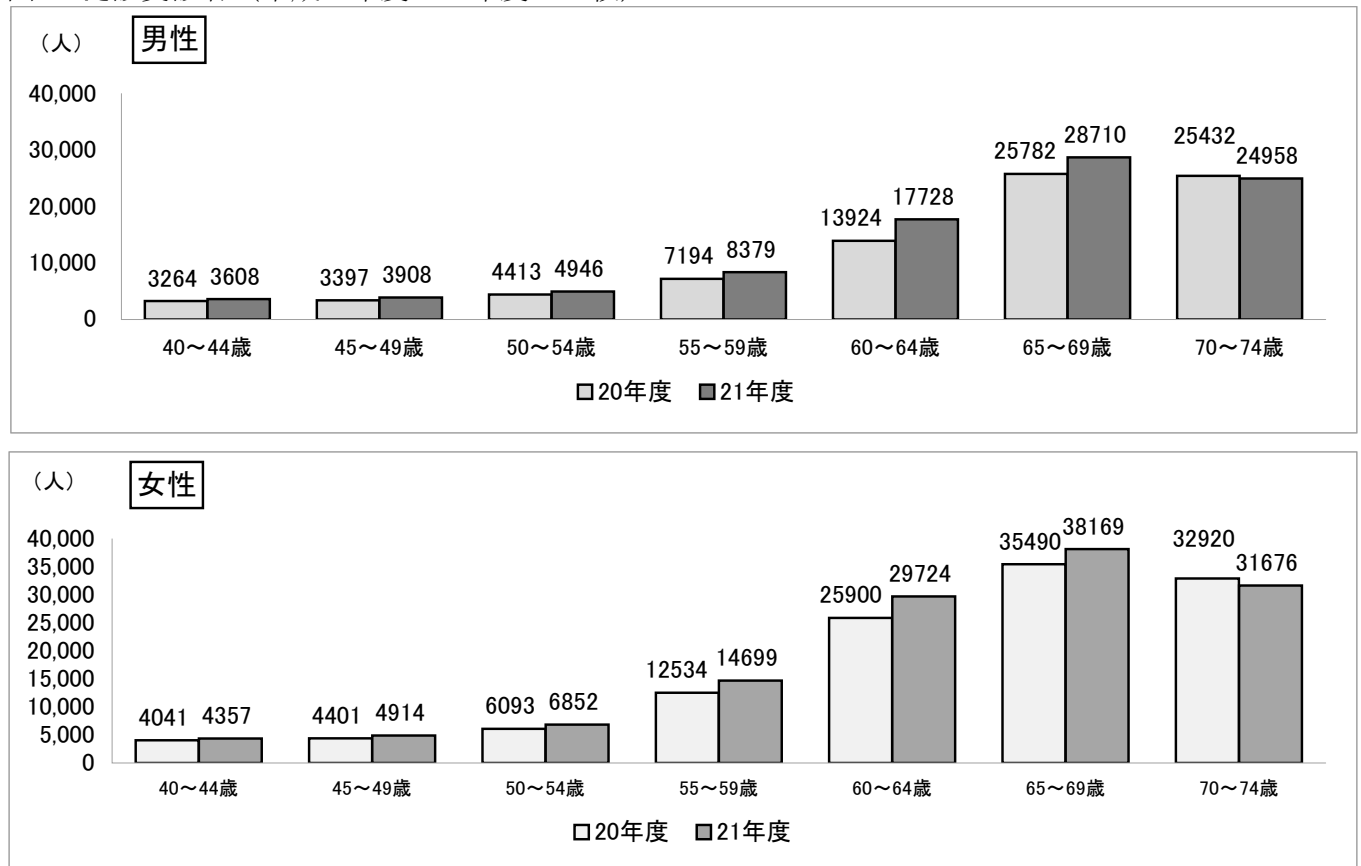


図36. 健診受診者（平成20年度と21年度の比較）

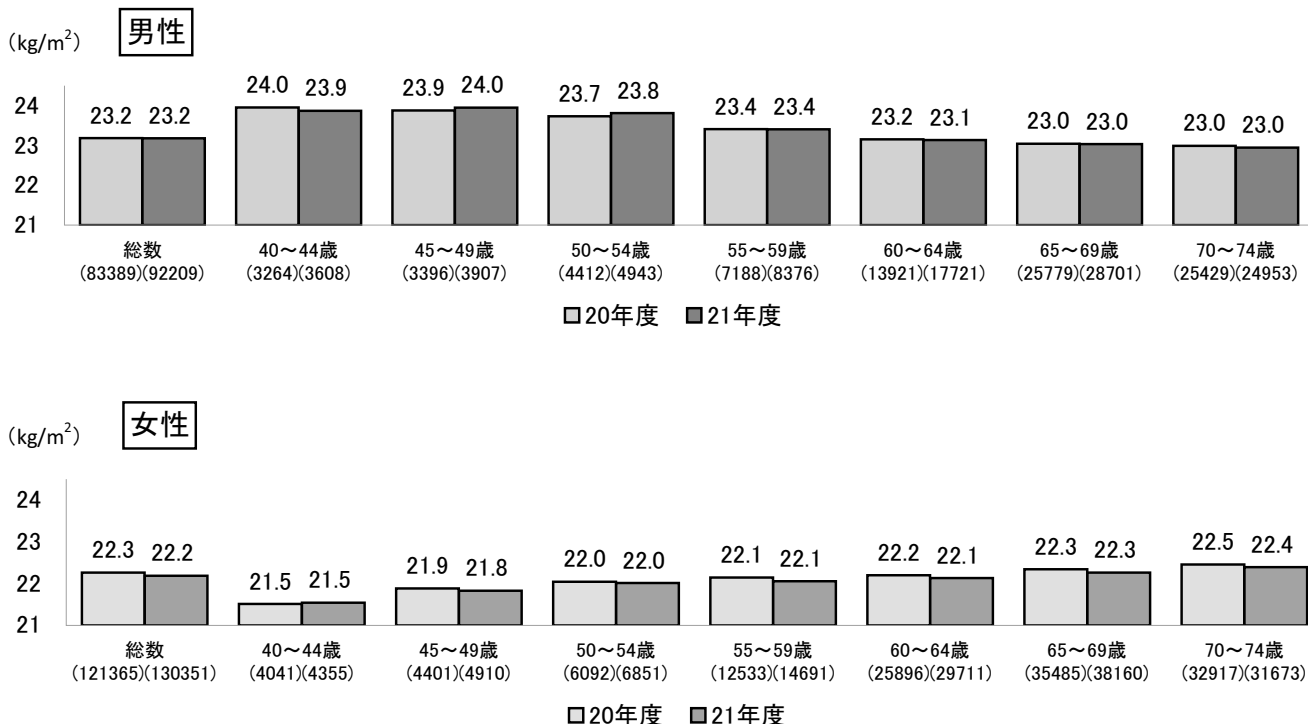


(2) 検査項目別平均値

各項目について、平均値を性別、年齢階級別で、平成20年度と21年度を比較して示した。

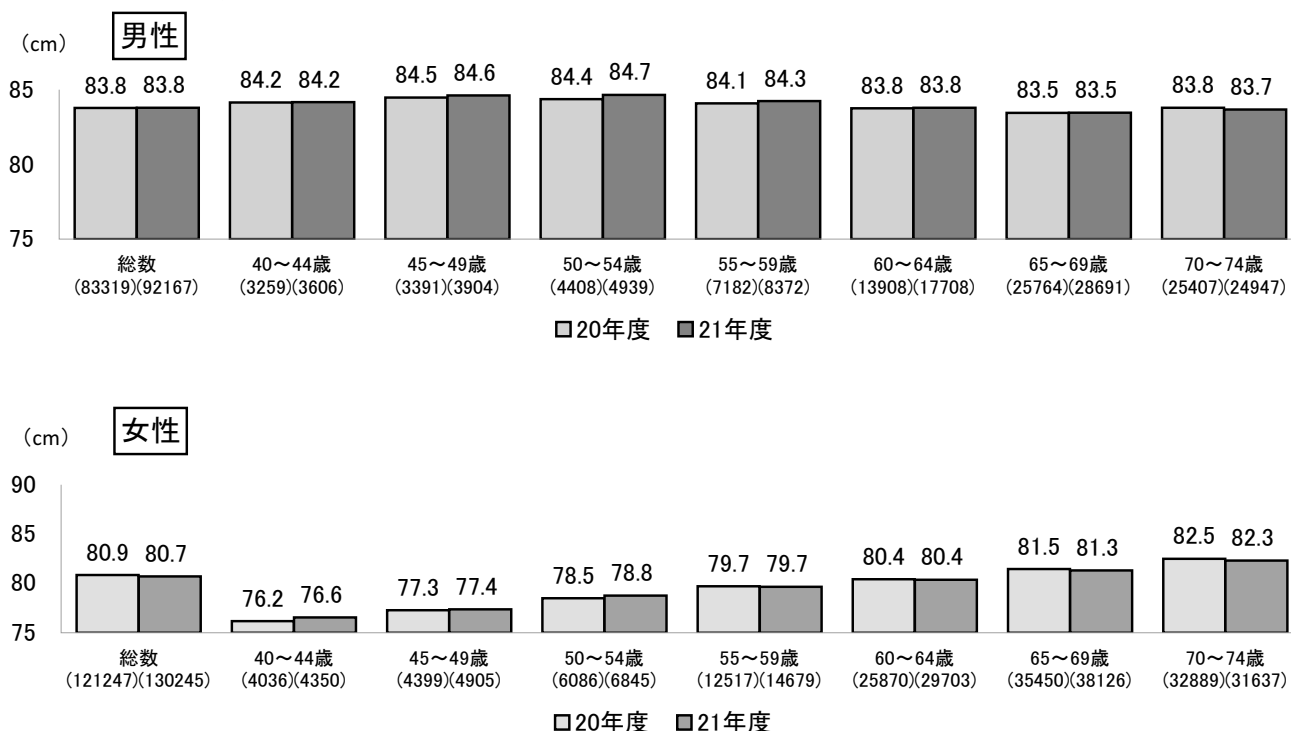
BMI平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなり、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図37. BMIの平均値



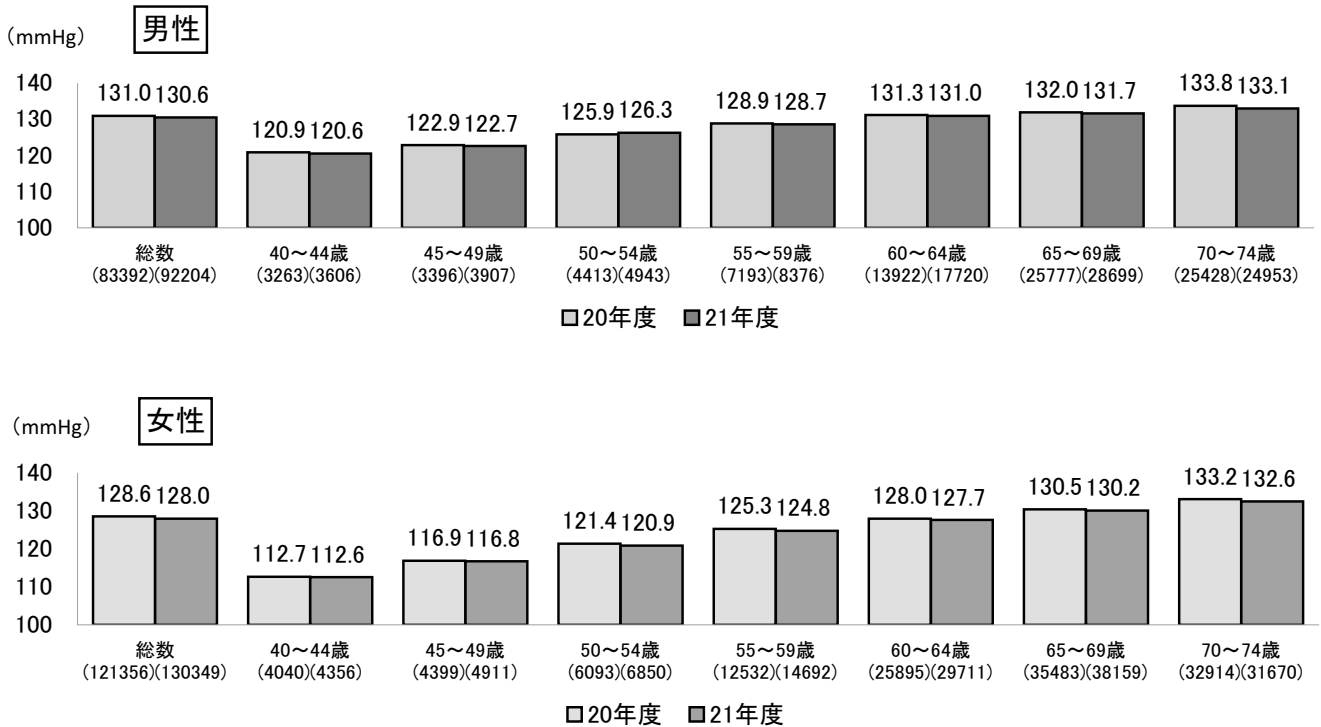
腹囲平均値は、男性は年齢による大きな違いはなかったが、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図38. 腹囲の平均値



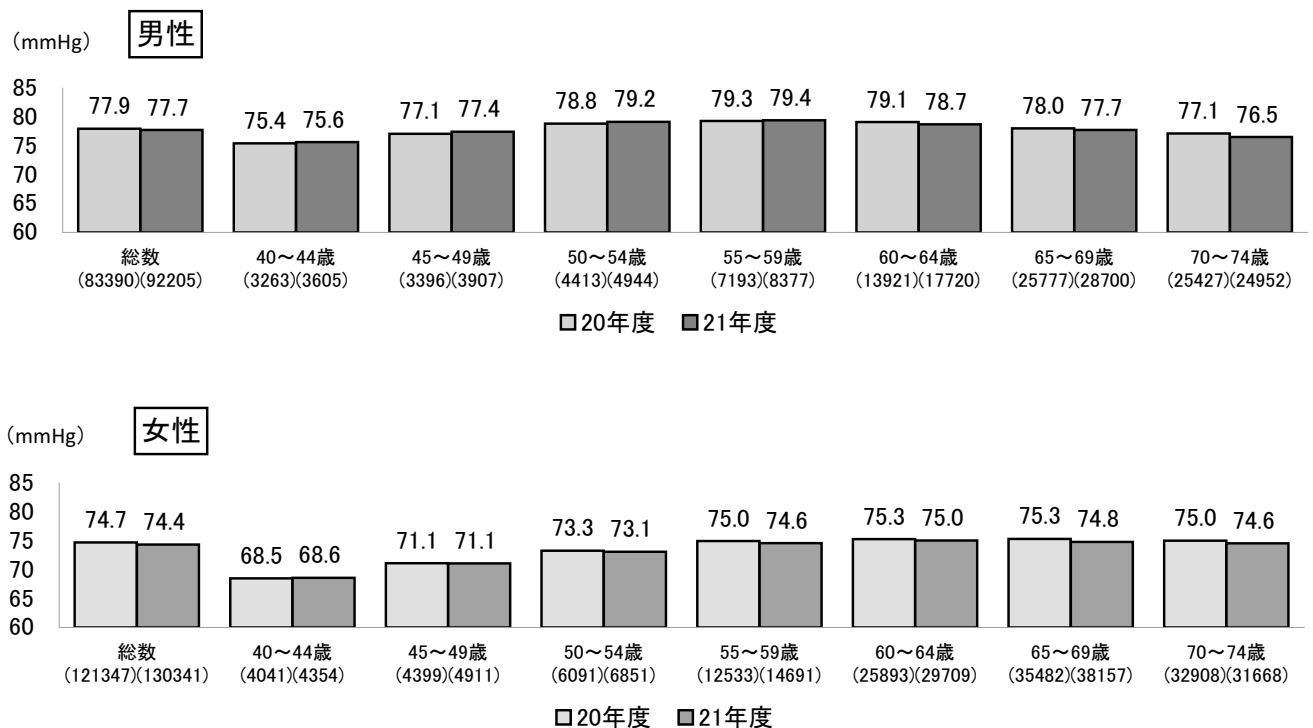
収縮期血圧平均値は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図39. 収縮期血圧の平均値



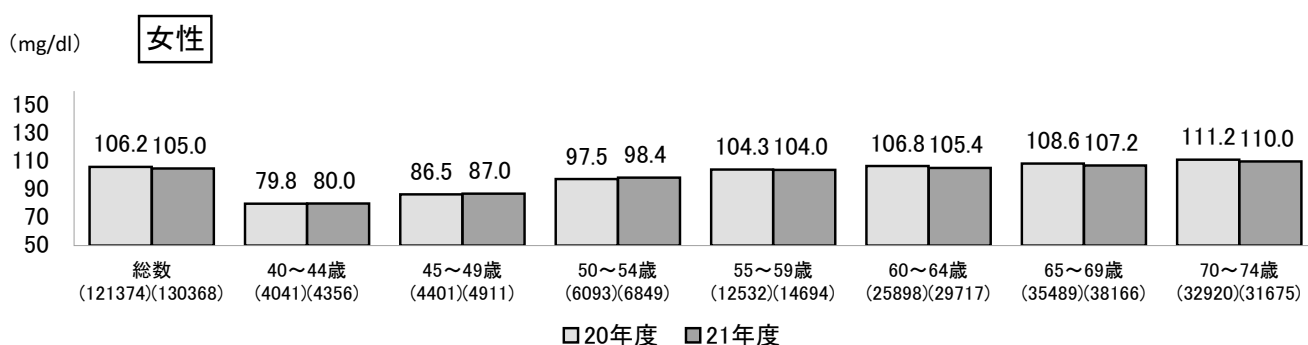
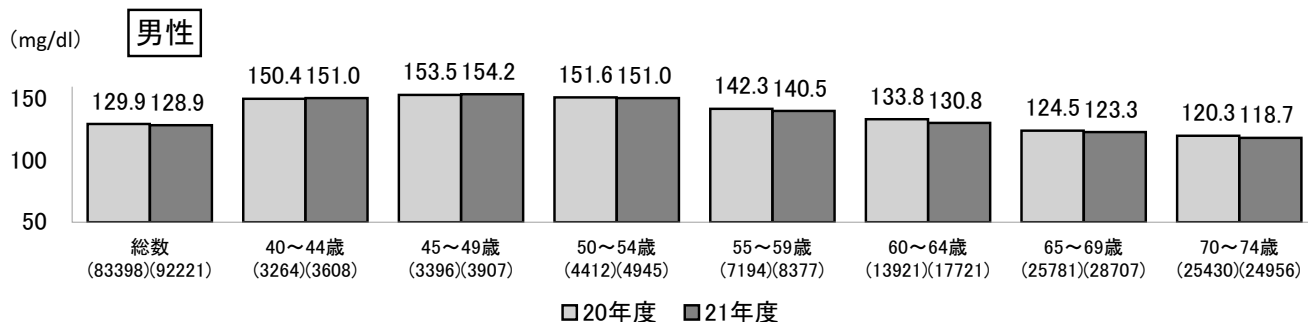
拡張期血圧平均値は、男女とも60歳頃までは高くなったが、その後はほぼ横ばいとなった。

図40. 拡張期血圧の平均値



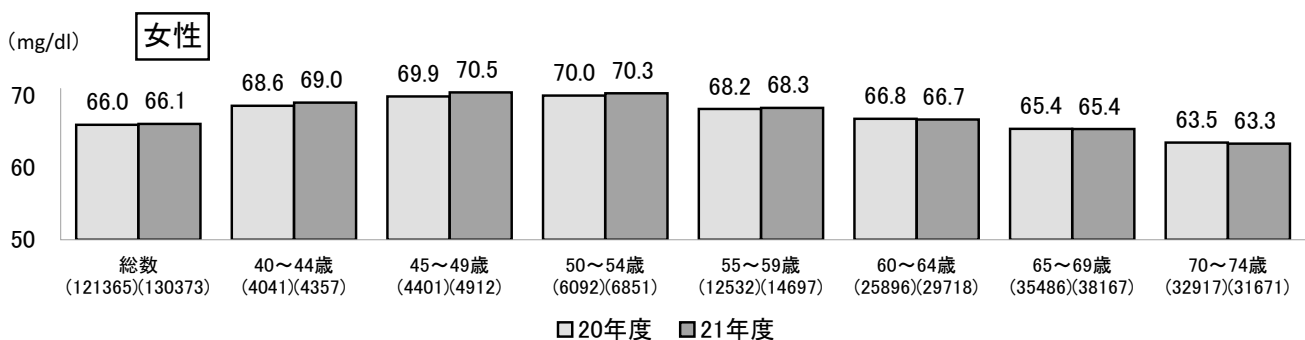
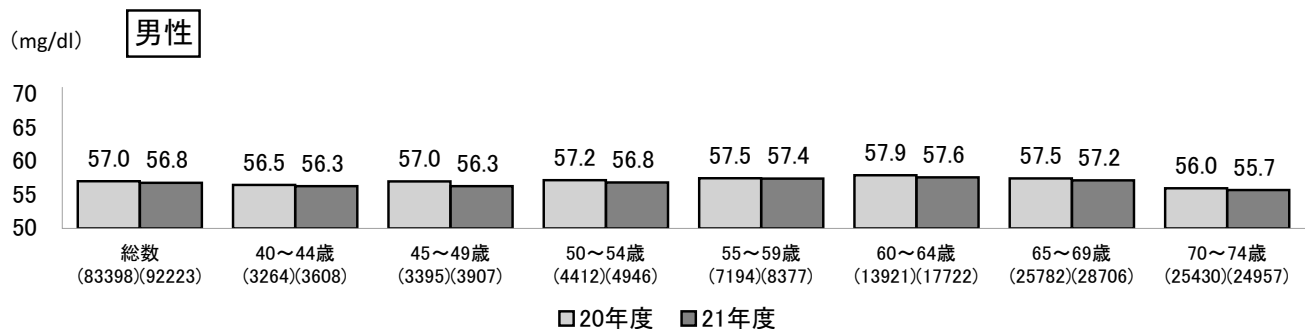
中性脂肪平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図41. 中性脂肪（トリグリセリド）の平均値



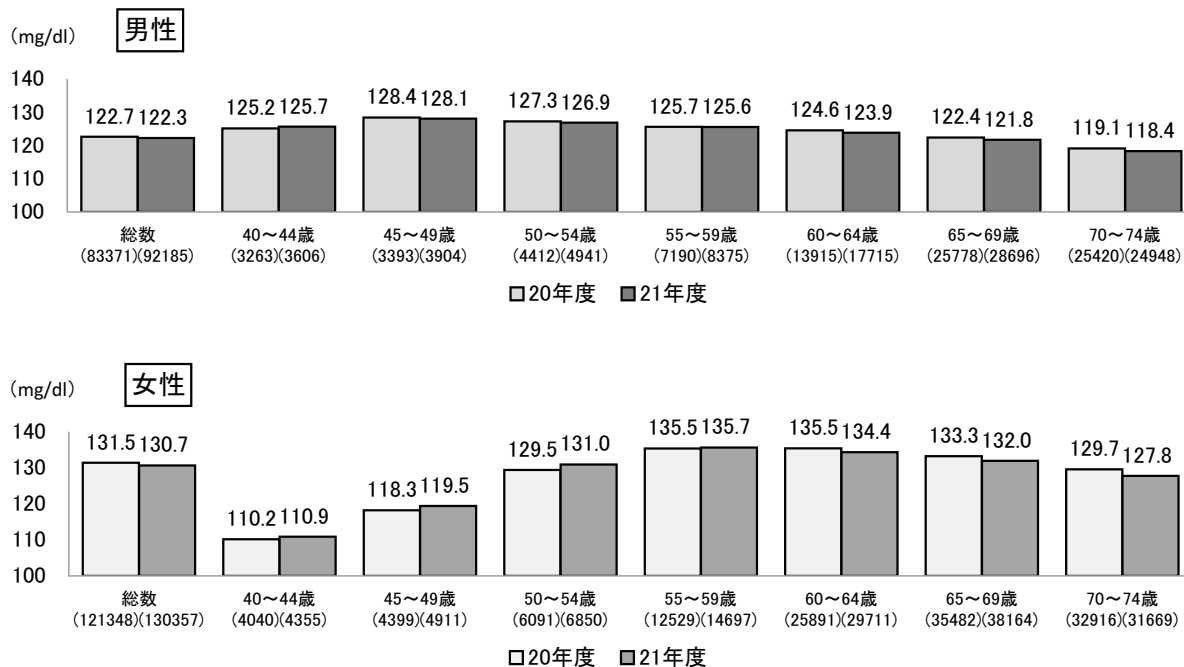
HDLコレステロール平均値は、男性は女性と比較して全年齢階級で低かった。男性はほぼ横ばい、女性は50～54歳が最も高く、その後は低くなった。

図42. HDLコレステロールの平均値



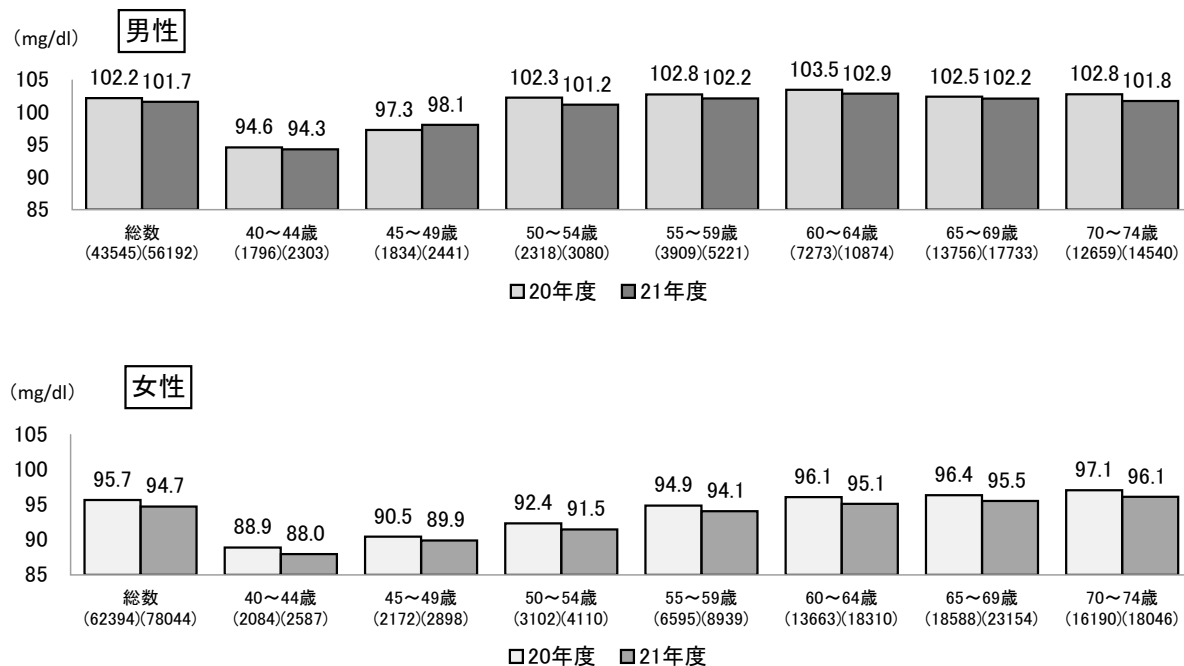
LDLコレステロール平均値は、男性は45～49歳が最も高く、その後は低くなった。女性は55～59歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなったが、その後は低くなった。

図43. LDLコレステロールの平均値



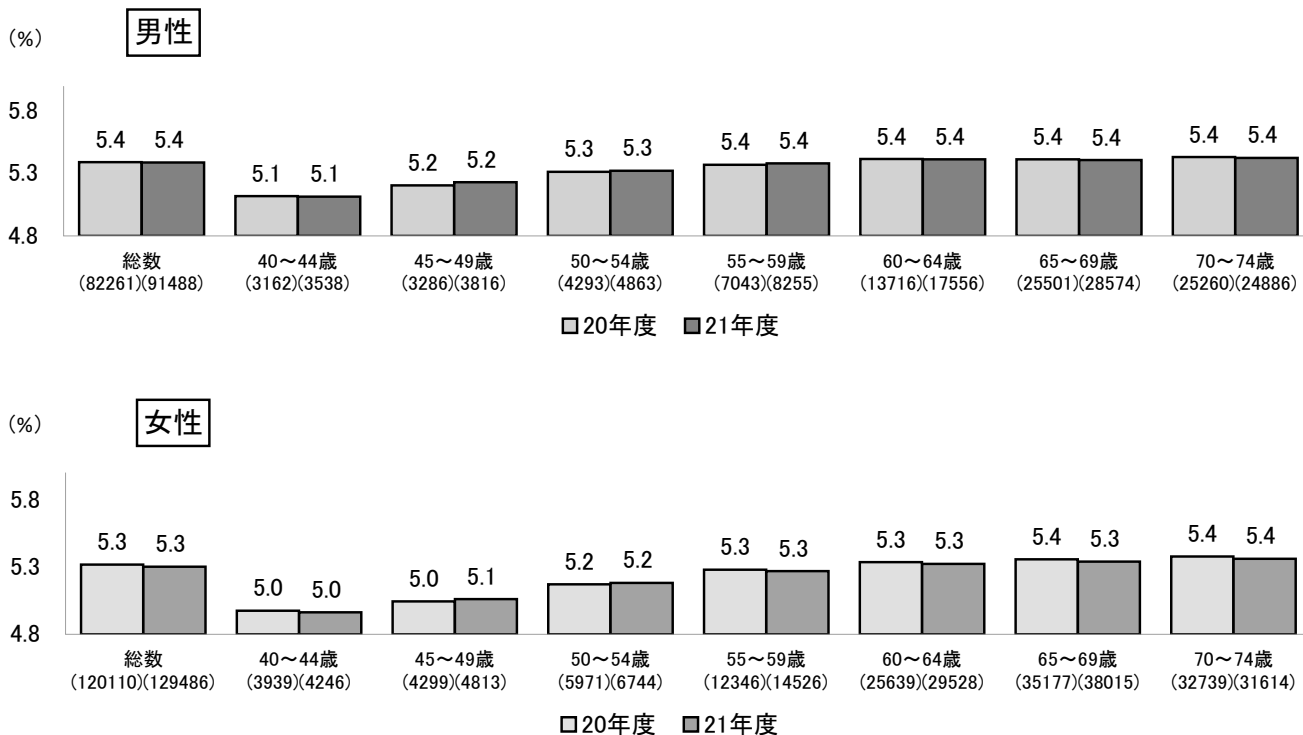
空腹時血糖平均値は、男性は60～64歳まで高くなり、その後ほぼ横ばいとなった。女性は年齢が上がるにしたがって高くなった。20年度と比較すると21年度は男女とも、ほとんどの年齢階級で低くなった。

図44. 空腹時血糖の平均値



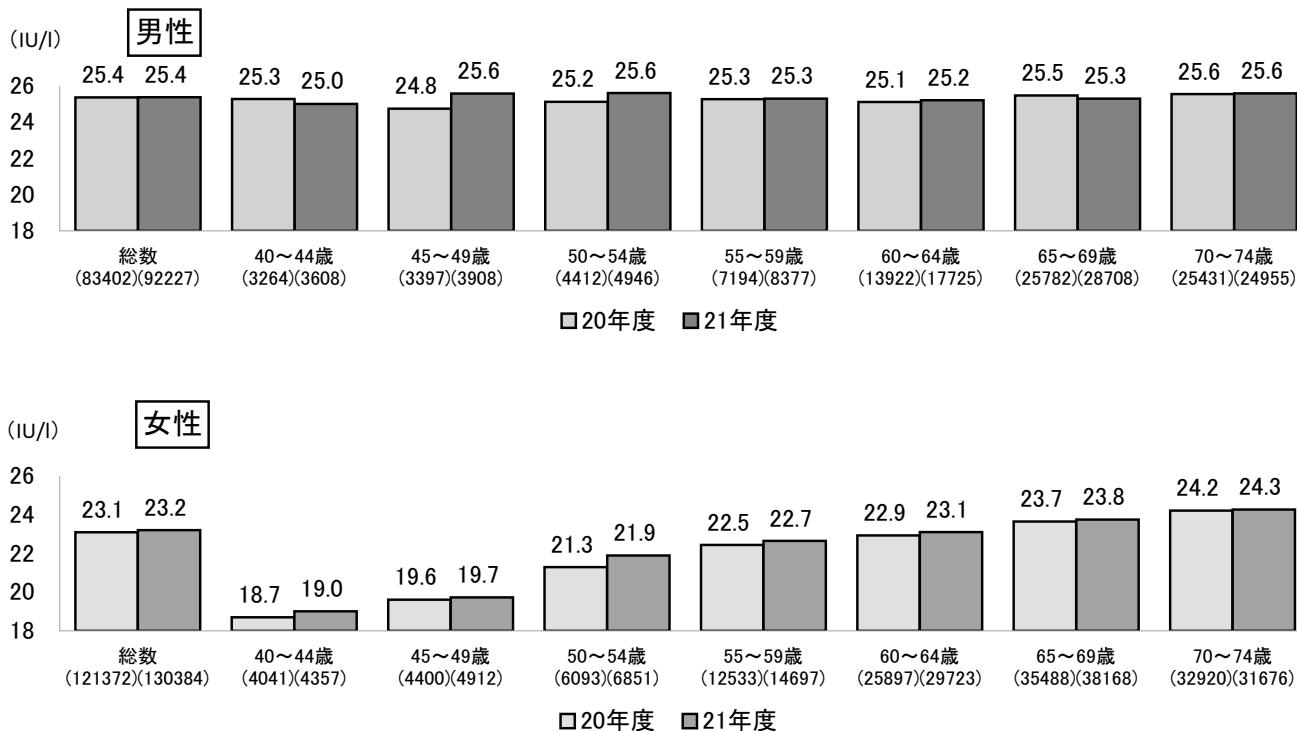
HbA1c平均値は、男女とも55～59歳まで高くなり、その後ほぼ横ばいとなった。

図45. HbA1cの平均値



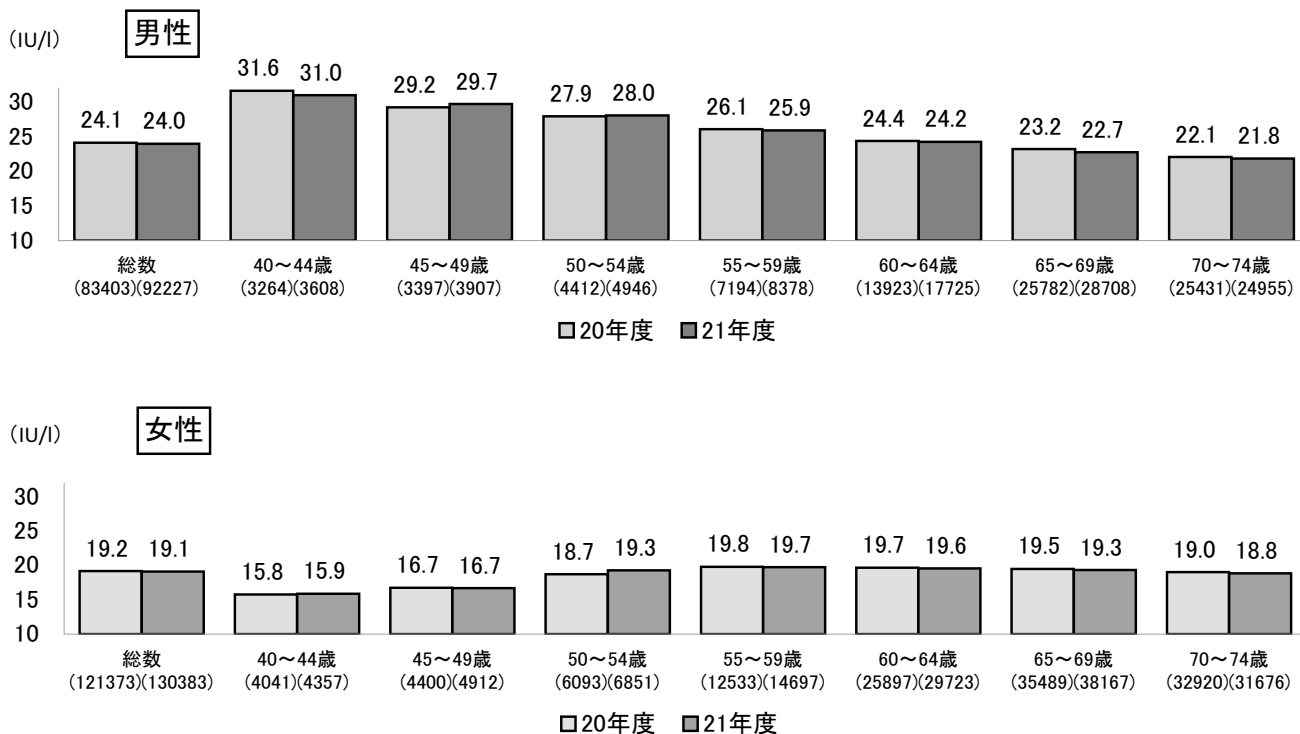
AST (GOT) 平均値は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図46. AST (GOT) の平均値



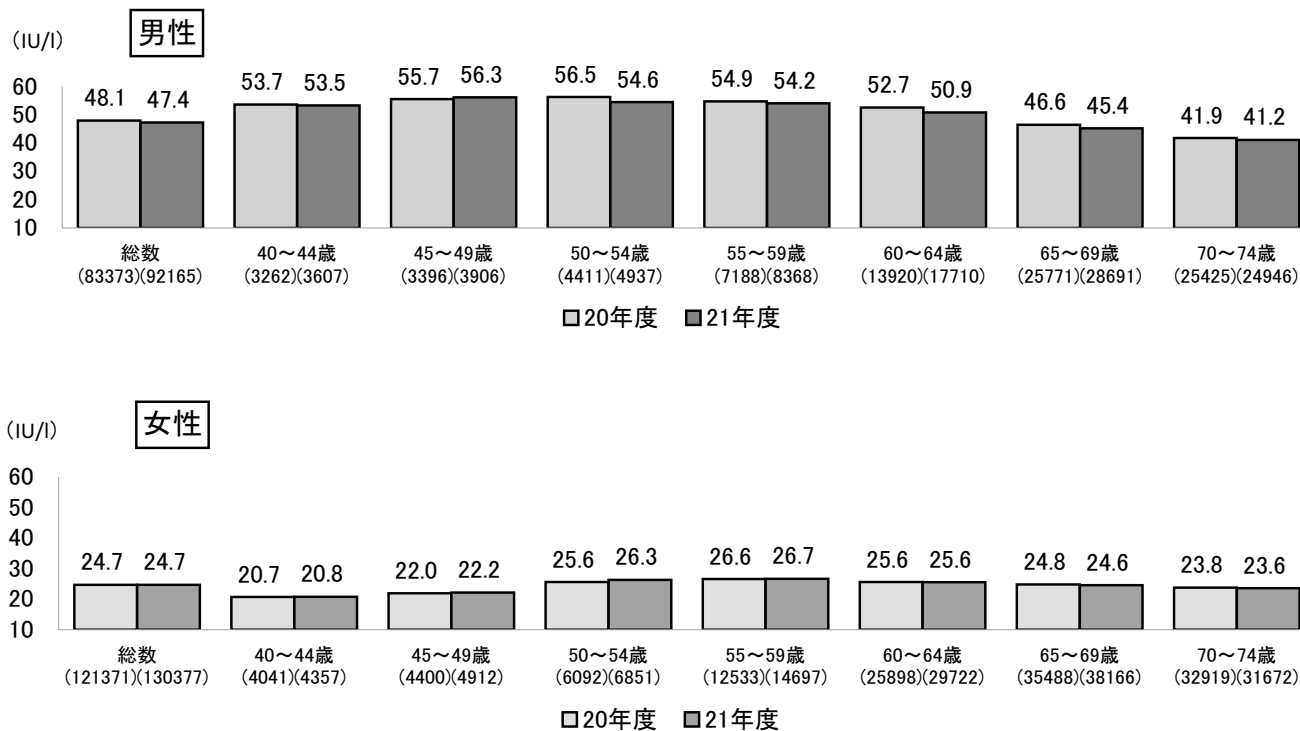
ALT (GPT) 平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は55～59歳までは高くなり、その後は低くなった。

図47. ALT (GPT) の平均値



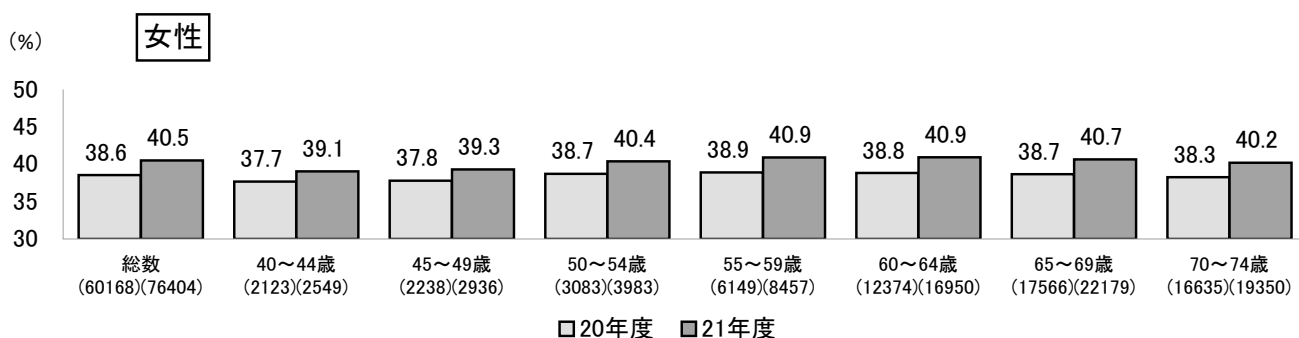
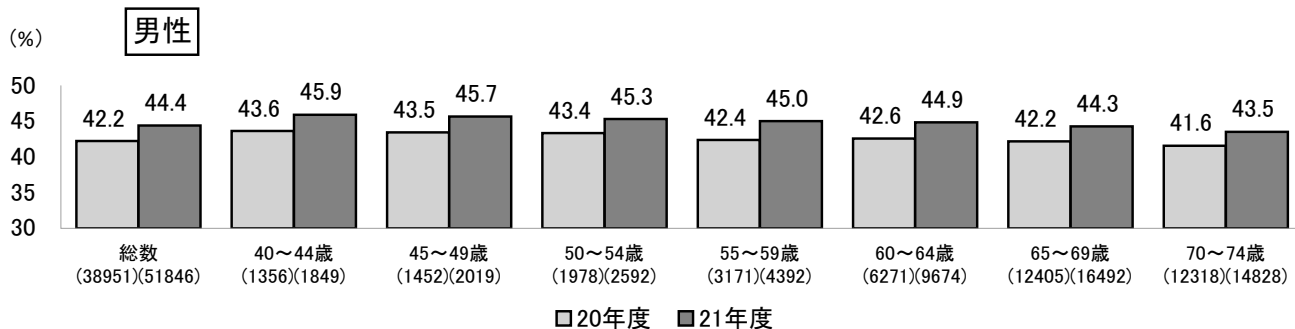
γ -GT (γ -GTP) 平均値は、男性は45～49歳までは高くなりその後は低くなった。女性は55～59歳までは高くなり、その後は低くなった。女性は男性に比べ、全年齢階級で低かった。

図48. γ -GT (γ -GTP) の平均値



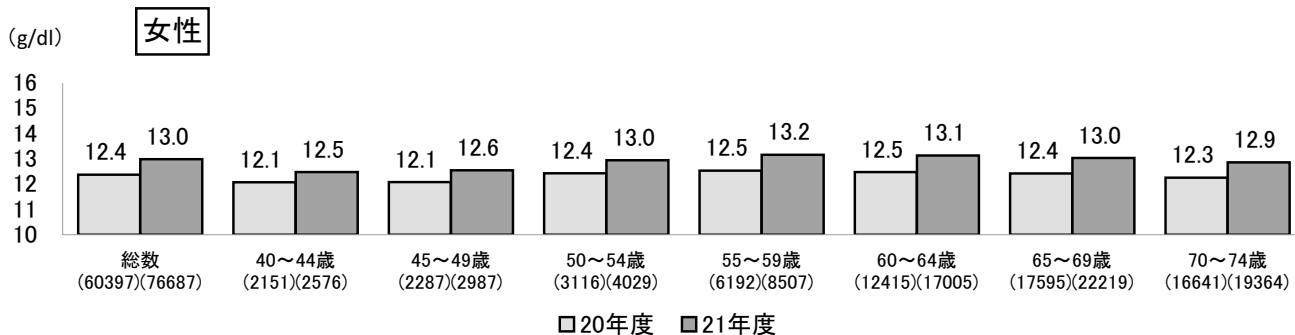
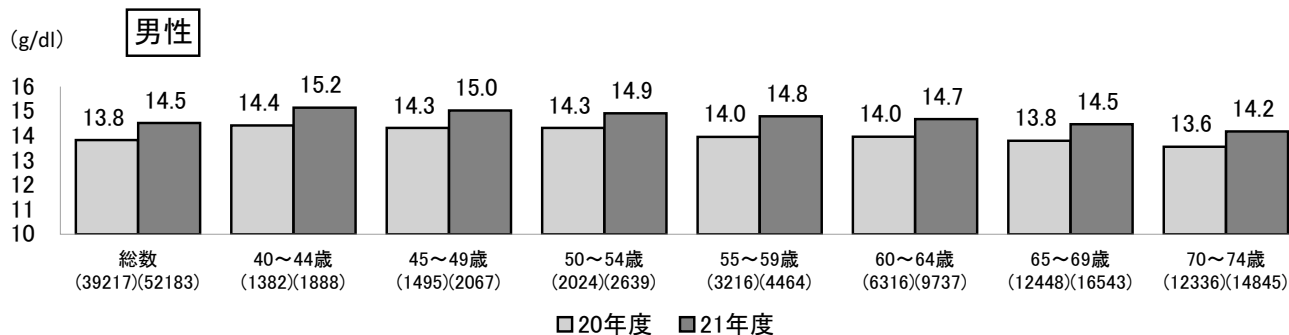
ヘマトクリット値平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに低くなった。女性は、ほぼ横ばいとなった。男女とも、平成20年度と比べると21年度は、全年齢階級で高くなった。

図49. ヘマトクリット値の平均値



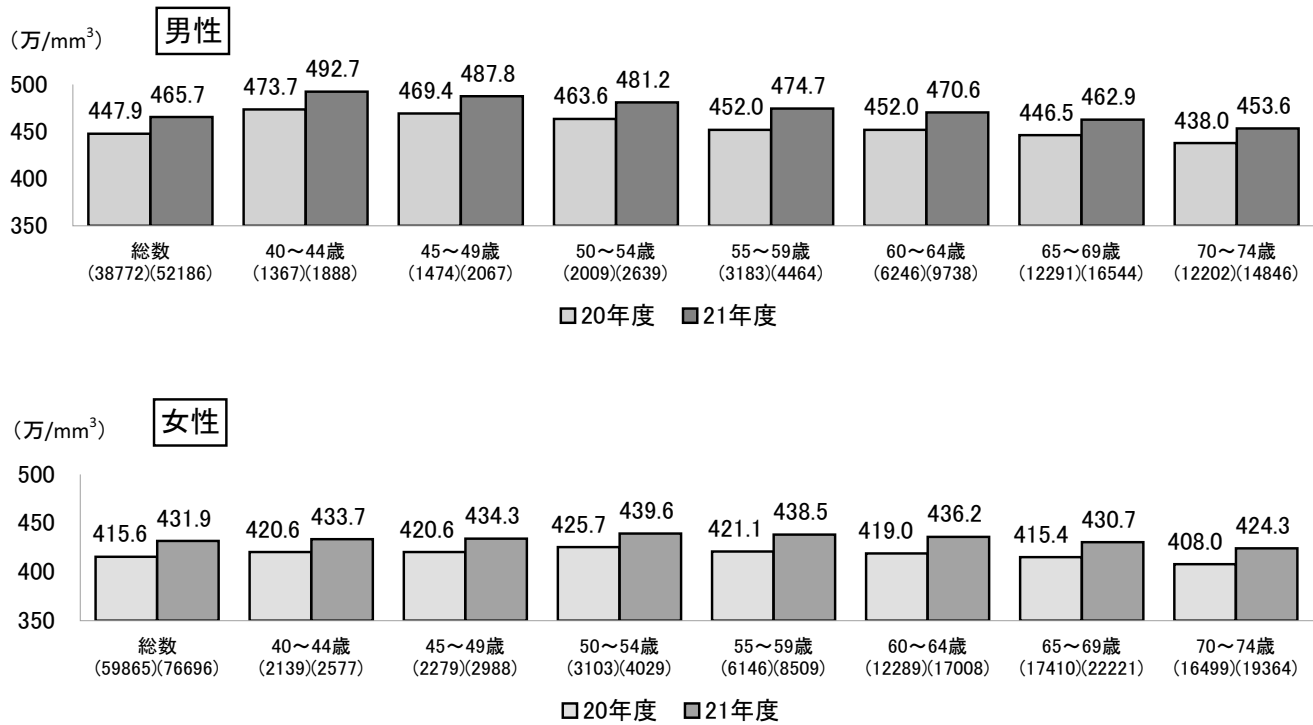
血色素量の平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに低くなった。女性は、ほぼ横ばいとなった。男女とも、平成20年度と比べると21年度は、全年齢階級で高くなった。

図50. 血色素量の平均値



赤血球数平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は、ほぼ横ばいとなった。男女とも、平成20年度と比べると21年度は、全年齢階級で高くなった。

図51. 赤血球数の平均値

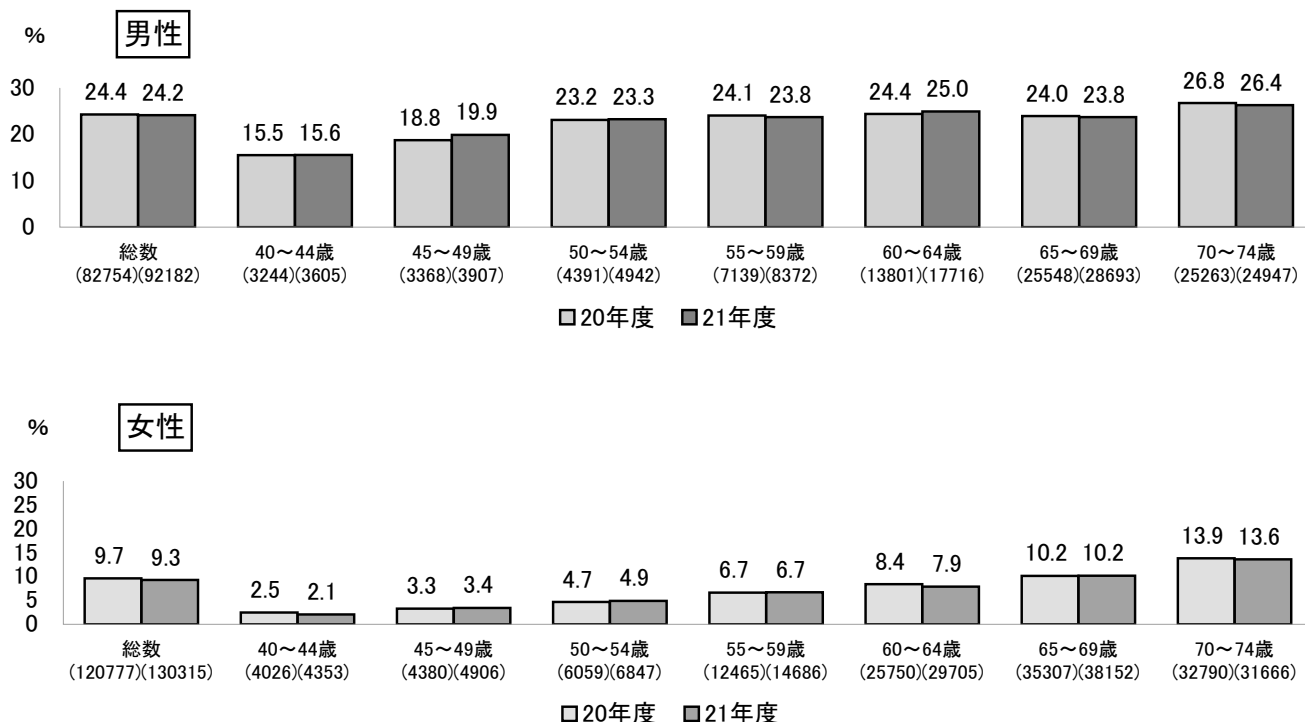


(3) 異常者等該当率

健診データ及び標準的な質問票について、性別、年齢階級別に割合を求め、平成20年度と21年度を比較して示した。

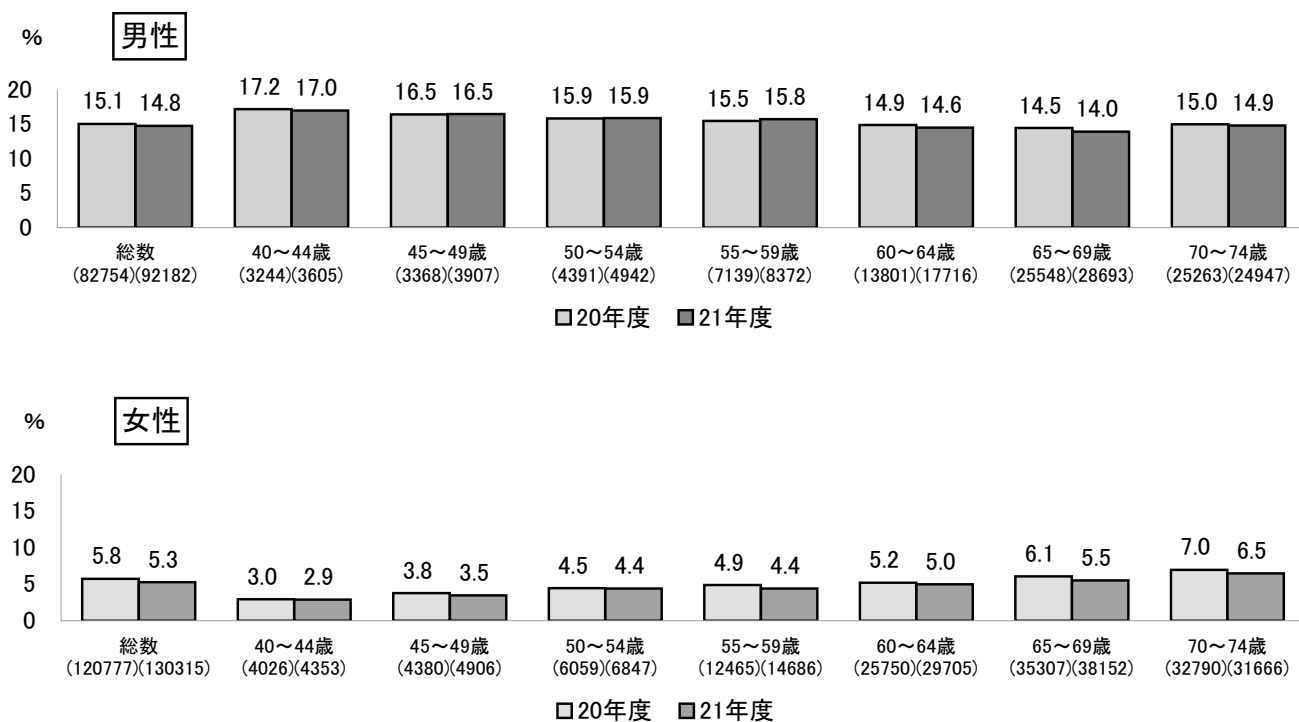
メタボリックシンドロームの該当者は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。20年度と比較して21年度は、ほぼ横ばい。

図52. メタボリックシンドローム該当者



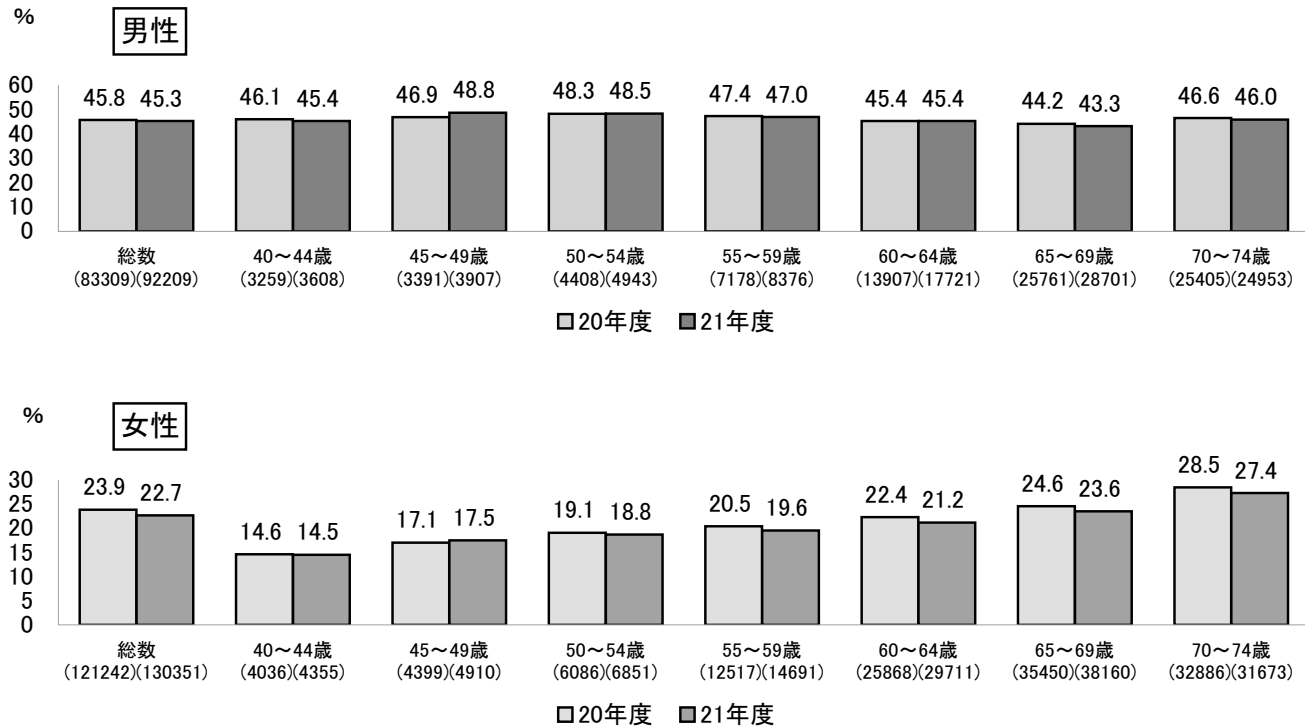
メタボリックシンドロームの予備群は、男性はほぼ横ばい。女性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに高くなった。20年度と比較して21年度は、ほとんどの年齢階級で低くなった。

図53. メタボリックシンドローム予備群



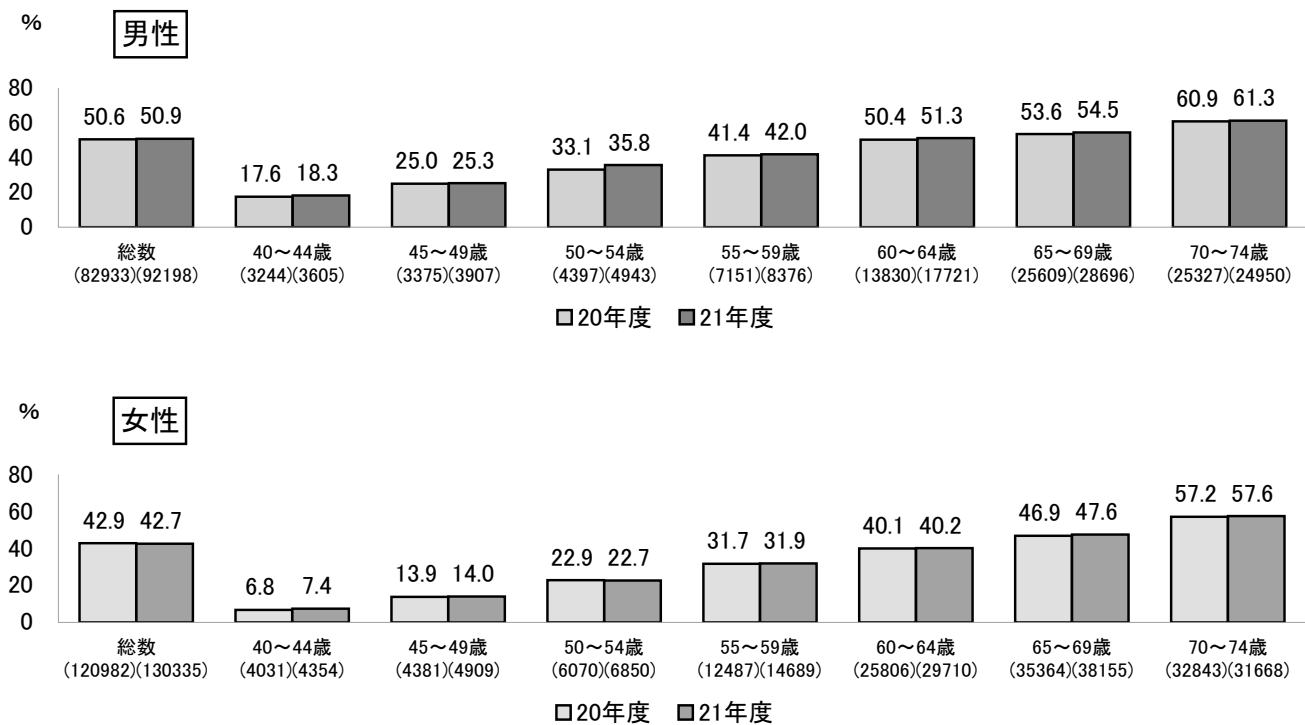
肥満者の割合は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。20年度と比較すると21年度は、ほとんどの年齢階級で低くなった。

図54. 肥満者



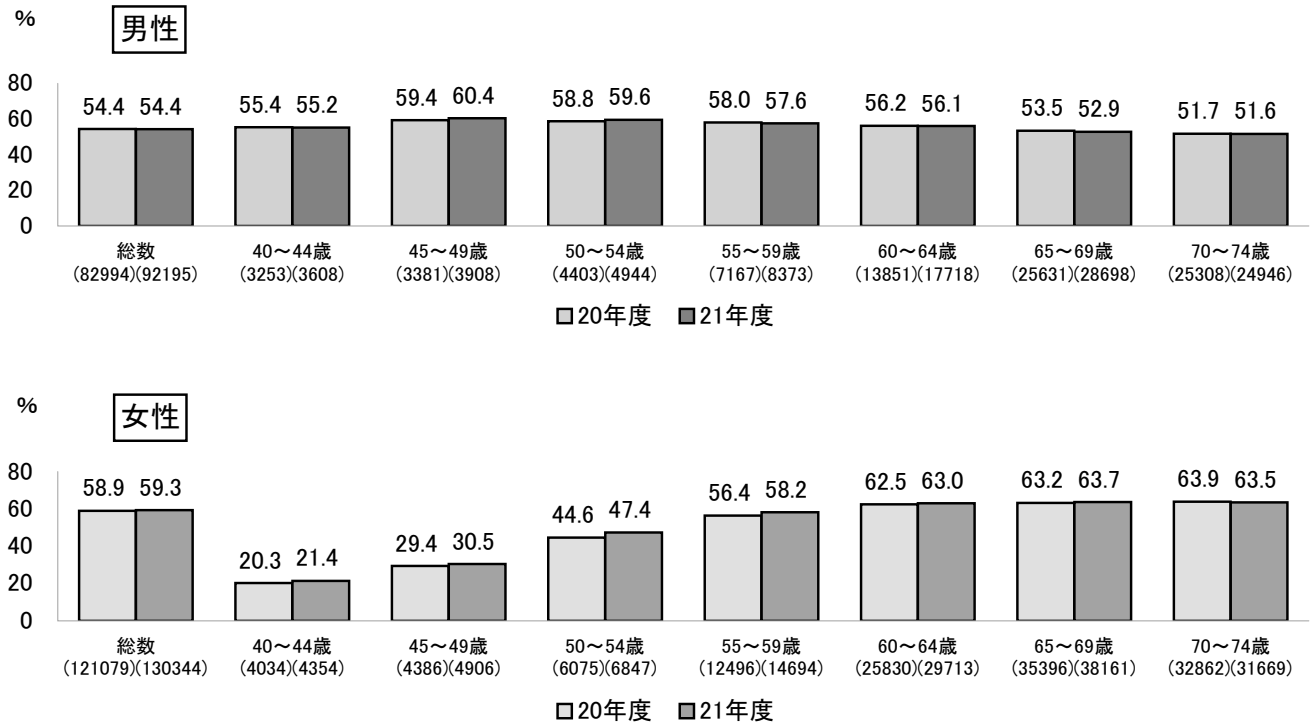
高血圧症有病者の割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図55. 高血圧症有病者



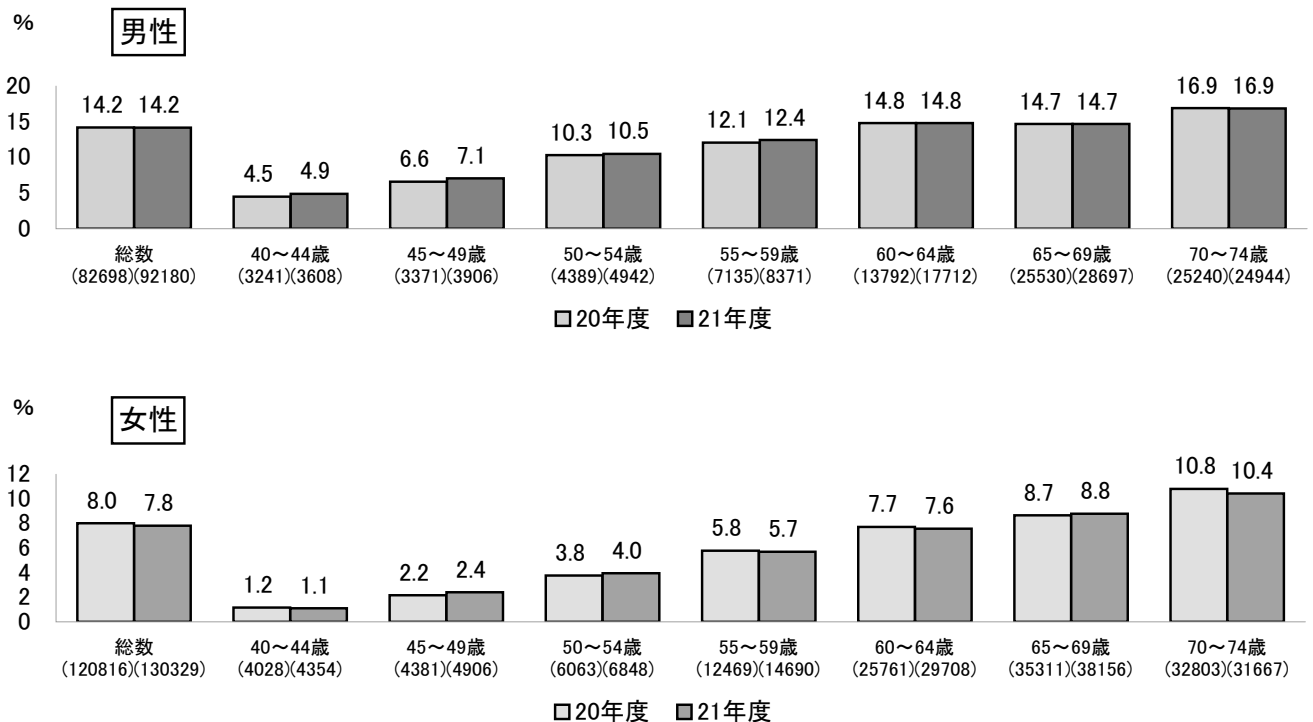
脂質異常症有病者の割合は、男性はほぼ横ばい、女性は60～64歳までは高くなり、その後はほぼ横ばいとなった。

図56. 脂質異常症有病者



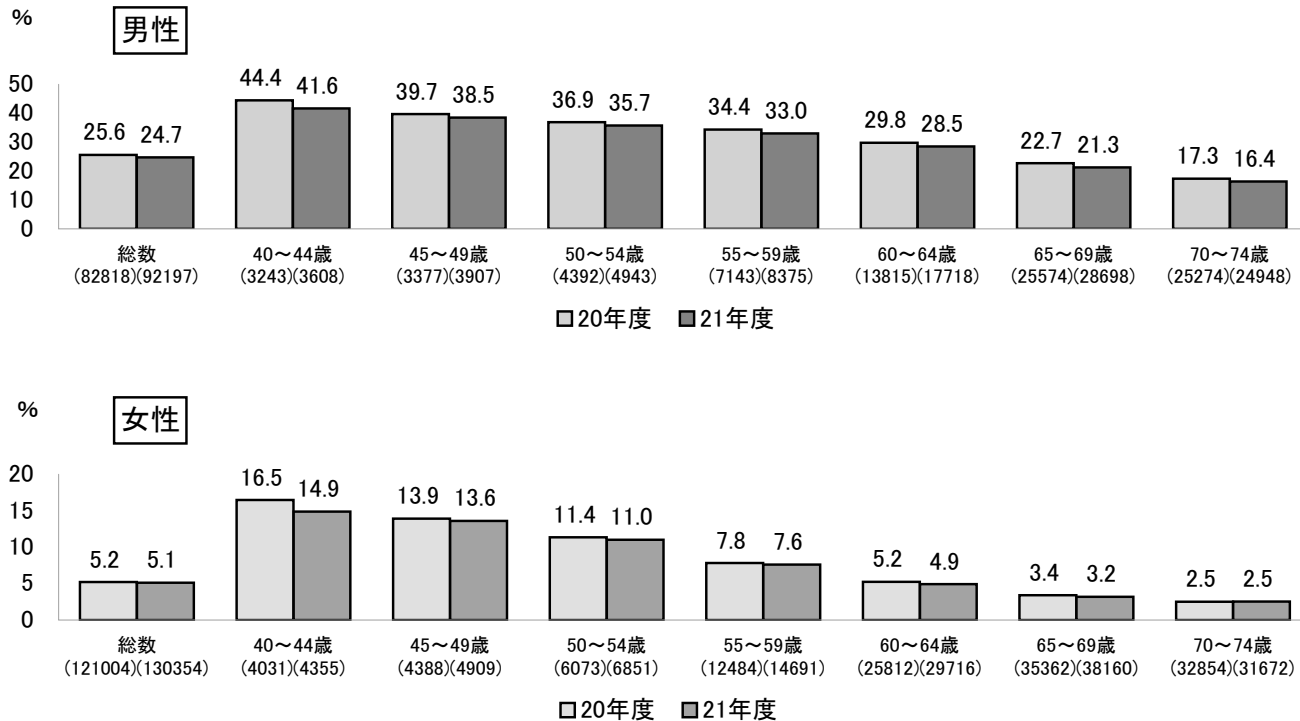
糖尿病有病者の割合は、男女とも、年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図57. 糖尿病有病者



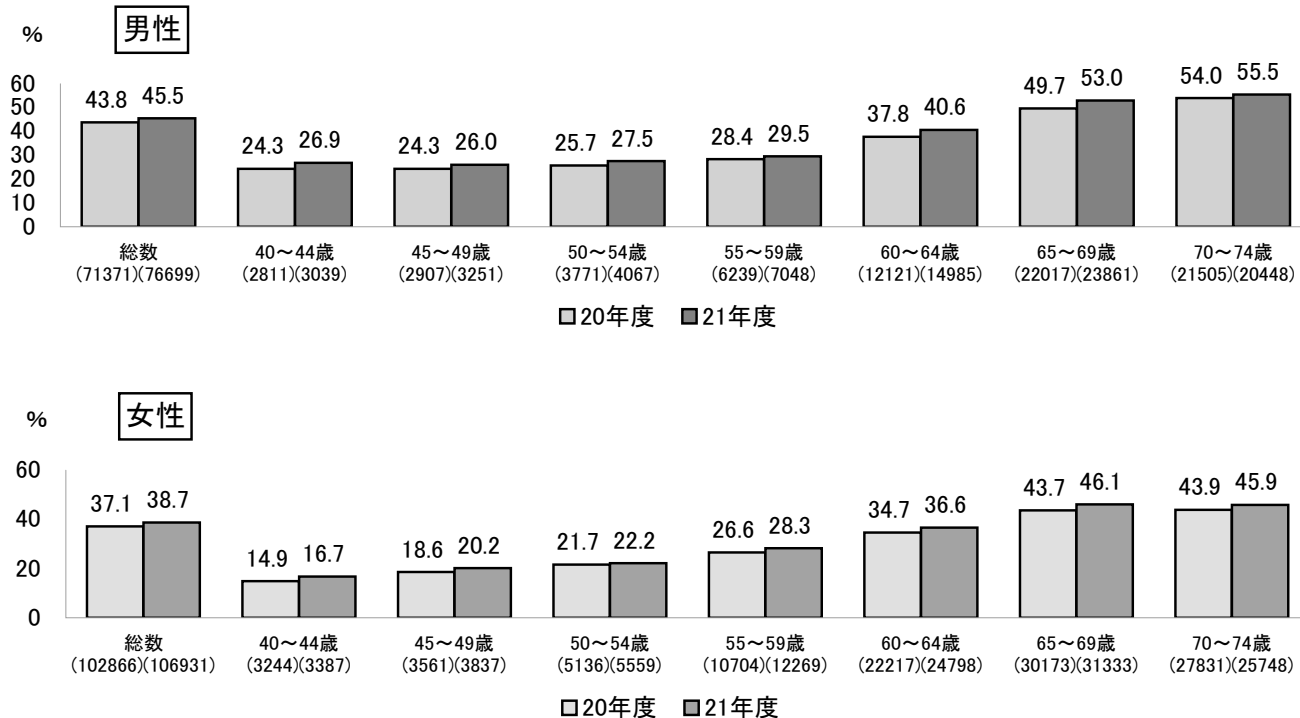
習慣的喫煙者は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって低くなった。20年度と比較すると21年度は、全年齢階級で低くなった。

図58. 習慣的喫煙者



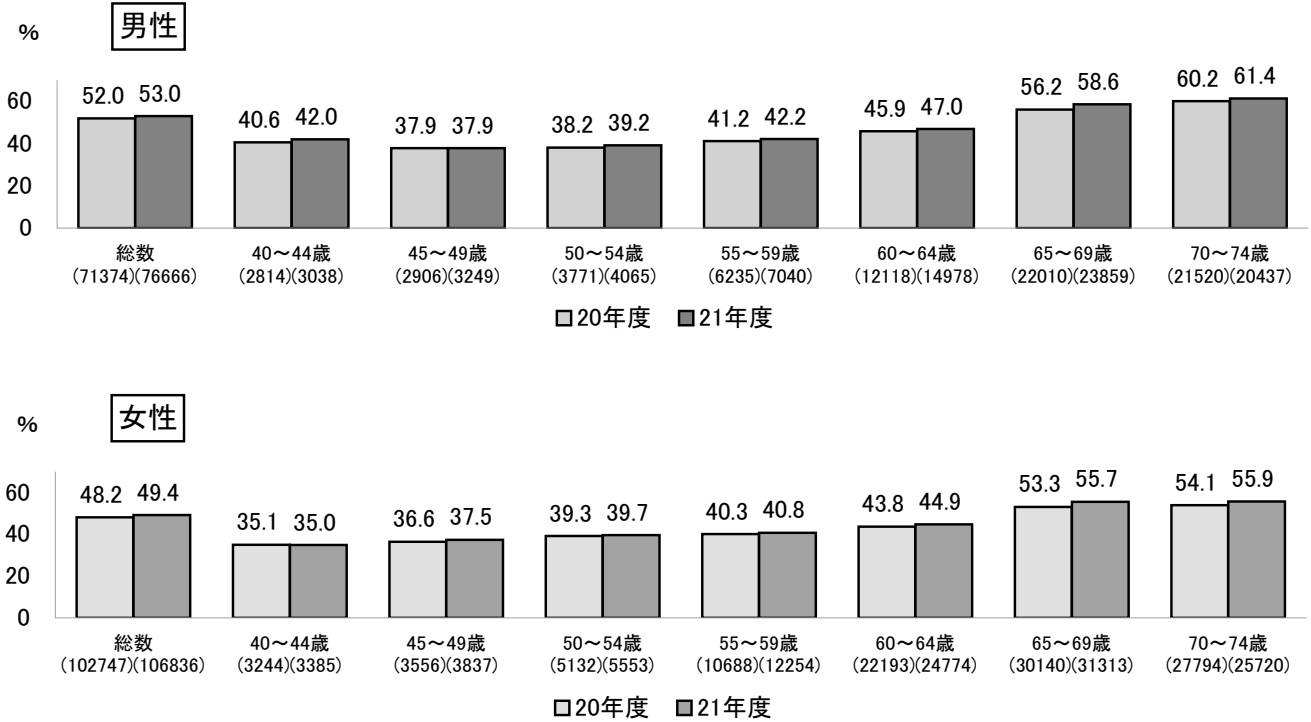
運動習慣のある割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。20年度と比較すると21年度は、全年齢階級で高くなった。

図59. 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施



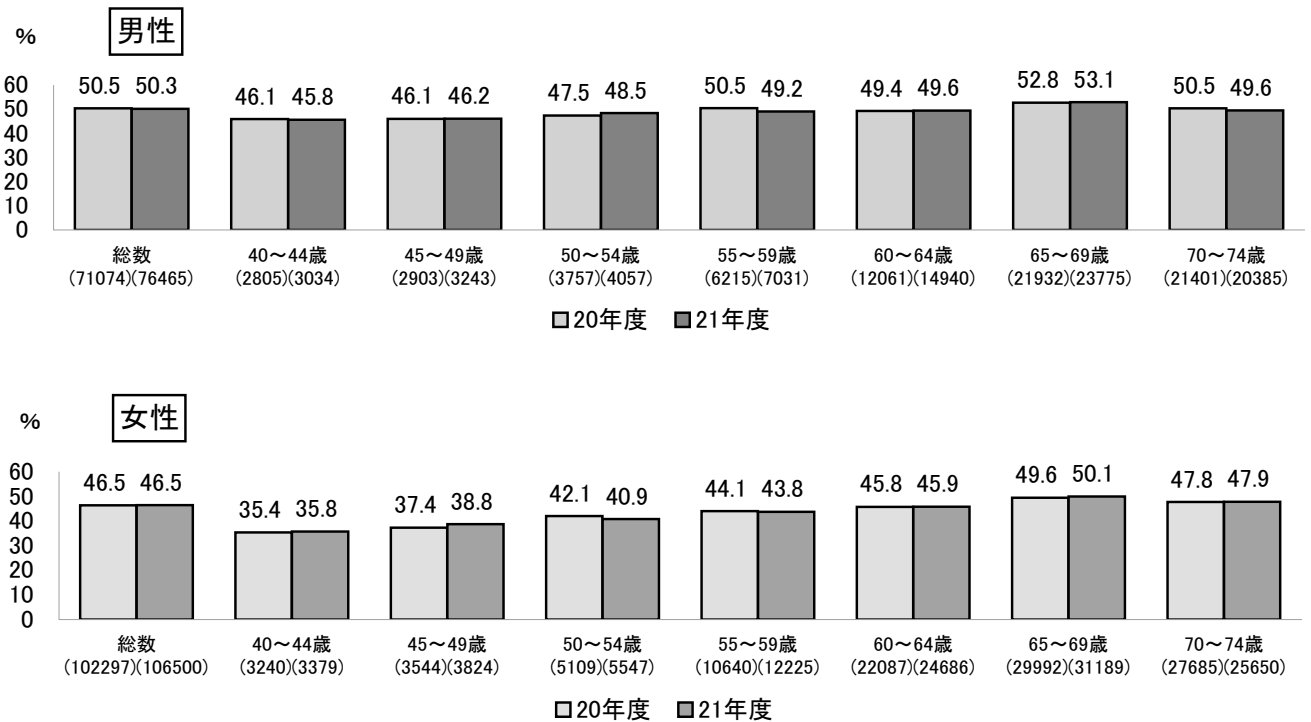
身体活動は、運動習慣と同様な傾向がみられ、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。20年度と比較すると21年度は、全年齢階級で高くなった。

図60. 歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施



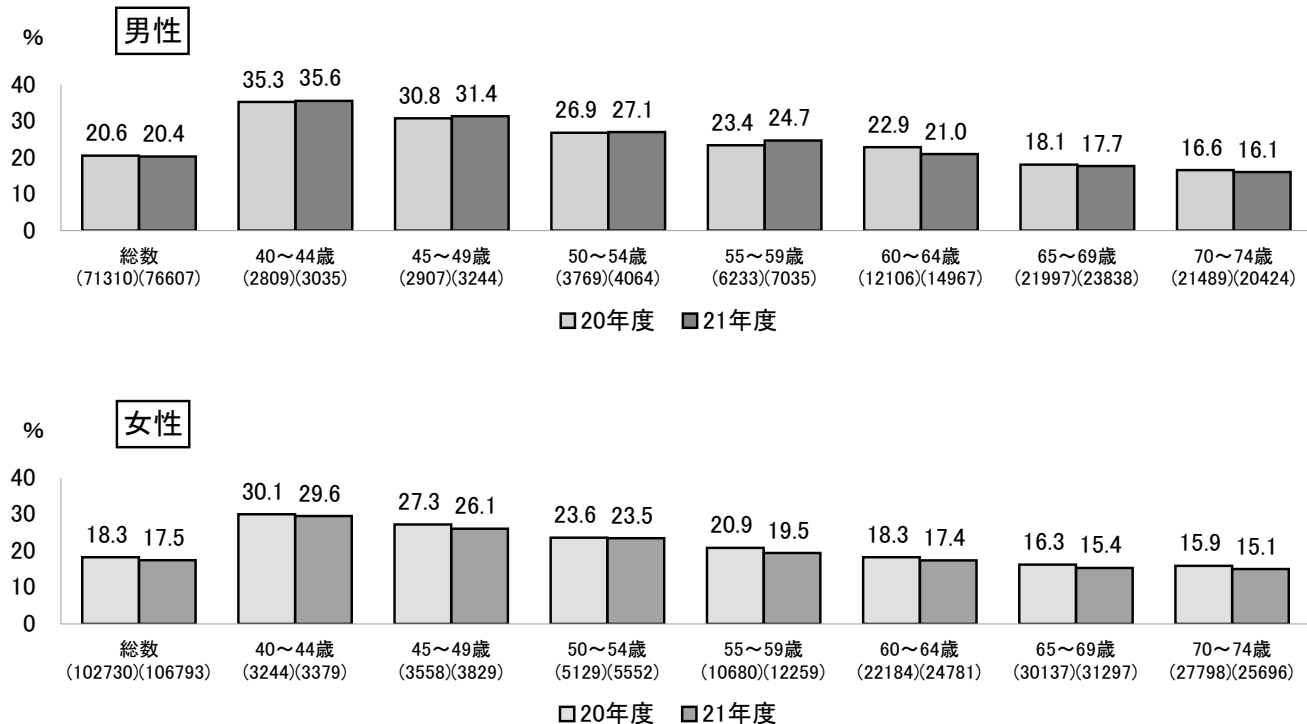
歩く速度が速い割合は、男女とも65~69歳までは年齢階級が上がるにしたがって緩やかに高くなった。

図61. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い



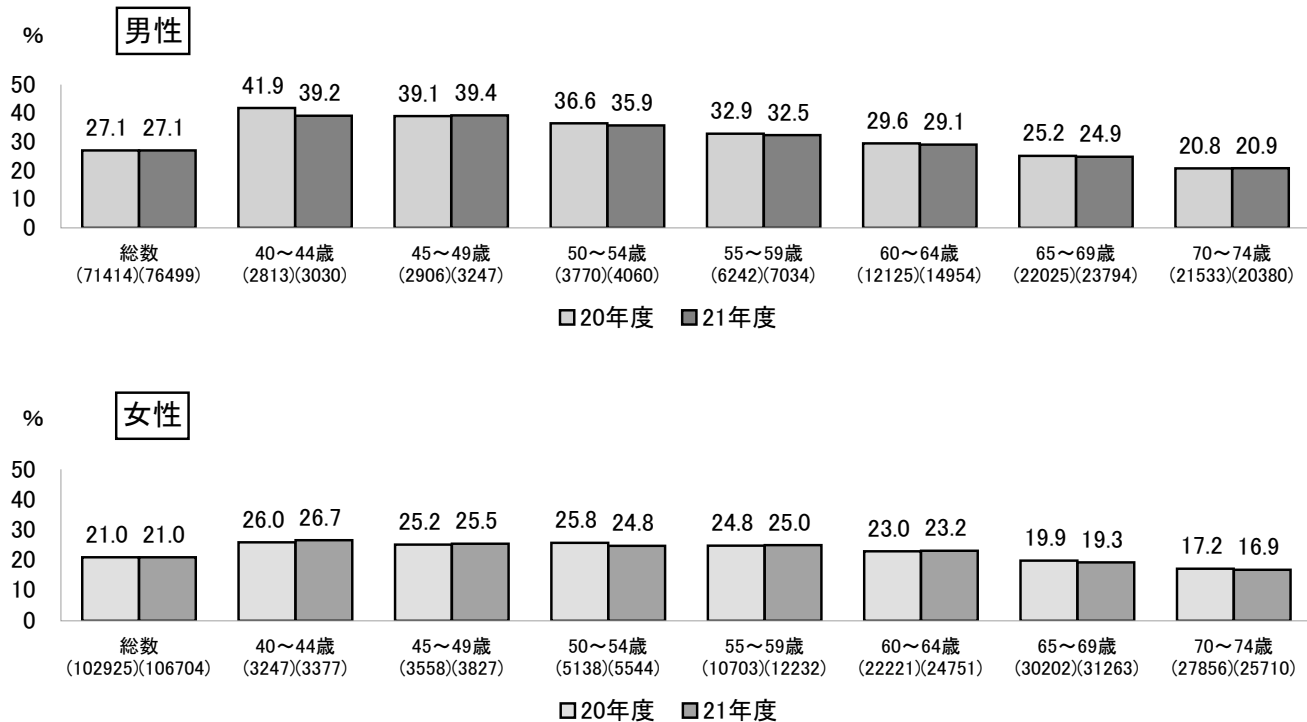
この1年間で体重の増減があった者の割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって低くなった。20年度と比較すると21年度は、ほぼ全年齢階級で低くなった。

図62. この1年間で体重の増減が±3kg以上あった



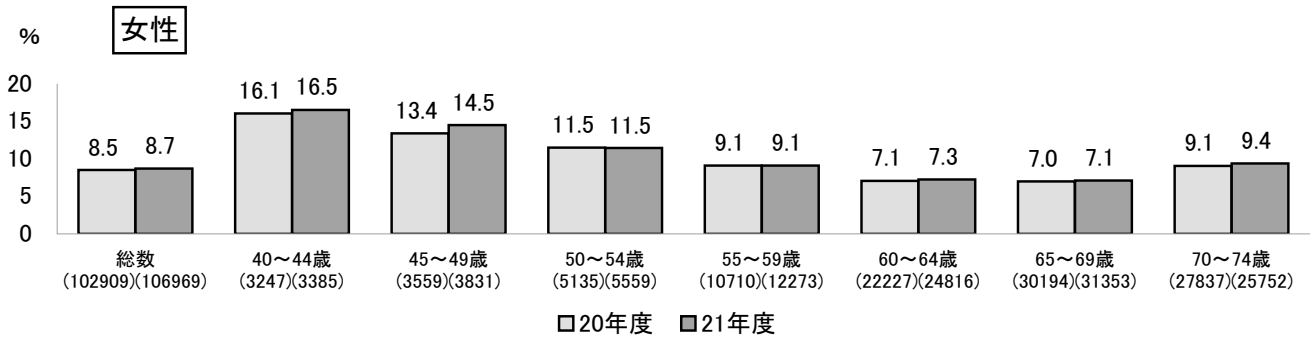
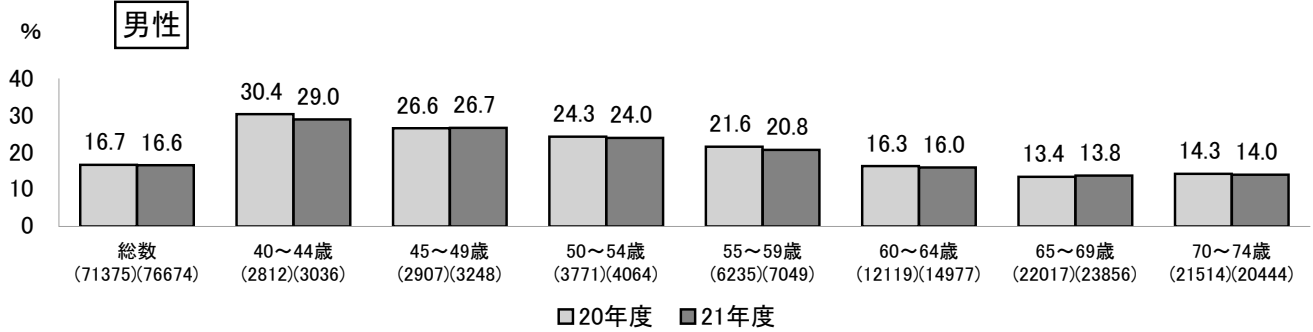
早食いの割合は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は55~59歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。

図63. 人と比較して食べる速度が速い



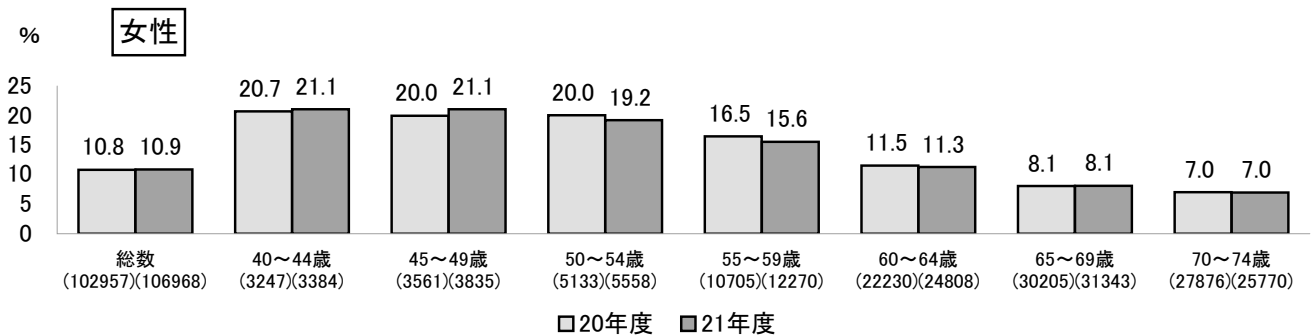
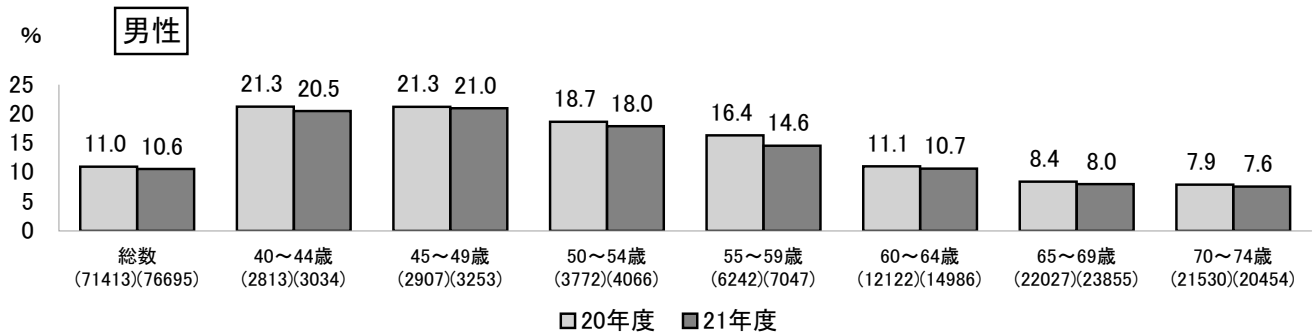
就寝前に夕食を食べる割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって低くなった。

図64. 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある



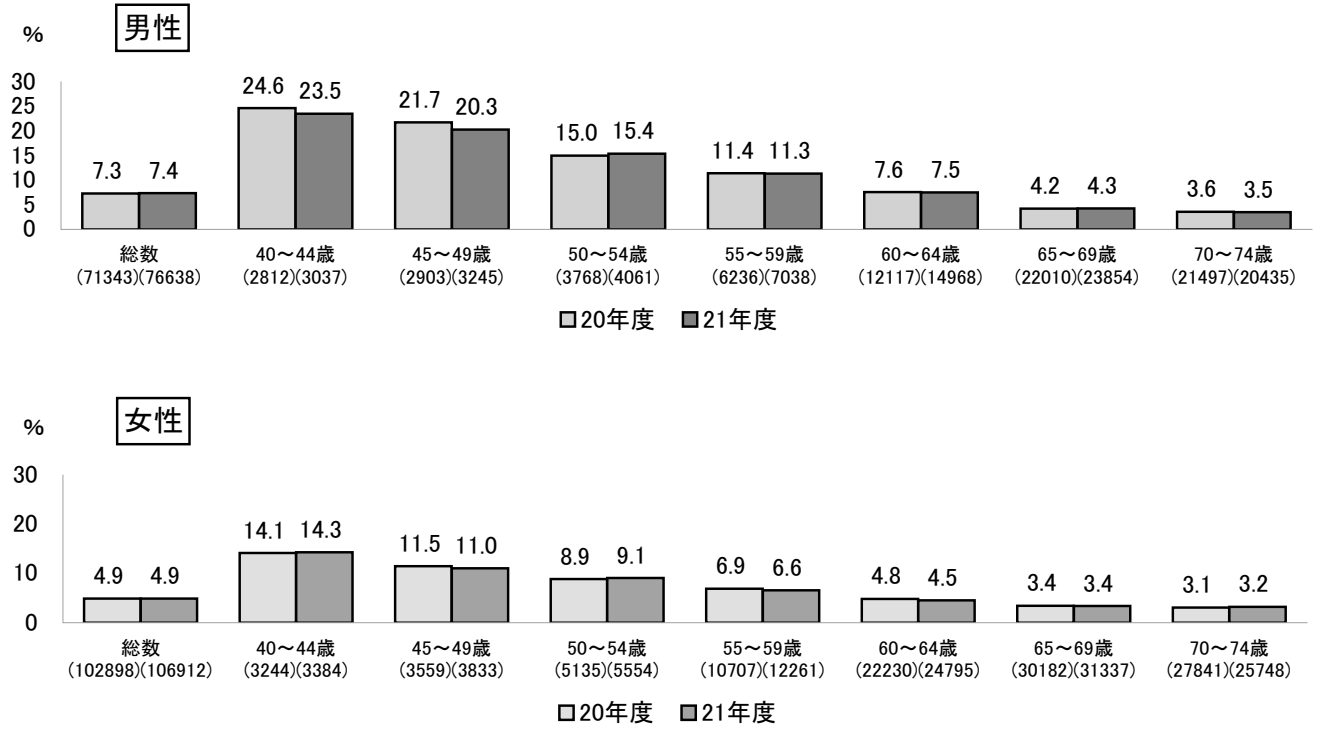
夕食後に間食をとる割合は、男女とも50～54歳まではほぼ横ばい、その後年齢階級が上がるにしたがって低くなった。

図65. 夕食後に間食をとることが週に3回以上ある



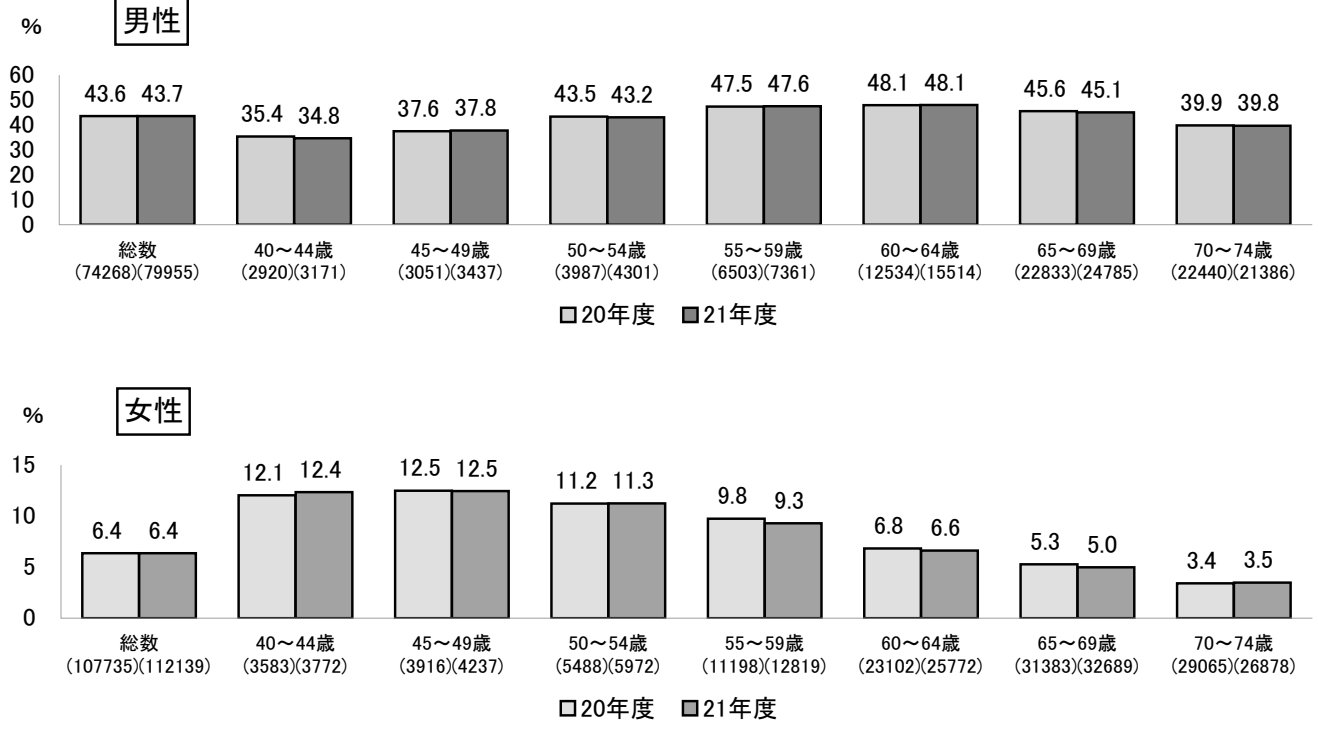
朝食を欠食する割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は男性に比べ、全年齢階級で低かった。

図66. 朝食を抜くことが週に3回以上ある



毎日飲酒する割合は、男性は60~64歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後低くなった。女性は45~49歳まではほぼ横ばい、その後は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。

図67. お酒を毎日飲む



睡眠で休養がとれている割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図68. 睡眠で休養が十分とれている

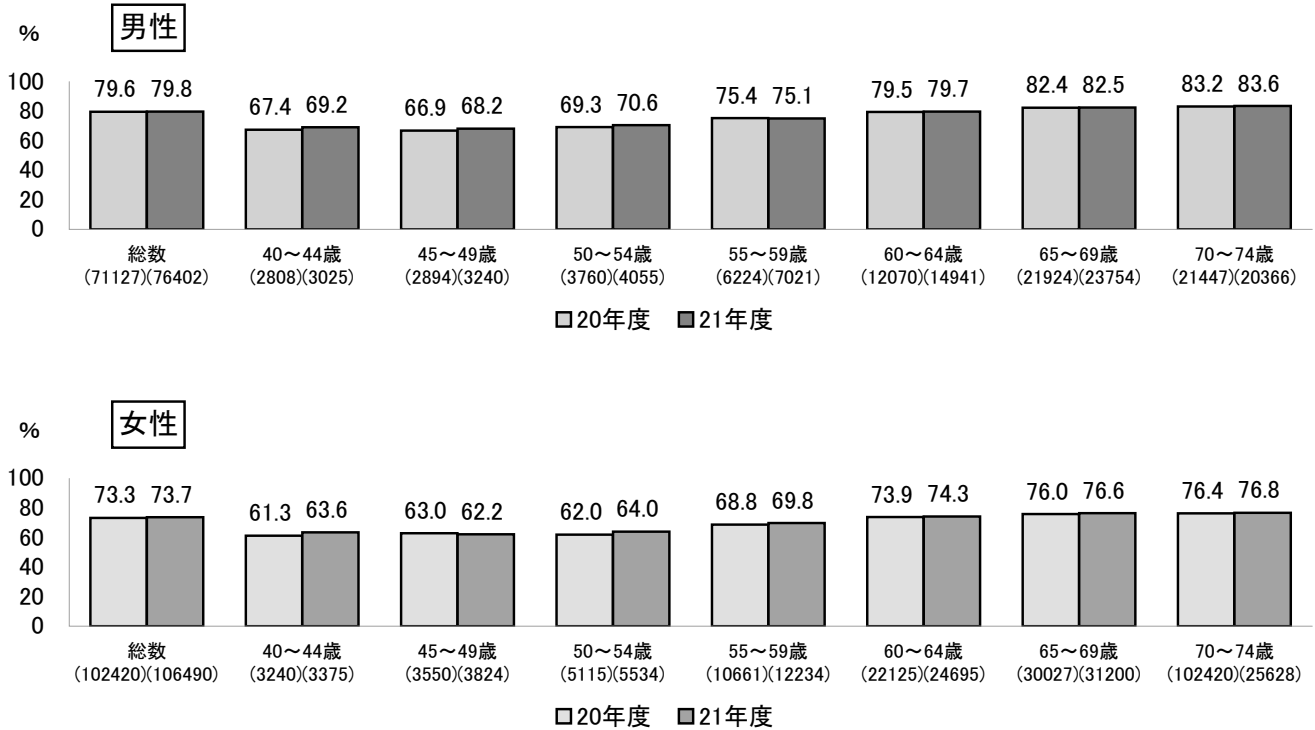
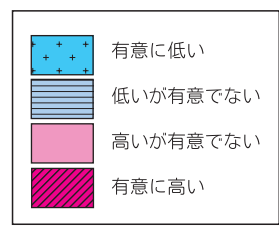


図69. 内臓脂肪症候群該当者 (男性)



(静岡市、浜松市は区ごとに表示)

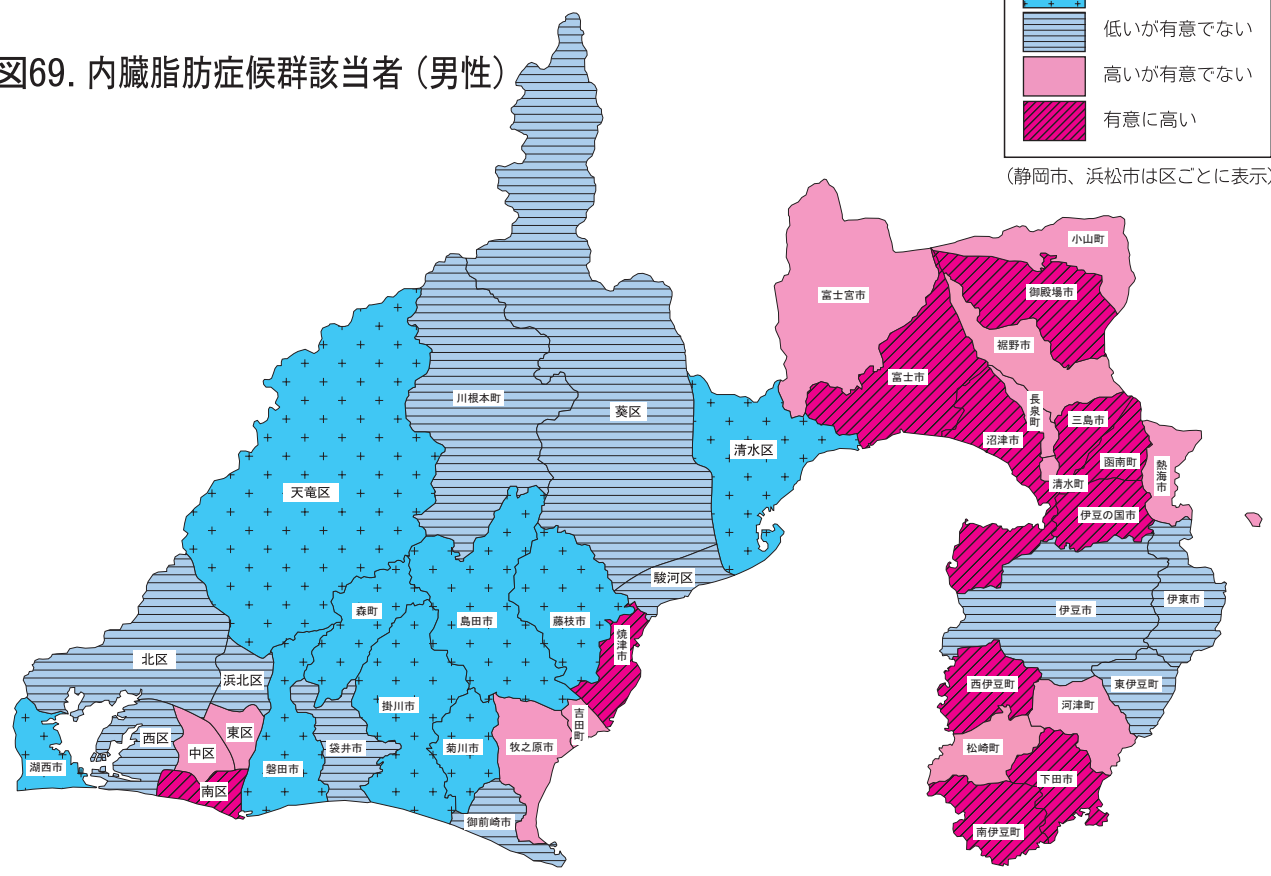
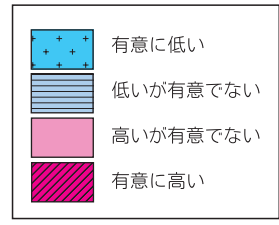


図70. 内臓脂肪症候群該当者 (女性)



(静岡市、浜松市は区ごとに表示)

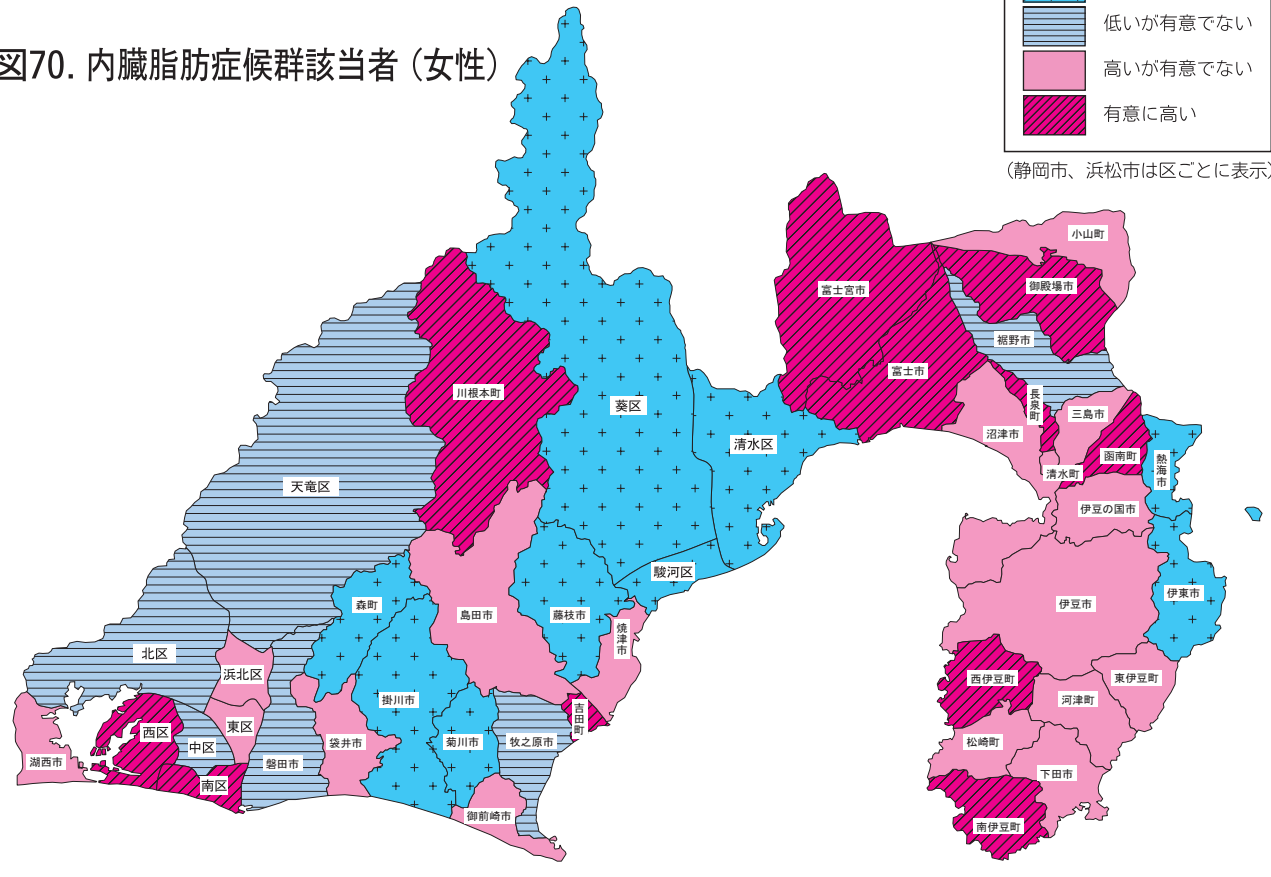


図71. 肥満者（男性）

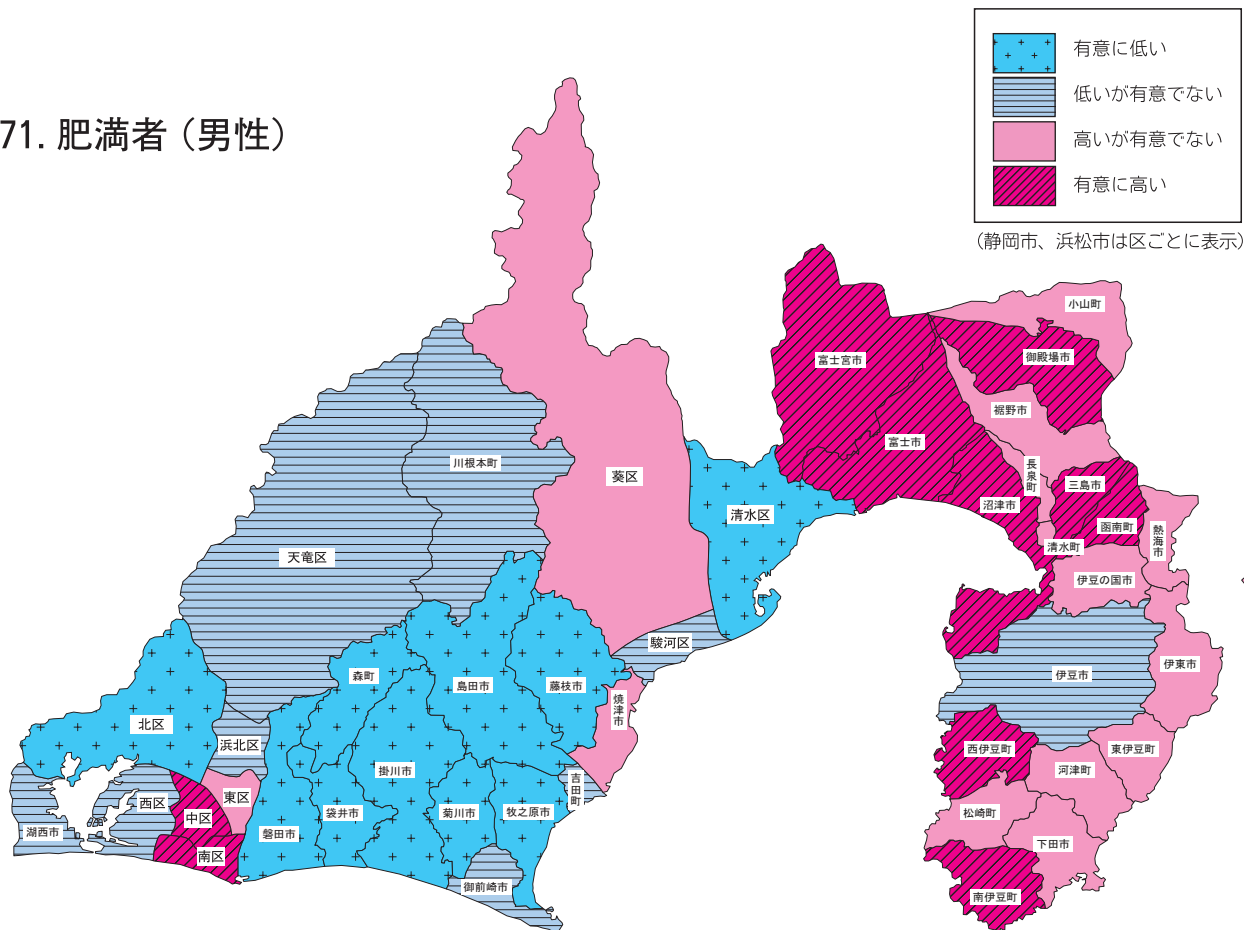


図72. 肥満者（女性）

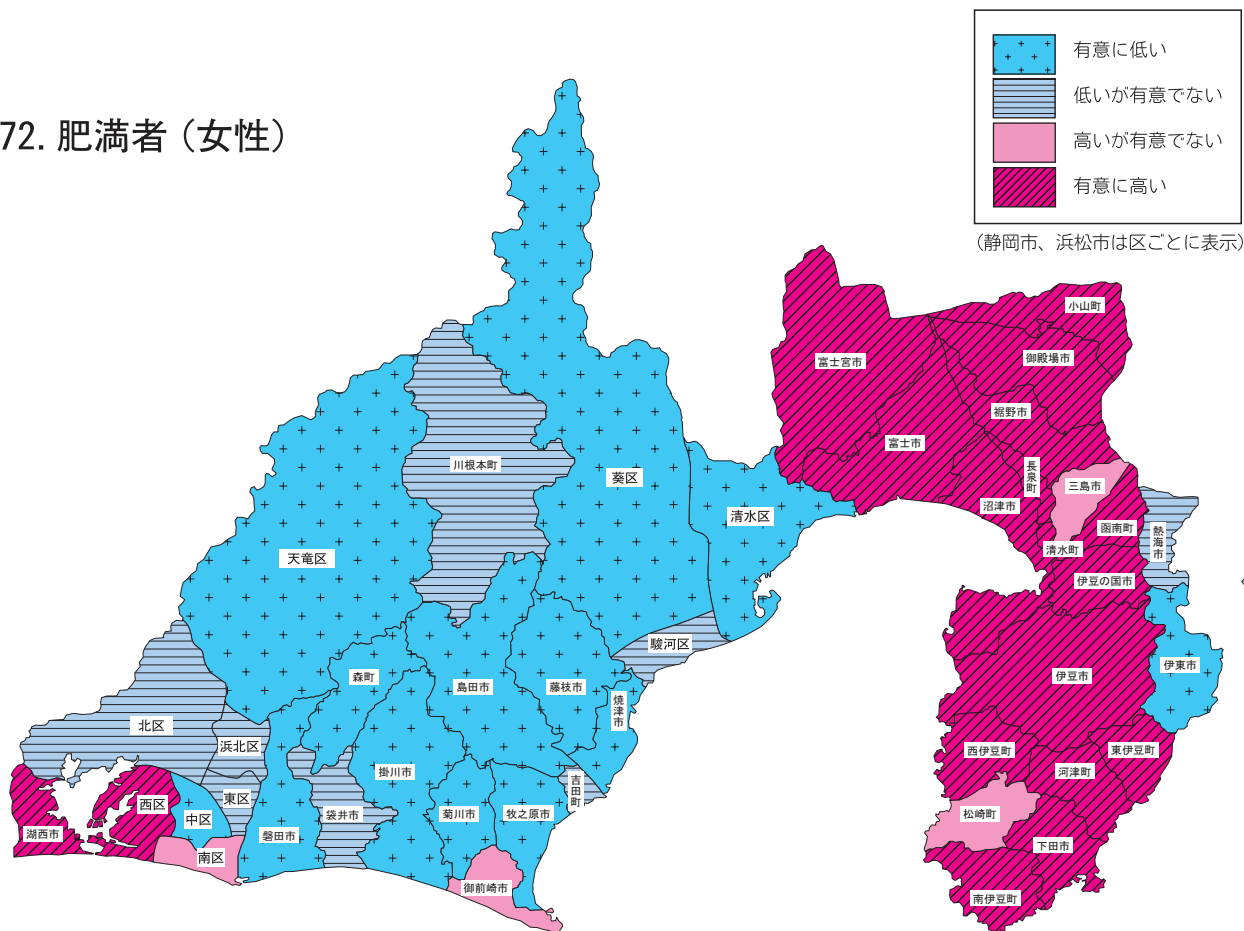


図73. 高血圧症有病者（男性）

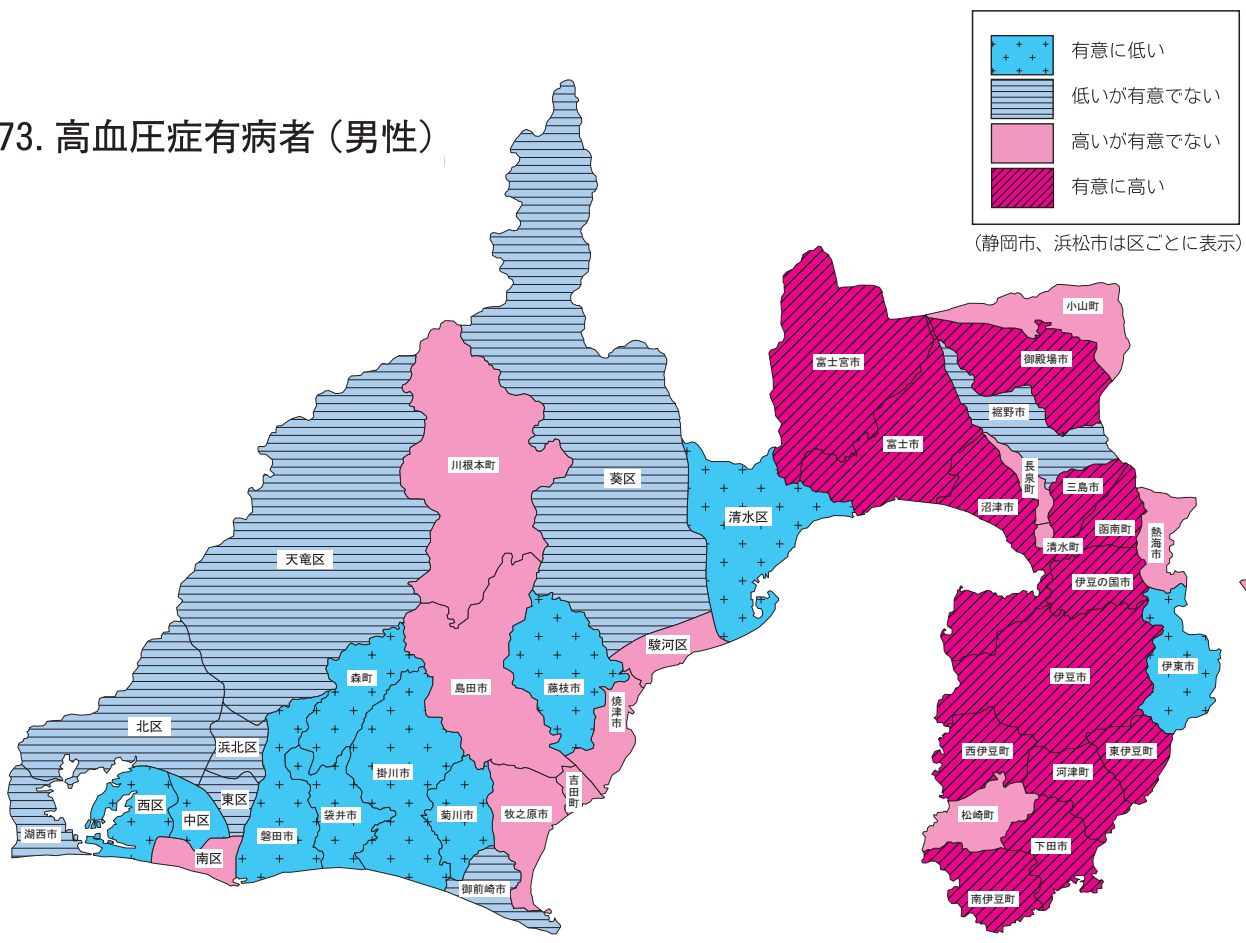


図74. 高血圧症有病者（女性）

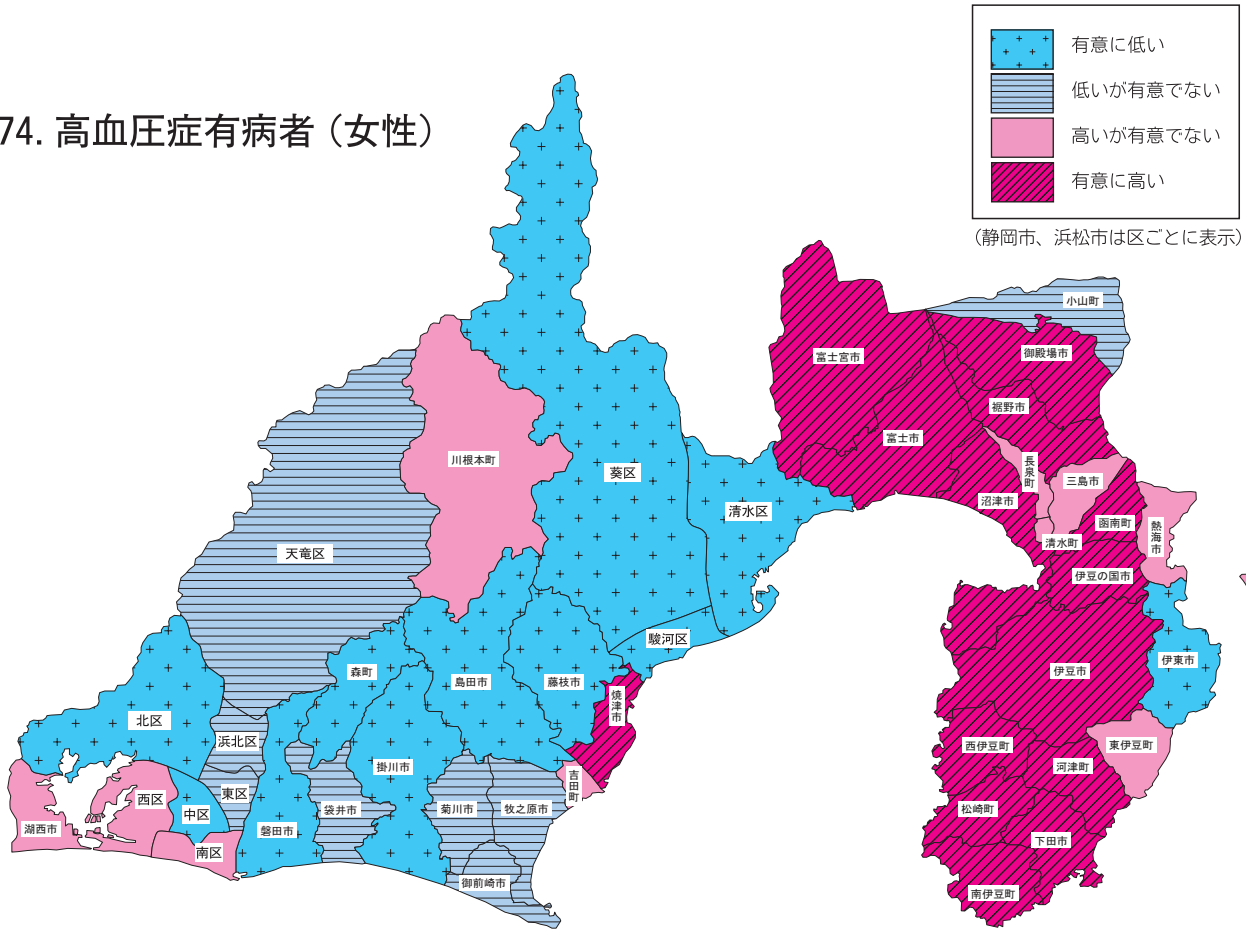


図75. 脂質異常症有病者（男性）

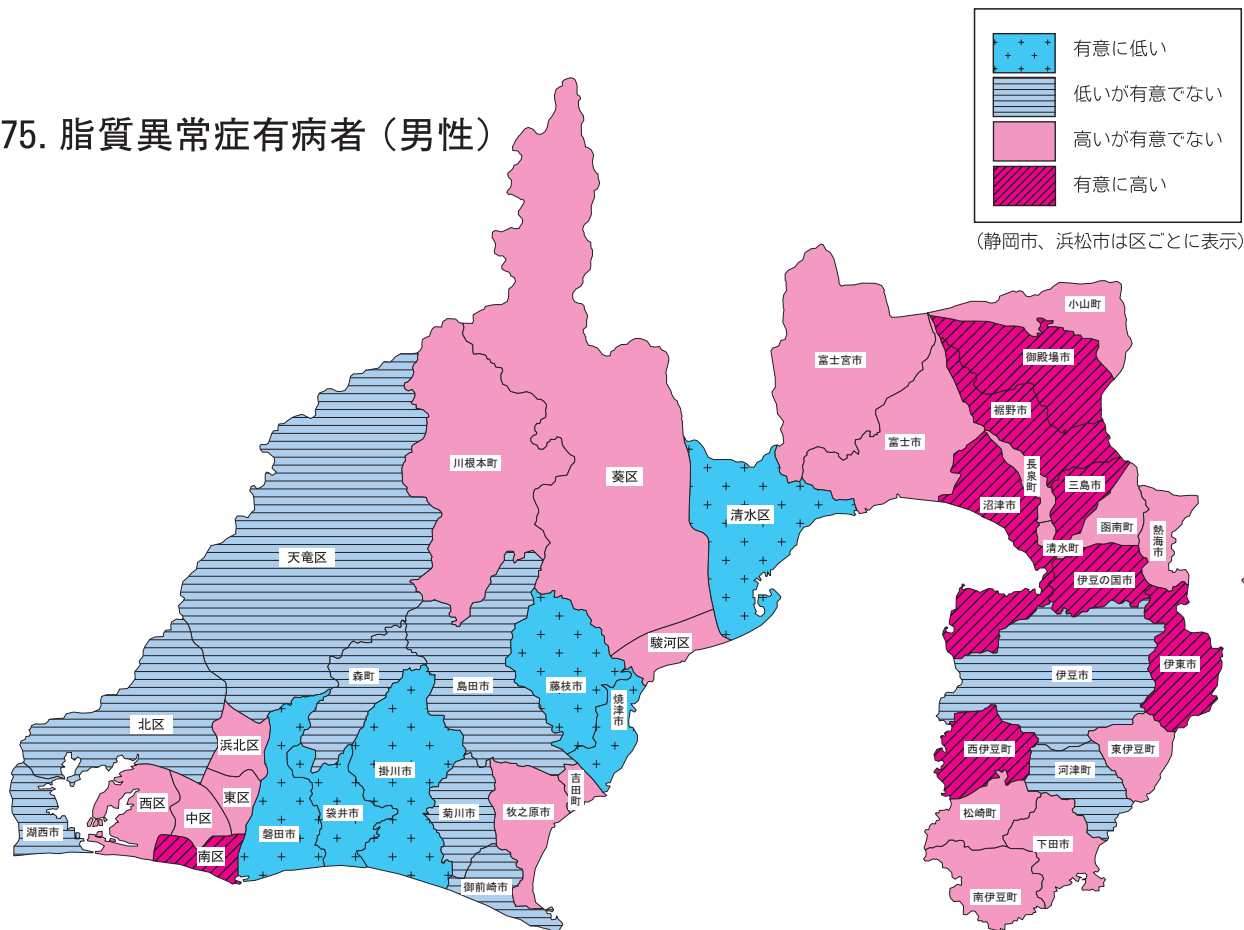


図76. 脂質異常症有病者（女性）

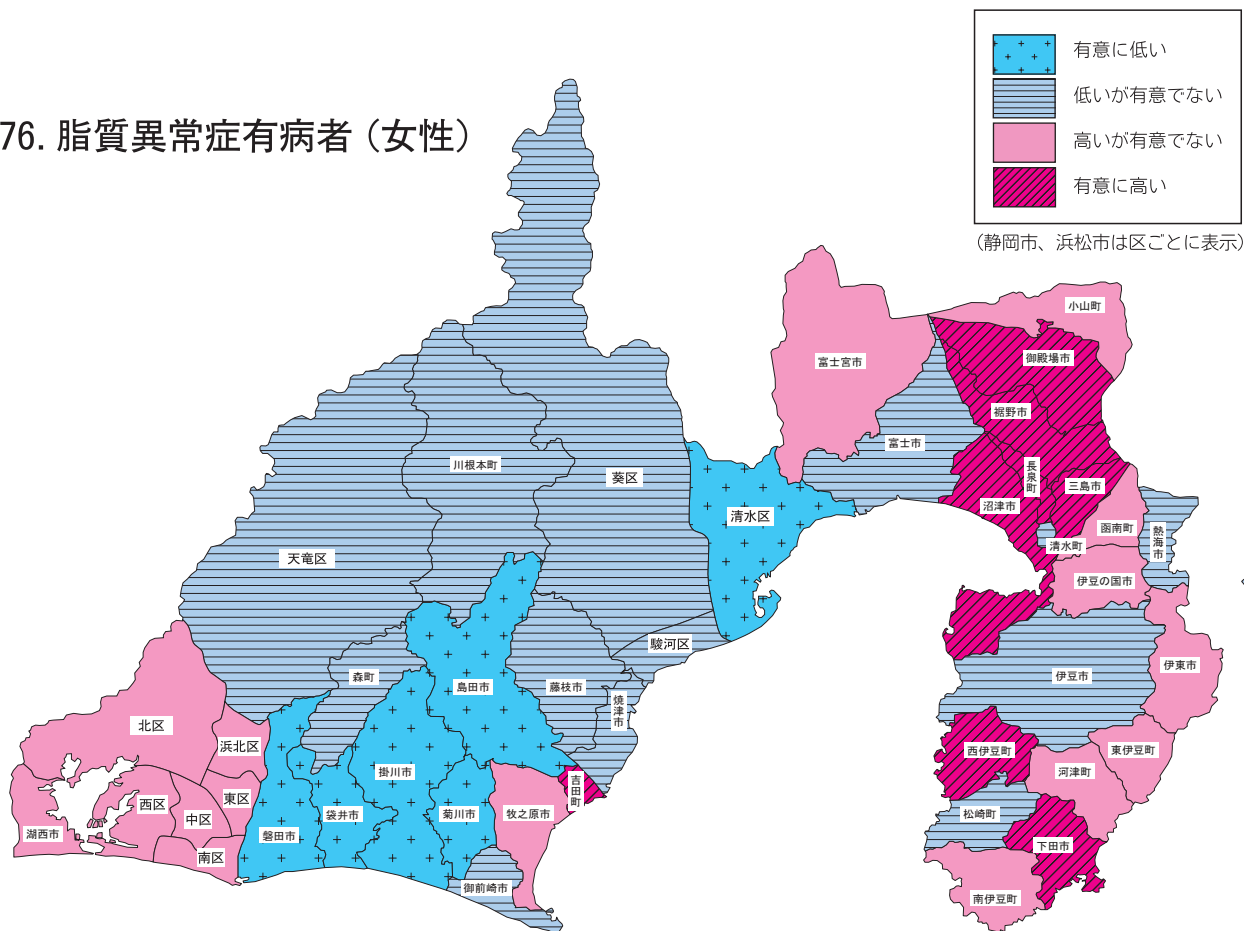


図77. 糖尿病有病者（男性）

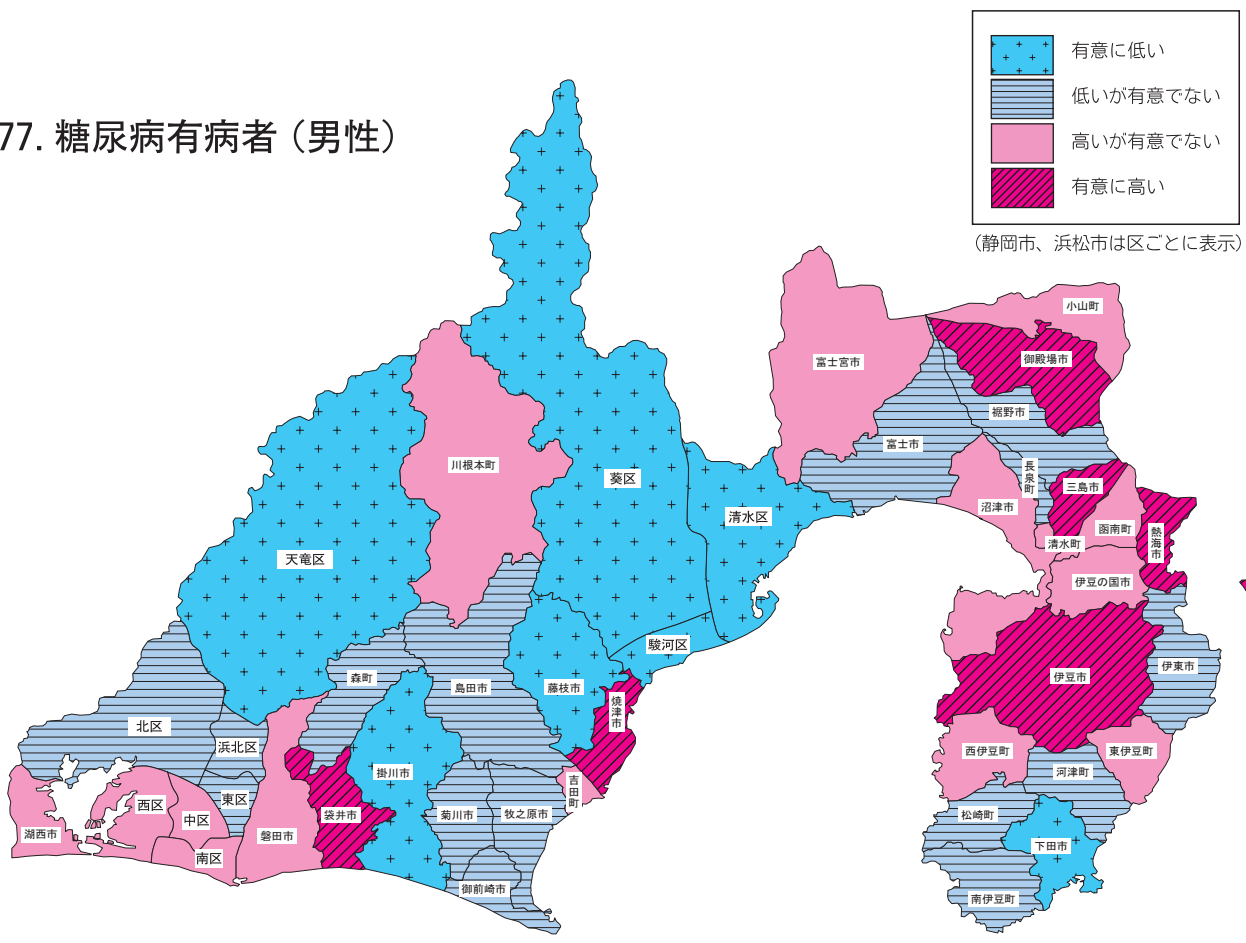


図78. 糖尿病有病者（女性）

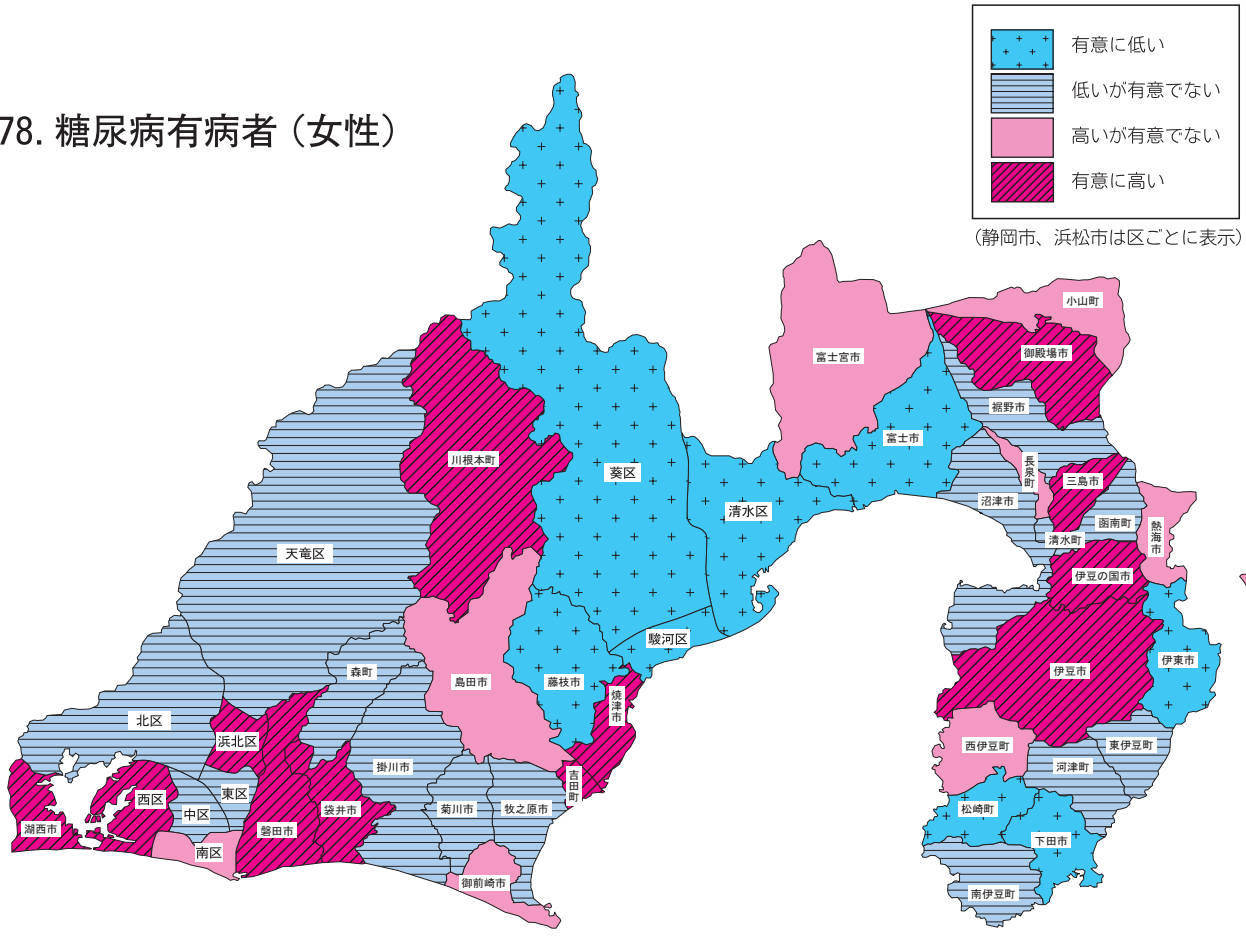


図79. 習慣的喫煙者（男性）

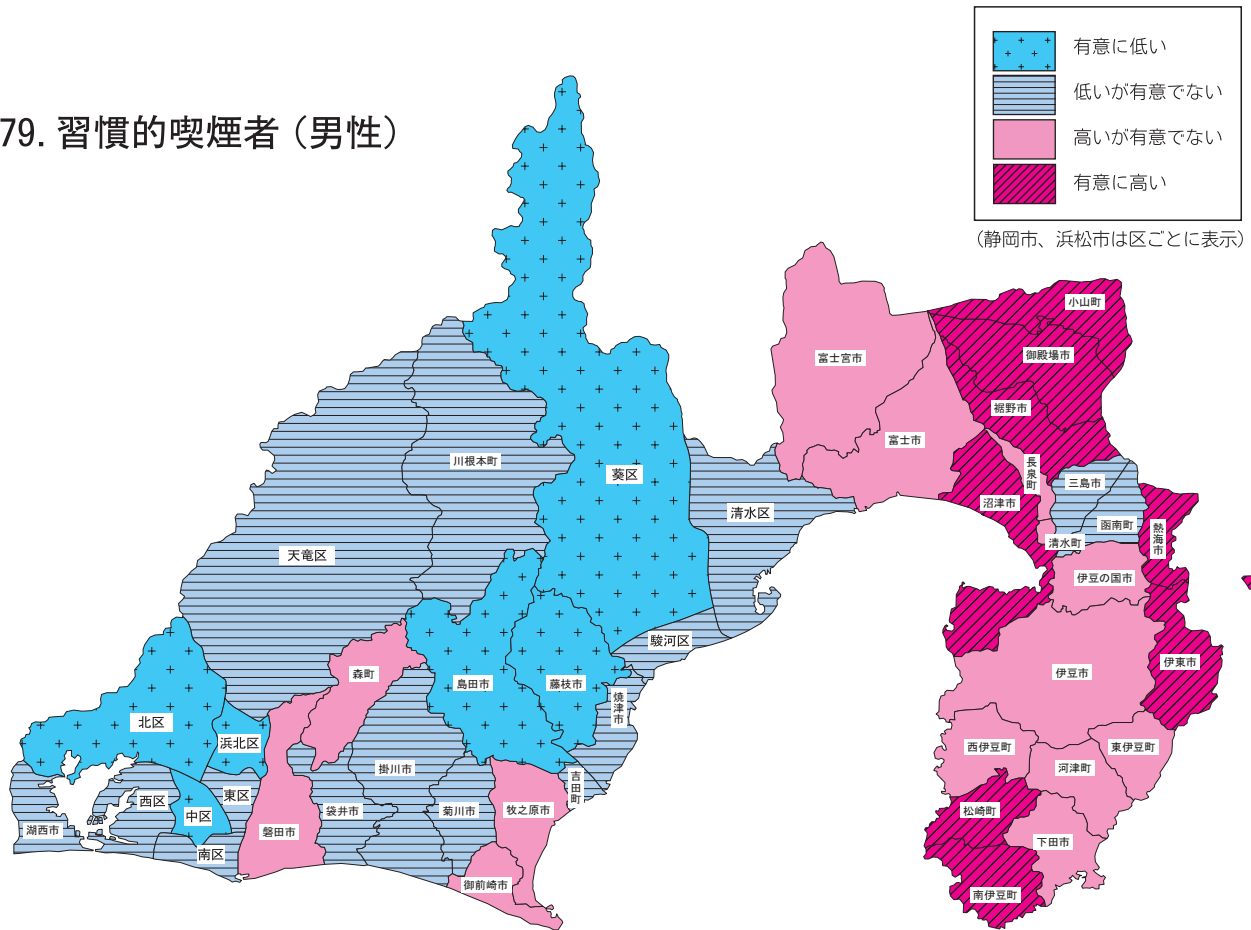
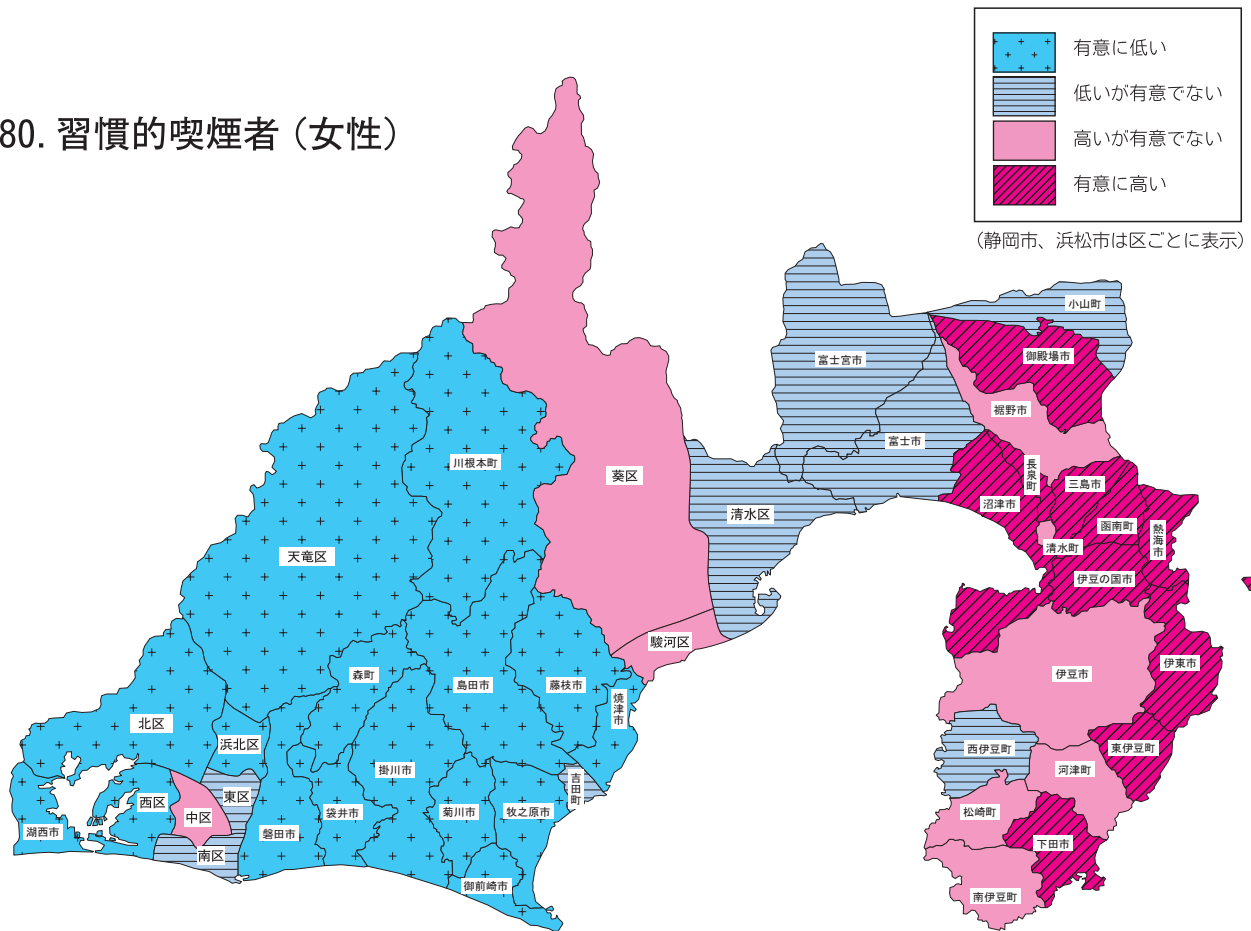


図80. 習慣的喫煙者（女性）



内臓脂肪症候群該当者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	222	191.7	115.8	101.3	132.4	4
	東伊豆町	118	118.2	99.9	83.0	120.0	2
	河津町	82	74.0	110.8	88.7	138.3	3
	南伊豆町	141	114.1	123.6	104.4	146.2	4
	松崎町	111	93.1	119.2	98.5	144.1	3
	西伊豆町	184	134.8	136.5	117.8	158.1	4
熱海	熱海市	332	311.7	106.5	95.5	118.8	3
	伊東市	556	586.8	94.7	87.1	103.0	2
東部	沼津市	1505	1361.9	110.5	105.0	116.3	4
	三島市	954	839.3	113.7	106.6	121.2	4
	裾野市	401	381.2	105.2	95.3	116.1	3
	伊豆市	346	365.2	94.8	85.2	105.4	2
	伊豆の国市	533	476.0	112.0	102.8	122.0	4
	函南町	407	325.9	124.9	113.2	137.8	4
	清水町	226	199.9	113.1	99.0	129.1	3
	長泉町	293	290.7	100.8	89.7	113.2	3
	御殿場	御殿場市	706	585.5	120.6	111.9	129.9
小山町		159	145.2	109.5	93.5	128.3	3
富士	富士宮市	850	812.9	104.6	97.7	111.9	3
	富士市	1253	1121.8	111.7	105.6	118.1	4
中部	島田市	569	625.1	91.0	83.8	98.9	1
	焼津市	857	775.4	110.5	103.3	118.2	4
	藤枝市	1090	1396.2	78.1	73.5	82.9	1
	牧之原市	309	298.4	103.6	92.5	115.9	3
	吉田町	253	231.7	109.2	96.3	123.7	3
	川根本町	99	107.1	92.4	75.5	113.0	2
西部	磐田市	1250	1421.8	87.9	83.1	93.0	1
	掛川市	592	690.2	85.8	79.1	93.0	1
	袋井市	638	682.8	93.4	86.4	101.1	2
	御前崎市	197	212.9	92.5	80.3	106.6	2
	菊川市	176	211.3	83.3	71.6	96.8	1
	森町	122	161.5	75.5	63.0	90.5	1
	湖西市	366	414.1	88.4	79.7	98.0	1
静岡市	静岡市	1996	2279.3	87.6	83.8	91.5	1
	静岡市葵区	699	738.6	94.6	87.8	102.0	2
	静岡市駿河区	483	497.3	97.1	88.8	106.3	2
	静岡市清水区	814	960.6	84.7	79.1	90.8	1
浜松市	浜松市	3731	3637.9	102.6	99.3	105.9	3
	浜松市中区	1059	999.5	105.9	99.7	112.6	3
	浜松市東区	548	535.1	102.4	94.1	111.4	3
	浜松市西区	557	570.7	97.6	89.7	106.1	2
	浜松市南区	553	465.7	118.8	109.2	129.2	4
	浜松市北区	376	406.0	92.6	83.6	102.6	2
	浜松市浜北区	464	485.5	95.6	87.2	104.8	2
	浜松市天竜区	174	206.8	84.1	72.3	97.8	1

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

内臓脂肪症候群該当者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	130	114.9	113.1	94.9	134.8	3
	東伊豆町	70	61.8	113.2	88.9	143.9	3
	河津町	39	36.1	108.1	77.9	149.3	3
	南伊豆町	83	55.5	149.4	119.7	186.2	4
	松崎町	56	48.3	116.0	88.5	151.8	3
	西伊豆町	98	64.8	151.2	123.4	185.1	4
熱海	熱海市	188	217.9	86.3	74.6	99.8	1
	伊東市	307	362.7	84.6	75.6	94.8	1
東部	沼津市	838	834.2	100.5	93.8	107.5	3
	三島市	509	493.9	103.1	94.4	112.5	3
	裾野市	189	201.3	93.9	81.2	108.5	2
	伊豆市	237	213.4	111.0	97.6	126.4	3
	伊豆の国市	273	268.3	101.8	90.2	114.8	3
	函南町	227	171.8	132.1	115.7	150.8	4
	清水町	141	126.5	111.5	94.2	131.9	3
	長泉町	205	166.4	123.2	107.2	141.6	4
	御殿場	御殿場市	493	358.2	137.6	125.9	150.5
小山町		102	95.3	107.0	87.7	130.5	3
富士	富士宮市	492	433.0	113.6	103.9	124.2	4
	富士市	797	673.8	118.3	110.3	126.9	4
中部	島田市	347	340.6	101.9	91.6	113.3	3
	焼津市	446	445.8	100.0	91.1	109.9	3
	藤枝市	329	686.4	47.9	43.0	53.5	1
	牧之原市	141	141.7	99.5	84.1	117.7	2
	吉田町	131	103.6	126.4	106.1	150.5	4
	川根本町	80	60.1	133.2	106.3	166.7	4
西部	磐田市	703	737.6	95.3	88.5	102.7	2
	掛川市	305	357.4	85.3	76.2	95.6	1
	袋井市	376	348.4	107.9	97.4	119.5	3
	御前崎市	129	115.8	111.4	93.3	132.8	3
	菊川市	86	124.6	69.0	55.5	85.6	1
	森町	50	75.8	65.9	49.4	87.7	1
	湖西市	242	230.8	104.8	92.2	119.1	3
静岡市	静岡市	1058	1238.4	85.4	80.4	90.8	1
	静岡市葵区	375	417.5	89.8	81.1	99.5	1
	静岡市駿河区	246	283.3	86.8	76.5	98.6	1
	静岡市清水区	437	537.6	81.3	73.9	89.4	1
浜松市	浜松市	2105	1996.7	105.4	101.0	110.0	4
	浜松市中区	527	539.0	97.8	89.7	106.6	2
	浜松市東区	274	268.7	102.0	90.4	115.0	3
	浜松市西区	405	326.6	124.0	112.4	136.9	4
	浜松市南区	311	249.4	124.7	111.4	139.6	4
	浜松市北区	198	207.9	95.2	82.7	109.7	2
	浜松市浜北区	277	269.0	103.0	91.4	116.0	3
	浜松市天竜区	113	136.1	83.0	68.8	100.2	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

内臓脂肪症候群予備群(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	120	117.2	102.4	85.3	122.9	3
	東伊豆町	89	73.3	121.4	98.1	150.1	3
	河津町	54	46.4	116.3	88.2	152.9	3
	南伊豆町	84	71.1	118.1	94.8	147.0	3
	松崎町	70	57.1	122.5	96.2	155.7	3
	西伊豆町	90	82.2	109.5	88.6	135.3	3
熱海	熱海市	199	189.7	104.9	91.1	120.8	3
	伊東市	375	365.2	102.7	92.7	113.8	3
東部	沼津市	930	835.1	111.4	104.4	118.8	4
	三島市	507	505.9	100.2	91.8	109.4	3
	裾野市	243	229.6	105.8	93.1	120.2	3
	伊豆市	225	221.9	101.4	88.8	115.8	3
	伊豆の国市	283	290.5	97.4	86.6	109.6	2
	函南町	238	197.6	120.5	105.9	137.0	4
	清水町	128	121.1	105.7	88.5	126.1	3
	長泉町	208	175.1	118.8	103.5	136.4	4
	御殿場	御殿場市	348	352.9	98.6	88.7	109.7
小山町		95	86.6	109.8	89.3	134.8	3
富士	富士宮市	584	497.3	117.4	108.2	127.5	4
	富士市	771	682.8	112.9	105.2	121.3	4
中部	島田市	309	380.4	81.2	72.5	90.9	1
	焼津市	414	465.0	89.0	80.8	98.1	1
	藤枝市	849	846.5	100.3	93.7	107.3	3
	牧之原市	132	185.2	71.3	59.8	84.8	1
	吉田町	131	144.0	91.0	76.4	108.3	2
	川根本町	56	64.9	86.3	65.8	112.9	2
	西部	磐田市	781	872.5	89.5	83.4	96.1
掛川市		334	419.5	79.6	71.4	88.8	1
袋井市		390	418.8	93.1	84.2	103.0	2
御前崎市		112	130.3	86.0	71.1	103.8	2
菊川市		110	129.0	85.3	70.4	103.2	2
森町		82	99.9	82.1	65.7	102.5	2
湖西市		263	251.8	104.5	92.4	118.1	3
静岡市	静岡市	1347	1402.8	96.0	91.0	101.3	2
	静岡市葵区	522	455.0	114.7	105.2	125.1	4
	静岡市駿河区	294	307.3	95.7	85.2	107.4	2
	静岡市清水区	531	589.5	90.1	82.7	98.2	1
浜松市	浜松市	2236	2212.1	101.1	97.0	105.4	3
	浜松市中区	629	609.7	103.2	95.3	111.6	3
	浜松市東区	345	322.9	106.8	96.0	118.9	3
	浜松市西区	340	346.4	98.1	88.1	109.3	2
	浜松市南区	282	282.3	99.9	88.7	112.4	2
	浜松市北区	227	249.0	91.2	79.9	104.0	2
	浜松市浜北区	291	294.1	98.9	88.0	111.2	2
	浜松市天竜区	122	124.7	97.9	81.6	117.3	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

内臓脂肪症候群予備群(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	90	64.9	138.6	112.1	171.2	4
	東伊豆町	47	36.2	129.9	96.5	174.2	3
	河津町	30	21.0	142.6	97.9	206.3	3
	南伊豆町	57	31.7	179.5	137.2	234.3	4
	松崎町	27	27.4	98.6	65.0	142.9	2
	西伊豆町	55	36.8	149.6	113.8	196.3	4
熱海	熱海市	97	121.2	80.1	65.3	98.1	1
	伊東市	187	209.2	89.4	77.3	103.4	2
東部	沼津市	586	472.1	124.1	114.4	134.7	4
	三島市	258	276.6	93.3	82.4	105.5	2
	裾野市	122	113.3	107.7	89.8	129.1	3
	伊豆市	139	120.1	115.7	97.7	137.1	3
	伊豆の国市	119	152.5	78.1	64.9	93.7	1
	函南町	112	97.9	114.4	94.6	138.2	3
	清水町	100	71.0	140.8	115.1	172.0	4
	長泉町	113	93.6	120.7	99.9	145.7	3
御殿場	御殿場市	244	198.8	122.7	108.0	139.4	4
	小山町	59	52.4	112.7	86.5	146.4	3
富士	富士宮市	306	243.1	125.9	112.3	141.0	4
	富士市	484	380.0	127.4	116.4	139.4	4
中部	島田市	127	192.6	65.9	55.2	78.7	1
	焼津市	148	248.1	59.7	50.6	70.3	1
	藤枝市	194	389.3	49.8	43.2	57.5	1
	牧之原市	71	84.5	84.0	66.1	106.6	2
	吉田町	40	60.6	66.0	47.8	90.8	1
	川根本町	24	33.1	72.5	46.5	108.1	2
西部	磐田市	428	424.9	100.7	91.5	110.9	3
	掛川市	188	204.3	92.0	79.6	106.4	2
	袋井市	197	201.3	97.8	84.9	112.8	2
	御前崎市	53	67.3	78.8	59.6	103.9	2
	菊川市	58	72.6	79.8	61.2	104.0	2
	森町	39	43.3	90.1	64.9	124.4	2
	湖西市	149	130.6	114.1	96.9	134.4	3
静岡市	静岡市	740	698.4	106.0	98.5	113.9	3
	静岡市葵区	251	235.8	106.4	93.9	120.7	3
	静岡市駿河区	180	160.1	112.4	96.9	130.4	3
	静岡市清水区	309	302.4	102.2	91.3	114.4	3
浜松市	浜松市	1101	1118.5	98.4	92.8	104.5	2
	浜松市中区	302	302.5	99.8	89.0	111.9	2
	浜松市東区	146	150.4	97.1	82.3	114.5	2
	浜松市西区	197	183.7	107.3	93.0	123.6	3
	浜松市南区	151	139.5	108.2	91.9	127.3	3
	浜松市北区	115	118.3	97.2	80.6	117.2	2
	浜松市浜北区	127	150.3	84.5	70.7	100.9	2
	浜松市天竜区	63	73.8	85.4	66.1	110.0	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

肥満者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	373	359.4	103.8	93.6	115.0	3
	東伊豆町	240	224.0	107.2	94.2	121.8	3
	河津町	154	141.4	108.9	92.7	127.9	3
	南伊豆町	247	217.1	113.8	100.2	129.1	4
	松崎町	200	175.1	114.2	99.2	131.5	3
	西伊豆町	305	253.5	120.3	107.4	134.8	4
熱海	熱海市	624	581.5	107.3	99.1	116.2	3
	伊東市	1152	1115.5	103.3	97.4	109.5	3
東部	沼津市	2837	2557.3	110.9	106.9	115.1	4
	三島市	1671	1553.7	107.5	102.5	112.9	4
	裾野市	752	705.5	106.6	99.2	114.6	3
	伊豆市	671	681.1	98.5	91.3	106.3	2
	伊豆の国市	946	890.4	106.2	99.6	113.3	3
	函南町	718	606.3	118.4	110.0	127.5	4
	清水町	404	371.0	108.9	98.6	120.2	3
	長泉町	583	537.7	108.4	99.9	117.7	3
	御殿場	御殿場市	1217	1086.1	112.0	105.9	118.6
小山町		297	266.5	111.5	99.3	125.1	3
富士	富士宮市	1679	1522.7	110.3	105.1	115.7	4
	富士市	2332	2094.3	111.4	106.9	116.0	4
中部	島田市	1017	1166.8	87.2	81.9	92.7	1
	焼津市	1432	1431.0	100.1	95.0	105.4	3
	藤枝市	2283	2600.0	87.8	84.3	91.5	1
	牧之原市	497	566.6	87.7	80.3	95.9	1
	吉田町	435	439.9	98.9	89.9	108.7	2
	川根本町	173	199.4	86.8	74.5	100.9	2
西部	磐田市	2398	2672.1	89.7	86.2	93.4	1
	掛川市	1096	1287.8	85.1	80.2	90.3	1
	袋井市	1172	1282.7	91.4	86.2	96.8	1
	御前崎市	371	400.5	92.6	83.5	102.7	2
	菊川市	349	395.9	88.2	79.3	98.0	1
	森町	240	305.8	78.5	69.0	89.2	1
	湖西市	755	771.6	97.9	91.1	105.2	2
静岡市	静岡市	3926	4136.0	94.9	92.0	98.0	1
	静岡市葵区	1420	1392.4	102.0	96.8	107.5	3
	静岡市駿河区	896	938.9	95.4	89.3	101.9	2
	静岡市清水区	1610	1804.6	89.2	84.9	93.7	1
浜松市	浜松市	6887	6836.5	100.7	98.4	103.2	3
	浜松市中区	1953	1867.7	104.6	100.0	109.3	4
	浜松市東区	1023	991.3	103.2	97.0	109.8	3
	浜松市西区	1047	1063.3	98.5	92.6	104.7	2
	浜松市南区	925	866.3	106.8	100.1	113.9	4
	浜松市北区	705	762.6	92.4	85.8	99.6	1
	浜松市浜北区	882	902.2	97.8	91.5	104.5	2
	浜松市天竜区	352	383.1	91.9	82.7	102.1	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

肥満者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	323	278.1	116.2	104.0	129.7	4
	東伊豆町	185	156.2	118.4	102.2	137.1	4
	河津町	112	90.2	124.2	102.7	150.0	4
	南伊豆町	190	136.1	139.6	120.7	161.3	4
	松崎町	123	117.3	104.9	87.5	125.6	3
	西伊豆町	225	157.4	142.9	125.1	163.2	4
熱海	熱海市	504	518.2	97.3	89.0	106.2	2
	伊東市	835	900.8	92.7	86.6	99.3	1
東部	沼津市	2211	2023.8	109.2	104.8	113.9	4
	三島市	1217	1184.5	102.7	97.1	108.7	3
	裾野市	539	484.7	111.2	102.1	121.1	4
	伊豆市	605	514.0	117.7	108.6	127.6	4
	伊豆の国市	739	653.2	113.1	105.2	121.7	4
	函南町	497	419.8	118.4	108.3	129.4	4
	清水町	345	304.4	113.3	101.8	126.1	4
	長泉町	471	401.4	117.3	107.1	128.6	4
御殿場	御殿場市	1137	850.3	133.7	126.1	141.8	4
	小山町	287	223.5	128.4	114.2	144.4	4
富士	富士宮市	1195	1040.6	114.8	108.5	121.6	4
	富士市	1815	1627.0	111.6	106.5	116.8	4
中部	島田市	665	824.8	80.6	74.7	87.0	1
	焼津市	963	1060.4	90.8	85.2	96.8	1
	藤枝市	1196	1668.4	71.7	67.7	75.9	1
	牧之原市	318	363.5	87.5	78.3	97.8	1
	吉田町	248	260.5	95.2	83.9	108.0	2
	川根本町	132	141.4	93.4	78.4	111.1	2
西部	磐田市	1689	1822.9	92.7	88.3	97.2	1
	掛川市	710	875.9	81.1	75.3	87.3	1
	袋井市	847	864.0	98.0	91.6	104.9	2
	御前崎市	297	289.6	102.6	91.4	115.1	3
	菊川市	247	312.2	79.1	69.7	89.8	1
	森町	149	185.8	80.2	68.1	94.4	1
	湖西市	615	560.1	109.8	101.4	118.9	4
静岡市	静岡市	2719	2993.6	90.8	87.5	94.3	1
	静岡市葵区	932	1010.3	92.2	86.5	98.4	1
	静岡市駿河区	655	687.1	95.3	88.2	103.0	2
	静岡市清水区	1132	1296.2	87.3	82.4	92.6	1
浜松市	浜松市	4742	4787.4	99.1	96.3	101.9	2
	浜松市中区	1218	1295.7	94.0	88.8	99.5	1
	浜松市東区	641	643.9	99.5	92.1	107.6	2
	浜松市西区	851	786.1	108.3	101.2	115.8	4
	浜松市南区	642	596.9	107.6	99.5	116.3	3
	浜松市北区	486	507.0	95.9	87.6	104.9	2
	浜松市浜北区	627	643.4	97.4	90.0	105.5	2
	浜松市天竜区	277	314.4	88.1	78.2	99.3	1

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

高血圧症有病者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	514	403.7	127.3	116.7	138.9	4
	東伊豆町	290	244.7	118.5	105.5	133.2	4
	河津町	189	151.2	125.0	108.1	144.5	4
	南伊豆町	302	232.9	129.6	115.6	145.3	4
	松崎町	209	192.8	108.4	94.4	124.4	3
	西伊豆町	399	284.0	140.5	127.2	155.1	4
熱海	熱海市	663	662.4	100.1	92.7	108.1	3
	伊東市	1116	1214.0	91.9	86.7	97.5	1
東部	沼津市	3044	2863.3	106.3	102.6	110.2	4
	三島市	1901	1807.4	105.2	100.5	110.0	4
	裾野市	815	819.8	99.4	92.8	106.5	2
	伊豆市	852	770.9	110.5	103.3	118.3	4
	伊豆の国市	1129	1004.1	112.4	106.0	119.2	4
	函南町	753	695.3	108.3	100.8	116.4	4
	清水町	446	430.0	103.7	94.4	113.9	3
	長泉町	634	627.2	101.1	93.4	109.3	3
	御殿場	御殿場市	1361	1261.2	107.9	102.3	113.8
小山町		315	314.6	100.1	89.5	112.0	3
富士	富士宮市	1801	1714.7	105.0	100.3	110.0	4
	富士市	2534	2380.1	106.5	102.4	110.7	4
中部	島田市	1327	1322.2	100.4	95.1	106.0	3
	焼津市	1753	1672.7	104.8	100.0	109.9	3
	藤枝市	2790	2978.9	93.7	90.2	97.2	1
	牧之原市	617	608.8	101.3	93.6	109.7	3
	吉田町	507	476.2	106.5	97.5	116.3	3
	川根本町	251	228.5	109.9	96.9	124.5	3
西部	磐田市	2677	2975.9	90.0	86.6	93.4	1
	掛川市	1277	1451.6	88.0	83.2	93.0	1
	袋井市	1272	1423.6	89.4	84.5	94.4	1
	御前崎市	403	442.2	91.1	82.6	100.6	2
	菊川市	396	440.6	89.9	81.3	99.3	1
	森町	238	330.6	72.0	63.3	81.9	1
	湖西市	875	879.2	99.5	93.1	106.4	2
静岡市	静岡市	4479	4609.9	97.2	94.3	100.1	2
	静岡市葵区	1539	1548.2	99.4	94.5	104.5	2
	静岡市駿河区	1045	1043.0	100.2	94.3	106.5	3
	静岡市清水区	1895	2018.6	93.9	89.7	98.2	1
浜松市	浜松市	7591	7804.6	97.3	95.1	99.5	1
	浜松市中区	2023	2119.7	95.4	91.3	99.7	1
	浜松市東区	1125	1149.2	97.9	92.3	103.8	2
	浜松市西区	1142	1212.7	94.2	88.8	99.8	1
	浜松市南区	1037	994.1	104.3	98.1	110.9	3
	浜松市北区	814	849.3	95.8	89.4	102.7	2
	浜松市浜北区	1014	1037.7	97.7	91.8	104.0	2
	浜松市天竜区	436	441.9	98.7	89.7	108.5	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

高血圧症有病者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	634	524.3	120.9	111.8	130.8	4
	東伊豆町	303	281.9	107.5	95.9	120.5	3
	河津町	202	167.3	120.7	104.9	138.9	4
	南伊豆町	304	254.9	119.3	106.4	133.7	4
	松崎町	258	220.3	117.1	103.5	132.5	4
	西伊豆町	421	295.8	142.3	129.2	156.8	4
熱海	熱海市	1019	987.8	103.2	97.0	109.7	3
	伊東市	1447	1663.7	87.0	82.6	91.6	1
東部	沼津市	3972	3800.6	104.5	101.3	107.8	4
	三島市	2337	2248.6	103.9	99.8	108.3	3
	裾野市	995	921.5	108.0	101.4	115.0	4
	伊豆市	1141	972.3	117.4	110.7	124.4	4
	伊豆の国市	1396	1227.4	113.7	107.9	119.9	4
	函南町	889	792.5	112.2	105.0	119.9	4
	清水町	600	574.3	104.5	96.4	113.3	3
	長泉町	802	759.1	105.6	98.5	113.3	3
御殿場	御殿場市	1820	1624.3	112.0	107.0	117.3	4
	小山町	409	431.6	94.8	85.9	104.5	2
富士	富士宮市	2137	1975.8	108.2	103.6	112.9	4
	富士市	3342	3078.6	108.6	104.9	112.3	4
中部	島田市	1468	1554.2	94.5	89.7	99.4	1
	焼津市	2181	2032.0	107.3	102.9	112.0	4
	藤枝市	2862	3144.3	91.0	87.7	94.4	1
	牧之原市	628	650.3	96.6	89.2	104.5	2
	吉田町	510	476.0	107.1	98.1	117.0	3
	川根本町	296	271.5	109.0	97.1	122.4	3
西部	磐田市	3075	3386.2	90.8	87.6	94.1	1
	掛川市	1523	1634.7	93.2	88.6	98.0	1
	袋井市	1562	1595.0	97.9	93.2	102.9	2
	御前崎市	489	531.6	92.0	84.1	100.6	2
	菊川市	532	573.3	92.8	85.2	101.1	2
	森町	290	345.6	83.9	74.7	94.3	1
	湖西市	1079	1056.8	102.1	96.1	108.4	3
静岡市	静岡市	5047	5635.9	89.6	87.1	92.1	1
	静岡市葵区	1722	1900.8	90.6	86.4	95.0	1
	静岡市駿河区	1181	1289.8	91.6	86.5	97.0	1
	静岡市清水区	2144	2445.3	87.7	84.0	91.5	1
浜松市	浜松市	8793	9073.0	96.9	94.9	99.0	1
	浜松市中区	2223	2440.2	91.1	87.4	95.0	1
	浜松市東区	1205	1223.0	98.5	93.1	104.3	2
	浜松市西区	1502	1486.0	101.1	96.1	106.3	3
	浜松市南区	1161	1135.0	102.3	96.5	108.4	3
	浜松市北区	882	948.4	93.0	87.0	99.4	1
	浜松市浜北区	1219	1226.3	99.4	93.9	105.2	2
	浜松市天竜区	601	614.1	97.9	90.3	106.1	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

高血圧症予備群(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	136	108.8	125.0	105.2	148.3	4
	東伊豆町	71	67.8	104.7	82.3	132.8	3
	河津町	54	43.4	124.4	94.3	163.6	3
	南伊豆町	71	66.3	107.2	84.3	136.0	3
	松崎町	73	53.5	136.3	107.6	172.4	4
	西伊豆町	74	77.1	96.0	75.9	121.3	2
熱海	熱海市	167	175.6	95.1	81.5	110.9	2
	伊東市	351	339.0	103.6	93.1	115.1	3
東部	沼津市	847	775.7	109.2	102.0	116.9	4
	三島市	445	470.4	94.6	86.1	103.9	2
	裾野市	252	214.3	117.6	103.7	133.3	4
	伊豆市	141	207.0	68.1	57.5	80.6	1
	伊豆の国市	183	271.3	67.4	58.2	78.1	1
	函南町	174	184.8	94.1	80.9	109.5	2
	清水町	122	112.1	108.9	90.8	130.5	3
	長泉町	184	163.1	112.8	97.4	130.6	3
	御殿場	御殿場市	339	327.3	103.6	93.0	115.4
小山町		80	80.8	99.1	79.1	124.0	2
富士	富士宮市	482	462.8	104.2	95.2	114.0	3
	富士市	631	635.4	99.3	91.8	107.4	2
中部	島田市	338	354.0	95.5	85.7	106.4	2
	焼津市	448	432.3	103.6	94.4	113.8	3
	藤枝市	858	789.3	108.7	101.6	116.3	4
	牧之原市	183	172.2	106.3	91.7	123.1	3
	吉田町	147	133.7	110.0	93.2	129.6	3
	川根本町	67	59.9	111.9	87.4	143.0	3
	西部	磐田市	620	814.7	76.1	70.3	82.4
掛川市		409	390.9	104.6	94.9	115.4	3
袋井市		407	390.2	104.3	94.5	115.1	3
御前崎市		117	121.3	96.4	80.1	116.0	2
菊川市		133	120.6	110.3	92.7	131.1	3
森町		83	93.1	89.2	71.5	111.1	2
湖西市		256	234.6	109.1	96.4	123.6	3
静岡市		静岡市	1389	1254.4	110.7	105.0	116.7
	静岡市葵区	494	421.3	117.3	107.2	128.2	4
	静岡市駿河区	328	285.1	115.0	103.1	128.4	4
	静岡市清水区	567	547.9	103.5	95.2	112.4	3
浜松市	浜松市	1935	2069.3	93.5	89.4	97.8	1
	浜松市中区	501	564.7	88.7	81.2	96.9	1
	浜松市東区	272	299.6	90.8	80.5	102.4	2
	浜松市西区	287	322.0	89.1	79.3	100.2	2
	浜松市南区	249	262.6	94.8	83.6	107.5	2
	浜松市北区	223	232.1	96.1	84.1	109.8	2
	浜松市浜北区	284	272.8	104.1	92.5	117.1	3
	浜松市天竜区	119	115.6	102.9	85.6	123.6	3

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

高血圧症予備群(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	233	173.0	134.7	118.2	153.4	4
	東伊豆町	146	96.9	150.6	127.6	177.7	4
	河津町	74	57.7	128.2	101.3	161.8	4
	南伊豆町	99	85.6	115.7	94.5	141.4	3
	松崎町	110	73.1	150.4	124.2	182.0	4
	西伊豆町	100	98.2	101.8	83.2	124.3	3
熱海	熱海市	284	318.5	89.2	79.2	100.3	2
	伊東市	526	562.8	93.5	85.7	101.9	2
東部	沼津市	1456	1253.6	116.1	110.3	122.3	4
	三島市	678	732.4	92.6	85.8	99.9	1
	裾野市	325	302.6	107.4	96.2	119.9	3
	伊豆市	230	319.4	72.0	63.1	82.1	1
	伊豆の国市	288	407.9	70.6	62.8	79.4	1
	函南町	256	265.2	96.5	85.2	109.3	2
	清水町	212	187.4	113.1	98.7	129.7	3
	長泉町	287	249.2	115.2	102.4	129.5	4
御殿場	御殿場市	527	521.8	101.0	92.6	110.1	3
	小山町	128	136.8	93.6	78.4	111.7	2
富士	富士宮市	647	646.9	100.0	92.5	108.1	3
	富士市	1065	1013.1	105.1	98.9	111.7	3
中部	島田市	448	512.7	87.4	79.6	95.9	1
	焼津市	741	657.3	112.7	104.8	121.2	4
	藤枝市	1017	1043.6	97.4	91.6	103.7	2
	牧之原市	222	229.5	96.7	84.6	110.6	2
	吉田町	169	164.0	103.0	88.3	120.1	3
	川根本町	89	86.4	103.0	83.2	127.4	3
西部	磐田市	907	1146.6	79.1	74.1	84.5	1
	掛川市	544	547.6	99.3	91.3	108.1	2
	袋井市	561	540.9	103.7	95.4	112.8	3
	御前崎市	186	182.1	102.2	88.2	118.2	3
	菊川市	226	197.1	114.7	100.4	130.9	4
	森町	64	115.7	55.3	43.0	71.1	1
	湖西市	390	349.2	111.7	101.0	123.5	4
静岡市	静岡市	1993	1849.7	107.7	103.1	112.6	4
	静岡市葵区	728	625.7	116.3	108.1	125.2	4
	静岡市駿河区	451	424.5	106.2	96.8	116.6	3
	静岡市清水区	814	799.4	101.8	95.0	109.1	3
浜松市	浜松市	2851	2954.6	96.5	93.0	100.1	2
	浜松市中区	741	794.4	93.3	86.7	100.3	2
	浜松市東区	370	398.1	93.0	83.8	103.0	2
	浜松市西区	459	486.2	94.4	86.1	103.5	2
	浜松市南区	366	369.3	99.1	89.3	109.9	2
	浜松市北区	320	315.7	101.4	90.7	113.3	3
	浜松市浜北区	388	399.1	97.2	87.9	107.5	2
	浜松市天竜区	207	191.8	107.9	93.9	123.9	3

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

血圧を下げる薬服用者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	246	266.6	92.3	81.3	104.7	2
	東伊豆町	158	159.8	98.9	84.3	115.9	2
	河津町	100	97.0	103.1	84.3	126.0	3
	南伊豆町	167	149.7	111.6	95.6	130.2	3
	松崎町	114	125.0	91.2	75.6	110.0	2
	西伊豆町	213	185.9	114.6	100.0	131.4	3
熱海	熱海市	470	441.8	106.4	97.1	116.6	3
	伊東市	711	790.5	89.9	83.5	96.9	1
東部	沼津市	1853	1889.6	98.1	93.7	102.7	2
	三島市	1382	1215.3	113.7	107.8	119.9	4
	裾野市	519	549.7	94.4	86.6	103.0	2
	伊豆市	627	509.2	123.1	113.8	133.3	4
	伊豆の国市	788	662.2	119.0	110.9	127.7	4
	函南町	478	462.3	103.4	94.4	113.2	3
	清水町	308	289.4	106.4	95.0	119.2	3
	長泉町	421	421.8	99.8	90.6	109.9	2
	御殿場	御殿場市	983	848.8	115.8	108.7	123.3
小山町		261	212.2	123.0	108.7	139.1	4
富士	富士宮市	1216	1133.2	107.3	101.4	113.6	4
	富士市	1653	1581.2	104.5	99.6	109.7	3
中部	島田市	804	875.6	91.8	85.6	98.5	1
	焼津市	1195	1126.3	106.1	100.2	112.3	4
	藤枝市	1751	1984.8	88.2	84.2	92.5	1
	牧之原市	359	391.3	91.7	82.6	101.9	2
	吉田町	284	308.3	92.1	81.9	103.6	2
	川根本町	157	152.8	102.8	87.6	120.5	3
	西部	磐田市	1839	1950.2	94.3	90.1	98.7
掛川市		882	956.2	92.2	86.3	98.6	1
袋井市		898	930.9	96.5	90.3	103.0	2
御前崎市		268	287.9	93.1	82.4	105.1	2
菊川市		262	287.7	91.1	80.5	103.0	2
森町		171	212.8	80.3	69.0	93.6	1
湖西市		591	584.4	101.1	93.2	109.7	3
静岡市		静岡市	2680	3038.6	88.2	84.9	91.6
	静岡市葵区	944	1020.9	92.5	86.7	98.6	1
	静岡市駿河区	617	686.9	89.8	82.9	97.3	1
	静岡市清水区	1119	1330.8	84.1	79.3	89.2	1
浜松市	浜松市	5470	5200.2	105.2	102.4	108.0	4
	浜松市中区	1442	1410.6	102.2	97.0	107.7	3
	浜松市東区	841	771.8	109.0	101.8	116.7	4
	浜松市西区	847	807.1	104.9	98.1	112.3	3
	浜松市南区	720	663.8	108.5	100.8	116.8	4
	浜松市北区	582	556.9	104.5	96.3	113.4	3
	浜松市浜北区	741	694.3	106.7	99.2	114.8	3
	浜松市天竜区	297	295.7	100.4	89.5	112.7	3

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

血圧を下げる薬服用者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	304	349.5	87.0	77.6	97.5	1
	東伊豆町	166	185.1	89.7	76.8	104.7	2
	河津町	106	109.3	97.0	79.8	117.8	2
	南伊豆町	165	168.5	97.9	83.8	114.3	2
	松崎町	151	146.5	103.1	87.6	121.3	3
	西伊豆町	226	196.7	114.9	100.6	131.2	4
熱海	熱海市	691	665.0	103.9	96.4	112.0	3
	伊東市	889	1099.1	80.9	75.7	86.4	1
東部	沼津市	2478	2535.4	97.7	93.9	101.7	2
	三島市	1725	1506.8	114.5	109.2	120.0	4
	裾野市	658	615.0	107.0	99.0	115.6	3
	伊豆市	810	649.2	124.8	116.4	133.7	4
	伊豆の国市	1014	815.8	124.3	116.8	132.2	4
	函南町	554	524.9	105.5	97.0	114.8	3
	清水町	403	384.8	104.7	94.9	115.6	3
	長泉町	522	506.9	103.0	94.4	112.3	3
御殿場	御殿場市	1395	1095.7	127.3	120.8	134.2	4
	小山町	345	292.5	118.0	106.0	131.3	4
富士	富士宮市	1426	1320.7	108.0	102.5	113.8	4
	富士市	2254	2054.0	109.7	105.3	114.4	4
中部	島田市	904	1036.3	87.2	81.7	93.2	1
	焼津市	1471	1364.7	107.8	102.4	113.5	4
	藤枝市	1786	2090.2	85.4	81.6	89.5	1
	牧之原市	300	421.8	71.1	63.4	79.8	1
	吉田町	274	312.2	87.8	77.8	99.0	1
	川根本町	197	183.6	107.3	93.1	123.6	3
西部	磐田市	2151	2232.8	96.3	92.3	100.5	2
	掛川市	1085	1082.9	100.2	94.4	106.4	3
	袋井市	1142	1052.2	108.5	102.4	115.1	4
	御前崎市	318	349.6	91.0	81.4	101.7	2
	菊川市	326	375.5	86.8	77.8	96.9	1
	森町	207	229.1	90.4	78.7	103.8	2
	湖西市	691	704.1	98.1	91.0	105.8	2
静岡市	静岡市	3119	3767.8	82.8	79.9	85.8	1
	静岡市葵区	1074	1268.6	84.7	79.7	89.9	1
	静岡市駿河区	713	861.5	82.8	76.9	89.1	1
	静岡市清水区	1332	1637.7	81.3	77.1	85.8	1
浜松市	浜松市	6254	6082.9	102.8	100.3	105.4	4
	浜松市中区	1565	1637.5	95.6	90.9	100.5	2
	浜松市東区	880	819.8	107.3	100.4	114.7	4
	浜松市西区	1122	994.7	112.8	106.3	119.6	4
	浜松市南区	800	761.1	105.1	98.0	112.7	3
	浜松市北区	632	630.2	100.3	92.7	108.5	3
	浜松市浜北区	849	821.5	103.3	96.6	110.6	3
	浜松市天竜区	406	418.1	97.1	88.0	107.1	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

服薬なし高血圧(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	268	142.6	187.9	166.4	212.1	4
	東伊豆町	132	85.6	154.2	129.5	183.5	4
	河津町	89	53.3	166.8	134.7	206.3	4
	南伊豆町	135	78.1	172.8	145.4	205.2	4
	松崎町	95	70.7	134.4	109.3	165.0	4
	西伊豆町	184	90.1	204.3	176.3	236.6	4
熱海	熱海市	193	213.5	90.4	78.3	104.3	2
	伊東市	405	444.4	91.1	82.6	100.6	2
東部	沼津市	1191	985.5	120.8	114.1	128.0	4
	三島市	519	546.1	95.0	87.1	103.7	2
	裾野市	296	278.6	106.3	94.7	119.3	3
	伊豆市	225	228.6	98.4	86.2	112.4	2
	伊豆の国市	341	307.0	111.1	99.8	123.7	3
	函南町	275	228.6	120.3	106.7	135.6	4
	清水町	138	135.1	102.2	86.1	121.1	3
	長泉町	213	205.0	103.9	90.6	119.1	3
御殿場	御殿場市	376	374.1	100.5	90.7	111.3	3
	小山町	54	89.2	60.5	45.9	79.6	1
富士	富士宮市	585	559.1	104.6	96.4	113.6	3
	富士市	881	779.0	113.1	105.8	120.9	4
中部	島田市	523	466.3	112.2	102.9	122.3	4
	焼津市	558	527.1	105.9	97.3	115.1	3
	藤枝市	1039	1057.9	98.2	92.4	104.4	2
	牧之原市	258	226.4	114.0	100.7	129.0	4
	吉田町	223	174.8	127.6	111.6	145.7	4
	川根本町	93	73.9	125.8	102.1	154.9	4
西部	磐田市	838	1056.8	79.3	74.1	84.9	1
	掛川市	395	516.2	76.5	69.2	84.5	1
	袋井市	374	500.2	74.8	67.5	82.8	1
	御前崎市	134	159.0	84.3	70.9	100.2	2
	菊川市	134	159.7	83.9	70.6	99.7	1
	森町	67	128.9	52.0	40.6	66.5	1
	湖西市	284	293.4	96.8	86.0	108.9	2
静岡市	静岡市	1799	1671.1	107.7	102.8	112.8	4
	静岡市葵区	595	550.0	108.2	99.7	117.3	3
	静岡市駿河区	428	375.3	114.0	103.6	125.5	4
	静岡市清水区	776	745.8	104.0	96.9	111.7	3
浜松市	浜松市	2121	2529.1	83.9	80.4	87.5	1
	浜松市中区	581	699.2	83.1	76.5	90.2	1
	浜松市東区	284	358.3	79.3	70.4	89.2	1
	浜松市西区	295	394.0	74.9	66.7	84.1	1
	浜松市南区	317	315.3	100.5	89.9	112.4	3
	浜松市北区	232	285.6	81.2	71.3	92.5	1
	浜松市浜北区	273	330.6	82.6	73.2	93.1	1
	浜松市天竜区	139	146.0	95.2	80.3	112.8	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

服薬なし高血圧(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	330	185.3	178.1	159.7	198.7	4
	東伊豆町	137	100.5	136.4	114.9	161.7	4
	河津町	96	59.0	162.7	132.5	199.6	4
	南伊豆町	139	87.1	159.5	134.6	188.9	4
	松崎町	107	73.3	146.1	120.3	177.2	4
	西伊豆町	194	92.2	210.5	182.4	242.8	4
熱海	熱海市	328	317.2	103.4	92.7	115.4	3
	伊東市	558	610.8	91.3	84.0	99.3	1
東部	沼津市	1494	1277.8	116.9	111.1	123.0	4
	三島市	612	692.5	88.4	81.6	95.7	1
	裾野市	337	296.6	113.6	102.0	126.6	4
	伊豆市	331	286.0	115.7	103.8	129.1	4
	伊豆の国市	382	366.7	104.2	94.1	115.3	3
	函南町	335	260.7	128.5	115.3	143.2	4
	清水町	197	185.0	106.5	92.4	122.7	3
	長泉町	280	249.3	112.3	99.7	126.5	3
御殿場	御殿場市	425	460.9	92.2	83.7	101.5	2
	小山町	64	126.5	50.6	39.3	65.0	1
富士	富士宮市	711	631.3	112.6	104.6	121.3	4
	富士市	1088	979.9	111.0	104.6	117.9	4
中部	島田市	564	547.1	103.1	94.8	112.1	3
	焼津市	710	646.8	109.8	101.9	118.2	4
	藤枝市	1076	1122.2	95.9	90.3	101.8	2
	牧之原市	328	254.3	129.0	115.6	143.9	4
	吉田町	236	171.2	137.8	121.1	156.9	4
	川根本町	99	85.2	116.2	94.9	142.0	3
西部	磐田市	924	1168.9	79.0	74.1	84.4	1
	掛川市	438	549.4	79.7	72.5	87.6	1
	袋井市	420	522.8	80.3	72.9	88.5	1
	御前崎市	171	189.8	90.1	77.3	104.9	2
	菊川市	206	208.3	98.9	86.1	113.6	2
	森町	83	120.5	68.9	55.2	85.8	1
	湖西市	388	357.3	108.6	98.2	120.1	3
静岡市	静岡市	1928	2016.9	95.6	91.4	100.0	1
	静岡市葵区	648	675.5	95.9	88.7	103.7	2
	静岡市駿河区	468	463.9	100.9	92.0	110.6	3
	静岡市清水区	812	877.5	92.5	86.3	99.2	1
浜松市	浜松市	2539	2955.7	85.9	82.6	89.3	1
	浜松市中区	658	820.2	80.2	74.3	86.7	1
	浜松市東区	325	389.6	83.4	74.7	93.1	1
	浜松市西区	380	465.8	81.6	73.7	90.3	1
	浜松市南区	361	364.5	99.0	89.2	109.9	2
	浜松市北区	250	318.6	78.5	69.2	89.0	1
	浜松市浜北区	370	398.4	92.9	83.8	103.0	2
	浜松市天竜区	195	198.5	98.2	85.2	113.3	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

脂質異常症有病者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	441	429.9	102.6	93.3	112.7	3
	東伊豆町	287	269.0	106.7	94.9	120.0	3
	河津町	157	170.6	92.0	78.4	107.9	2
	南伊豆町	281	261.8	107.3	95.3	120.8	3
	松崎町	231	211.2	109.4	95.9	124.6	3
	西伊豆町	344	303.3	113.4	101.9	126.2	4
熱海	熱海市	701	694.4	100.9	93.7	108.8	3
	伊東市	1434	1342.9	106.8	101.4	112.5	4
東部	沼津市	3199	3065.9	104.3	100.8	108.0	4
	三島市	2039	1854.7	109.9	105.2	114.8	4
	裾野市	908	843.8	107.6	100.8	114.9	4
	伊豆市	774	817.9	94.6	88.1	101.6	2
	伊豆の国市	1144	1069.9	106.9	100.9	113.4	4
	函南町	745	727.2	102.5	95.3	110.1	3
	清水町	461	441.7	104.4	95.2	114.5	3
	長泉町	675	642.1	105.1	97.4	113.4	3
	御殿場	御殿場市	1436	1292.5	111.1	105.5	117.0
小山町		330	318.2	103.7	93.0	115.7	3
富士	富士宮市	1834	1824.9	100.5	96.0	105.2	3
	富士市	2509	2508.8	100.0	96.2	104.0	3
中部	島田市	1370	1398.6	98.0	92.9	103.3	2
	焼津市	1596	1705.8	93.6	89.1	98.3	1
	藤枝市	2870	3110.1	92.3	89.0	95.7	1
	牧之原市	712	682.5	104.3	96.9	112.3	3
	吉田町	550	529.4	103.9	95.5	113.0	3
	川根本町	238	236.4	100.7	88.5	114.5	3
西部	磐田市	2996	3214.5	93.2	89.9	96.6	1
	掛川市	1440	1545.7	93.2	88.4	98.1	1
	袋井市	1413	1541.7	91.7	87.0	96.6	1
	御前崎市	448	481.0	93.1	84.8	102.3	2
	菊川市	434	476.9	91.0	82.7	100.1	2
	森町	340	368.9	92.2	82.8	102.6	2
	湖西市	885	926.5	95.5	89.4	102.1	2
静岡市	静岡市	4871	4952.3	98.4	95.6	101.2	2
	静岡市葵区	1711	1665.8	102.7	97.9	107.7	3
	静岡市駿河区	1145	1124.9	101.8	96.0	107.9	3
	静岡市清水区	2015	2161.6	93.2	89.2	97.4	1
浜松市	浜松市	8340	8172.0	102.1	99.9	104.3	3
	浜松市中区	2291	2231.6	102.7	98.5	107.0	3
	浜松市東区	1228	1182.4	103.9	98.2	109.9	3
	浜松市西区	1289	1272.1	101.3	95.9	107.1	3
	浜松市南区	1119	1036.2	108.0	101.8	114.6	4
	浜松市北区	885	916.4	96.6	90.4	103.2	2
	浜松市浜北区	1079	1076.3	100.2	94.4	106.5	3
	浜松市天竜区	449	457.0	98.3	89.5	107.9	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

脂質異常症有病者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	815	726.1	112.2	104.7	120.3	4
	東伊豆町	420	401.4	104.6	95.0	115.3	3
	河津町	262	240.8	108.8	96.2	123.0	3
	南伊豆町	373	358.3	104.1	93.9	115.4	3
	松崎町	306	306.8	99.7	89.0	111.7	2
	西伊豆町	479	413.8	115.8	105.7	126.7	4
熱海	熱海市	1303	1341.8	97.1	91.9	102.6	2
	伊東市	2427	2349.8	103.3	99.2	107.5	3
東部	沼津市	5422	5254.1	103.2	100.5	106.0	4
	三島市	3397	3078.7	110.3	106.7	114.1	4
	裾野市	1347	1271.7	105.9	100.4	111.8	4
	伊豆市	1333	1342.9	99.3	94.0	104.8	2
	伊豆の国市	1781	1709.8	104.2	99.4	109.1	3
	函南町	1137	1112.0	102.3	96.4	108.4	3
	清水町	780	785.8	99.3	92.5	106.5	2
	長泉町	1110	1045.7	106.1	100.0	112.6	4
御殿場	御殿場市	2399	2198.6	109.1	104.8	113.6	4
	小山町	612	578.4	105.8	97.7	114.6	3
富士	富士宮市	2738	2719.8	100.7	97.0	104.5	3
	富士市	4170	4253.8	98.0	95.1	101.1	2
中部	島田市	2048	2151.3	95.2	91.1	99.4	1
	焼津市	2685	2771.8	96.9	93.3	100.6	2
	藤枝市	4278	4376.8	97.7	94.8	100.7	2
	牧之原市	949	947.9	100.1	93.9	106.7	3
	吉田町	737	682.3	108.0	100.4	116.2	4
	川根本町	356	365.1	97.5	87.8	108.3	2
西部	磐田市	4488	4789.5	93.7	91.0	96.5	1
	掛川市	2103	2291.8	91.8	87.9	95.8	1
	袋井市	2125	2255.7	94.2	90.3	98.3	1
	御前崎市	755	761.4	99.2	92.3	106.6	2
	菊川市	732	820.6	89.2	82.9	96.0	1
	森町	459	483.6	94.9	86.5	104.1	2
	湖西市	1471	1464.3	100.5	95.4	105.8	3
静岡市	静岡市	7478	7751.4	96.5	94.3	98.7	1
	静岡市葵区	2590	2620.3	98.8	95.1	102.7	2
	静岡市駿河区	1728	1777.4	97.2	92.7	101.9	2
	静岡市清水区	3160	3353.7	94.2	91.0	97.6	1
浜松市	浜松市	12554	12425.5	101.0	99.3	102.8	3
	浜松市中区	3371	3334.8	101.1	97.7	104.6	3
	浜松市東区	1707	1674.5	101.9	97.2	106.9	3
	浜松市西区	2062	2042.8	100.9	96.7	105.4	3
	浜松市南区	1594	1553.8	102.6	97.6	107.8	3
	浜松市北区	1341	1323.3	101.3	96.0	106.9	3
	浜松市浜北区	1706	1681.3	101.5	96.7	106.4	3
	浜松市天竜区	773	815.0	94.8	88.3	101.8	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

コレステロールを下げる薬服用者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	85	101.6	83.7	67.2	104.0	2
	東伊豆町	54	61.4	87.9	66.7	115.7	2
	河津町	24	37.7	63.7	40.8	94.9	1
	南伊豆町	32	58.1	55.1	38.3	78.7	1
	松崎町	28	48.2	58.1	38.6	84.3	1
	西伊豆町	73	71.1	102.7	81.1	129.9	3
熱海	熱海市	177	167.3	105.8	91.1	122.9	3
	伊東市	263	304.4	86.4	76.4	97.7	1
東部	沼津市	674	720.6	93.5	86.7	100.9	2
	三島市	590	456.9	129.1	119.0	140.1	4
	裾野市	170	207.0	82.1	70.5	95.7	1
	伊豆市	274	193.7	141.5	125.4	159.5	4
	伊豆の国市	345	252.2	136.8	122.9	152.2	4
	函南町	184	175.1	105.1	90.7	121.7	3
	清水町	101	108.8	92.8	76.0	113.3	2
	長泉町	133	158.6	83.9	70.5	99.7	1
	御殿場	御殿場市	412	319.1	129.1	117.1	142.4
小山町		93	79.5	117.0	94.9	144.0	3
富士	富士宮市	422	431.3	97.8	88.8	107.7	2
	富士市	640	599.8	106.7	98.7	115.4	3
中部	島田市	338	332.7	101.6	91.2	113.2	3
	焼津市	452	423.1	106.8	97.3	117.3	3
	藤枝市	673	750.9	89.6	83.0	96.7	1
	牧之原市	133	152.2	87.4	73.4	103.9	2
	吉田町	87	119.2	73.0	58.8	90.5	1
	川根本町	65	57.7	112.7	87.7	144.6	3
西部	磐田市	645	746.3	86.4	79.9	93.4	1
	掛川市	321	364.7	88.0	78.8	98.3	1
	袋井市	304	356.9	85.2	76.0	95.4	1
	御前崎市	116	110.6	104.9	87.0	126.3	3
	菊川市	125	110.3	113.3	94.7	135.5	3
	森町	71	82.6	85.9	67.6	109.1	2
	湖西市	166	221.4	75.0	64.2	87.5	1
静岡市	静岡市	1157	1160.2	99.7	94.1	105.7	2
	静岡市葵区	382	389.9	98.0	88.5	108.4	2
	静岡市駿河区	286	262.5	108.9	96.9	122.5	3
	静岡市清水区	489	507.8	96.3	88.0	105.3	2
浜松市	浜松市	2083	1969.0	105.8	101.3	110.5	4
	浜松市中区	517	534.8	96.7	88.6	105.5	2
	浜松市東区	324	290.6	111.5	99.8	124.5	3
	浜松市西区	328	305.9	107.2	96.1	119.7	3
	浜松市南区	304	250.8	121.2	108.1	135.8	4
	浜松市北区	191	213.1	89.6	77.6	103.5	2
	浜松市浜北区	313	262.2	119.4	106.7	133.6	4
	浜松市天竜区	106	111.7	94.9	78.1	115.3	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

コレステロールを下げる薬服用者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	201	273.5	73.5	63.8	84.6	1
	東伊豆町	117	144.9	80.7	67.1	97.1	1
	河津町	57	86.9	65.6	50.1	85.6	1
	南伊豆町	104	132.6	78.4	64.4	95.4	1
	松崎町	73	114.4	63.8	50.4	80.7	1
	西伊豆町	133	153.6	86.6	72.8	103.0	2
熱海	熱海市	534	517.6	103.2	94.7	112.4	3
	伊東市	651	863.8	75.4	69.7	81.4	1
東部	沼津市	1884	1982.7	95.0	90.8	99.4	1
	三島市	1509	1178.5	128.0	121.7	134.7	4
	裾野市	403	484.0	83.3	75.4	91.9	1
	伊豆市	623	506.7	122.9	113.6	133.1	4
	伊豆の国市	823	640.3	128.5	120.0	137.7	4
	函南町	419	416.3	100.7	91.4	110.9	3
	清水町	283	300.5	94.2	83.7	106.0	2
	長泉町	392	398.0	98.5	89.1	108.9	2
御殿場	御殿場市	986	853.3	115.6	108.5	123.1	4
	小山町	311	227.3	136.8	122.2	153.1	4
富士	富士宮市	1042	1034.9	100.7	94.7	107.0	3
	富士市	1641	1611.9	101.8	97.0	106.9	3
中部	島田市	842	810.9	103.8	97.0	111.2	3
	焼津市	1245	1068.5	116.5	110.2	123.2	4
	藤枝市	1533	1643.5	93.3	88.7	98.1	1
	牧之原市	290	330.1	87.9	78.2	98.7	1
	吉田町	218	245.3	88.9	77.6	101.7	2
	川根本町	195	142.4	136.9	118.7	157.9	4
西部	磐田市	1688	1756.3	96.1	91.6	100.8	2
	掛川市	783	848.3	92.3	86.0	99.1	1
	袋井市	769	824.5	93.3	86.8	100.2	2
	御前崎市	307	274.2	112.0	100.0	125.4	3
	菊川市	319	295.5	107.9	96.6	120.6	3
	森町	160	178.3	89.7	76.6	105.1	2
	湖西市	440	553.6	79.5	72.3	87.3	1
静岡市	静岡市	2830	2946.1	96.1	92.6	99.7	1
	静岡市葵区	979	991.8	98.7	92.7	105.1	2
	静岡市駿河区	618	674.3	91.7	84.6	99.2	1
	静岡市清水区	1233	1280.1	96.3	91.1	101.9	2
浜松市	浜松市	4775	4740.7	100.7	97.9	103.6	3
	浜松市中区	1175	1270.7	92.5	87.3	98.0	1
	浜松市東区	693	640.9	108.1	100.3	116.6	4
	浜松市西区	790	776.3	101.8	94.9	109.2	3
	浜松市南区	615	594.7	103.4	95.5	112.0	3
	浜松市北区	434	491.8	88.2	80.2	97.1	1
	浜松市浜北区	763	642.6	118.7	110.5	127.5	4
	浜松市天竜区	305	323.8	94.2	84.1	105.5	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

服薬なし脂質異常症(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	356	336.9	105.7	95.1	117.4	3
	東伊豆町	233	211.5	110.2	96.7	125.5	3
	河津町	133	139.3	95.5	80.3	113.6	2
	南伊豆町	249	215.7	115.5	101.8	131.0	4
	松崎町	203	172.9	117.4	102.1	135.0	4
	西伊豆町	270	230.6	117.1	103.7	132.1	4
熱海	熱海市	524	522.7	100.2	91.9	109.3	3
	伊東市	1163	1053.0	110.4	104.2	117.0	4
東部	沼津市	2525	2366.6	106.7	102.6	111.0	4
	三島市	1449	1335.0	108.5	103.1	114.3	4
	裾野市	738	653.7	112.9	105.0	121.4	4
	伊豆市	500	585.9	85.3	78.1	93.2	1
	伊豆の国市	799	773.2	103.3	96.4	110.8	3
	函南町	561	548.0	102.4	94.2	111.3	3
	清水町	360	337.0	106.8	96.2	118.6	3
	長泉町	542	494.8	109.5	100.6	119.3	4
御殿場	御殿場市	1020	928.5	109.9	103.3	116.9	4
	小山町	237	232.1	102.1	89.7	116.2	3
富士	富士宮市	1412	1398.1	101.0	95.8	106.4	3
	富士市	1869	1888.9	98.9	94.5	103.6	2
中部	島田市	1032	1065.0	96.9	91.1	103.0	2
	焼津市	1144	1267.2	90.3	85.2	95.7	1
	藤枝市	2195	2393.9	91.7	87.9	95.6	1
	牧之原市	579	540.1	107.2	98.7	116.4	3
	吉田町	463	425.1	108.9	99.3	119.4	3
	川根本町	173	175.3	98.7	84.8	114.8	2
西部	磐田市	2351	2513.7	93.5	89.8	97.4	1
	掛川市	1119	1200.6	93.2	87.9	98.9	1
	袋井市	1109	1209.1	91.7	86.4	97.3	1
	御前崎市	332	368.0	90.2	80.9	100.6	2
	菊川市	309	359.7	85.9	76.7	96.2	1
	森町	269	291.6	92.3	81.7	104.1	2
	湖西市	719	730.7	98.4	91.4	105.9	2
静岡市	静岡市	3714	3795.8	97.8	94.7	101.1	2
	静岡市葵区	1329	1280.4	103.8	98.3	109.6	3
	静岡市駿河区	859	851.6	100.9	94.3	107.9	3
	静岡市清水区	1526	1663.9	91.7	87.2	96.5	1
浜松市	浜松市	6257	6148.1	101.8	99.3	104.3	3
	浜松市中区	1774	1704.6	104.1	99.3	109.1	3
	浜松市東区	904	875.2	103.3	96.7	110.3	3
	浜松市西区	961	955.9	100.5	94.3	107.1	3
	浜松市南区	815	760.1	107.2	100.1	114.9	4
	浜松市北区	694	713.9	97.2	90.2	104.8	2
	浜松市浜北区	766	791.1	96.8	90.2	104.0	2
	浜松市天竜区	343	347.3	98.8	88.7	109.9	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが無意味でない, 3 高いが無意味でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

服薬なし脂質異常症(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	614	488.8	125.6	116.0	136.0	4
	東伊豆町	303	270.3	112.1	100.0	125.6	3
	河津町	205	169.3	121.1	105.3	139.1	4
	南伊豆町	269	240.1	112.0	99.2	126.5	3
	松崎町	233	212.9	109.5	96.1	124.7	3
	西伊豆町	341	267.8	127.3	114.3	141.8	4
熱海	熱海市	769	816.2	94.2	87.7	101.2	2
	伊東市	1765	1587.1	111.2	106.1	116.6	4
東部	沼津市	3538	3319.3	106.6	103.1	110.2	4
	三島市	1888	1735.7	108.8	104.0	113.8	4
	裾野市	944	828.1	114.0	106.9	121.6	4
	伊豆市	710	776.8	91.4	84.9	98.4	1
	伊豆の国市	958	978.4	97.9	91.9	104.4	2
	函南町	718	694.6	103.4	96.0	111.3	3
	清水町	497	494.2	100.6	92.0	109.9	3
	長泉町	718	650.2	110.4	102.6	118.9	4
御殿場	御殿場市	1413	1278.3	110.5	104.9	116.5	4
	小山町	301	310.0	97.1	86.6	108.9	2
富士	富士宮市	1696	1681.3	100.9	96.2	105.8	3
	富士市	2529	2627.3	96.3	92.6	100.1	2
中部	島田市	1206	1326.4	90.9	85.9	96.2	1
	焼津市	1440	1615.4	89.1	84.6	93.9	1
	藤枝市	2745	2787.1	98.5	94.9	102.3	2
	牧之原市	659	637.9	103.3	95.6	111.6	3
	吉田町	519	451.2	115.0	105.4	125.5	4
	川根本町	161	196.6	81.9	69.9	95.8	1
西部	磐田市	2800	3066.4	91.3	88.0	94.8	1
	掛川市	1320	1473.6	89.6	84.8	94.6	1
	袋井市	1356	1458.1	93.0	88.1	98.1	1
	御前崎市	447	469.5	95.2	86.7	104.6	2
	菊川市	413	513.3	80.5	73.0	88.7	1
	森町	299	314.3	95.1	84.8	106.7	2
	湖西市	1031	967.3	106.6	100.2	113.3	4
静岡市	静岡市	4648	4863.6	95.6	92.8	98.4	1
	静岡市葵区	1611	1635.5	98.5	93.8	103.5	2
	静岡市駿河区	1110	1131.0	98.1	92.5	104.1	2
	静岡市清水区	1927	2097.1	91.9	87.9	96.1	1
浜松市	浜松市	7779	7664.4	101.5	99.3	103.8	3
	浜松市中区	2196	2111.1	104.0	99.7	108.5	3
	浜松市東区	1014	1006.8	100.7	94.7	107.2	3
	浜松市西区	1272	1259.9	101.0	95.5	106.7	3
	浜松市南区	979	948.6	103.2	96.9	109.9	3
	浜松市北区	907	860.3	105.4	98.7	112.6	3
	浜松市浜北区	943	977.6	96.5	90.5	102.9	2
	浜松市天竜区	468	500.2	93.6	85.4	102.5	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

糖尿病有病者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	91	112.9	80.6	65.3	99.4	1
	東伊豆町	73	68.5	106.5	84.1	134.8	3
	河津町	34	42.4	80.1	56.4	113.3	2
	南伊豆町	53	65.6	80.8	61.1	106.6	2
	松崎町	41	54.2	75.6	55.0	103.6	2
	西伊豆町	85	78.4	108.4	87.1	134.7	3
熱海	熱海市	227	184.6	123.0	107.7	140.3	4
	伊東市	321	339.8	94.5	84.5	105.5	2
東部	沼津市	845	799.6	105.7	98.7	113.1	3
	三島市	601	502.4	119.6	110.4	129.7	4
	裾野市	205	228.0	89.9	78.2	103.3	2
	伊豆市	248	215.6	115.0	101.3	130.5	4
	伊豆の国市	291	280.4	103.8	92.4	116.6	3
	函南町	199	193.7	102.8	89.2	118.3	3
	清水町	127	119.5	106.3	89.0	126.9	3
	長泉町	166	174.2	95.3	81.6	111.2	2
	御殿場	御殿場市	406	350.2	115.9	105.1	127.9
小山町		92	87.6	105.1	85.2	129.5	3
富士	富士宮市	507	478.7	105.9	97.0	115.7	3
	富士市	625	663.7	94.2	87.0	101.9	2
中部	島田市	340	369.3	92.1	82.7	102.5	2
	焼津市	514	465.6	110.4	101.2	120.5	4
	藤枝市	757	829.7	91.2	84.9	98.0	1
	牧之原市	169	171.5	98.6	84.5	114.9	2
	吉田町	141	133.2	105.8	89.4	125.2	3
	川根本町	71	63.7	111.5	87.7	141.5	3
西部	磐田市	884	832.6	106.2	99.3	113.5	3
	掛川市	356	406.7	87.5	78.8	97.2	1
	袋井市	490	399.2	122.8	112.2	134.2	4
	御前崎市	105	124.2	84.6	69.5	102.8	2
	菊川市	107	123.7	86.5	71.2	104.9	2
	森町	93	93.1	99.9	81.1	123.0	2
	湖西市	249	245.2	101.5	89.5	115.2	3
静岡市	静岡市	1098	1286.3	85.4	80.4	90.6	1
	静岡市葵区	388	432.4	89.7	81.1	99.2	1
	静岡市駿河区	243	290.5	83.7	73.6	95.0	1
	静岡市清水区	467	563.5	82.9	75.6	90.8	1
浜松市	浜松市	2148	2175.1	98.8	94.6	103.0	2
	浜松市中区	610	590.7	103.3	95.3	111.9	3
	浜松市東区	303	319.8	94.8	84.5	106.2	2
	浜松市西区	355	338.1	105.0	94.5	116.7	3
	浜松市南区	284	276.6	102.7	91.2	115.5	3
	浜松市北区	217	237.7	91.3	79.7	104.5	2
	浜松市浜北区	279	288.9	96.6	85.7	108.8	2
	浜松市天竜区	100	123.2	81.1	66.4	99.1	1

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

糖尿病有病者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	70	96.0	72.9	57.3	92.7	1
	東伊豆町	43	51.6	83.4	61.1	113.5	2
	河津町	26	30.7	84.7	55.3	124.5	2
	南伊豆町	36	46.7	77.1	54.8	108.0	2
	松崎町	27	40.3	67.0	44.1	97.1	1
	西伊豆町	60	53.8	111.6	85.9	144.6	3
熱海	熱海市	191	180.9	105.6	91.4	122.0	3
	伊東市	256	304.7	84.0	74.2	95.1	1
東部	沼津市	652	696.0	93.7	86.7	101.2	2
	三島市	464	411.9	112.6	102.7	123.5	4
	裾野市	159	169.0	94.1	80.3	110.2	2
	伊豆市	225	177.9	126.5	110.7	144.4	4
	伊豆の国市	265	224.9	117.8	104.3	133.1	4
	函南町	144	145.4	99.0	83.8	116.9	2
	清水町	94	105.1	89.4	72.6	109.9	2
	長泉町	148	139.1	106.4	90.3	125.4	3
御殿場	御殿場市	350	297.6	117.6	105.8	130.8	4
	小山町	92	79.0	116.4	94.4	143.4	3
富士	富士宮市	367	361.9	101.4	91.4	112.5	3
	富士市	515	564.2	91.3	83.7	99.6	1
中部	島田市	296	284.7	104.0	92.6	116.7	3
	焼津市	446	372.4	119.8	109.0	131.5	4
	藤枝市	475	576.2	82.4	75.3	90.3	1
	牧之原市	105	118.9	88.3	72.6	107.4	2
	吉田町	112	87.3	128.4	106.2	155.1	4
	川根本町	67	49.7	134.9	105.4	172.5	4
西部	磐田市	683	620.3	110.1	102.1	118.8	4
	掛川市	275	299.3	91.9	81.5	103.6	2
	袋井市	395	292.0	135.3	122.4	149.5	4
	御前崎市	108	97.4	110.9	91.4	134.4	3
	菊川市	92	105.0	87.6	71.0	108.0	2
	森町	57	63.2	90.2	69.0	117.8	2
	湖西市	244	193.7	126.0	110.9	143.1	4
静岡市	静岡市	781	1031.5	75.7	70.5	81.3	1
	静岡市葵区	263	347.7	75.6	66.9	85.5	1
	静岡市駿河区	172	236.1	72.9	62.6	84.8	1
	静岡市清水区	346	447.7	77.3	69.5	86.0	1
浜松市	浜松市	1709	1660.7	102.9	98.1	107.9	3
	浜松市中区	431	446.2	96.6	87.8	106.3	2
	浜松市東区	220	223.9	98.2	85.9	112.3	2
	浜松市西区	317	272.2	116.5	104.2	130.2	4
	浜松市南区	228	207.9	109.7	96.1	125.1	3
	浜松市北区	155	173.5	89.3	76.1	104.8	2
	浜松市浜北区	258	224.6	114.8	101.5	130.0	4
	浜松市天竜区	100	112.3	89.0	72.8	108.7	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

糖尿病予備群(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	94	154.9	60.7	49.3	74.6	1
	東伊豆町	49	94.8	51.7	38.7	69.0	1
	河津町	30	59.4	50.5	34.7	73.1	1
	南伊豆町	52	91.4	56.9	42.9	75.2	1
	松崎町	57	75.3	75.7	57.9	98.8	1
	西伊豆町	71	107.9	65.8	51.8	83.5	1
熱海	熱海市	238	252.1	94.4	83.0	107.4	2
	伊東市	411	471.1	87.3	79.1	96.2	1
東部	沼津市	964	1100.3	87.6	82.2	93.4	1
	三島市	487	684.8	71.1	65.0	77.8	1
	裾野市	245	311.6	78.6	69.2	89.3	1
	伊豆市	240	296.6	80.9	71.2	92.0	1
	伊豆の国市	387	386.6	100.1	90.5	110.7	3
	函南町	302	266.0	113.5	101.2	127.3	4
	清水町	159	162.3	98.0	83.6	114.7	2
	長泉町	183	237.5	77.0	66.5	89.3	1
	御殿場	御殿場市	338	476.1	71.0	63.7	79.1
小山町		109	119.0	91.6	75.6	110.9	2
富士	富士宮市	580	658.3	88.1	81.2	95.7	1
	富士市	851	910.9	93.4	87.3	100.0	1
中部	島田市	747	506.9	147.4	137.1	158.4	4
	焼津市	867	633.0	137.0	128.1	146.5	4
	藤枝市	878	1136.7	77.2	72.3	82.6	1
	牧之原市	353	238.1	148.3	133.4	164.8	4
	吉田町	247	185.0	133.5	117.6	151.5	4
	川根本町	107	86.3	124.0	102.1	150.5	4
	西部	磐田市	1281	1151.8	111.2	105.3	117.5
掛川市		710	558.9	127.0	117.9	136.8	4
袋井市		711	551.1	129.0	119.8	138.9	4
御前崎市		215	171.5	125.4	109.4	143.6	4
菊川市		139	171.1	81.3	68.6	96.2	1
森町		169	129.4	130.6	112.0	152.2	4
湖西市		363	337.2	107.7	97.0	119.5	3
静岡市		静岡市	1886	1770.1	106.5	101.8	111.5
	静岡市葵区	574	594.4	96.6	88.9	104.9	2
	静岡市駿河区	431	400.2	107.7	97.9	118.5	3
	静岡市清水区	881	775.5	113.6	106.3	121.4	4
浜松市	浜松市	2998	2974.2	100.8	97.2	104.5	3
	浜松市中区	855	807.8	105.8	98.9	113.2	3
	浜松市東区	434	435.1	99.8	90.7	109.7	2
	浜松市西区	490	462.9	105.9	96.8	115.8	3
	浜松市南区	399	378.6	105.4	95.4	116.4	3
	浜松市北区	332	328.3	101.1	90.7	112.8	3
	浜松市浜北区	330	393.8	83.8	75.1	93.5	1
	浜松市天竜区	158	167.7	94.2	80.4	110.4	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

糖尿病予備群(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	122	237.3	51.4	42.9	61.6	1
	東伊豆町	69	130.1	53.0	41.6	67.5	1
	河津町	29	78.4	37.0	24.8	53.3	1
	南伊豆町	55	116.9	47.0	35.8	61.7	1
	松崎町	66	100.2	65.9	51.4	84.4	1
	西伊豆町	77	133.8	57.6	45.7	72.3	1
熱海	熱海市	428	439.7	97.3	88.4	107.1	2
	伊東市	606	763.7	79.3	73.2	86.0	1
東部	沼津市	1310	1716.8	76.3	72.3	80.6	1
	三島市	591	1008.7	58.6	54.0	63.6	1
	裾野市	287	416.6	68.9	61.3	77.5	1
	伊豆市	422	439.2	96.1	87.2	105.8	2
	伊豆の国市	622	558.6	111.3	102.8	120.5	4
	函南町	519	363.7	142.7	130.8	155.6	4
	清水町	205	257.0	79.8	69.4	91.6	1
	長泉町	250	342.4	73.0	64.4	82.8	1
御殿場	御殿場市	456	721.5	63.2	57.6	69.3	1
	小山町	127	190.2	66.8	55.9	79.7	1
富士	富士宮市	651	890.7	73.1	67.6	79.0	1
	富士市	1226	1392.2	88.1	83.2	93.2	1
中部	島田市	1226	703.2	174.3	164.8	184.4	4
	焼津市	1502	909.7	165.1	156.9	173.7	4
	藤枝市	890	1431.0	62.2	58.2	66.5	1
	牧之原市	480	305.7	157.0	143.4	171.9	4
	吉田町	363	221.3	164.0	147.8	182.0	4
	川根本町	210	119.9	175.2	152.7	201.0	4
西部	磐田市	1760	1560.2	112.8	107.6	118.2	4
	掛川市	998	747.4	133.5	125.4	142.1	4
	袋井市	1016	733.6	138.5	130.2	147.4	4
	御前崎市	341	247.1	138.0	123.9	153.6	4
	菊川市	265	266.7	99.4	87.9	112.3	2
	森町	216	157.6	137.1	119.7	157.0	4
	湖西市	497	479.4	103.7	94.8	113.3	3
静岡市	静岡市	2592	2532.7	102.3	98.5	106.4	3
	静岡市葵区	764	855.5	89.3	83.1	95.9	1
	静岡市駿河区	533	580.4	91.8	84.3	100.1	2
	静岡市清水区	1295	1096.7	118.1	111.8	124.7	4
浜松市	浜松市	4306	4066.8	105.9	102.8	109.1	4
	浜松市中区	1241	1089.9	113.9	107.7	120.4	4
	浜松市東区	545	548.4	99.4	91.3	108.2	2
	浜松市西区	757	668.1	113.3	105.4	121.7	4
	浜松市南区	565	508.9	111.0	102.1	120.7	4
	浜松市北区	471	431.8	109.1	99.5	119.5	3
	浜松市浜北区	463	551.2	84.0	76.6	92.1	1
	浜松市天竜区	264	268.5	98.3	87.0	111.1	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

インスリン注射又は血糖を下げる薬服用者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	50	60.6	82.5	61.9	109.7	2
	東伊豆町	45	36.5	123.3	91.0	166.6	3
	河津町	19	22.3	85.3	51.4	133.1	2
	南伊豆町	32	34.5	92.9	64.6	132.8	2
	松崎町	25	28.6	87.3	56.5	129.2	2
	西伊豆町	46	42.5	108.3	80.2	145.8	3
熱海	熱海市	102	99.8	102.2	83.8	124.6	3
	伊東市	171	180.5	94.7	81.3	110.3	2
東部	沼津市	420	428.7	98.0	88.9	107.9	2
	三島市	409	273.2	149.7	135.7	165.1	4
	裾野市	102	123.6	82.5	67.6	100.6	2
	伊豆市	172	115.6	148.7	127.7	173.2	4
	伊豆の国市	196	150.3	130.4	113.1	150.4	4
	函南町	117	104.3	112.2	93.2	134.9	3
	清水町	69	65.1	106.1	83.1	135.1	3
	長泉町	96	94.7	101.4	82.5	124.3	3
	御殿場	御殿場市	256	190.7	134.3	118.6	152.0
小山町		54	47.7	113.2	85.9	148.9	3
富士	富士宮市	258	256.9	100.4	88.7	113.7	3
	富士市	352	357.4	98.5	88.6	109.5	2
中部	島田市	156	198.5	78.6	67.0	92.2	1
	焼津市	278	253.2	109.8	97.5	123.7	3
	藤枝市	435	448.0	97.1	88.3	106.8	2
	牧之原市	83	90.1	92.2	73.9	114.8	2
	吉田町	78	70.7	110.4	87.8	138.5	3
	川根本町	40	34.6	115.8	83.8	159.3	3
西部	磐田市	473	443.8	106.6	97.3	116.7	3
	掛川市	166	217.6	76.3	65.3	89.1	1
	袋井市	225	212.4	105.9	92.7	120.9	3
	御前崎市	52	65.9	78.9	59.5	104.3	2
	菊川市	67	65.7	101.9	79.6	130.3	3
	森町	44	48.9	89.9	66.1	121.9	2
	湖西市	113	132.2	85.5	70.8	103.2	2
静岡市	静岡市	488	689.5	70.8	64.7	77.4	1
	静岡市葵区	176	231.8	75.9	65.3	88.2	1
	静岡市駿河区	112	155.8	71.9	59.5	86.8	1
	静岡市清水区	200	301.9	66.2	57.5	76.3	1
浜松市	浜松市	1170	1174.7	99.6	94.0	105.5	2
	浜松市中区	316	318.9	99.1	88.6	110.8	2
	浜松市東区	154	173.7	88.6	75.4	104.1	2
	浜松市西区	191	182.3	104.8	90.7	121.0	3
	浜松市南区	183	149.7	122.3	105.5	141.7	4
	浜松市北区	111	126.8	87.5	72.3	105.8	2
	浜松市浜北区	160	156.5	102.2	87.3	119.7	3
	浜松市天竜区	55	66.7	82.4	62.7	108.1	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

インスリン注射又は血糖を下げる薬服用者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	34	51.8	65.7	46.2	92.9	1
	東伊豆町	21	27.5	76.2	47.2	116.6	2
	河津町	17	16.2	104.7	60.9	167.5	3
	南伊豆町	19	25.0	76.0	45.8	118.6	2
	松崎町	16	21.7	73.7	42.2	119.5	2
	西伊豆町	38	29.1	130.5	93.6	181.1	3
熱海	熱海市	87	98.4	88.4	71.3	109.6	2
	伊東市	125	163.3	76.6	64.0	91.5	1
東部	沼津市	353	375.9	93.9	84.5	104.4	2
	三島市	328	223.2	146.9	131.7	164.0	4
	裾野市	83	91.2	91.0	73.0	113.4	2
	伊豆市	162	96.1	168.6	144.1	197.2	4
	伊豆の国市	172	121.0	142.2	122.1	165.5	4
	函南町	83	77.9	106.5	85.4	132.8	3
	清水町	45	57.0	78.9	58.2	106.6	2
	長泉町	83	75.1	110.5	88.5	137.6	3
御殿場	御殿場市	217	162.1	133.9	116.9	153.2	4
	小山町	52	43.2	120.3	90.7	159.0	3
富士	富士宮市	195	195.6	99.7	86.4	115.0	2
	富士市	296	304.4	97.2	86.6	109.1	2
中部	島田市	133	153.6	86.6	72.8	103.0	2
	焼津市	215	202.0	106.4	92.9	121.9	3
	藤枝市	278	309.9	89.7	79.6	101.1	2
	牧之原市	50	62.8	79.7	59.8	105.9	2
	吉田町	56	46.4	120.7	92.0	157.9	3
	川根本町	38	27.1	140.0	100.5	194.3	4
西部	磐田市	381	331.4	115.0	103.8	127.2	4
	掛川市	140	160.6	87.2	73.6	103.2	2
	袋井市	188	156.2	120.4	104.0	139.2	4
	御前崎市	47	51.9	90.6	67.3	121.6	2
	菊川市	53	55.8	95.0	71.8	125.2	2
	森町	34	33.9	100.2	70.5	141.7	3
	湖西市	114	104.5	109.1	90.4	131.6	3
静岡市	静岡市	321	558.5	57.5	51.4	64.2	1
	静岡市葵区	113	188.0	60.1	49.8	72.5	1
	静岡市駿河区	67	127.8	52.4	41.0	67.0	1
	静岡市清水区	141	242.7	58.1	49.1	68.7	1
浜松市	浜松市	937	900.6	104.0	97.5	111.0	3
	浜松市中区	213	242.5	87.8	76.6	100.7	2
	浜松市東区	115	121.4	94.7	78.5	114.1	2
	浜松市西区	203	147.3	137.8	119.8	158.5	4
	浜松市南区	130	112.7	115.4	96.8	137.5	3
	浜松市北区	83	93.4	88.9	71.2	110.7	2
	浜松市浜北区	144	121.6	118.4	100.2	139.8	4
	浜松市天竜区	49	61.7	79.5	59.4	106.0	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

服薬なし糖尿病(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	41	53.0	77.4	56.3	106.1	2
	東伊豆町	28	31.4	89.2	59.3	129.4	2
	河津町	15	20.4	73.6	41.2	121.4	2
	南伊豆町	21	31.3	67.2	41.6	102.8	2
	松崎町	16	25.8	61.9	35.4	100.3	2
	西伊豆町	36	36.1	99.9	71.0	139.8	2
熱海	熱海市	125	84.6	147.8	123.5	176.7	4
	伊東市	147	159.5	92.1	78.1	108.6	2
東部	沼津市	425	371.2	114.5	104.0	126.1	4
	三島市	192	218.8	87.8	76.0	101.3	2
	裾野市	103	105.7	97.4	79.9	118.7	2
	伊豆市	76	95.7	79.4	63.0	100.0	1
	伊豆の国市	95	126.7	75.0	61.0	92.1	1
	函南町	82	88.3	92.9	74.3	115.9	2
	清水町	58	54.0	107.5	82.4	140.0	3
	長泉町	70	79.3	88.2	69.3	112.2	2
	御殿場	御殿場市	150	154.4	97.2	82.5	114.4
小山町		38	39.4	96.5	69.3	133.9	2
富士	富士宮市	249	221.4	112.5	99.1	127.6	3
	富士市	273	306.3	89.1	79.0	100.5	2
中部	島田市	184	173.8	105.9	91.4	122.6	3
	焼津市	234	210.0	111.4	97.8	126.9	3
	藤枝市	322	382.3	84.2	75.4	94.1	1
	牧之原市	86	81.9	105.1	84.5	130.4	3
	吉田町	63	62.2	101.3	78.5	130.5	3
	川根本町	31	28.7	108.2	74.8	155.6	3
西部	磐田市	411	386.0	106.5	96.5	117.4	3
	掛川市	190	192.8	98.6	85.3	113.9	2
	袋井市	265	185.5	142.9	126.4	161.4	4
	御前崎市	53	59.2	89.5	67.7	118.0	2
	菊川市	40	57.8	69.2	50.1	95.3	1
	森町	49	44.4	110.3	82.5	147.1	3
	湖西市	136	114.3	118.9	100.2	141.1	4
静岡市	静岡市	610	611.2	99.8	92.1	108.1	2
	静岡市葵区	212	204.6	103.6	90.4	118.8	3
	静岡市駿河区	131	137.9	95.0	79.7	113.1	2
	静岡市清水区	267	268.8	99.3	87.9	112.2	2
浜松市	浜松市	978	999.0	97.9	91.9	104.3	2
	浜松市中区	294	271.4	108.3	96.5	121.6	3
	浜松市東区	149	147.2	101.2	85.9	119.2	3
	浜松市西区	164	155.0	105.8	90.5	123.7	3
	浜松市南区	101	124.4	81.2	66.5	99.1	1
	浜松市北区	106	111.9	94.7	77.9	115.0	2
	浜松市浜北区	119	131.8	90.3	75.1	108.4	2
	浜松市天竜区	45	57.3	78.5	57.9	106.0	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

服薬なし糖尿病(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	36	44.9	80.1	56.9	112.2	2
	東伊豆町	22	24.2	90.9	57.0	137.3	2
	河津町	9	14.4	62.4	28.6	118.5	2
	南伊豆町	17	21.9	77.6	45.2	124.1	2
	松崎町	11	18.8	58.4	29.2	104.6	2
	西伊豆町	21	24.4	86.0	53.2	131.6	2
熱海	熱海市	104	82.9	125.4	103.0	152.6	4
	伊東市	129	142.9	90.3	75.7	107.7	2
東部	沼津市	299	320.7	93.2	83.1	104.6	2
	三島市	136	184.3	73.8	62.2	87.6	1
	裾野市	76	78.0	97.4	77.3	122.6	2
	伊豆市	63	79.2	79.6	61.7	102.5	2
	伊豆の国市	93	101.7	91.5	74.2	112.6	2
	函南町	61	67.4	90.6	69.9	117.1	2
	清水町	49	48.6	100.7	75.3	134.3	3
	長泉町	65	63.7	102.0	79.4	130.9	3
	御殿場	御殿場市	133	133.1	99.9	84.0	118.8
小山町		40	35.4	113.0	81.8	155.5	3
富士	富士宮市	172	166.2	103.5	88.9	120.5	3
	富士市	219	259.9	84.3	73.6	96.4	1
中部	島田市	163	131.8	123.7	105.7	144.6	4
	焼津市	231	169.7	136.1	119.4	155.1	4
	藤枝市	196	267.5	73.3	63.5	84.5	1
	牧之原市	55	56.5	97.4	74.0	127.7	2
	吉田町	56	40.4	138.7	105.7	181.4	4
	川根本町	29	22.0	131.6	88.2	189.5	3
西部	磐田市	302	286.4	105.4	94.0	118.2	3
	掛川市	135	139.3	96.9	81.5	115.1	2
	袋井市	207	134.3	154.1	134.1	176.9	4
	御前崎市	61	45.7	133.5	103.0	172.7	4
	菊川市	39	49.2	79.3	57.2	109.6	2
	森町	23	29.1	79.0	50.1	118.4	2
	湖西市	130	88.9	146.2	122.6	174.2	4
静岡市	静岡市	460	482.7	95.3	86.9	104.5	2
	静岡市葵区	150	162.7	92.2	78.3	108.5	2
	静岡市駿河区	105	110.9	94.7	77.8	115.1	2
	静岡市清水区	205	209.1	98.0	85.3	112.7	2
浜松市	浜松市	772	757.7	101.9	94.9	109.4	3
	浜松市中区	218	204.7	106.5	93.0	121.8	3
	浜松市東区	105	102.6	102.3	84.1	124.4	3
	浜松市西区	114	122.3	93.2	77.2	112.4	2
	浜松市南区	98	94.3	103.9	84.8	127.2	3
	浜松市北区	72	80.5	89.5	70.5	113.4	2
	浜松市浜北区	114	102.1	111.7	92.5	134.7	3
	浜松市天竜区	51	51.1	99.7	75.0	132.2	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果:1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

習慣的喫煙者(男性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	218	197.4	110.5	96.5	126.4	3
	東伊豆町	134	126.9	105.6	88.8	125.5	3
	河津町	91	82.8	109.9	89.0	135.6	3
	南伊豆町	159	126.8	125.4	107.0	146.9	4
	松崎町	125	100.1	124.9	104.4	149.4	4
	西伊豆町	157	141.3	111.1	94.7	130.3	3
熱海	熱海市	397	311.2	127.6	115.5	140.9	4
	伊東市	714	634.2	112.6	104.6	121.2	4
東部	沼津市	1596	1407.1	113.4	108.0	119.2	4
	三島市	804	813.0	98.9	92.2	106.0	2
	裾野市	413	371.4	111.2	100.8	122.6	4
	伊豆市	384	374.1	102.6	92.8	113.6	3
	伊豆の国市	502	490.8	102.3	93.6	111.7	3
	函南町	323	326.2	99.0	88.7	110.6	2
	清水町	202	193.4	104.4	90.8	120.1	3
	長泉町	294	280.4	104.9	93.4	117.7	3
	御殿場	御殿場市	636	562.8	113.0	104.5	122.2
小山町		164	137.8	119.0	101.8	139.1	4
富士	富士宮市	858	833.4	102.9	96.2	110.1	3
	富士市	1142	1132.5	100.8	95.1	106.9	3
中部	島田市	582	635.9	91.5	84.3	99.3	1
	焼津市	696	742.2	93.8	87.0	101.1	2
	藤枝市	1281	1391.3	92.1	87.1	97.3	1
	牧之原市	338	328.8	102.8	92.3	114.5	3
	吉田町	242	252.8	95.7	84.2	108.8	2
	川根本町	88	104.8	84.0	67.7	104.0	2
	西部	磐田市	1521	1494.9	101.7	96.7	107.0
掛川市		708	709.4	99.8	92.7	107.5	2
袋井市		696	719.6	96.7	89.7	104.2	2
御前崎市		247	226.4	109.1	96.1	123.8	3
菊川市		212	223.2	95.0	82.8	108.9	2
森町		189	177.1	106.7	92.3	123.3	3
湖西市		419	420.4	99.7	90.5	109.8	2
静岡市	静岡市	2174	2279.5	95.4	91.4	99.5	1
	静岡市葵区	691	767.5	90.0	83.5	97.1	1
	静岡市駿河区	498	519.6	95.8	87.7	104.7	2
	静岡市清水区	985	992.3	99.3	93.2	105.7	2
浜松市	浜松市	3305	3661.3	90.3	87.2	93.4	1
	浜松市中区	904	1004.9	90.0	84.2	96.1	1
	浜松市東区	476	519.5	91.6	83.7	100.3	2
	浜松市西区	540	570.5	94.7	86.9	103.1	2
	浜松市南区	460	462.0	99.6	90.8	109.2	2
	浜松市北区	340	425.4	79.9	71.8	89.0	1
	浜松市浜北区	403	476.9	84.5	76.5	93.3	1
	浜松市天竜区	182	202.0	90.1	77.7	104.4	2

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低いが有意でない, 3 高いが有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

習慣的喫煙者(女性)

保健所単位	保険者名	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値	
賀茂	下田市	79	61.1	129.3	103.0	162.0	4
	東伊豆町	63	41.3	152.5	118.2	196.5	4
	河津町	22	21.5	102.5	64.3	154.7	3
	南伊豆町	38	30.9	122.9	88.2	170.6	3
	松崎町	31	26.2	118.5	81.9	170.4	3
	西伊豆町	30	35.4	84.8	58.2	122.6	2
熱海	熱海市	303	107.0	283.1	252.6	317.3	4
	伊東市	436	216.6	201.3	183.0	221.3	4
東部	沼津市	645	451.3	142.9	132.2	154.5	4
	三島市	322	250.5	128.5	115.0	143.6	4
	裾野市	121	102.0	118.7	98.9	142.3	3
	伊豆市	129	111.3	115.9	97.1	138.2	3
	伊豆の国市	209	146.1	143.0	124.6	164.1	4
	函南町	127	91.4	138.9	116.3	165.9	4
	清水町	74	66.2	111.7	88.3	141.1	3
	長泉町	118	86.4	136.5	113.5	164.1	4
御殿場	御殿場市	242	173.1	139.8	123.0	158.8	4
	小山町	40	43.2	92.6	67.0	127.3	2
富士	富士宮市	209	220.6	94.8	82.5	108.7	2
	富士市	339	350.8	96.6	86.7	107.6	2
中部	島田市	102	181.3	56.3	46.1	68.6	1
	焼津市	153	214.3	71.4	60.7	83.9	1
	藤枝市	238	367.4	64.8	56.9	73.7	1
	牧之原市	42	99.0	42.4	31.0	57.9	1
	吉田町	52	65.2	79.8	60.2	105.5	2
	川根本町	9	28.2	31.9	14.6	60.6	1
西部	磐田市	284	429.3	66.2	58.8	74.4	1
	掛川市	114	201.5	56.6	46.9	68.2	1
	袋井市	149	209.1	71.3	60.5	83.9	1
	御前崎市	48	71.0	67.6	50.4	90.5	1
	菊川市	53	77.1	68.8	52.0	90.7	1
	森町	20	43.3	46.1	28.2	71.1	1
	湖西市	70	122.4	57.2	44.9	72.7	1
静岡市	静岡市	676	658.4	102.7	95.1	110.8	3
	静岡市葵区	238	223.2	106.6	93.7	121.3	3
	静岡市駿河区	172	153.0	112.4	96.5	130.9	3
	静岡市清水区	266	282.2	94.3	83.4	106.5	2
浜松市	浜松市	836	1022.4	81.8	76.4	87.6	1
	浜松市中区	298	284.8	104.6	93.2	117.4	3
	浜松市東区	122	135.9	89.8	74.8	107.6	2
	浜松市西区	111	169.8	65.4	54.0	79.1	1
	浜松市南区	125	125.7	99.5	83.1	118.9	2
	浜松市北区	70	115.7	60.5	47.5	76.9	1
	浜松市浜北区	81	133.5	60.7	48.5	75.8	1
	浜松市天竜区	29	56.9	51.0	34.1	73.4	1

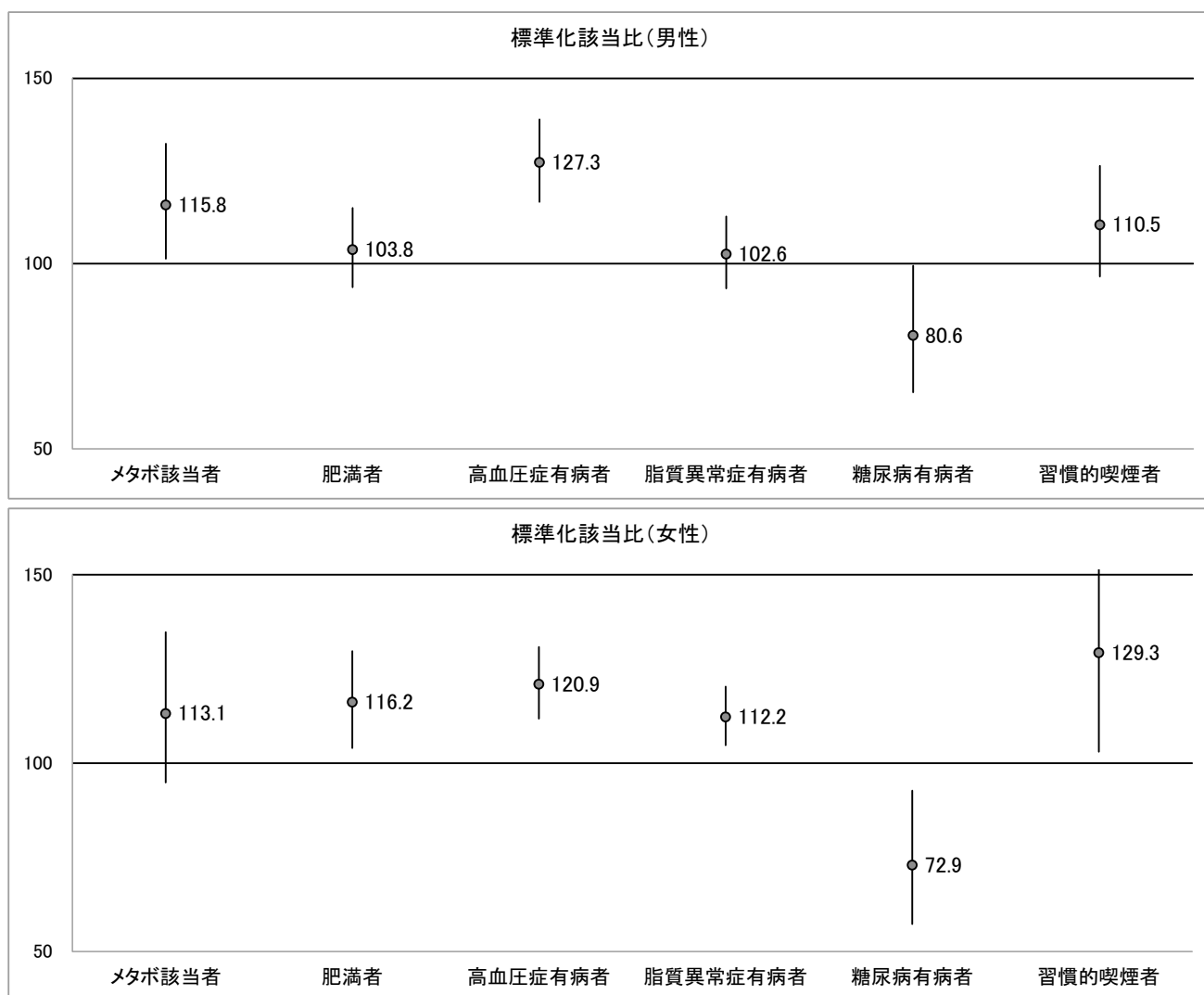
標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果(基準)と当該保険者の結果を比較した値である。

標準化該当比は、静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)よりも高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

結果: 1 有意に低い, 2 低い有意でない, 3 高い有意でない, 4 有意に高い

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

下田市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

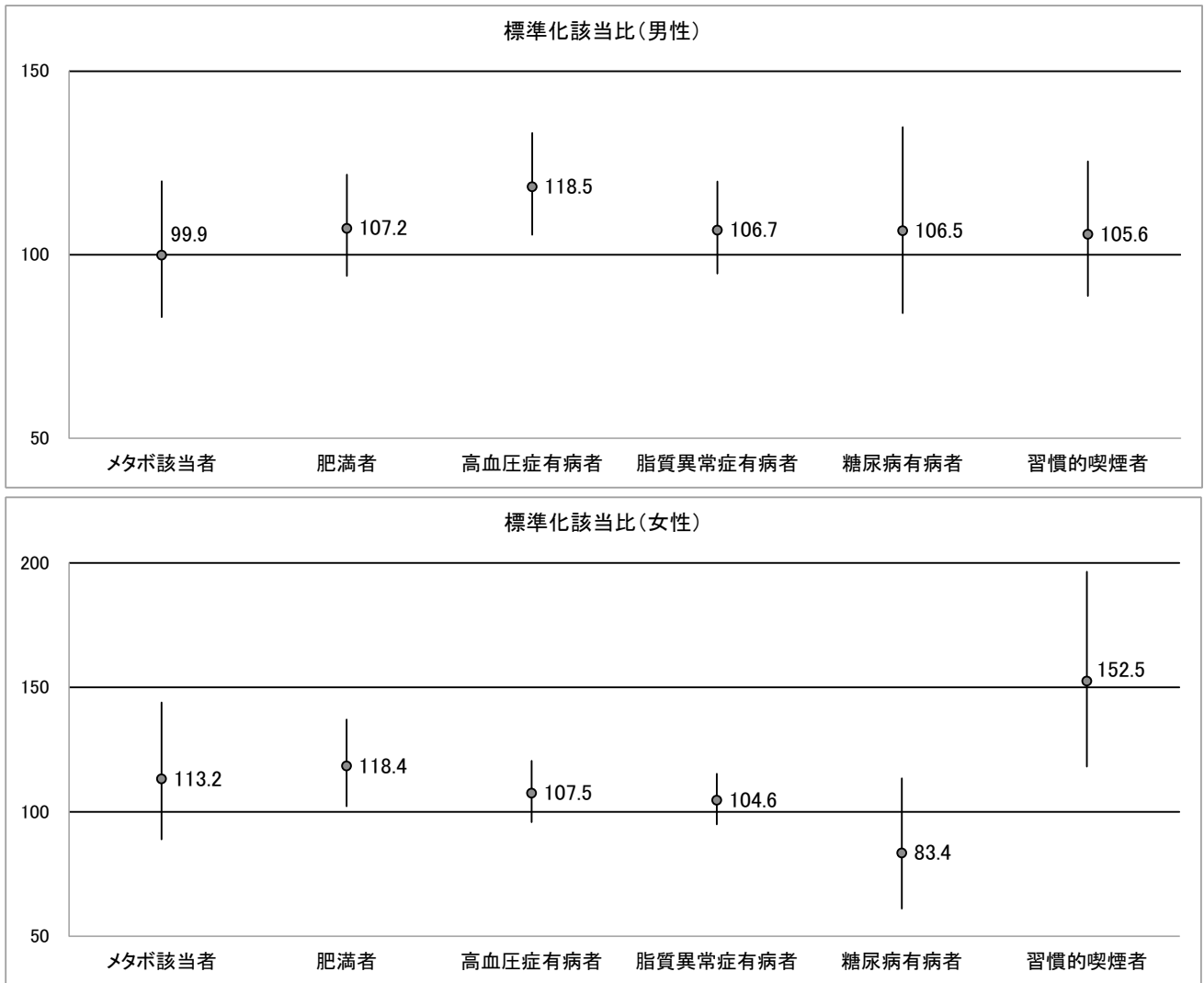
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	790	222	191.7	115.8	101.3	132.4	4	1212	130	114.9	113.1	94.9	134.8	3
メタボ予備群	790	120	117.2	102.4	85.3	122.9	3	1212	90	64.9	138.6	112.1	171.2	4
肥満者	791	373	359.4	103.8	93.6	115.0	3	1212	323	278.1	116.2	104.0	129.7	4
高血圧症有病者	791	514	403.7	127.3	116.7	138.9	4	1212	634	524.3	120.9	111.8	130.8	4
高血圧症予備群	791	136	108.8	125.0	105.2	148.3	4	1212	233	173.0	134.7	118.2	153.4	4
血圧を下げる薬服用者	791	246	266.6	92.3	81.3	104.7	2	1212	304	349.5	87.0	77.6	97.5	1
脂質異常症有病者	790	441	429.9	102.6	93.3	112.7	3	1212	815	726.1	112.2	104.7	120.3	4
コレステロールを下げる薬服用者	791	85	101.6	83.7	67.2	104.0	2	1212	201	273.5	73.5	63.8	84.6	1
糖尿病有病者	791	91	112.9	80.6	65.3	99.4	1	1212	70	96.0	72.9	57.3	92.7	1
糖尿病予備群	791	94	154.9	60.7	49.3	74.6	1	1212	122	237.3	51.4	42.9	61.6	1
血糖を下げる薬など服用者	791	50	60.6	82.5	61.9	109.7	2	1212	34	51.8	65.7	46.2	92.9	1
習慣的喫煙者	791	218	197.4	110.5	96.5	126.4	3	1212	79	61.1	129.3	103.0	162.0	4

東伊豆町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

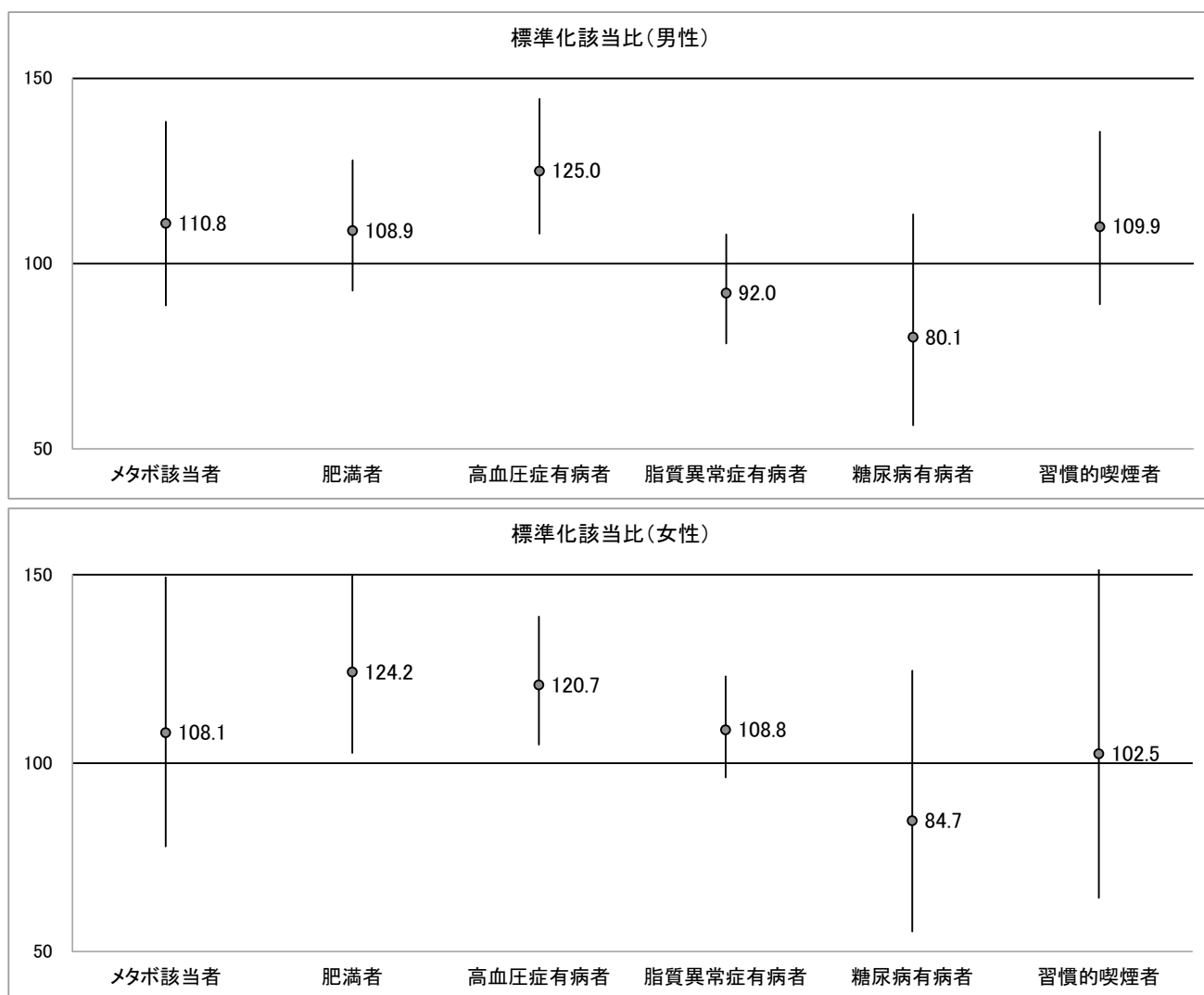
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	492	118	118.2	99.9	83.0	120.0	2	700	70	61.8	113.2	88.9	143.9	3
メタボ予備群	492	89	73.3	121.4	98.1	150.1	3	700	47	36.2	129.9	96.5	174.2	3
肥満者	492	240	224.0	107.2	94.2	121.8	3	700	185	156.2	118.4	102.2	137.1	4
高血圧症有病者	492	290	244.7	118.5	105.5	133.2	4	700	303	281.9	107.5	95.9	120.5	3
高血圧症予備群	492	71	67.8	104.7	82.3	132.8	3	700	146	96.9	150.6	127.6	177.7	4
血圧を下げる薬服用者	492	158	159.8	98.9	84.3	115.9	2	700	166	185.1	89.7	76.8	104.7	2
脂質異常症有病者	492	287	269.0	106.7	94.9	120.0	3	700	420	401.4	104.6	95.0	115.3	3
コレステロールを下げる薬服用者	492	54	61.4	87.9	66.7	115.7	2	700	117	144.9	80.7	67.1	97.1	1
糖尿病有病者	492	73	68.5	106.5	84.1	134.8	3	700	43	51.6	83.4	61.1	113.5	2
糖尿病予備群	492	49	94.8	51.7	38.7	69.0	1	700	69	130.1	53.0	41.6	67.5	1
血糖を下げる薬など服用者	492	45	36.5	123.3	91.0	166.6	3	700	21	27.5	76.2	47.2	116.6	2
習慣的喫煙者	492	134	126.9	105.6	88.8	125.5	3	700	63	41.3	152.5	118.2	196.5	4

河津町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

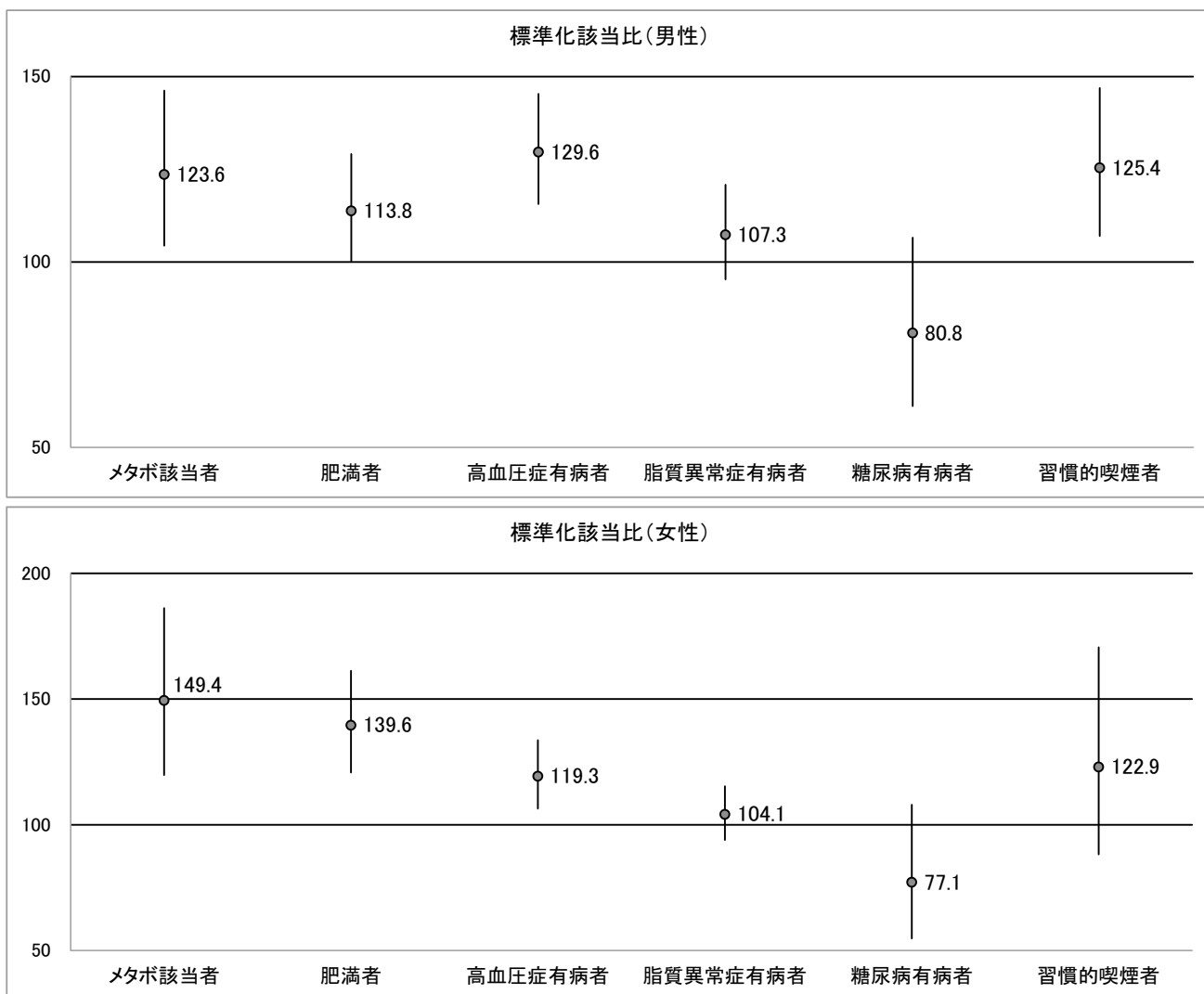
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	311	82	74.0	110.8	88.7	138.3	3	403	39	36.1	108.1	77.9	149.3	3
メタボ予備群	311	54	46.4	116.3	88.2	152.9	3	403	30	21.0	142.6	97.9	206.3	3
肥満者	311	154	141.4	108.9	92.7	127.9	3	403	112	90.2	124.2	102.7	150.0	4
高血圧症有病者	311	189	151.2	125.0	108.1	144.5	4	403	202	167.3	120.7	104.9	138.9	4
高血圧症予備群	311	54	43.4	124.4	94.3	163.6	3	403	74	57.7	128.2	101.3	161.8	4
血圧を下げる薬服用者	311	100	97.0	103.1	84.3	126.0	3	403	106	109.3	97.0	79.8	117.8	2
脂質異常症有病者	311	157	170.6	92.0	78.4	107.9	2	403	262	240.8	108.8	96.2	123.0	3
コレステロールを下げる薬服用者	311	24	37.7	63.7	40.8	94.9	1	403	57	86.9	65.6	50.1	85.6	1
糖尿病有病者	311	34	42.4	80.1	56.4	113.3	2	403	26	30.7	84.7	55.3	124.5	2
糖尿病予備群	311	30	59.4	50.5	34.7	73.1	1	403	29	78.4	37.0	24.8	53.3	1
血糖を下げる薬など服用者	311	19	22.3	85.3	51.4	133.1	2	403	17	16.2	104.7	60.9	167.5	3
習慣的喫煙者	311	91	82.8	109.9	89.0	135.6	3	403	22	21.5	102.5	64.3	154.7	3

南伊豆町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

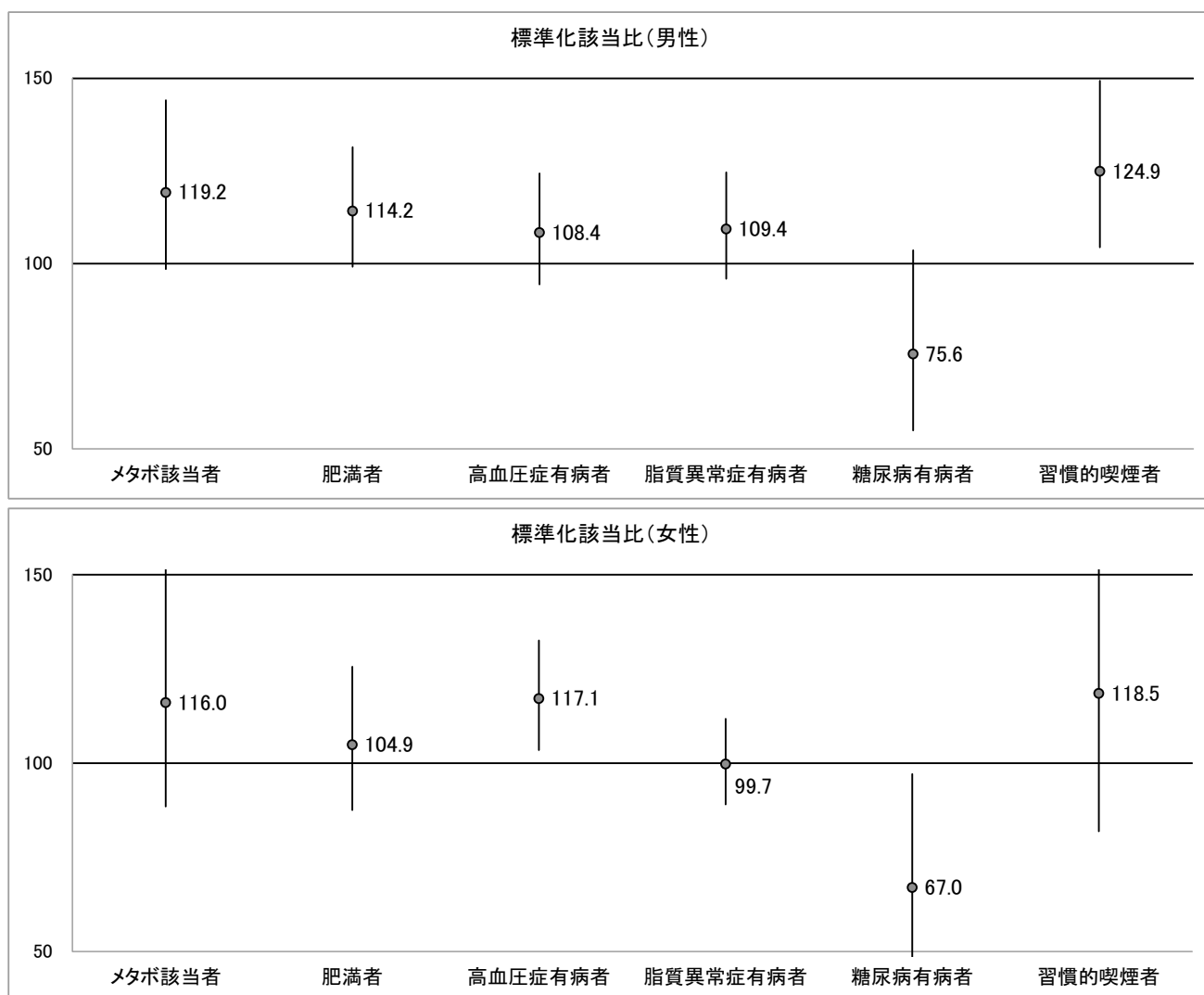
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	476	141	114.1	123.6	104.4	146.2	4	599	83	55.5	149.4	119.7	186.2	4
メタボ予備群	476	84	71.1	118.1	94.8	147.0	3	599	57	31.7	179.5	137.2	234.3	4
肥満者	476	247	217.1	113.8	100.2	129.1	4	599	190	136.1	139.6	120.7	161.3	4
高血圧症有病者	476	302	232.9	129.6	115.6	145.3	4	599	304	254.9	119.3	106.4	133.7	4
高血圧症予備群	476	71	66.3	107.2	84.3	136.0	3	599	99	85.6	115.7	94.5	141.4	3
血圧を下げる薬服用者	476	167	149.7	111.6	95.6	130.2	3	599	165	168.5	97.9	83.8	114.3	2
脂質異常症有病者	476	281	261.8	107.3	95.3	120.8	3	599	373	358.3	104.1	93.9	115.4	3
コレステロールを下げる薬服用者	476	32	58.1	55.1	38.3	78.7	1	599	104	132.6	78.4	64.4	95.4	1
糖尿病有病者	476	53	65.6	80.8	61.1	106.6	2	599	36	46.7	77.1	54.8	108.0	2
糖尿病予備群	476	52	91.4	56.9	42.9	75.2	1	599	55	116.9	47.0	35.8	61.7	1
血糖を下げる薬など服用者	476	32	34.5	92.9	64.6	132.8	2	599	19	25.0	76.0	45.8	118.6	2
習慣的喫煙者	476	159	126.8	125.4	107.0	146.9	4	599	38	30.9	122.9	88.2	170.6	3

松崎町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

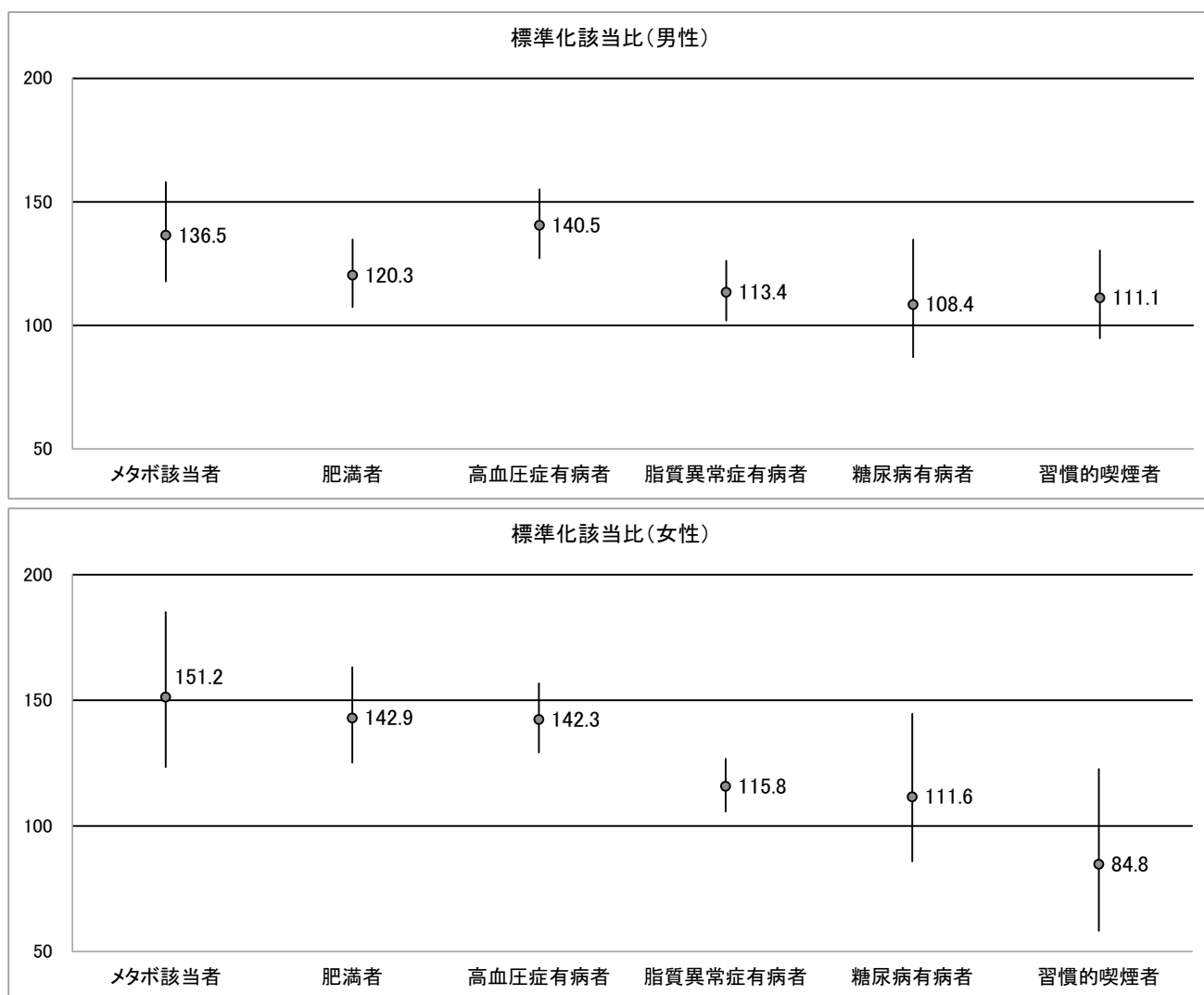
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	385	111	93.1	119.2	98.5	144.1	3	512	56	48.3	116.0	88.5	151.8	3
メタボ予備群	385	70	57.1	122.5	96.2	155.7	3	512	27	27.4	98.6	65.0	142.9	2
肥満者	385	200	175.1	114.2	99.2	131.5	3	512	123	117.3	104.9	87.5	125.6	3
高血圧症有病者	385	209	192.8	108.4	94.4	124.4	3	512	258	220.3	117.1	103.5	132.5	4
高血圧症予備群	385	73	53.5	136.3	107.6	172.4	4	512	110	73.1	150.4	124.2	182.0	4
血圧を下げる薬服用者	385	114	125.0	91.2	75.6	110.0	2	512	151	146.5	103.1	87.6	121.3	3
脂質異常症有病者	385	231	211.2	109.4	95.9	124.6	3	512	306	306.8	99.7	89.0	111.7	2
コレステロールを下げる薬服用者	385	28	48.2	58.1	38.6	84.3	1	512	73	114.4	63.8	50.4	80.7	1
糖尿病有病者	385	41	54.2	75.6	55.0	103.6	2	512	27	40.3	67.0	44.1	97.1	1
糖尿病予備群	385	57	75.3	75.7	57.9	98.8	1	512	66	100.2	65.9	51.4	84.4	1
血糖を下げる薬など服用者	385	25	28.6	87.3	56.5	129.2	2	512	16	21.7	73.7	42.2	119.5	2
習慣的喫煙者	385	125	100.1	124.9	104.4	149.4	4	512	31	26.2	118.5	81.9	170.4	3

西伊豆町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

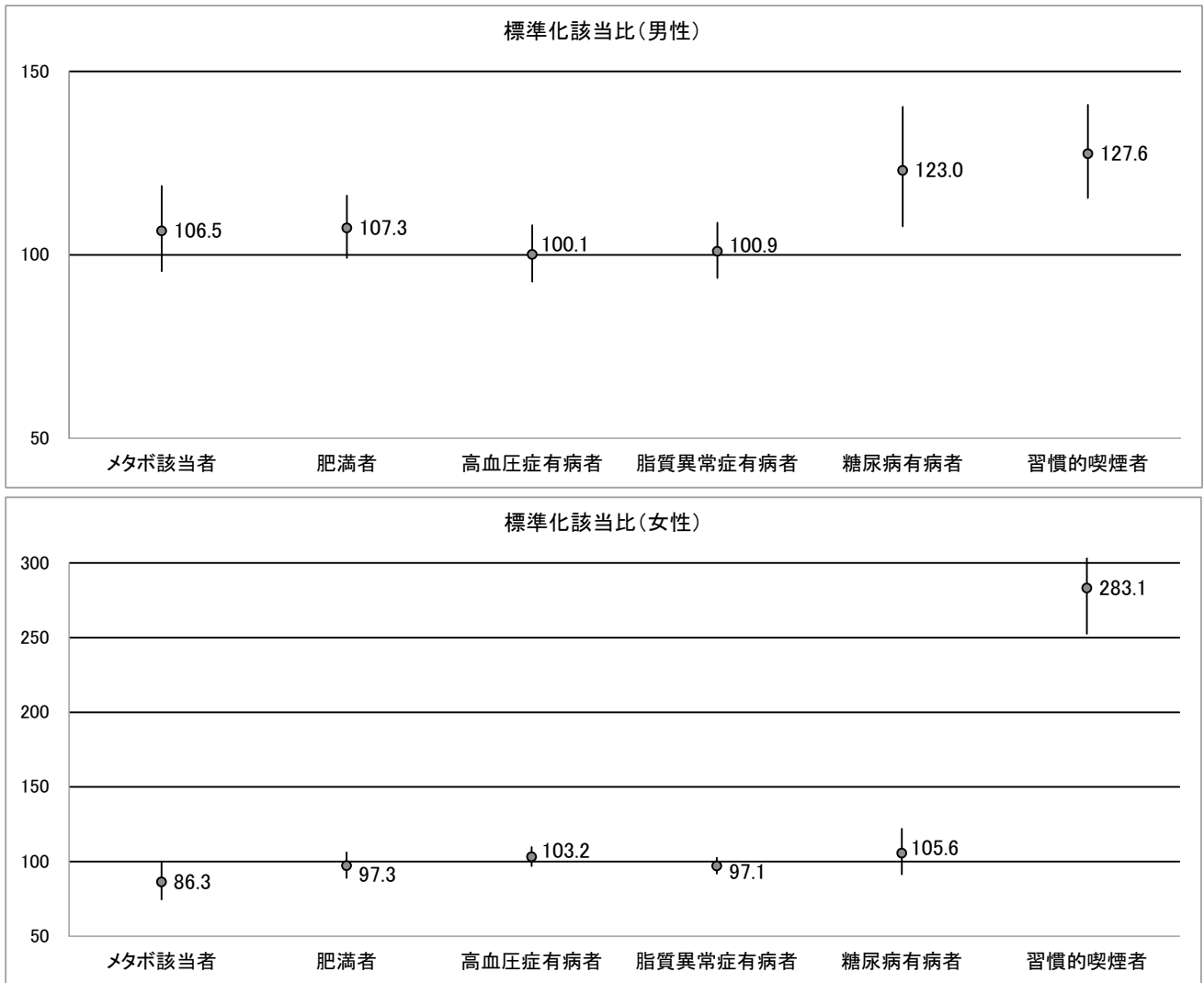
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが有意でない、3 高いが有意でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	554	184	134.8	136.5	117.8	158.1	4	688	98	64.8	151.2	123.4	185.1	4
メタボ予備群	554	90	82.2	109.5	88.6	135.3	3	688	55	36.8	149.6	113.8	196.3	4
肥満者	557	305	253.5	120.3	107.4	134.8	4	688	225	157.4	142.9	125.1	163.2	4
高血圧症有病者	558	399	284.0	140.5	127.2	155.1	4	689	421	295.8	142.3	129.2	156.8	4
高血圧症予備群	558	74	77.1	96.0	75.9	121.3	2	689	100	98.2	101.8	83.2	124.3	3
血圧を下げる薬服用者	557	213	185.9	114.6	100.0	131.4	3	689	226	196.7	114.9	100.6	131.2	4
脂質異常症有病者	555	344	303.3	113.4	101.9	126.2	4	692	479	413.8	115.8	105.7	126.7	4
コレステロールを下げる薬服用者	557	73	71.1	102.7	81.1	129.9	3	689	133	153.6	86.6	72.8	103.0	2
糖尿病有病者	549	85	78.4	108.4	87.1	134.7	3	686	60	53.8	111.6	85.9	144.6	3
糖尿病予備群	549	71	107.9	65.8	51.8	83.5	1	686	77	133.8	57.6	45.7	72.3	1
血糖を下げる薬など服用者	557	46	42.5	108.3	80.2	145.8	3	689	38	29.1	130.5	93.6	181.1	3
習慣的喫煙者	556	157	141.3	111.1	94.7	130.3	3	689	30	35.4	84.8	58.2	122.6	2

熱海市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

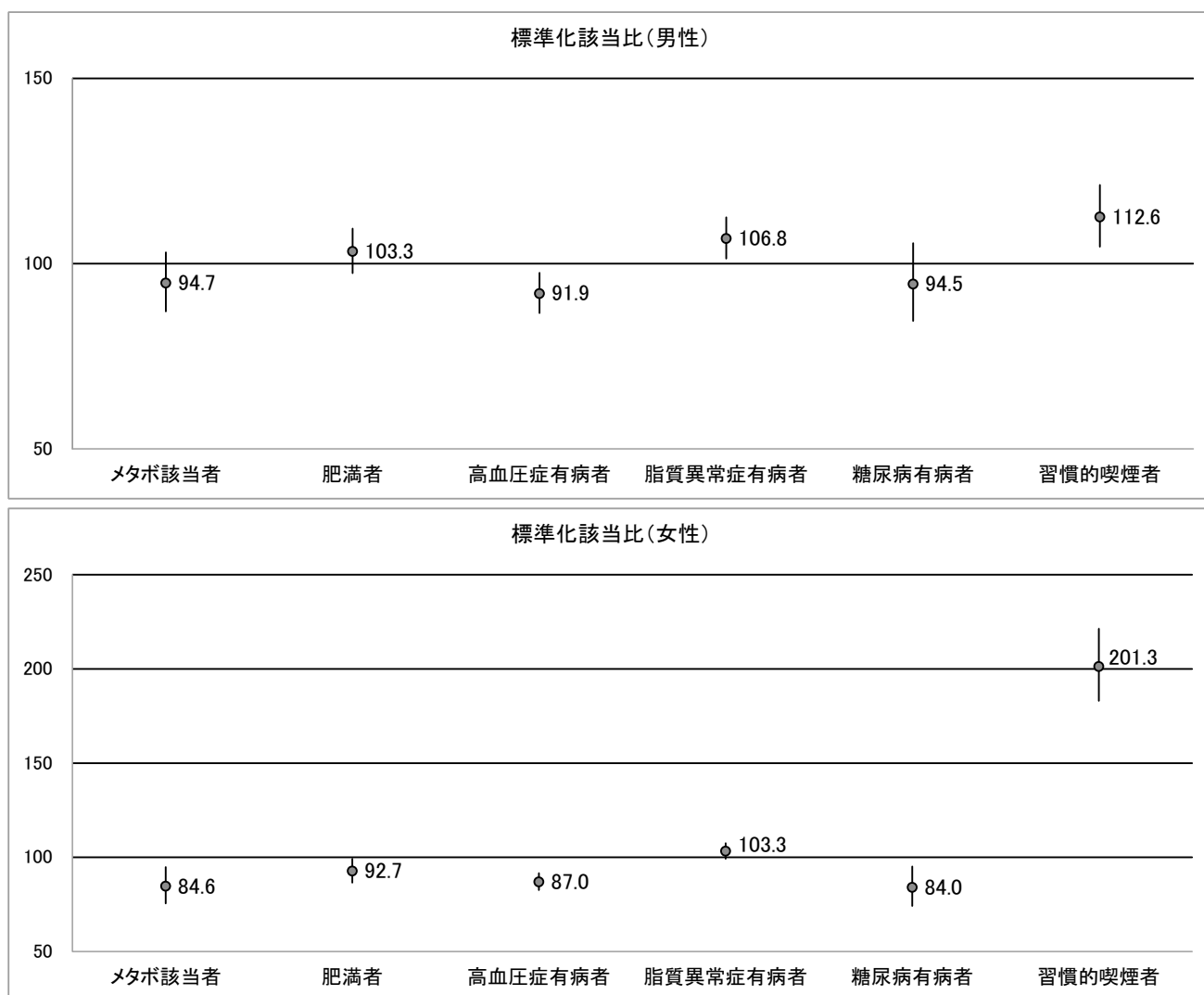
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1282	332	311.7	106.5	95.5	118.8	3	2225	188	217.9	86.3	74.6	99.8	1
メタボ予備群	1282	199	189.7	104.9	91.1	120.8	3	2225	97	121.2	80.1	65.3	98.1	1
肥満者	1282	624	581.5	107.3	99.1	116.2	3	2226	504	518.2	97.3	89.0	106.2	2
高血圧症有病者	1282	663	662.4	100.1	92.7	108.1	3	2225	1019	987.8	103.2	97.0	109.7	3
高血圧症予備群	1282	167	175.6	95.1	81.5	110.9	2	2225	284	318.5	89.2	79.2	100.3	2
血圧を下げる薬服用者	1282	470	441.8	106.4	97.1	116.6	3	2226	691	665.0	103.9	96.4	112.0	3
脂質異常症有病者	1282	701	694.4	100.9	93.7	108.8	3	2226	1303	1341.8	97.1	91.9	102.6	2
コレステロールを下げる薬服用者	1282	177	167.3	105.8	91.1	122.9	3	2226	534	517.6	103.2	94.7	112.4	3
糖尿病有病者	1282	227	184.6	123.0	107.7	140.3	4	2226	191	180.9	105.6	91.4	122.0	3
糖尿病予備群	1282	238	252.1	94.4	83.0	107.4	2	2226	428	439.7	97.3	88.4	107.1	2
血糖を下げる薬など服用者	1282	102	99.8	102.2	83.8	124.6	3	2226	87	98.4	88.4	71.3	109.6	2
習慣的喫煙者	1282	397	311.2	127.6	115.5	140.9	4	2226	303	107.0	283.1	252.6	317.3	4

伊東市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

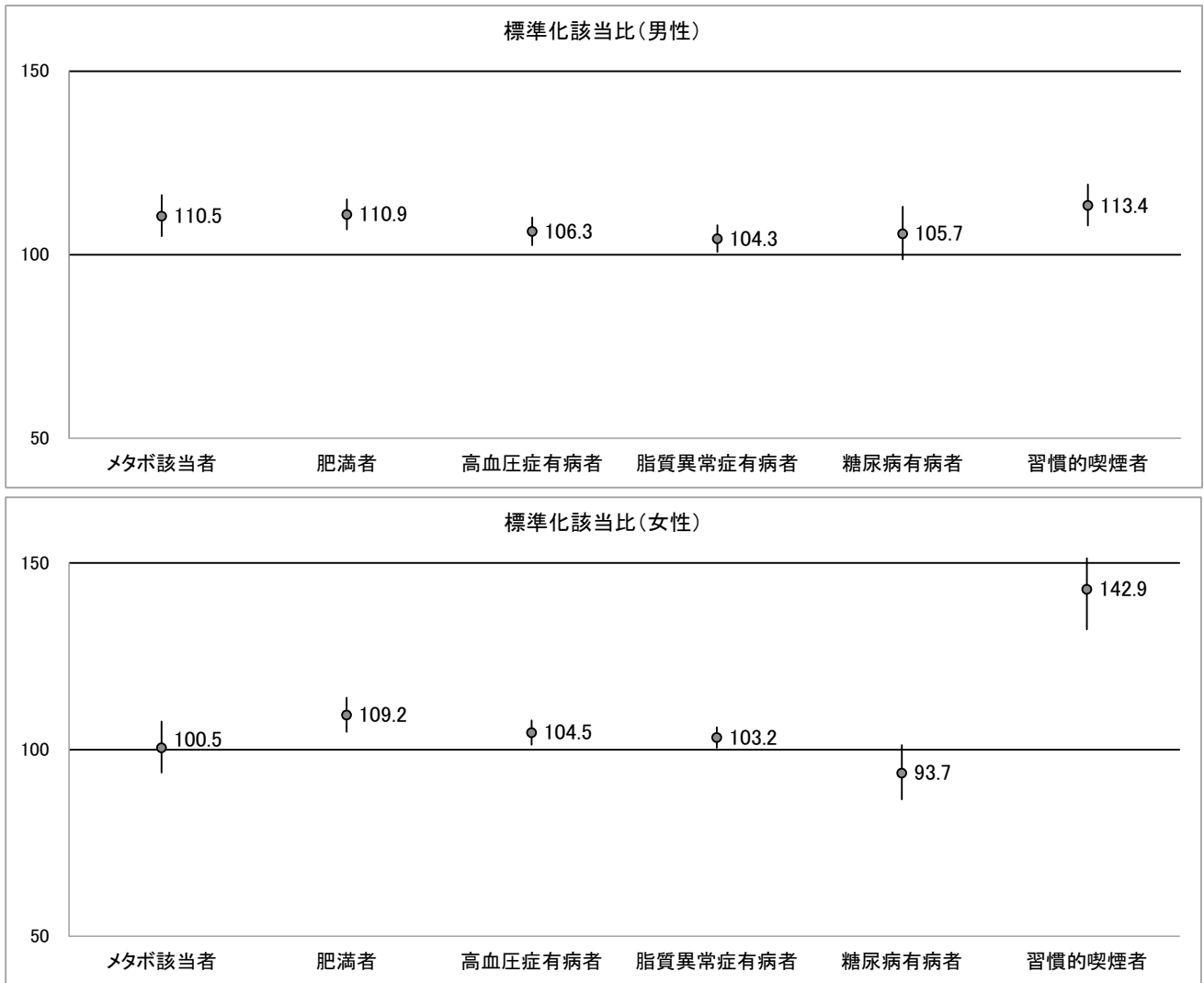
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2450	556	586.8	94.7	87.1	103.0	2	3977	307	362.7	84.6	75.6	94.8	1
メタボ予備群	2450	375	365.2	102.7	92.7	113.8	3	3977	187	209.2	89.4	77.3	103.4	2
肥満者	2452	1152	1115.5	103.3	97.4	109.5	3	3988	835	900.8	92.7	86.6	99.3	1
高血圧症有病者	2452	1116	1214.0	91.9	86.7	97.5	1	3986	1447	1663.7	87.0	82.6	91.6	1
高血圧症予備群	2452	351	339.0	103.6	93.1	115.1	3	3986	526	562.8	93.5	85.7	101.9	2
血圧を下げる薬服用者	2452	711	790.5	89.9	83.5	96.9	1	3990	889	1099.1	80.9	75.7	86.4	1
脂質異常症有病者	2456	1434	1342.9	106.8	101.4	112.5	4	3992	2427	2349.8	103.3	99.2	107.5	3
コレステロールを下げる薬服用者	2452	263	304.4	86.4	76.4	97.7	1	3990	651	863.8	75.4	69.7	81.4	1
糖尿病有病者	2451	321	339.8	94.5	84.5	105.5	2	3986	256	304.7	84.0	74.2	95.1	1
糖尿病予備群	2451	411	471.1	87.3	79.1	96.2	1	3986	606	763.7	79.3	73.2	86.0	1
血糖を下げる薬など服用者	2452	171	180.5	94.7	81.3	110.3	2	3990	125	163.3	76.6	64.0	91.5	1
習慣的喫煙者	2450	714	634.2	112.6	104.6	121.2	4	3989	436	216.6	201.3	183.0	221.3	4

沼津市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

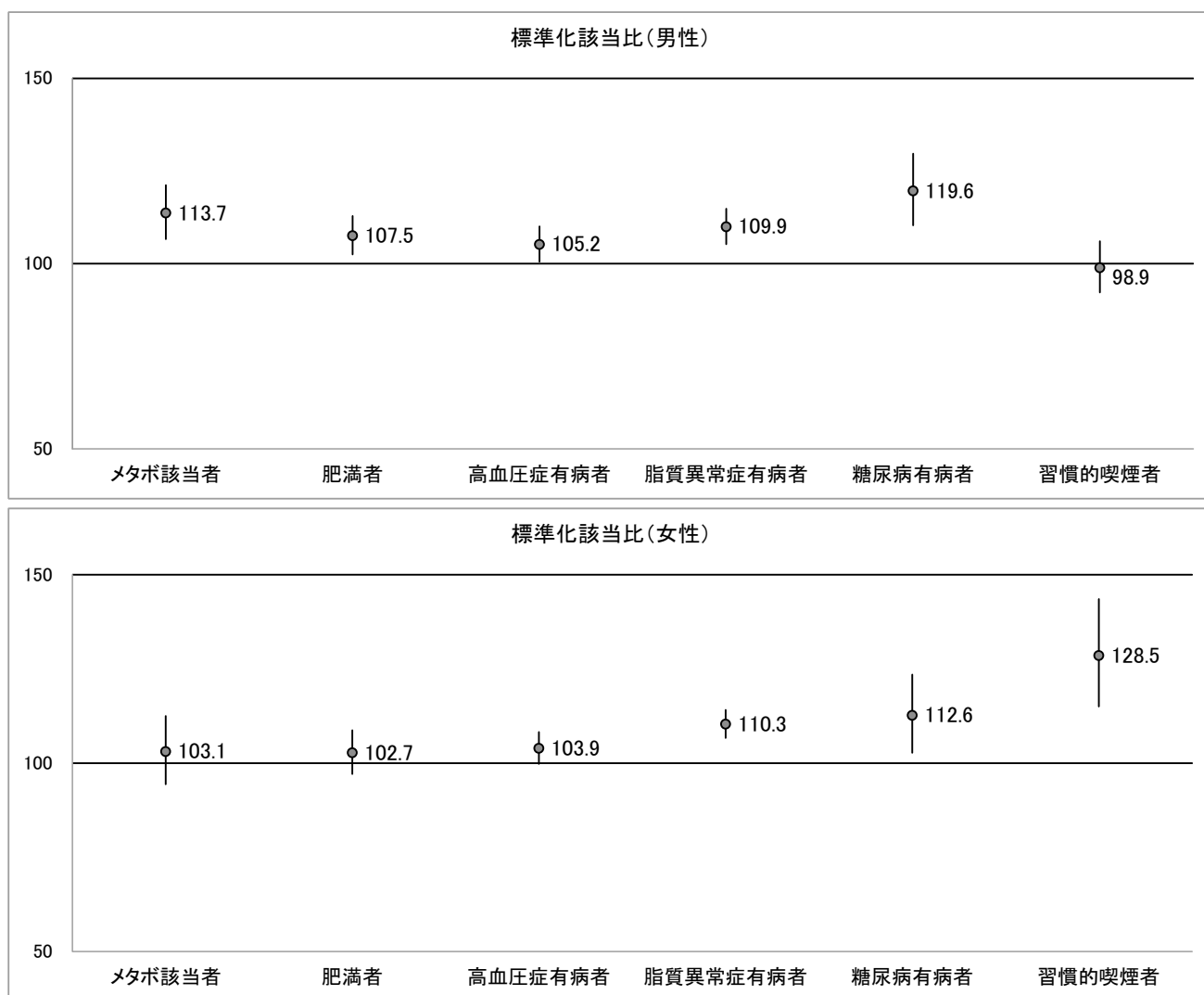
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	5634	1505	1361.9	110.5	105.0	116.3	4	8821	838	834.2	100.5	93.8	107.5	3
メタボ予備群	5634	930	835.1	111.4	104.4	118.8	4	8821	586	472.1	124.1	114.4	134.7	4
肥満者	5635	2837	2557.3	110.9	106.9	115.1	4	8822	2211	2023.8	109.2	104.8	113.9	4
高血圧症有病者	5634	3044	2863.3	106.3	102.6	110.2	4	8821	3972	3800.6	104.5	101.3	107.8	4
高血圧症予備群	5634	847	775.7	109.2	102.0	116.9	4	8821	1456	1253.6	116.1	110.3	122.3	4
血圧を下げる薬服用者	5635	1853	1889.6	98.1	93.7	102.7	2	8822	2478	2535.4	97.7	93.9	101.7	2
脂質異常症有病者	5635	3199	3065.9	104.3	100.8	108.0	4	8822	5422	5254.1	103.2	100.5	106.0	4
コレステロールを下げる薬服用者	5635	674	720.6	93.5	86.7	100.9	2	8822	1884	1982.7	95.0	90.8	99.4	1
糖尿病有病者	5635	845	799.6	105.7	98.7	113.1	3	8822	652	696.0	93.7	86.7	101.2	2
糖尿病予備群	5635	964	1100.3	87.6	82.2	93.4	1	8822	1310	1716.8	76.3	72.3	80.6	1
血糖を下げる薬など服用者	5635	420	428.7	98.0	88.9	107.9	2	8822	353	375.9	93.9	84.5	104.4	2
習慣的喫煙者	5635	1596	1407.1	113.4	108.0	119.2	4	8822	645	451.3	142.9	132.2	154.5	4

三島市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

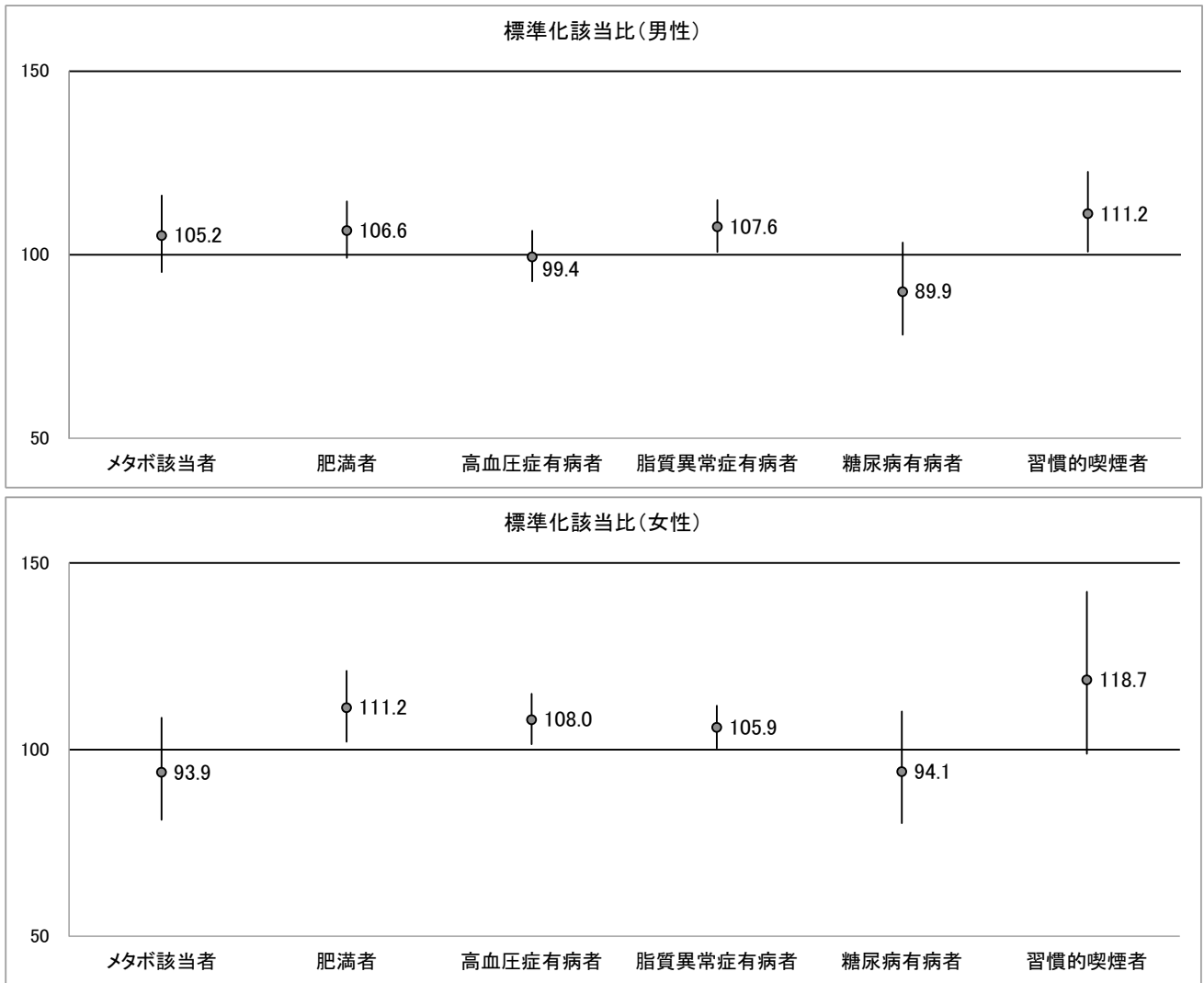
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	3438	954	839.3	113.7	106.6	121.2	4	5123	509	493.9	103.1	94.4	112.5	3
メタボ予備群	3438	507	505.9	100.2	91.8	109.4	3	5123	258	276.6	93.3	82.4	105.5	2
肥満者	3438	1671	1553.7	107.5	102.5	112.9	4	5123	1217	1184.5	102.7	97.1	108.7	3
高血圧症有病者	3438	1901	1807.4	105.2	100.5	110.0	4	5123	2337	2248.6	103.9	99.8	108.3	3
高血圧症予備群	3438	445	470.4	94.6	86.1	103.9	2	5123	678	732.4	92.6	85.8	99.9	1
血圧を下げる薬服用者	3438	1382	1215.3	113.7	107.8	119.9	4	5123	1725	1506.8	114.5	109.2	120.0	4
脂質異常症有病者	3437	2039	1854.7	109.9	105.2	114.8	4	5122	3397	3078.7	110.3	106.7	114.1	4
コレステロールを下げる薬服用者	3438	590	456.9	129.1	119.0	140.1	4	5123	1509	1178.5	128.0	121.7	134.7	4
糖尿病有病者	3438	601	502.4	119.6	110.4	129.7	4	5123	464	411.9	112.6	102.7	123.5	4
糖尿病予備群	3438	487	684.8	71.1	65.0	77.8	1	5123	591	1008.7	58.6	54.0	63.6	1
血糖を下げる薬など服用者	3438	409	273.2	149.7	135.7	165.1	4	5123	328	223.2	146.9	131.7	164.0	4
習慣的喫煙者	3438	804	813.0	98.9	92.2	106.0	2	5123	322	250.5	128.5	115.0	143.6	4

裾野市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

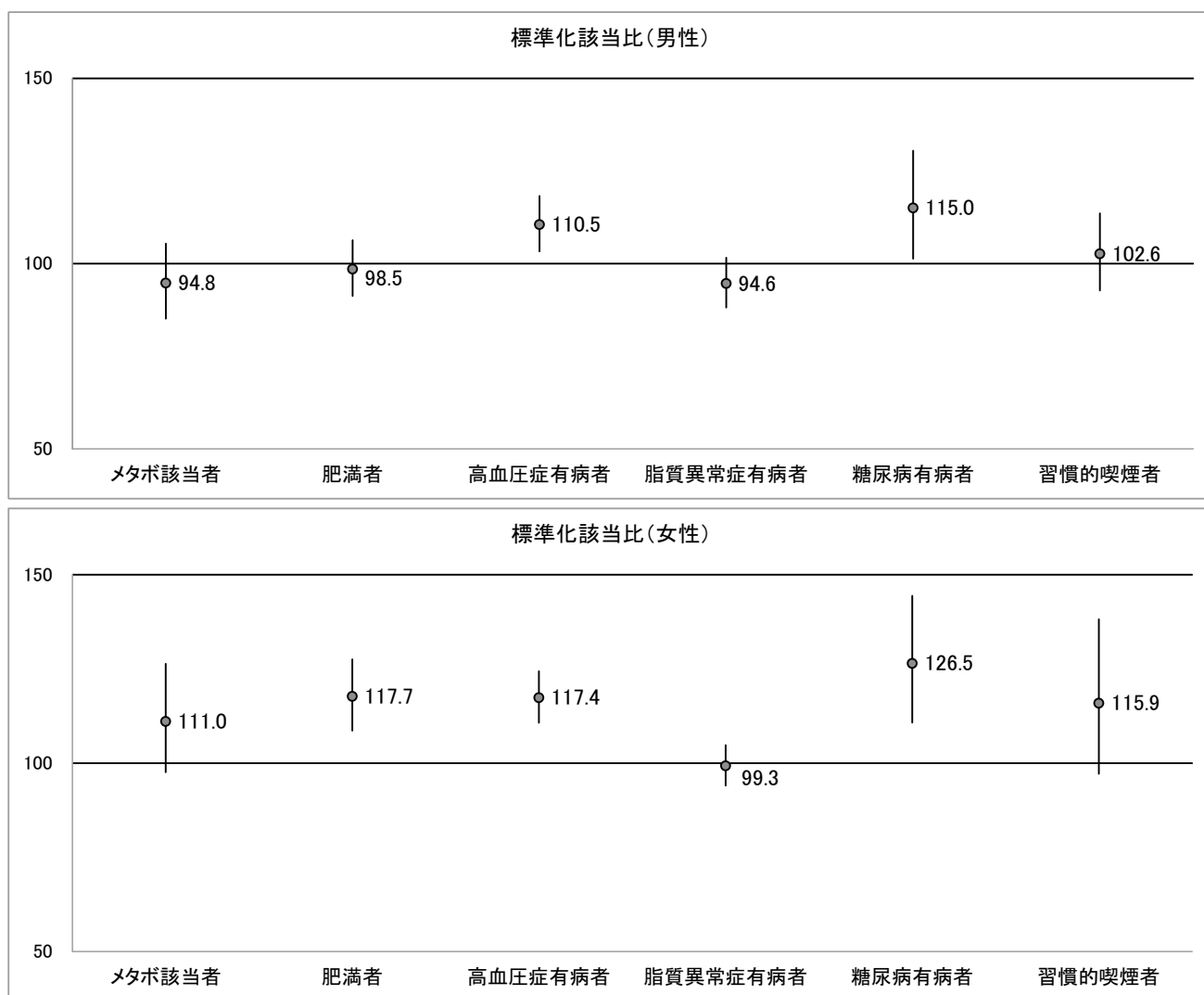
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1562	401	381.2	105.2	95.3	116.1	3	2105	189	201.3	93.9	81.2	108.5	2
メタボ予備群	1562	243	229.6	105.8	93.1	120.2	3	2105	122	113.3	107.7	89.8	129.1	3
肥満者	1562	752	705.5	106.6	99.2	114.6	3	2105	539	484.7	111.2	102.1	121.1	4
高血圧症有病者	1562	815	819.8	99.4	92.8	106.5	2	2105	995	921.5	108.0	101.4	115.0	4
高血圧症予備群	1562	252	214.3	117.6	103.7	133.3	4	2105	325	302.6	107.4	96.2	119.9	3
血圧を下げる薬服用者	1562	519	549.7	94.4	86.6	103.0	2	2105	658	615.0	107.0	99.0	115.6	3
脂質異常症有病者	1562	908	843.8	107.6	100.8	114.9	4	2105	1347	1271.7	105.9	100.4	111.8	4
コレステロールを下げる薬服用者	1562	170	207.0	82.1	70.5	95.7	1	2105	403	484.0	83.3	75.4	91.9	1
糖尿病有病者	1562	205	228.0	89.9	78.2	103.3	2	2105	159	169.0	94.1	80.3	110.2	2
糖尿病予備群	1562	245	311.6	78.6	69.2	89.3	1	2105	287	416.6	68.9	61.3	77.5	1
血糖を下げる薬など服用者	1562	102	123.6	82.5	67.6	100.6	2	2105	83	91.2	91.0	73.0	113.4	2
習慣的喫煙者	1562	413	371.4	111.2	100.8	122.6	4	2105	121	102.0	118.7	98.9	142.3	3

伊豆市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

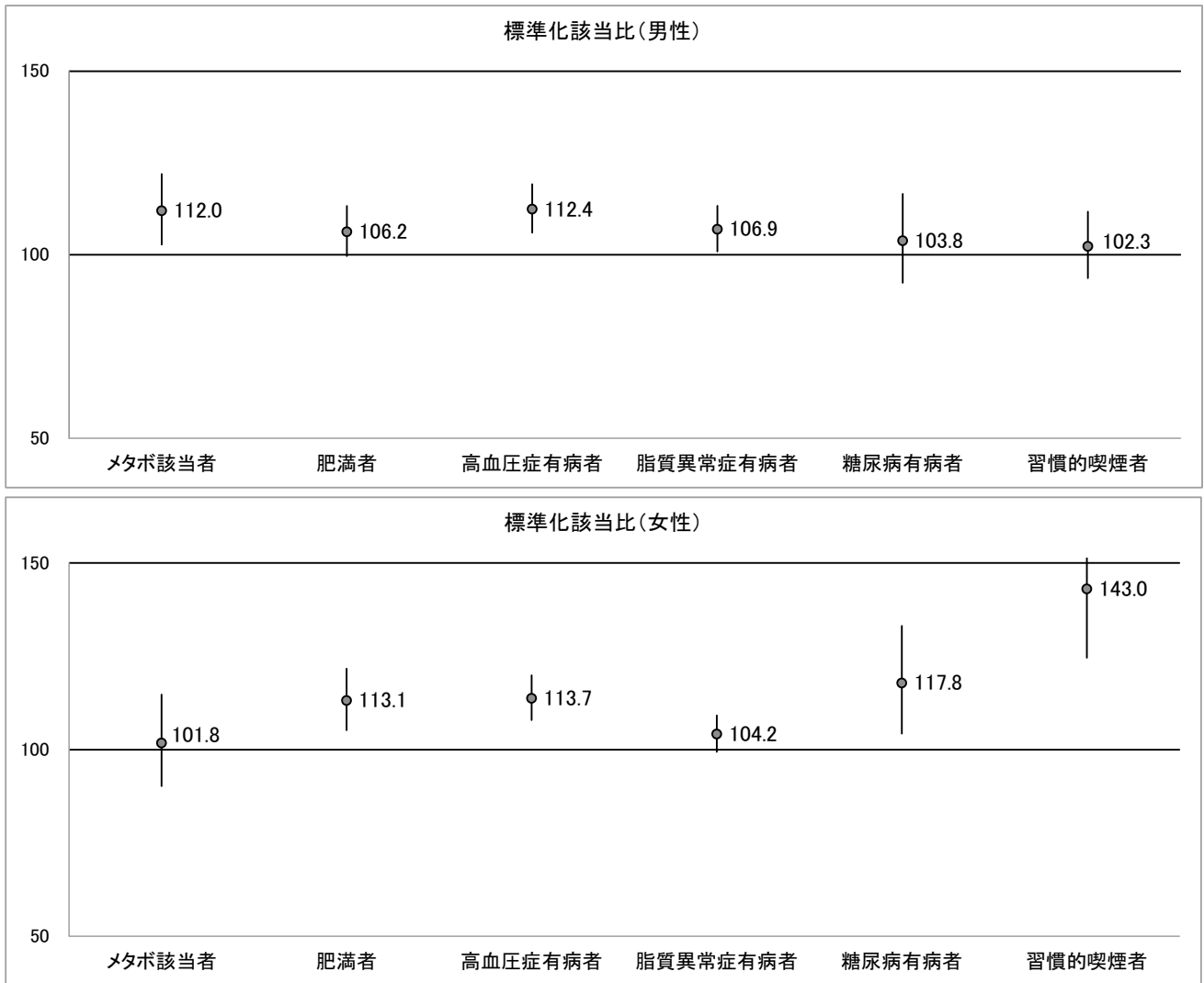
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1502	346	365.2	94.8	85.2	105.4	2	2233	237	213.4	111.0	97.6	126.4	3
メタボ予備群	1502	225	221.9	101.4	88.8	115.8	3	2233	139	120.1	115.7	97.7	137.1	3
肥満者	1502	671	681.1	98.5	91.3	106.3	2	2233	605	514.0	117.7	108.6	127.6	4
高血圧症有病者	1502	852	770.9	110.5	103.3	118.3	4	2233	1141	972.3	117.4	110.7	124.4	4
高血圧症予備群	1502	141	207.0	68.1	57.5	80.6	1	2233	230	319.4	72.0	63.1	82.1	1
血圧を下げる薬服用者	1502	627	509.2	123.1	113.8	133.3	4	2233	810	649.2	124.8	116.4	133.7	4
脂質異常症有病者	1502	774	817.9	94.6	88.1	101.6	2	2233	1333	1342.9	99.3	94.0	104.8	2
コレステロールを下げる薬服用者	1502	274	193.7	141.5	125.4	159.5	4	2233	623	506.7	122.9	113.6	133.1	4
糖尿病有病者	1502	248	215.6	115.0	101.3	130.5	4	2233	225	177.9	126.5	110.7	144.4	4
糖尿病予備群	1502	240	296.6	80.9	71.2	92.0	1	2233	422	439.2	96.1	87.2	105.8	2
血糖を下げる薬など服用者	1502	172	115.6	148.7	127.7	173.2	4	2233	162	96.1	168.6	144.1	197.2	4
習慣的喫煙者	1502	384	374.1	102.6	92.8	113.6	3	2233	129	111.3	115.9	97.1	138.2	3

伊豆の国市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

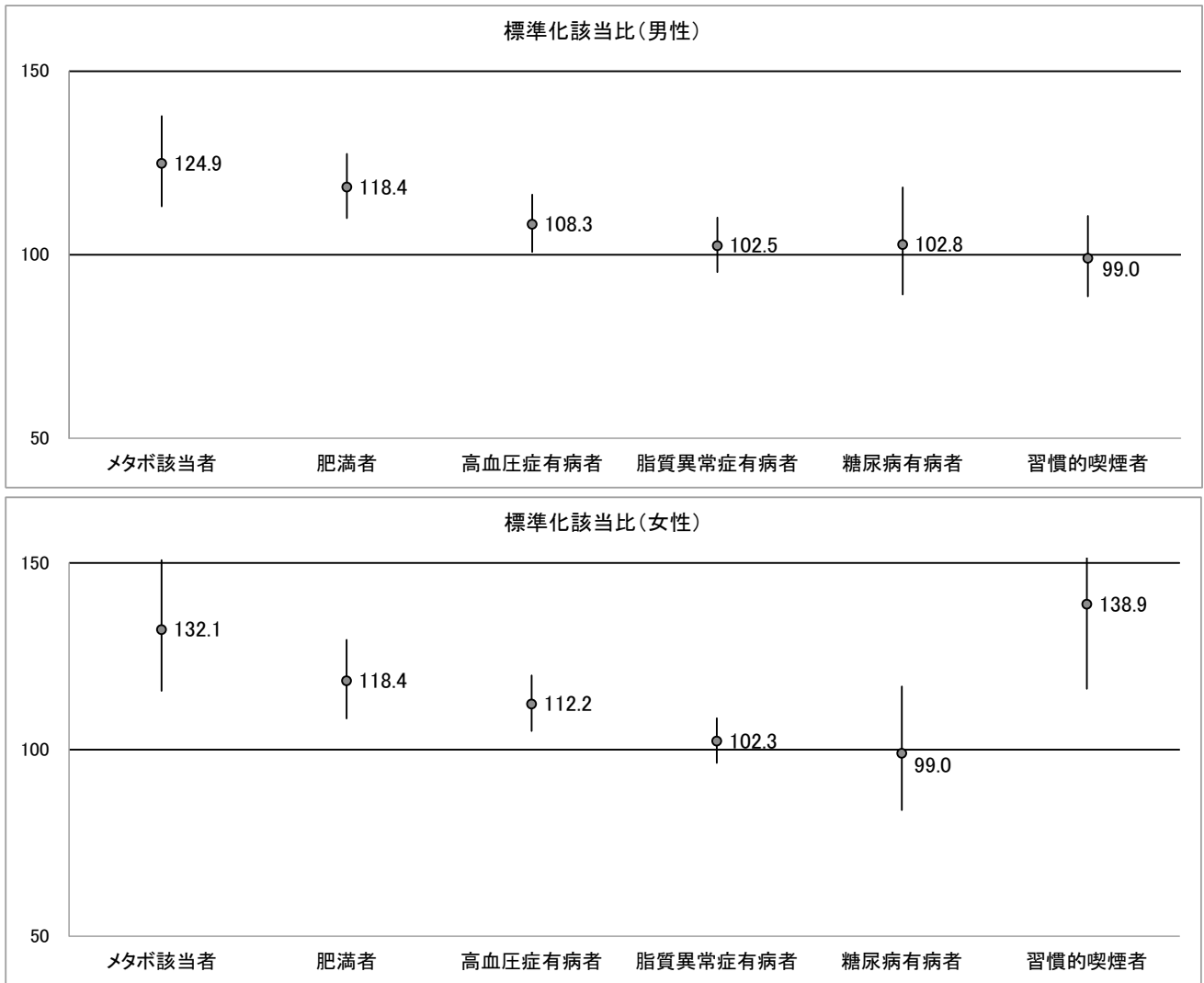
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1966	533	476.0	112.0	102.8	122.0	4	2860	273	268.3	101.8	90.2	114.8	3
メタボ予備群	1966	283	290.5	97.4	86.6	109.6	2	2860	119	152.5	78.1	64.9	93.7	1
肥満者	1966	946	890.4	106.2	99.6	113.3	3	2859	739	653.2	113.1	105.2	121.7	4
高血圧症有病者	1966	1129	1004.1	112.4	106.0	119.2	4	2860	1396	1227.4	113.7	107.9	119.9	4
高血圧症予備群	1966	183	271.3	67.4	58.2	78.1	1	2860	288	407.9	70.6	62.8	79.4	1
血圧を下げる薬服用者	1966	788	662.2	119.0	110.9	127.7	4	2860	1014	815.8	124.3	116.8	132.2	4
脂質異常症有病者	1966	1144	1069.9	106.9	100.9	113.4	4	2860	1781	1709.8	104.2	99.4	109.1	3
コレステロールを下げる薬服用者	1966	345	252.2	136.8	122.9	152.2	4	2860	823	640.3	128.5	120.0	137.7	4
糖尿病有病者	1965	291	280.4	103.8	92.4	116.6	3	2860	265	224.9	117.8	104.3	133.1	4
糖尿病予備群	1965	387	386.6	100.1	90.5	110.7	3	2860	622	558.6	111.3	102.8	120.5	4
血糖を下げる薬など服用者	1966	196	150.3	130.4	113.1	150.4	4	2860	172	121.0	142.2	122.1	165.5	4
習慣的喫煙者	1966	502	490.8	102.3	93.6	111.7	3	2860	209	146.1	143.0	124.6	164.1	4

函南町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

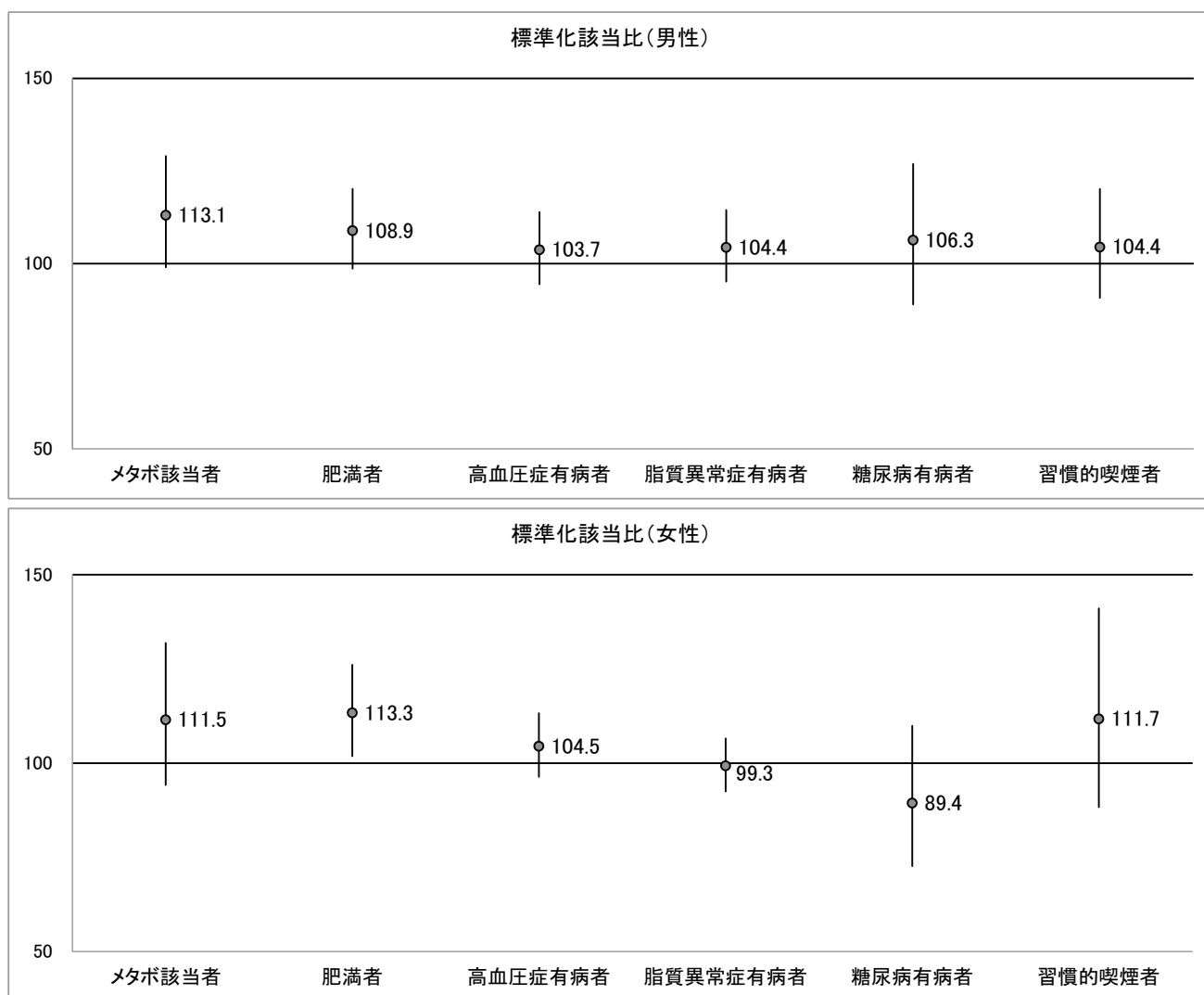
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1342	407	325.9	124.9	113.2	137.8	4	1842	227	171.8	132.1	115.7	150.8	4
メタボ予備群	1342	238	197.6	120.5	105.9	137.0	4	1842	112	97.9	114.4	94.6	138.2	3
肥満者	1342	718	606.3	118.4	110.0	127.5	4	1844	497	419.8	118.4	108.3	129.4	4
高血圧症有病者	1342	753	695.3	108.3	100.8	116.4	4	1842	889	792.5	112.2	105.0	119.9	4
高血圧症予備群	1342	174	184.8	94.1	80.9	109.5	2	1842	256	265.2	96.5	85.2	109.3	2
血圧を下げる薬服用者	1342	478	462.3	103.4	94.4	113.2	3	1844	554	524.9	105.5	97.0	114.8	3
脂質異常症有病者	1342	745	727.2	102.5	95.3	110.1	3	1842	1137	1112.0	102.3	96.4	108.4	3
コレステロールを下げる薬服用者	1342	184	175.1	105.1	90.7	121.7	3	1844	419	416.3	100.7	91.4	110.9	3
糖尿病有病者	1342	199	193.7	102.8	89.2	118.3	3	1842	144	145.4	99.0	83.8	116.9	2
糖尿病予備群	1342	302	266.0	113.5	101.2	127.3	4	1842	519	363.7	142.7	130.8	155.6	4
血糖を下げる薬など服用者	1342	117	104.3	112.2	93.2	134.9	3	1844	83	77.9	106.5	85.4	132.8	3
習慣的喫煙者	1342	323	326.2	99.0	88.7	110.6	2	1844	127	91.4	138.9	116.3	165.9	4

清水町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

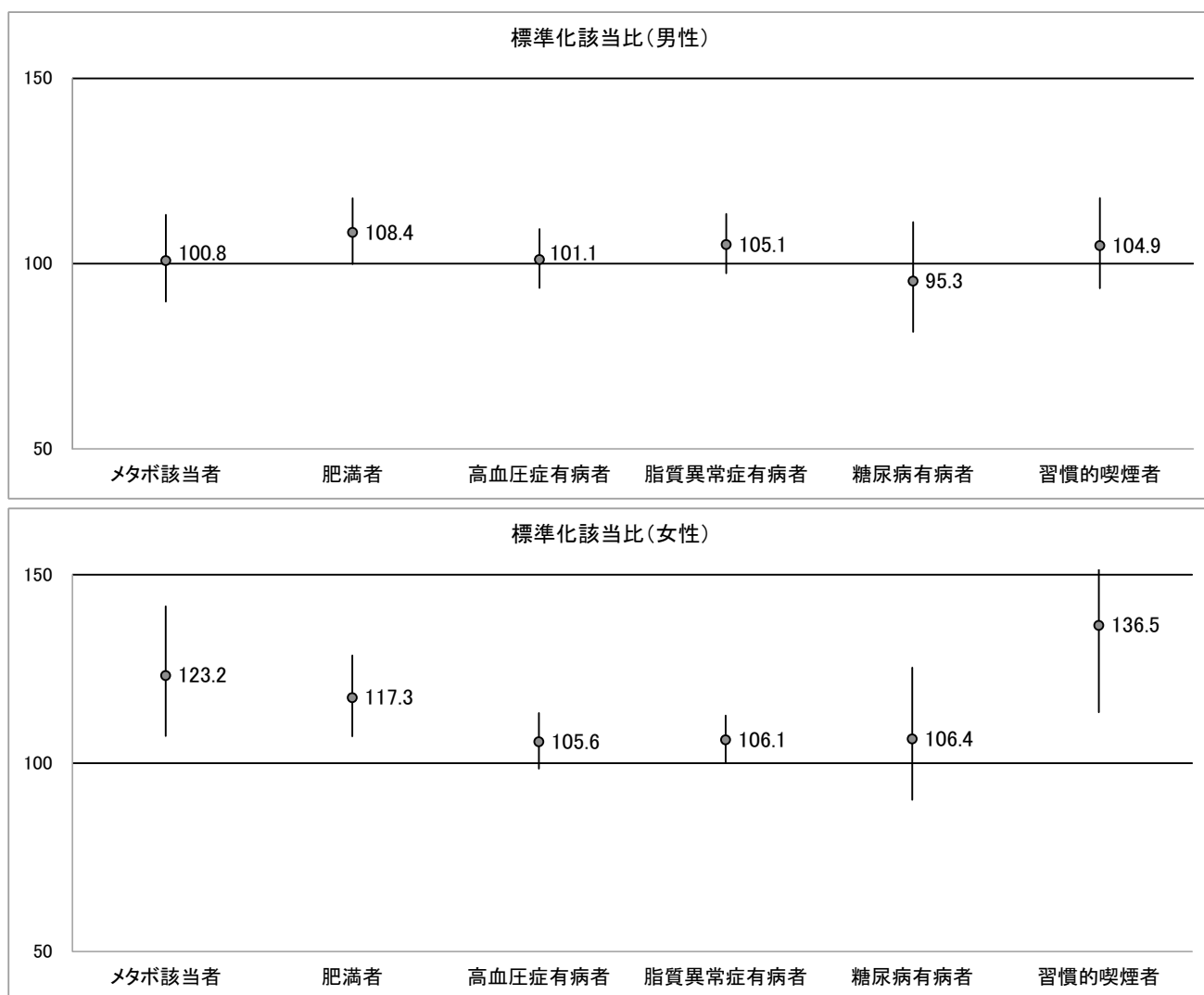
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	820	226	199.9	113.1	99.0	129.1	3	1319	141	126.5	111.5	94.2	131.9	3
メタボ予備群	820	128	121.1	105.7	88.5	126.1	3	1319	100	71.0	140.8	115.1	172.0	4
肥満者	820	404	371.0	108.9	98.6	120.2	3	1319	345	304.4	113.3	101.8	126.1	4
高血圧症有病者	820	446	430.0	103.7	94.4	113.9	3	1319	600	574.3	104.5	96.4	113.3	3
高血圧症予備群	820	122	112.1	108.9	90.8	130.5	3	1319	212	187.4	113.1	98.7	129.7	3
血圧を下げる薬服用者	820	308	289.4	106.4	95.0	119.2	3	1319	403	384.8	104.7	94.9	115.6	3
脂質異常症有病者	820	461	441.7	104.4	95.2	114.5	3	1319	780	785.8	99.3	92.5	106.5	2
コレステロールを下げる薬服用者	820	101	108.8	92.8	76.0	113.3	2	1319	283	300.5	94.2	83.7	106.0	2
糖尿病有病者	820	127	119.5	106.3	89.0	126.9	3	1319	94	105.1	89.4	72.6	109.9	2
糖尿病予備群	820	159	162.3	98.0	83.6	114.7	2	1319	205	257.0	79.8	69.4	91.6	1
血糖を下げる薬など服用者	820	69	65.1	106.1	83.1	135.1	3	1319	45	57.0	78.9	58.2	106.6	2
習慣的喫煙者	820	202	193.4	104.4	90.8	120.1	3	1319	74	66.2	111.7	88.3	141.1	3

長泉町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

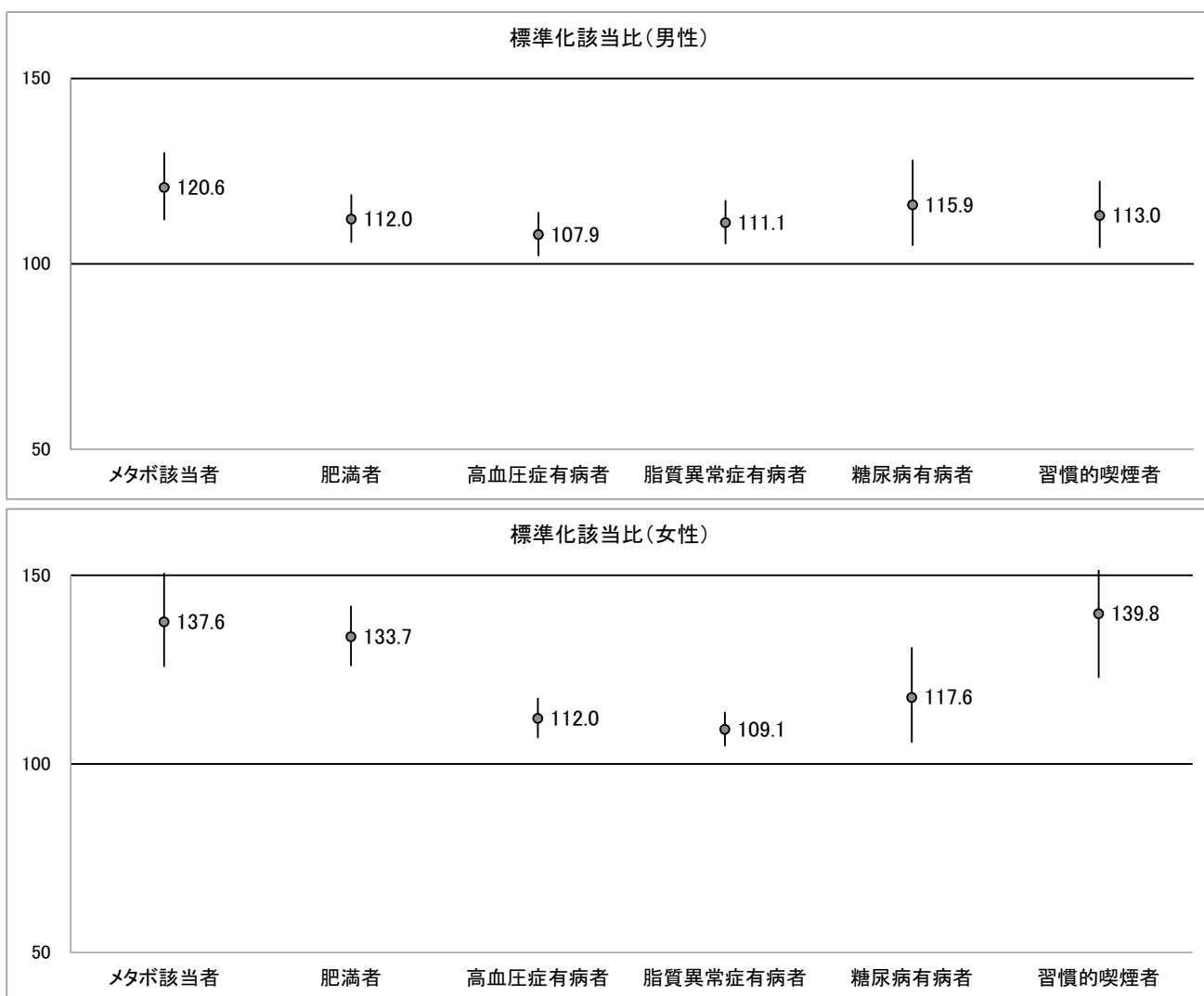
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1191	293	290.7	100.8	89.7	113.2	3	1745	205	166.4	123.2	107.2	141.6	4
メタボ予備群	1191	208	175.1	118.8	103.5	136.4	4	1745	113	93.6	120.7	99.9	145.7	3
肥満者	1191	583	537.7	108.4	99.9	117.7	3	1745	471	401.4	117.3	107.1	128.6	4
高血圧症有病者	1191	634	627.2	101.1	93.4	109.3	3	1745	802	759.1	105.6	98.5	113.3	3
高血圧症予備群	1191	184	163.1	112.8	97.4	130.6	3	1745	287	249.2	115.2	102.4	129.5	4
血圧を下げる薬服用者	1191	421	421.8	99.8	90.6	109.9	2	1745	522	506.9	103.0	94.4	112.3	3
脂質異常症有病者	1191	675	642.1	105.1	97.4	113.4	3	1745	1110	1045.7	106.1	100.0	112.6	4
コレステロールを下げる薬服用者	1191	133	158.6	83.9	70.5	99.7	1	1745	392	398.0	98.5	89.1	108.9	2
糖尿病有病者	1191	166	174.2	95.3	81.6	111.2	2	1745	148	139.1	106.4	90.3	125.4	3
糖尿病予備群	1191	183	237.5	77.0	66.5	89.3	1	1745	250	342.4	73.0	64.4	82.8	1
血糖を下げる薬など服用者	1191	96	94.7	101.4	82.5	124.3	3	1745	83	75.1	110.5	88.5	137.6	3
習慣的喫煙者	1191	294	280.4	104.9	93.4	117.7	3	1745	118	86.4	136.5	113.5	164.1	4

御殿場市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

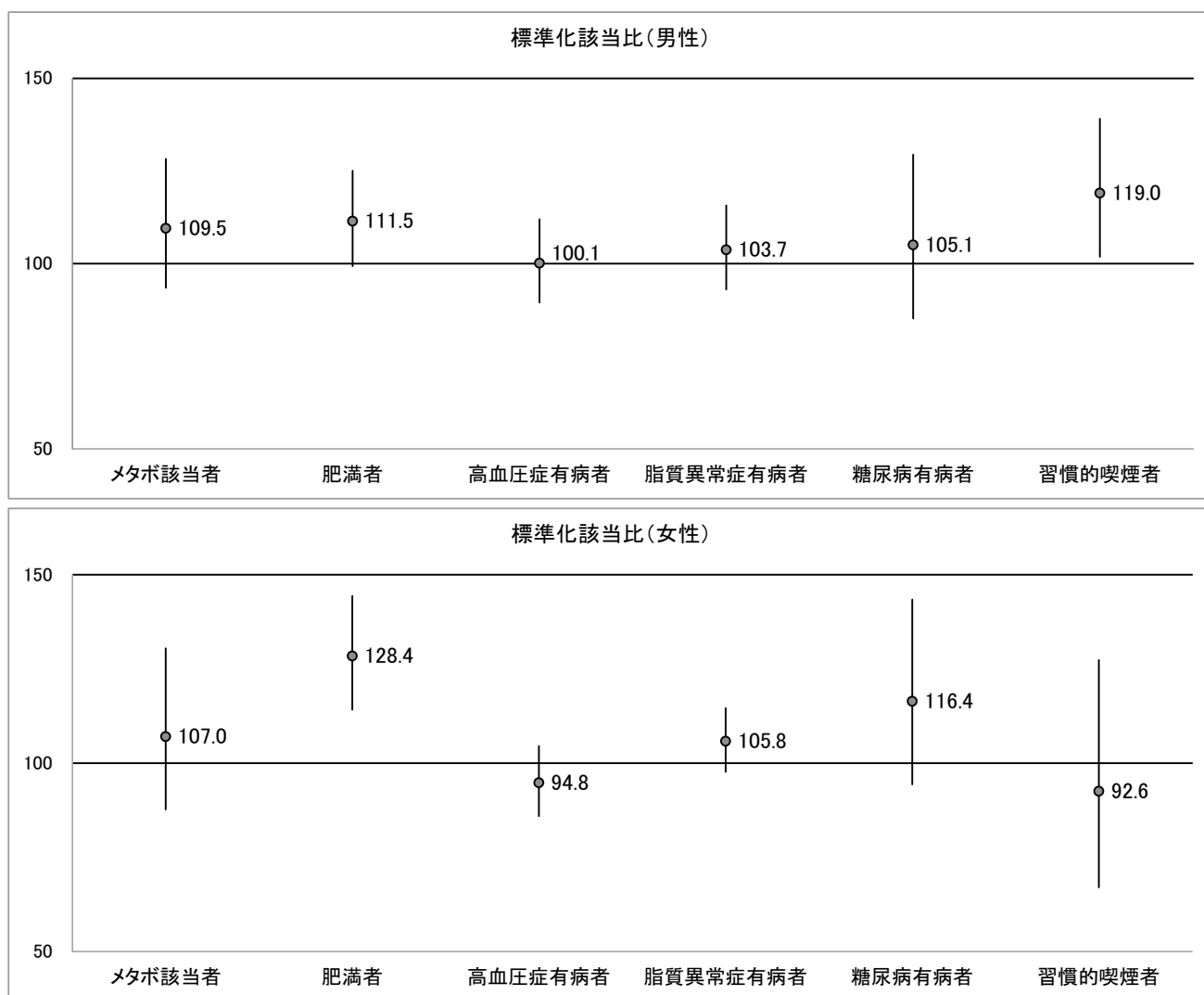
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2394	706	585.5	120.6	111.9	129.9	4	3642	493	358.2	137.6	125.9	150.5	4
メタボ予備群	2394	348	352.9	98.6	88.7	109.7	2	3642	244	198.8	122.7	108.0	139.4	4
肥満者	2399	1217	1086.1	112.0	105.9	118.6	4	3645	1137	850.3	133.7	126.1	141.8	4
高血圧症有病者	2396	1361	1261.2	107.9	102.3	113.8	4	3642	1820	1624.3	112.0	107.0	117.3	4
高血圧症予備群	2396	339	327.3	103.6	93.0	115.4	3	3642	527	521.8	101.0	92.6	110.1	3
血圧を下げる薬服用者	2394	983	848.8	115.8	108.7	123.3	4	3644	1395	1095.7	127.3	120.8	134.2	4
脂質異常症有病者	2396	1436	1292.5	111.1	105.5	117.0	4	3642	2399	2198.6	109.1	104.8	113.6	4
コレステロールを下げる薬服用者	2394	412	319.1	129.1	117.1	142.4	4	3644	986	853.3	115.6	108.5	123.1	4
糖尿病有病者	2394	406	350.2	115.9	105.1	127.9	4	3644	350	297.6	117.6	105.8	130.8	4
糖尿病予備群	2394	338	476.1	71.0	63.7	79.1	1	3644	456	721.5	63.2	57.6	69.3	1
血糖を下げる薬など服用者	2394	256	190.7	134.3	118.6	152.0	4	3644	217	162.1	133.9	116.9	153.2	4
習慣的喫煙者	2394	636	562.8	113.0	104.5	122.2	4	3644	242	173.1	139.8	123.0	158.8	4

小山町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

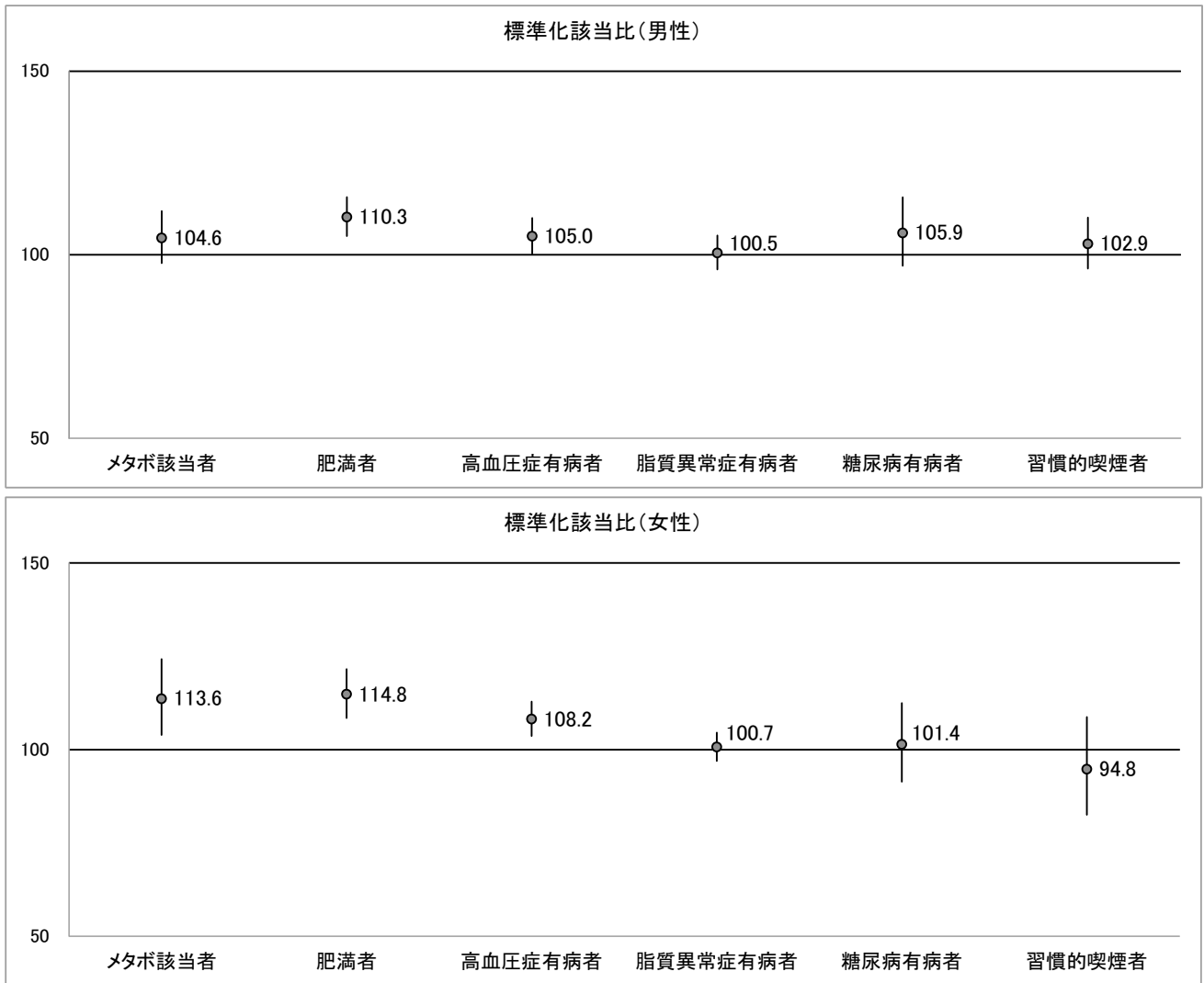
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	590	159	145.2	109.5	93.5	128.3	3	950	102	95.3	107.0	87.7	130.5	3
メタボ予備群	590	95	86.6	109.8	89.3	134.8	3	950	59	52.4	112.7	86.5	146.4	3
肥満者	590	297	266.5	111.5	99.3	125.1	3	950	287	223.5	128.4	114.2	144.4	4
高血圧症有病者	590	315	314.6	100.1	89.5	112.0	3	950	409	431.6	94.8	85.9	104.5	2
高血圧症予備群	590	80	80.8	99.1	79.1	124.0	2	950	128	136.8	93.6	78.4	111.7	2
血圧を下げる薬服用者	590	261	212.2	123.0	108.7	139.1	4	950	345	292.5	118.0	106.0	131.3	4
脂質異常症有病者	590	330	318.2	103.7	93.0	115.7	3	950	612	578.4	105.8	97.7	114.6	3
コレステロールを下げる薬服用者	590	93	79.5	117.0	94.9	144.0	3	950	311	227.3	136.8	122.2	153.1	4
糖尿病有病者	590	92	87.6	105.1	85.2	129.5	3	950	92	79.0	116.4	94.4	143.4	3
糖尿病予備群	590	109	119.0	91.6	75.6	110.9	2	950	127	190.2	66.8	55.9	79.7	1
血糖を下げる薬など服用者	590	54	47.7	113.2	85.9	148.9	3	950	52	43.2	120.3	90.7	159.0	3
習慣的喫煙者	590	164	137.8	119.0	101.8	139.1	4	950	40	43.2	92.6	67.0	127.3	2

富士宮市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

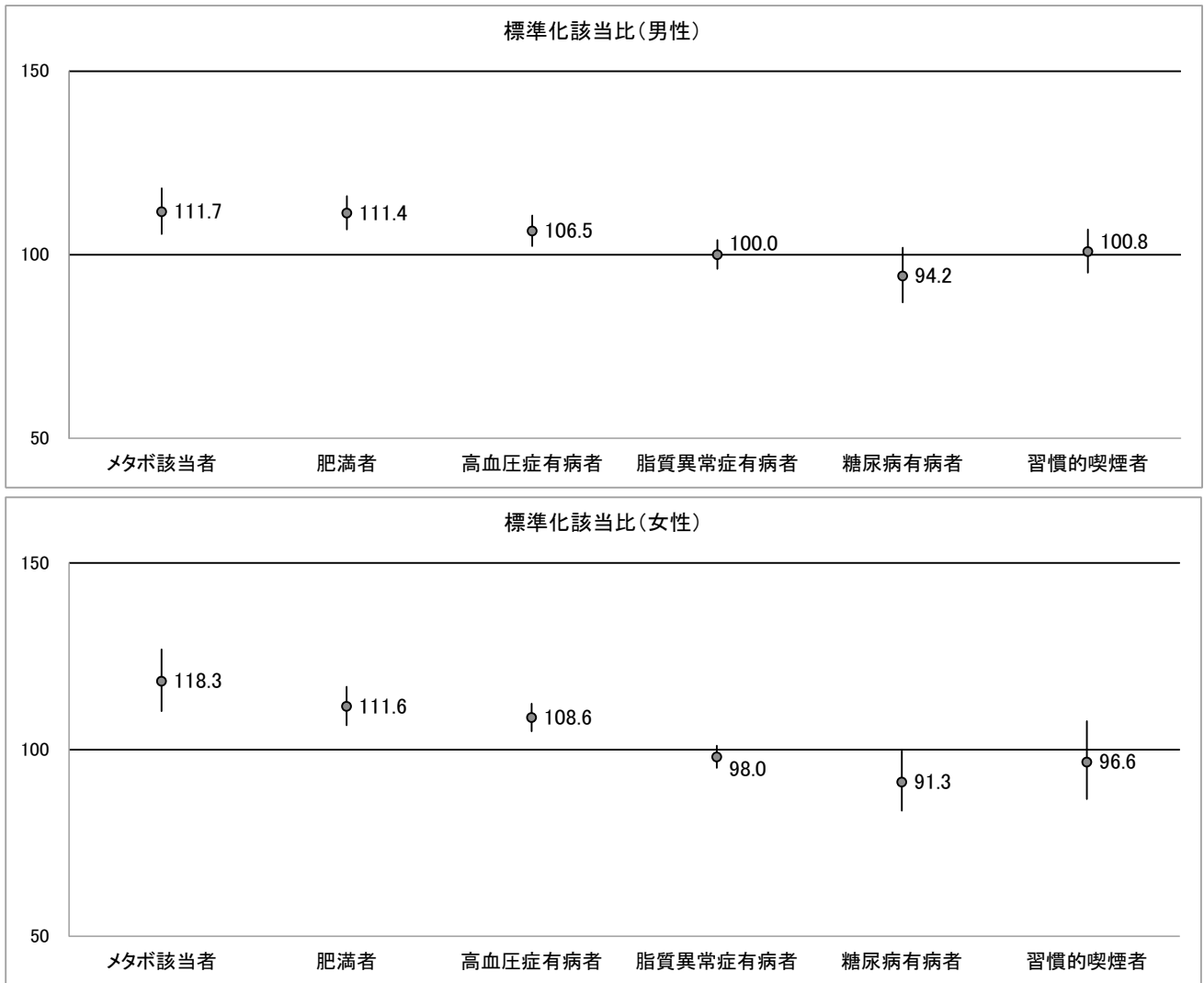
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	3358	850	812.9	104.6	97.7	111.9	3	4513	492	433.0	113.6	103.9	124.2	4
メタボ予備群	3358	584	497.3	117.4	108.2	127.5	4	4513	306	243.1	125.9	112.3	141.0	4
肥満者	3358	1679	1522.7	110.3	105.1	115.7	4	4513	1195	1040.6	114.8	108.5	121.6	4
高血圧症有病者	3358	1801	1714.7	105.0	100.3	110.0	4	4513	2137	1975.8	108.2	103.6	112.9	4
高血圧症予備群	3358	482	462.8	104.2	95.2	114.0	3	4513	647	646.9	100.0	92.5	108.1	3
血圧を下げる薬服用者	3358	1216	1133.2	107.3	101.4	113.6	4	4513	1426	1320.7	108.0	102.5	113.8	4
脂質異常症有病者	3358	1834	1824.9	100.5	96.0	105.2	3	4513	2738	2719.8	100.7	97.0	104.5	3
コレステロールを下げる薬服用者	3358	422	431.3	97.8	88.8	107.7	2	4513	1042	1034.9	100.7	94.7	107.0	3
糖尿病有病者	3358	507	478.7	105.9	97.0	115.7	3	4513	367	361.9	101.4	91.4	112.5	3
糖尿病予備群	3358	580	658.3	88.1	81.2	95.7	1	4513	651	890.7	73.1	67.6	79.0	1
血糖を下げる薬など服用者	3358	258	256.9	100.4	88.7	113.7	3	4513	195	195.6	99.7	86.4	115.0	2
習慣的喫煙者	3358	858	833.4	102.9	96.2	110.1	3	4513	209	220.6	94.8	82.5	108.7	2

富士市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

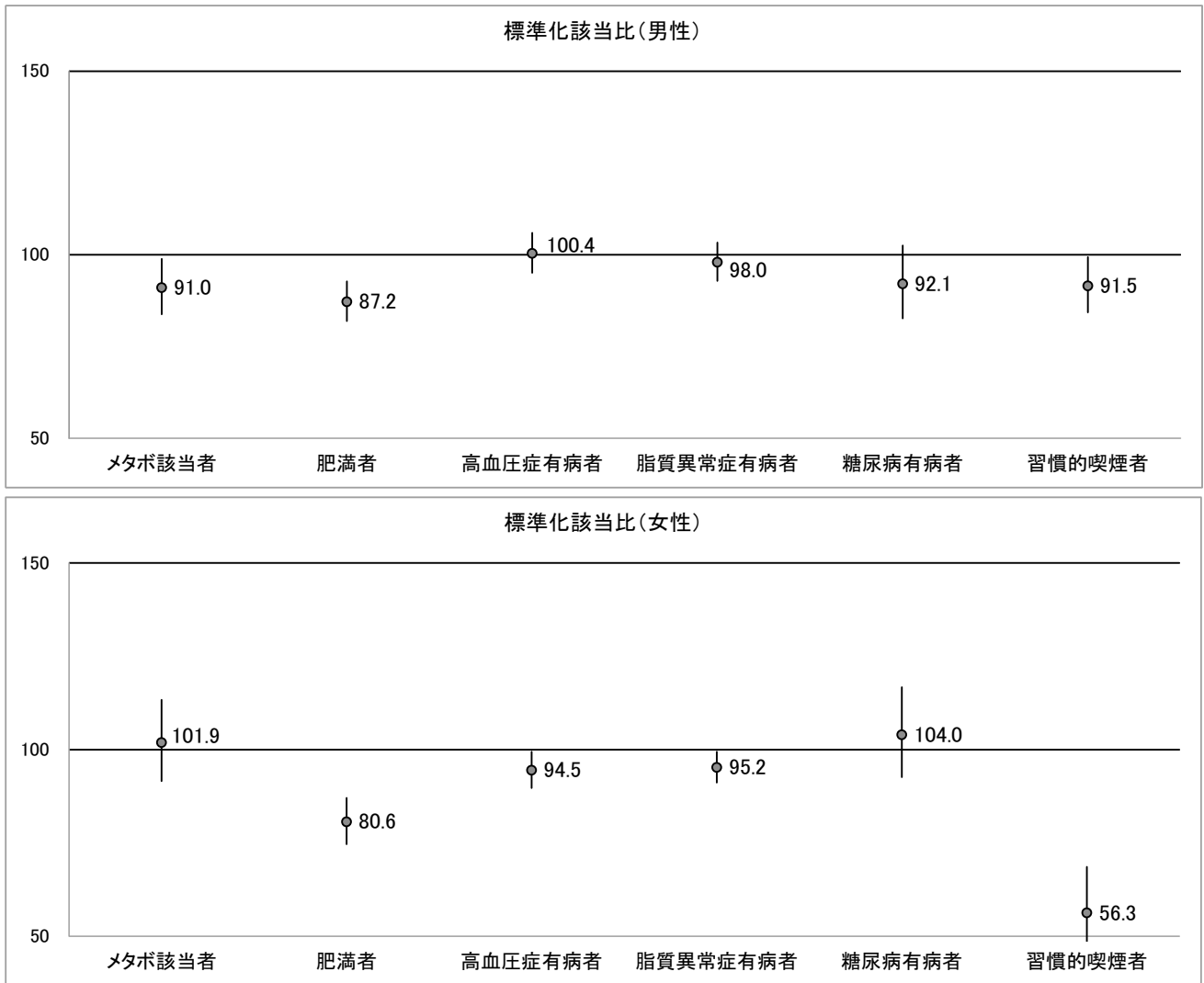
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	4622	1253	1121.8	111.7	105.6	118.1	4	7079	797	673.8	118.3	110.3	126.9	4
メタボ予備群	4622	771	682.8	112.9	105.2	121.3	4	7079	484	380.0	127.4	116.4	139.4	4
肥満者	4623	2332	2094.3	111.4	106.9	116.0	4	7079	1815	1627.0	111.6	106.5	116.8	4
高血圧症有病者	4622	2534	2380.1	106.5	102.4	110.7	4	7079	3342	3078.6	108.6	104.9	112.3	4
高血圧症予備群	4622	631	635.4	99.3	91.8	107.4	2	7079	1065	1013.1	105.1	98.9	111.7	3
血圧を下げる薬服用者	4623	1653	1581.2	104.5	99.6	109.7	3	7079	2254	2054.0	109.7	105.3	114.4	4
脂質異常症有病者	4623	2509	2508.8	100.0	96.2	104.0	3	7078	4170	4253.8	98.0	95.1	101.1	2
コレステロールを下げる薬服用者	4623	640	599.8	106.7	98.7	115.4	3	7079	1641	1611.9	101.8	97.0	106.9	3
糖尿病有病者	4623	625	663.7	94.2	87.0	101.9	2	7079	515	564.2	91.3	83.7	99.6	1
糖尿病予備群	4623	851	910.9	93.4	87.3	100.0	1	7079	1226	1392.2	88.1	83.2	93.2	1
血糖を下げる薬など服用者	4623	352	357.4	98.5	88.6	109.5	2	7079	296	304.4	97.2	86.6	109.1	2
習慣的喫煙者	4623	1142	1132.5	100.8	95.1	106.9	3	7079	339	350.8	96.6	86.7	107.6	2

島田市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

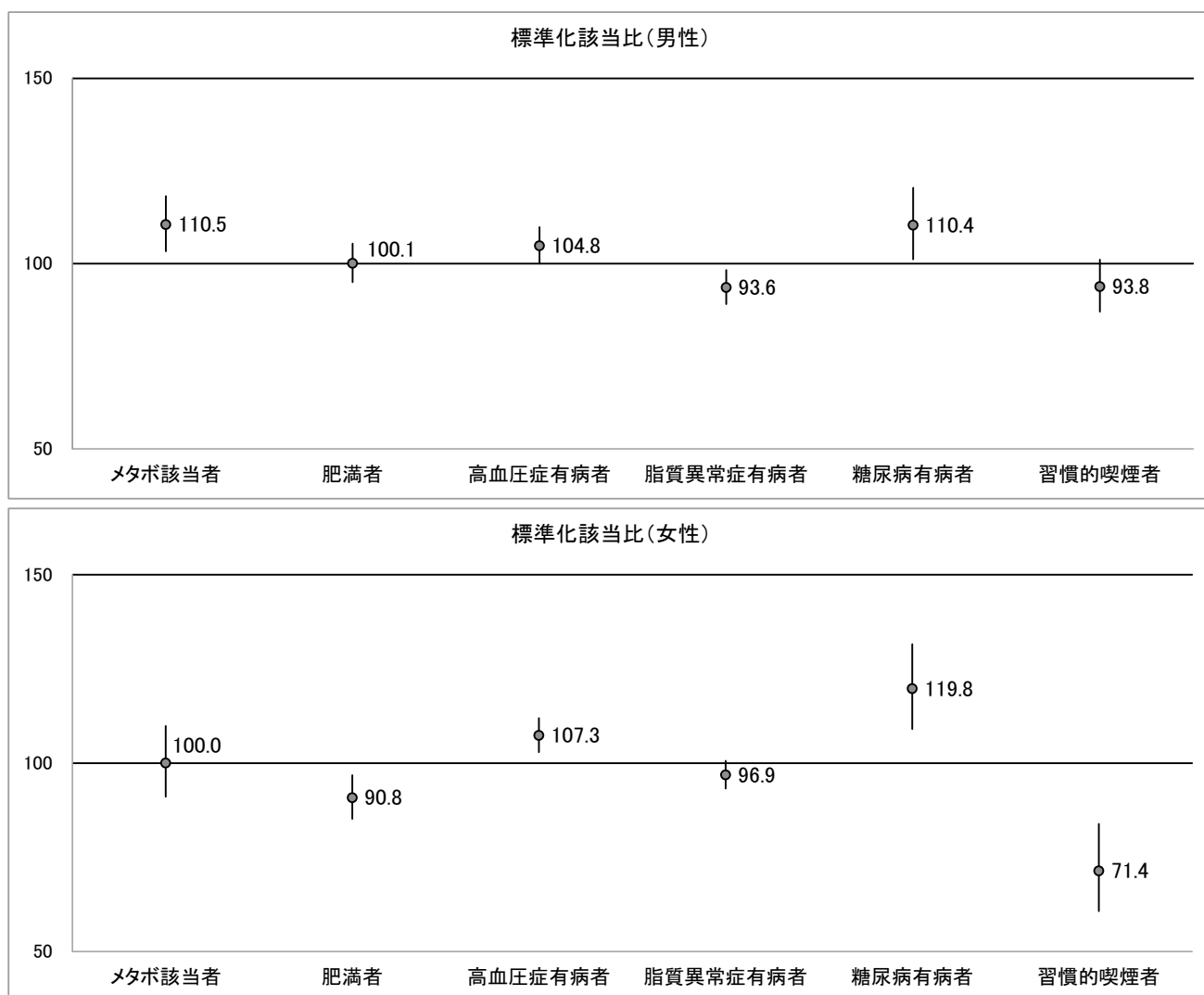
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2573	569	625.1	91.0	83.8	98.9	1	3592	347	340.6	101.9	91.6	113.3	3
メタボ予備群	2573	309	380.4	81.2	72.5	90.9	1	3592	127	192.6	65.9	55.2	78.7	1
肥満者	2573	1017	1166.8	87.2	81.9	92.7	1	3592	665	824.8	80.6	74.7	87.0	1
高血圧症有病者	2573	1327	1322.2	100.4	95.1	106.0	3	3592	1468	1554.2	94.5	89.7	99.4	1
高血圧症予備群	2573	338	354.0	95.5	85.7	106.4	2	3592	448	512.7	87.4	79.6	95.9	1
血圧を下げる薬服用者	2573	804	875.6	91.8	85.6	98.5	1	3592	904	1036.3	87.2	81.7	93.2	1
脂質異常症有病者	2573	1370	1398.6	98.0	92.9	103.3	2	3592	2048	2151.3	95.2	91.1	99.4	1
コレステロールを下げる薬服用者	2573	338	332.7	101.6	91.2	113.2	3	3592	842	810.9	103.8	97.0	111.2	3
糖尿病有病者	2573	340	369.3	92.1	82.7	102.5	2	3592	296	284.7	104.0	92.6	116.7	3
糖尿病予備群	2573	747	506.9	147.4	137.1	158.4	4	3592	1226	703.2	174.3	164.8	184.4	4
血糖を下げる薬など服用者	2573	156	198.5	78.6	67.0	92.2	1	3592	133	153.6	86.6	72.8	103.0	2
習慣的喫煙者	2573	582	635.9	91.5	84.3	99.3	1	3592	102	181.3	56.3	46.1	68.6	1

焼津市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

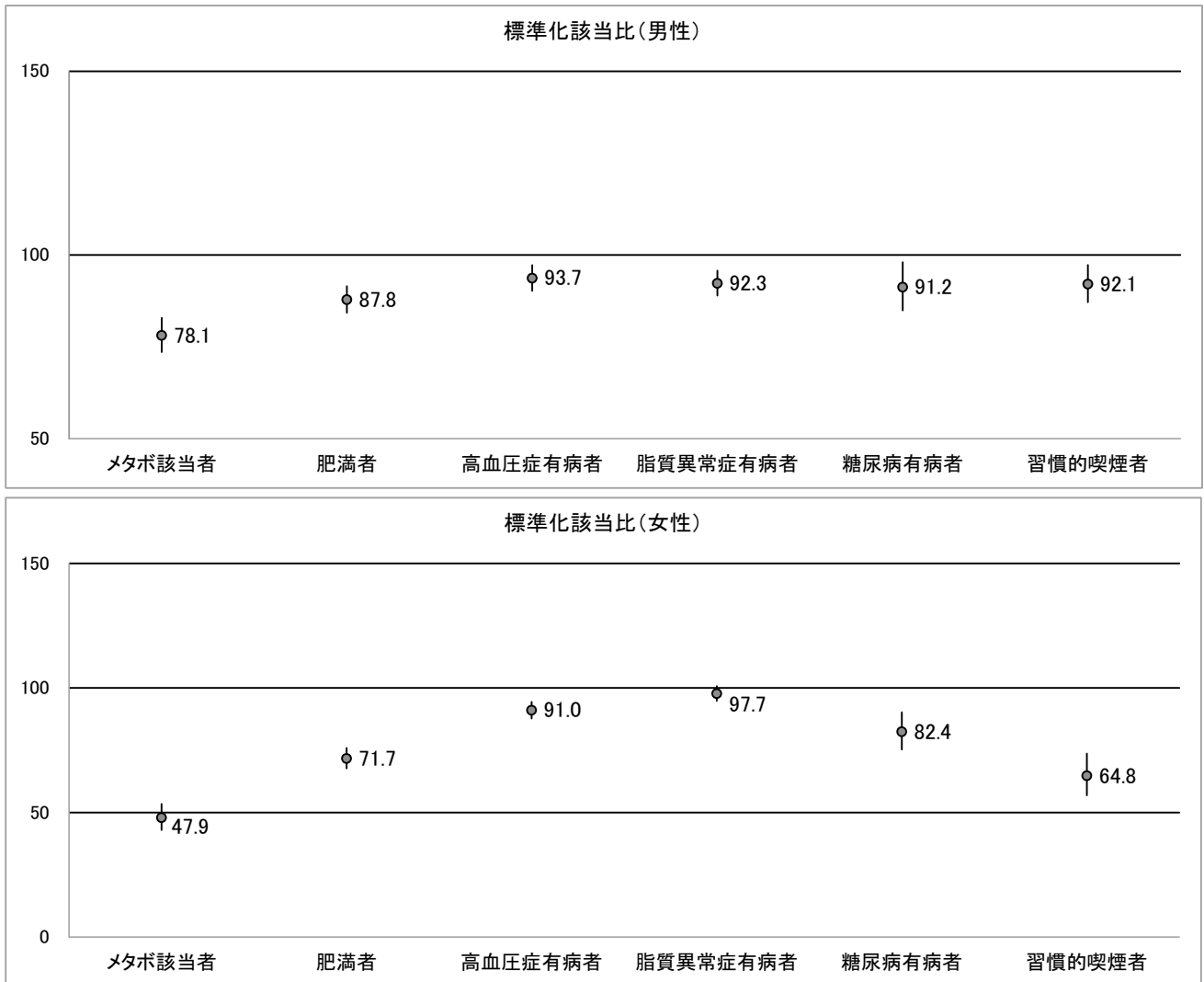
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	3161	857	775.4	110.5	103.3	118.2	4	4564	446	445.8	100.0	91.1	109.9	3
メタボ予備群	3161	414	465.0	89.0	80.8	98.1	1	4564	148	248.1	59.7	50.6	70.3	1
肥満者	3163	1432	1431.0	100.1	95.0	105.4	3	4564	963	1060.4	90.8	85.2	96.8	1
高血圧症有病者	3161	1753	1672.7	104.8	100.0	109.9	3	4564	2181	2032.0	107.3	102.9	112.0	4
高血圧症予備群	3161	448	432.3	103.6	94.4	113.8	3	4564	741	657.3	112.7	104.8	121.2	4
血圧を下げる薬服用者	3161	1195	1126.3	106.1	100.2	112.3	4	4564	1471	1364.7	107.8	102.4	113.5	4
脂質異常症有病者	3161	1596	1705.8	93.6	89.1	98.3	1	4564	2685	2771.8	96.9	93.3	100.6	2
コレステロールを下げる薬服用者	3161	452	423.1	106.8	97.3	117.3	3	4564	1245	1068.5	116.5	110.2	123.2	4
糖尿病有病者	3163	514	465.6	110.4	101.2	120.5	4	4564	446	372.4	119.8	109.0	131.5	4
糖尿病予備群	3163	867	633.0	137.0	128.1	146.5	4	4564	1502	909.7	165.1	156.9	173.7	4
血糖を下げる薬など服用者	3161	278	253.2	109.8	97.5	123.7	3	4564	215	202.0	106.4	92.9	121.9	3
習慣的喫煙者	3161	696	742.2	93.8	87.0	101.1	2	4564	153	214.3	71.4	60.7	83.9	1

藤枝市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

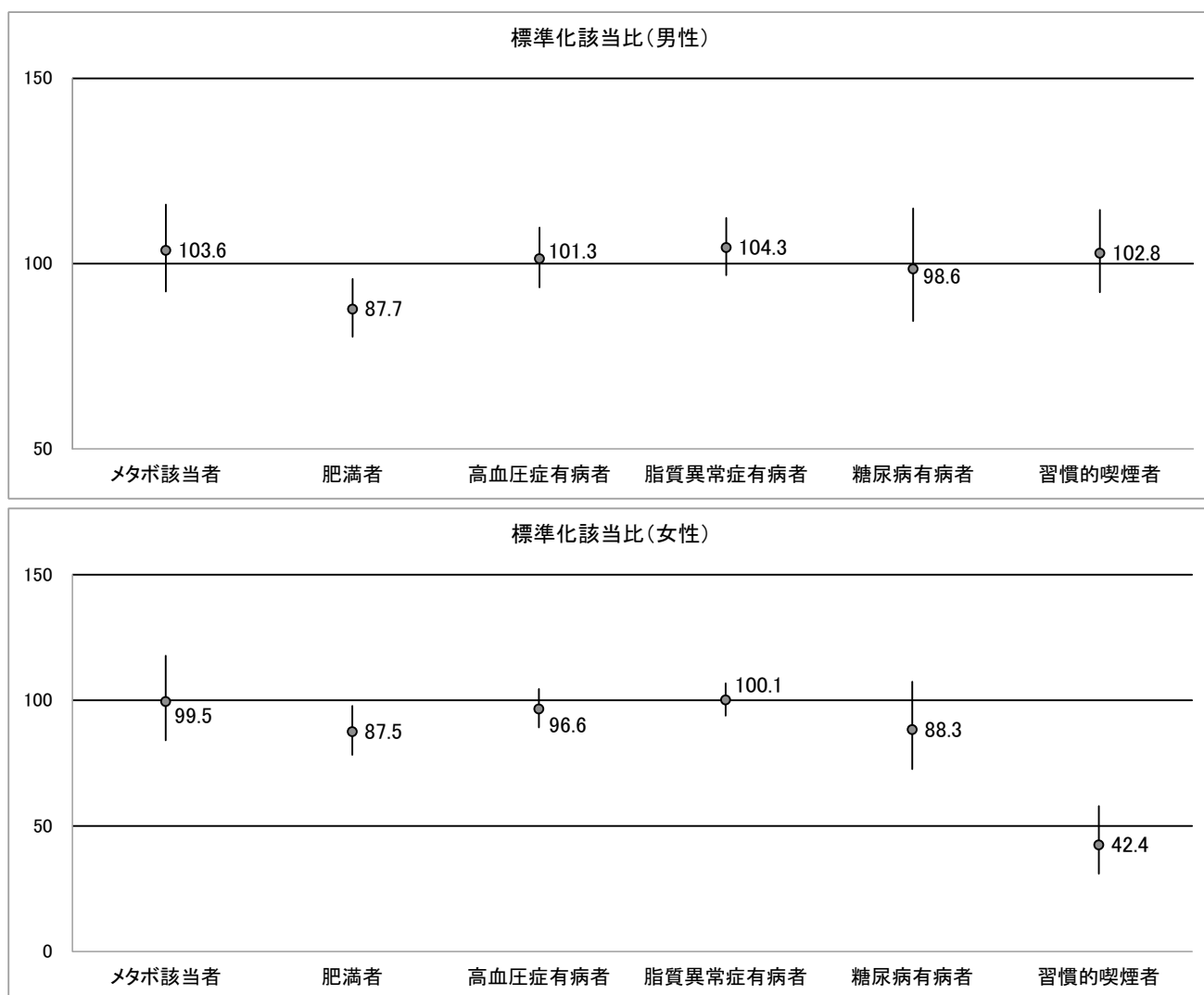
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意でない、3 高いが無意でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	5740	1090	1396.2	78.1	73.5	82.9	1	7293	329	686.4	47.9	43.0	53.5	1
メタボ予備群	5740	849	846.5	100.3	93.7	107.3	3	7293	194	389.3	49.8	43.2	57.5	1
肥満者	5746	2283	2600.0	87.8	84.3	91.5	1	7297	1196	1668.4	71.7	67.7	75.9	1
高血圧症有病者	5742	2790	2978.9	93.7	90.2	97.2	1	7296	2862	3144.3	91.0	87.7	94.4	1
高血圧症予備群	5742	858	789.3	108.7	101.6	116.3	4	7296	1017	1043.6	97.4	91.6	103.7	2
血圧を下げる薬服用者	5742	1751	1984.8	88.2	84.2	92.5	1	7296	1786	2090.2	85.4	81.6	89.5	1
脂質異常症有病者	5742	2870	3110.1	92.3	89.0	95.7	1	7294	4278	4376.8	97.7	94.8	100.7	2
コレステロールを下げる薬服用者	5742	673	750.9	89.6	83.0	96.7	1	7296	1533	1643.5	93.3	88.7	98.1	1
糖尿病有病者	5741	757	829.7	91.2	84.9	98.0	1	7296	475	576.2	82.4	75.3	90.3	1
糖尿病予備群	5741	878	1136.7	77.2	72.3	82.6	1	7296	890	1431.0	62.2	58.2	66.5	1
血糖を下げる薬など服用者	5742	435	448.0	97.1	88.3	106.8	2	7296	278	309.9	89.7	79.6	101.1	2
習慣的喫煙者	5742	1281	1391.3	92.1	87.1	97.3	1	7296	238	367.4	64.8	56.9	73.7	1

牧之原市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

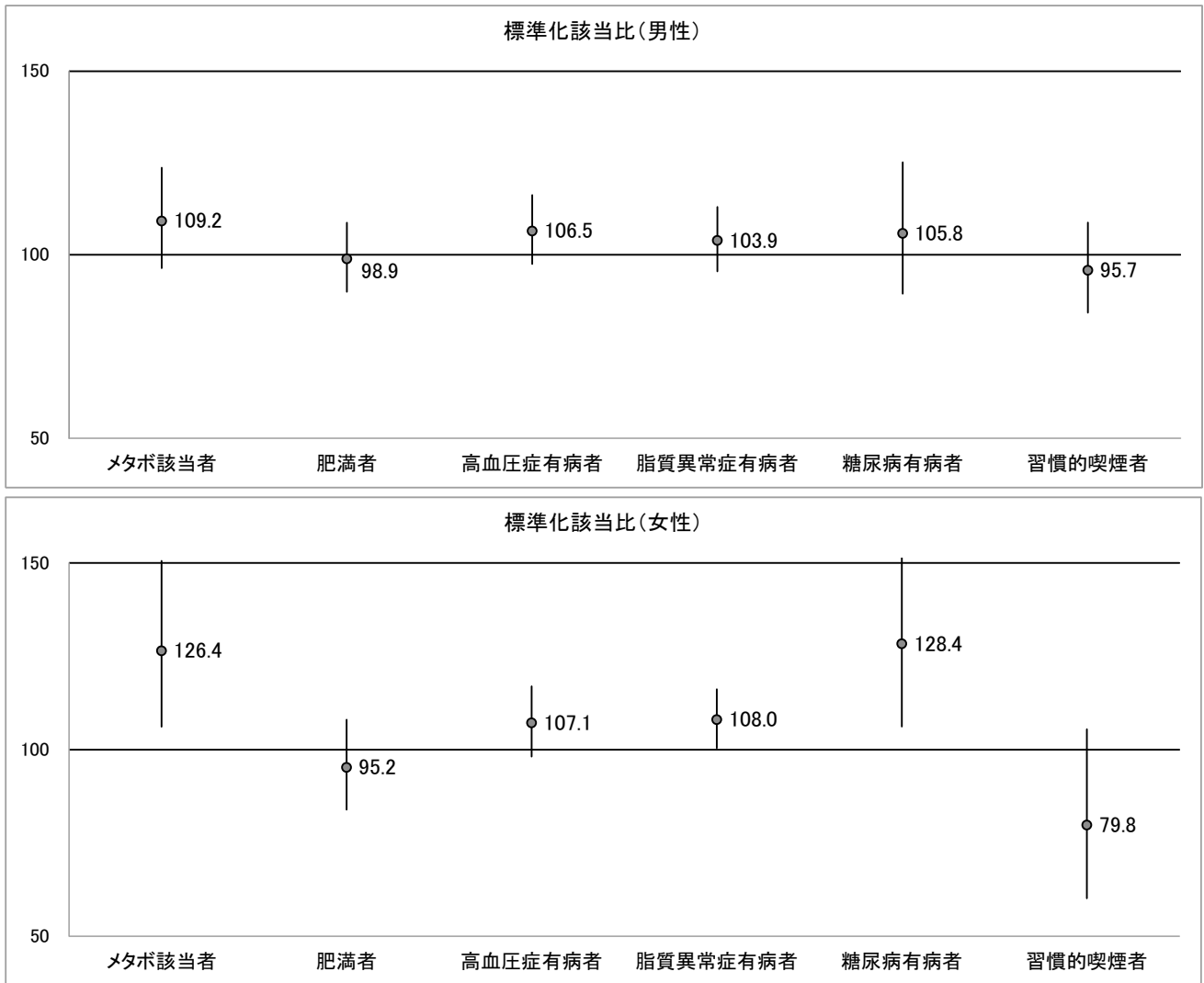
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1240	309	298.4	103.6	92.5	115.9	3	1642	141	141.7	99.5	84.1	117.7	2
メタボ予備群	1240	132	185.2	71.3	59.8	84.8	1	1642	71	84.5	84.0	66.1	106.6	2
肥満者	1240	497	566.6	87.7	80.3	95.9	1	1642	318	363.5	87.5	78.3	97.8	1
高血圧症有病者	1240	617	608.8	101.3	93.6	109.7	3	1642	628	650.3	96.6	89.2	104.5	2
高血圧症予備群	1240	183	172.2	106.3	91.7	123.1	3	1642	222	229.5	96.7	84.6	110.6	2
血圧を下げる薬服用者	1240	359	391.3	91.7	82.6	101.9	2	1642	300	421.8	71.1	63.4	79.8	1
脂質異常症有病者	1240	712	682.5	104.3	96.9	112.3	3	1642	949	947.9	100.1	93.9	106.7	3
コレステロールを下げる薬服用者	1240	133	152.2	87.4	73.4	103.9	2	1642	290	330.1	87.9	78.2	98.7	1
糖尿病有病者	1240	169	171.5	98.6	84.5	114.9	2	1642	105	118.9	88.3	72.6	107.4	2
糖尿病予備群	1240	353	238.1	148.3	133.4	164.8	4	1642	480	305.7	157.0	143.4	171.9	4
血糖を下げる薬など服用者	1240	83	90.1	92.2	73.9	114.8	2	1642	50	62.8	79.7	59.8	105.9	2
習慣的喫煙者	1240	338	328.8	102.8	92.3	114.5	3	1642	42	99.0	42.4	31.0	57.9	1

吉田町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

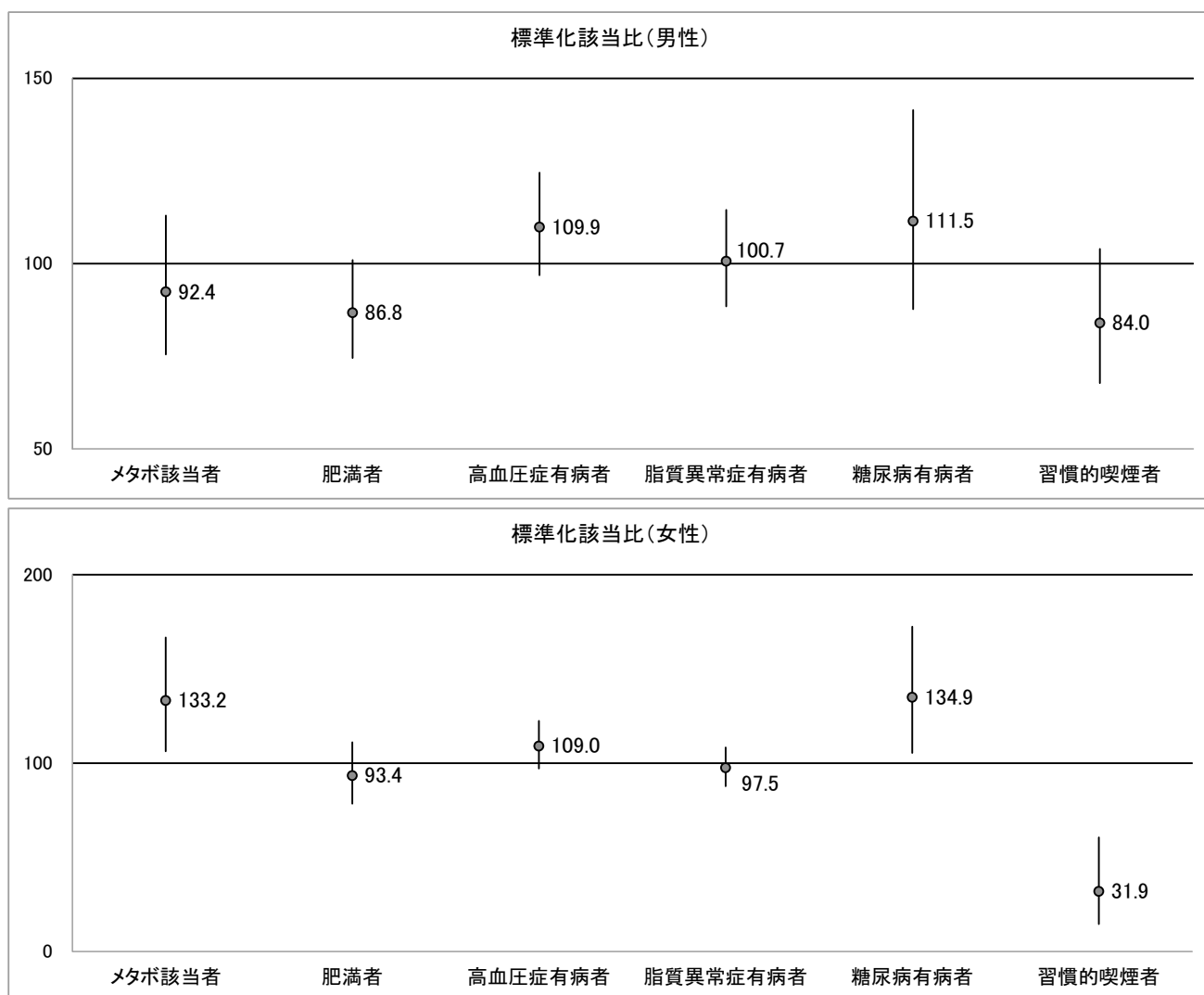
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	965	253	231.7	109.2	96.3	123.7	3	1161	131	103.6	126.4	106.1	150.5	4
メタボ予備群	965	131	144.0	91.0	76.4	108.3	2	1161	40	60.6	66.0	47.8	90.8	1
肥満者	965	435	439.9	98.9	89.9	108.7	2	1162	248	260.5	95.2	83.9	108.0	2
高血圧症有病者	965	507	476.2	106.5	97.5	116.3	3	1161	510	476.0	107.1	98.1	117.0	3
高血圧症予備群	965	147	133.7	110.0	93.2	129.6	3	1161	169	164.0	103.0	88.3	120.1	3
血圧を下げる薬服用者	965	284	308.3	92.1	81.9	103.6	2	1162	274	312.2	87.8	77.8	99.0	1
脂質異常症有病者	965	550	529.4	103.9	95.5	113.0	3	1162	737	682.3	108.0	100.4	116.2	4
コレステロールを下げる薬服用者	965	87	119.2	73.0	58.8	90.5	1	1162	218	245.3	88.9	77.6	101.7	2
糖尿病有病者	962	141	133.2	105.8	89.4	125.2	3	1162	112	87.3	128.4	106.2	155.1	4
糖尿病予備群	962	247	185.0	133.5	117.6	151.5	4	1162	363	221.3	164.0	147.8	182.0	4
血糖を下げる薬など服用者	965	78	70.7	110.4	87.8	138.5	3	1162	56	46.4	120.7	92.0	157.9	3
習慣的喫煙者	965	242	252.8	95.7	84.2	108.8	2	1162	52	65.2	79.8	60.2	105.5	2

川根本町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

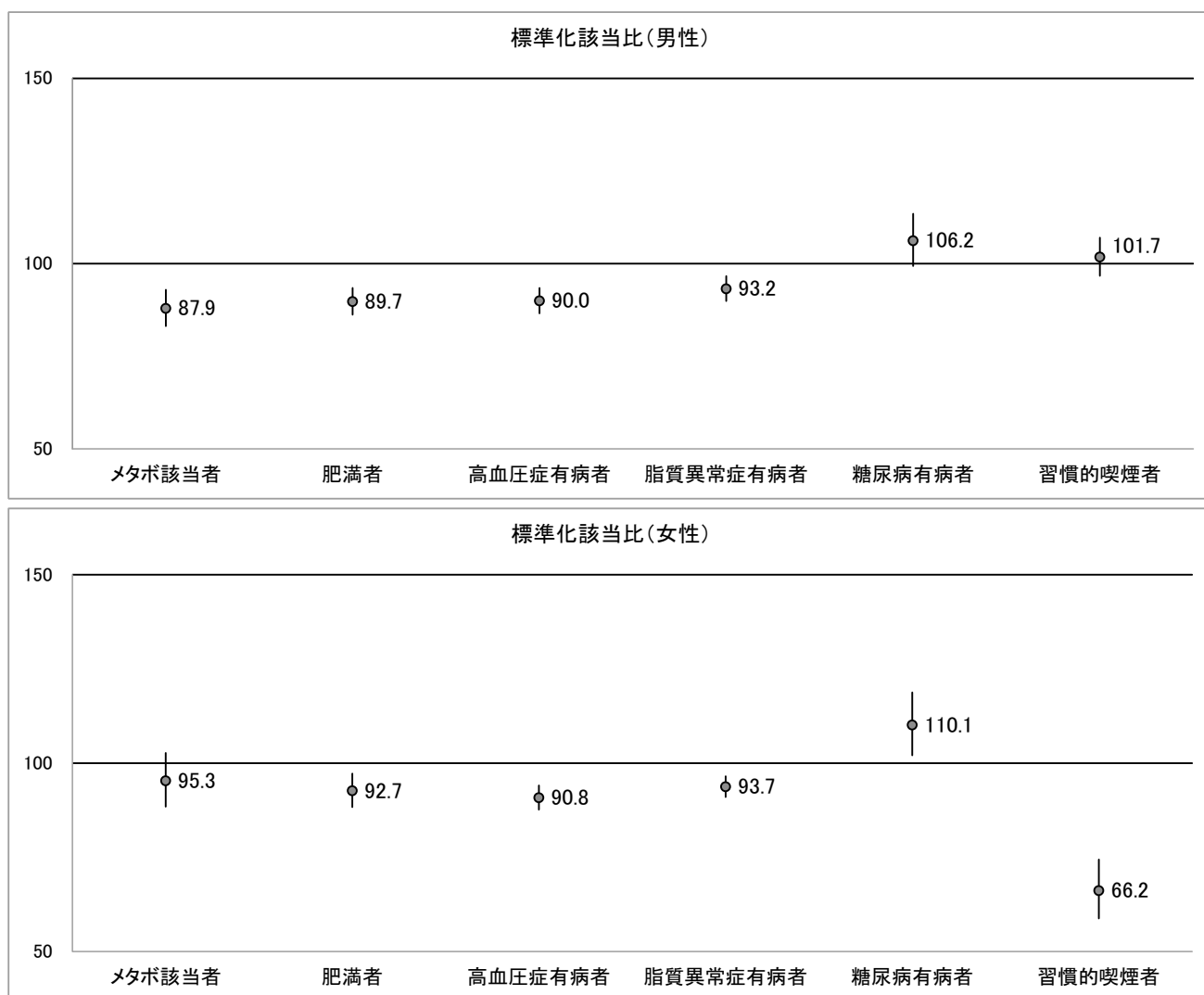
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	437	99	107.1	92.4	75.5	113.0	2	603	80	60.1	133.2	106.3	166.7	4
メタボ予備群	437	56	64.9	86.3	65.8	112.9	2	603	24	33.1	72.5	46.5	108.1	2
肥満者	438	173	199.4	86.8	74.5	100.9	2	603	132	141.4	93.4	78.4	111.1	2
高血圧症有病者	438	251	228.5	109.9	96.9	124.5	3	603	296	271.5	109.0	97.1	122.4	3
高血圧症予備群	438	67	59.9	111.9	87.4	143.0	3	603	89	86.4	103.0	83.2	127.4	3
血圧を下げる薬服用者	437	157	152.8	102.8	87.6	120.5	3	603	197	183.6	107.3	93.1	123.6	3
脂質異常症有病者	437	238	236.4	100.7	88.5	114.5	3	603	356	365.1	97.5	87.8	108.3	2
コレステロールを下げる薬服用者	437	65	57.7	112.7	87.7	144.6	3	603	195	142.4	136.9	118.7	157.9	4
糖尿病有病者	437	71	63.7	111.5	87.7	141.5	3	603	67	49.7	134.9	105.4	172.5	4
糖尿病予備群	437	107	86.3	124.0	102.1	150.5	4	603	210	119.9	175.2	152.7	201.0	4
血糖を下げる薬など服用者	437	40	34.6	115.8	83.8	159.3	3	603	38	27.1	140.0	100.5	194.3	4
習慣的喫煙者	437	88	104.8	84.0	67.7	104.0	2	603	9	28.2	31.9	14.6	60.6	1

磐田市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

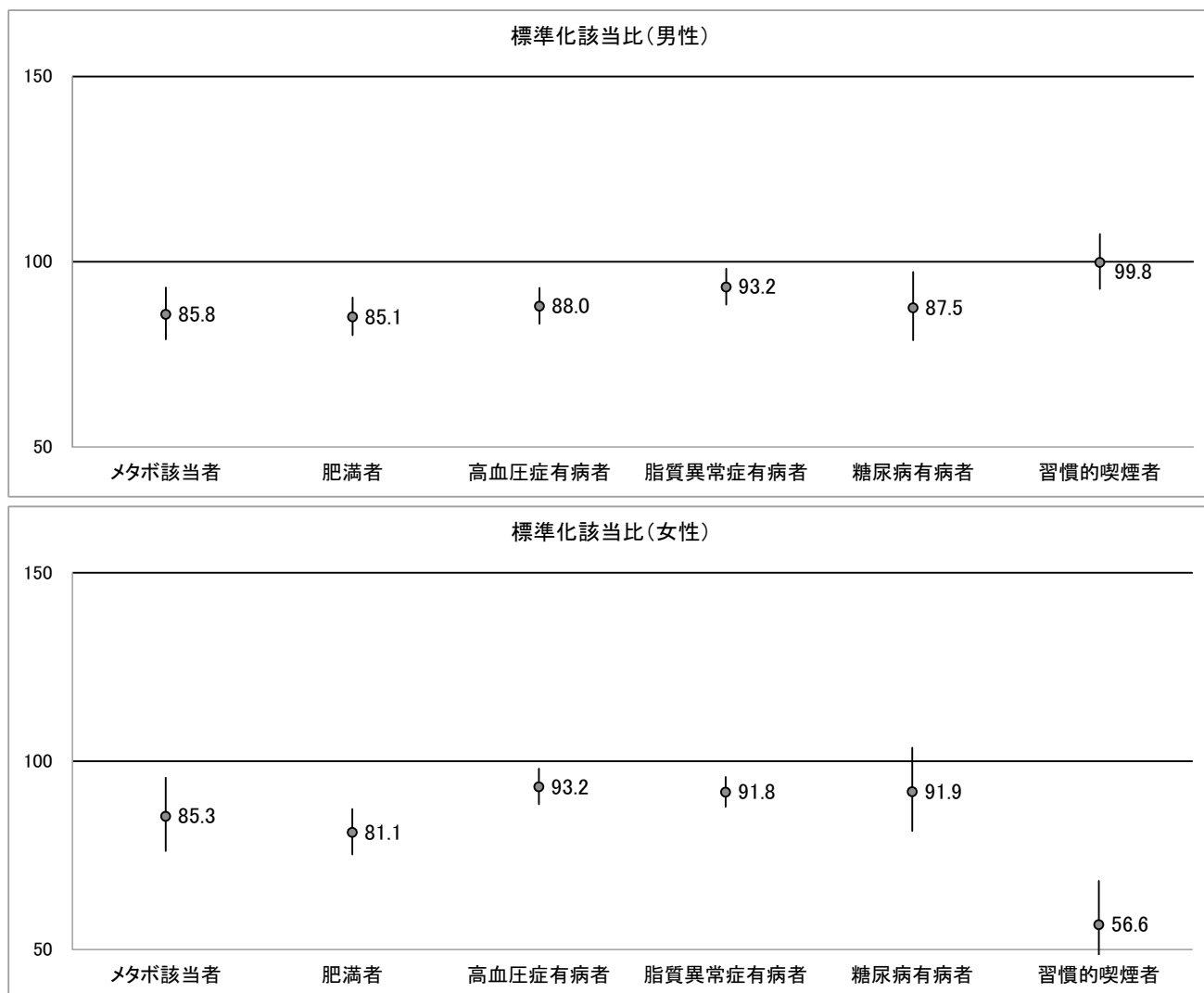
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	5891	1250	1421.8	87.9	83.1	93.0	1	8062	703	737.6	95.3	88.5	102.7	2
メタボ予備群	5891	781	872.5	89.5	83.4	96.1	1	8062	428	424.9	100.7	91.5	110.9	3
肥満者	5891	2398	2672.1	89.7	86.2	93.4	1	8062	1689	1822.9	92.7	88.3	97.2	1
高血圧症有病者	5891	2677	2975.9	90.0	86.6	93.4	1	8062	3075	3386.2	90.8	87.6	94.1	1
高血圧症予備群	5891	620	814.7	76.1	70.3	82.4	1	8062	907	1146.6	79.1	74.1	84.5	1
血圧を下げる薬服用者	5891	1839	1950.2	94.3	90.1	98.7	1	8062	2151	2232.8	96.3	92.3	100.5	2
脂質異常症有病者	5891	2996	3214.5	93.2	89.9	96.6	1	8062	4488	4789.5	93.7	91.0	96.5	1
コレステロールを下げる薬服用者	5891	645	746.3	86.4	79.9	93.4	1	8062	1688	1756.3	96.1	91.6	100.8	2
糖尿病有病者	5891	884	832.6	106.2	99.3	113.5	3	8062	683	620.3	110.1	102.1	118.8	4
糖尿病予備群	5891	1281	1151.8	111.2	105.3	117.5	4	8062	1760	1560.2	112.8	107.6	118.2	4
血糖を下げる薬など服用者	5891	473	443.8	106.6	97.3	116.7	3	8062	381	331.4	115.0	103.8	127.2	4
習慣的喫煙者	5891	1521	1494.9	101.7	96.7	107.0	3	8062	284	429.3	66.2	58.8	74.4	1

掛川市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

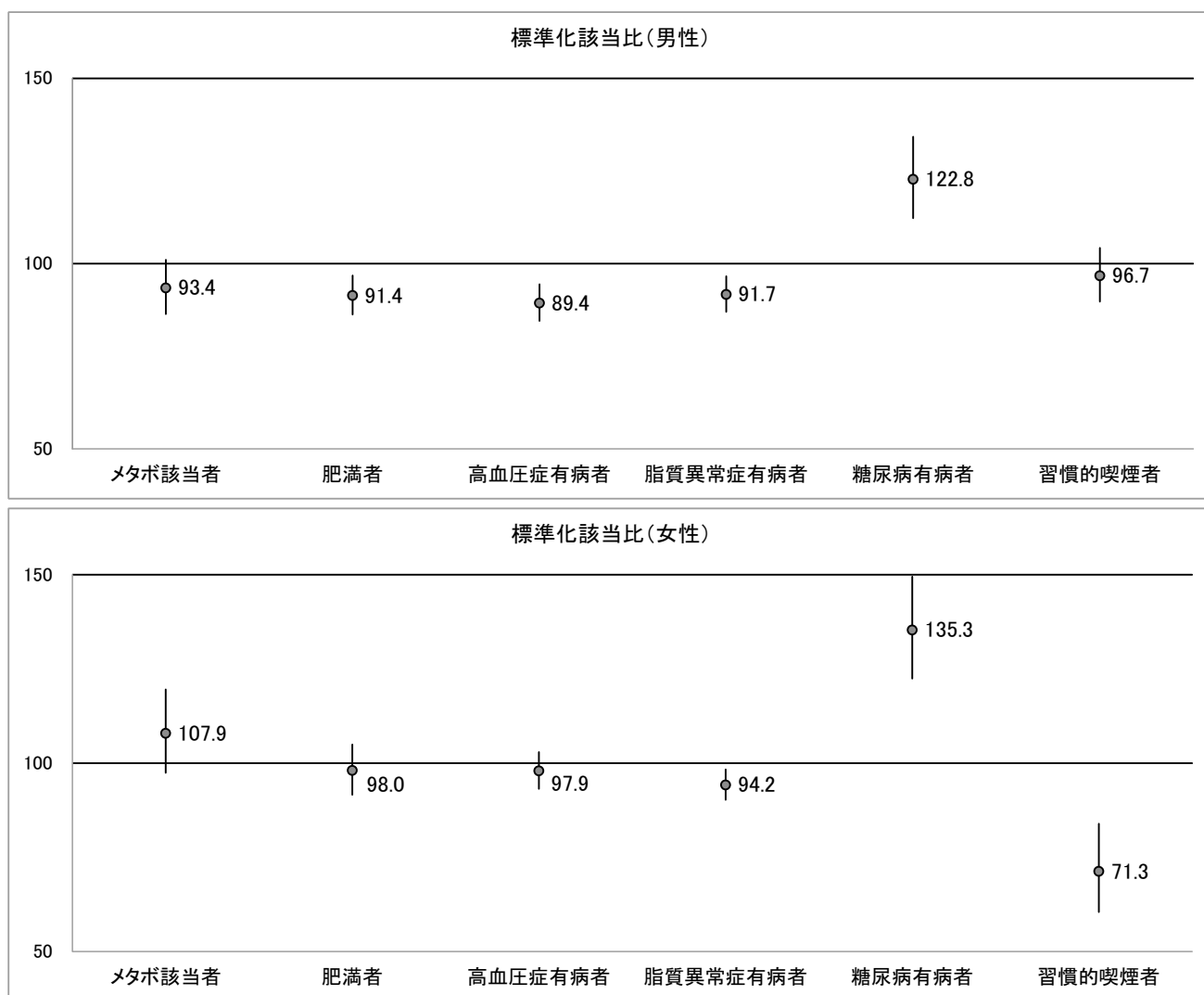
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2834	592	690.2	85.8	79.1	93.0	1	3848	305	357.4	85.3	76.2	95.6	1
メタボ予備群	2834	334	419.5	79.6	71.4	88.8	1	3848	188	204.3	92.0	79.6	106.4	2
肥満者	2834	1096	1287.8	85.1	80.2	90.3	1	3848	710	875.9	81.1	75.3	87.3	1
高血圧症有病者	2834	1277	1451.6	88.0	83.2	93.0	1	3848	1523	1634.7	93.2	88.6	98.0	1
高血圧症予備群	2834	409	390.9	104.6	94.9	115.4	3	3848	544	547.6	99.3	91.3	108.1	2
血圧を下げる薬服用者	2834	882	956.2	92.2	86.3	98.6	1	3848	1085	1082.9	100.2	94.4	106.4	3
脂質異常症有病者	2834	1440	1545.7	93.2	88.4	98.1	1	3848	2103	2291.8	91.8	87.9	95.8	1
コレステロールを下げる薬服用者	2834	321	364.7	88.0	78.8	98.3	1	3848	783	848.3	92.3	86.0	99.1	1
糖尿病有病者	2834	356	406.7	87.5	78.8	97.2	1	3848	275	299.3	91.9	81.5	103.6	2
糖尿病予備群	2834	710	558.9	127.0	117.9	136.8	4	3848	998	747.4	133.5	125.4	142.1	4
血糖を下げる薬など服用者	2834	166	217.6	76.3	65.3	89.1	1	3848	140	160.6	87.2	73.6	103.2	2
習慣的喫煙者	2834	708	709.4	99.8	92.7	107.5	2	3848	114	201.5	56.6	46.9	68.2	1

袋井市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

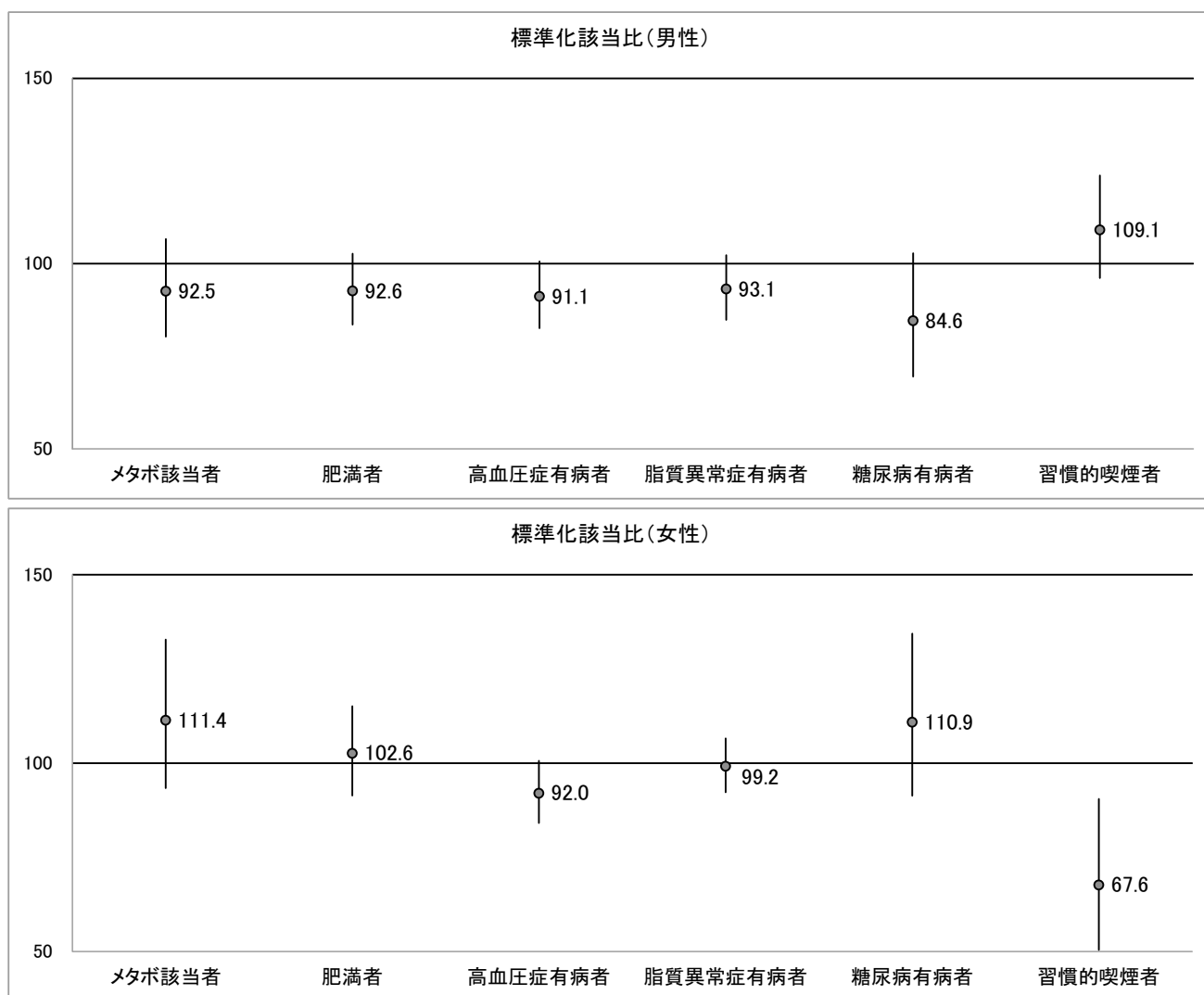
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2821	638	682.8	93.4	86.4	101.1	2	3826	376	348.4	107.9	97.4	119.5	3
メタボ予備群	2821	390	418.8	93.1	84.2	103.0	2	3826	197	201.3	97.8	84.9	112.8	2
肥満者	2821	1172	1282.7	91.4	86.2	96.8	1	3826	847	864.0	98.0	91.6	104.9	2
高血圧症有病者	2821	1272	1423.6	89.4	84.5	94.4	1	3826	1562	1595.0	97.9	93.2	102.9	2
高血圧症予備群	2821	407	390.2	104.3	94.5	115.1	3	3826	561	540.9	103.7	95.4	112.8	3
血圧を下げる薬服用者	2821	898	930.9	96.5	90.3	103.0	2	3826	1142	1052.2	108.5	102.4	115.1	4
脂質異常症有病者	2821	1413	1541.7	91.7	87.0	96.6	1	3826	2125	2255.7	94.2	90.3	98.3	1
コレステロールを下げる薬服用者	2821	304	356.9	85.2	76.0	95.4	1	3826	769	824.5	93.3	86.8	100.2	2
糖尿病有病者	2821	490	399.2	122.8	112.2	134.2	4	3826	395	292.0	135.3	122.4	149.5	4
糖尿病予備群	2821	711	551.1	129.0	119.8	138.9	4	3826	1016	733.6	138.5	130.2	147.4	4
血糖を下げる薬など服用者	2821	225	212.4	105.9	92.7	120.9	3	3826	188	156.2	120.4	104.0	139.2	4
習慣的喫煙者	2821	696	719.6	96.7	89.7	104.2	2	3826	149	209.1	71.3	60.5	83.9	1

御前崎市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

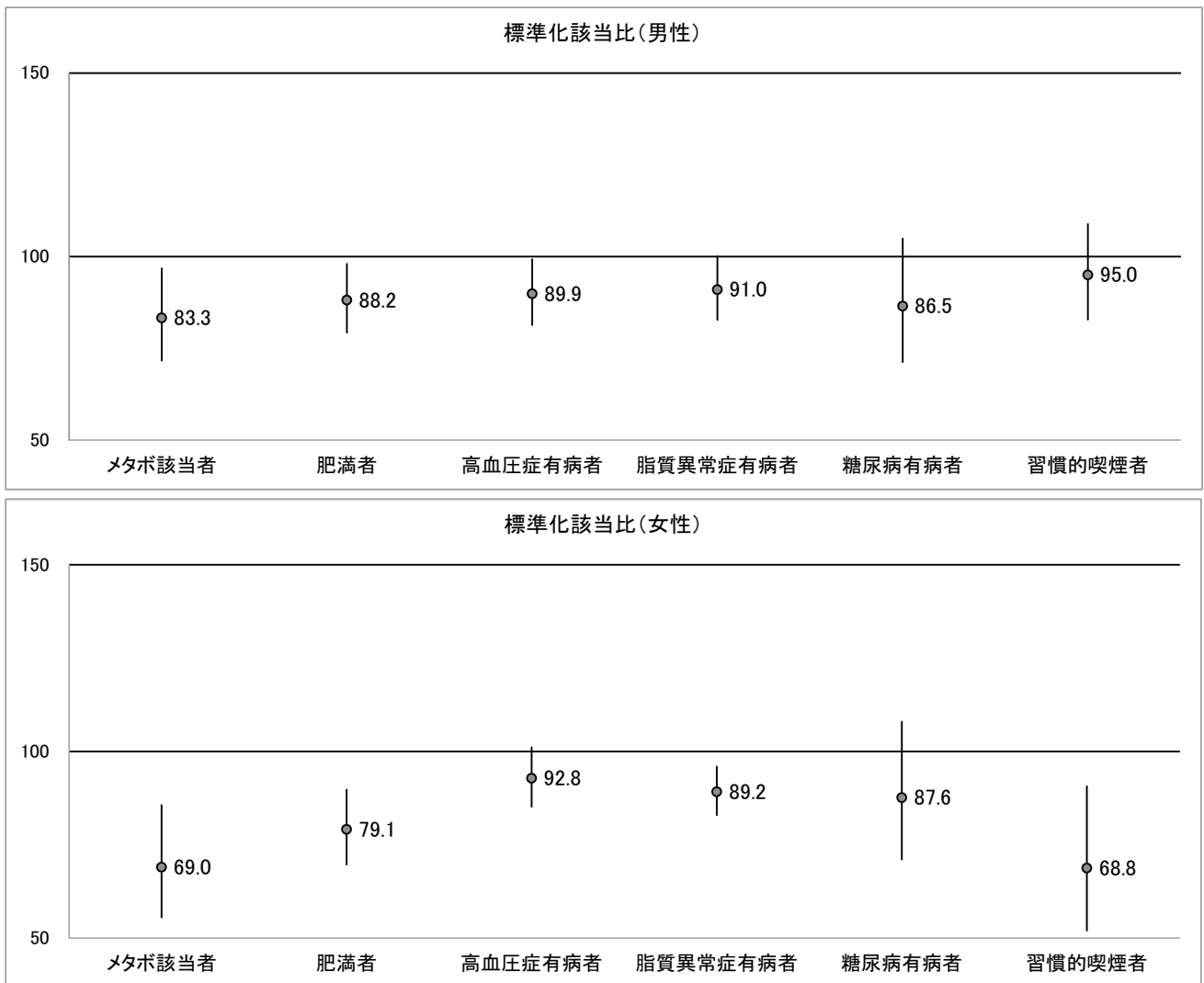
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	877	197	212.9	92.5	80.3	106.6	2	1285	129	115.8	111.4	93.3	132.8	3
メタボ予備群	877	112	130.3	86.0	71.1	103.8	2	1285	53	67.3	78.8	59.6	103.9	2
肥満者	879	371	400.5	92.6	83.5	102.7	2	1289	297	289.6	102.6	91.4	115.1	3
高血圧症有病者	878	403	442.2	91.1	82.6	100.6	2	1285	489	531.6	92.0	84.1	100.6	2
高血圧症予備群	878	117	121.3	96.4	80.1	116.0	2	1285	186	182.1	102.2	88.2	118.2	3
血圧を下げる薬服用者	877	268	287.9	93.1	82.4	105.1	2	1287	318	349.6	91.0	81.4	101.7	2
脂質異常症有病者	877	448	481.0	93.1	84.8	102.3	2	1288	755	761.4	99.2	92.3	106.6	2
コレステロールを下げる薬服用者	877	116	110.6	104.9	87.0	126.3	3	1287	307	274.2	112.0	100.0	125.4	3
糖尿病有病者	877	105	124.2	84.6	69.5	102.8	2	1287	108	97.4	110.9	91.4	134.4	3
糖尿病予備群	877	215	171.5	125.4	109.4	143.6	4	1287	341	247.1	138.0	123.9	153.6	4
血糖を下げる薬など服用者	877	52	65.9	78.9	59.5	104.3	2	1287	47	51.9	90.6	67.3	121.6	2
習慣的喫煙者	877	247	226.4	109.1	96.1	123.8	3	1287	48	71.0	67.6	50.4	90.5	1

菊川市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

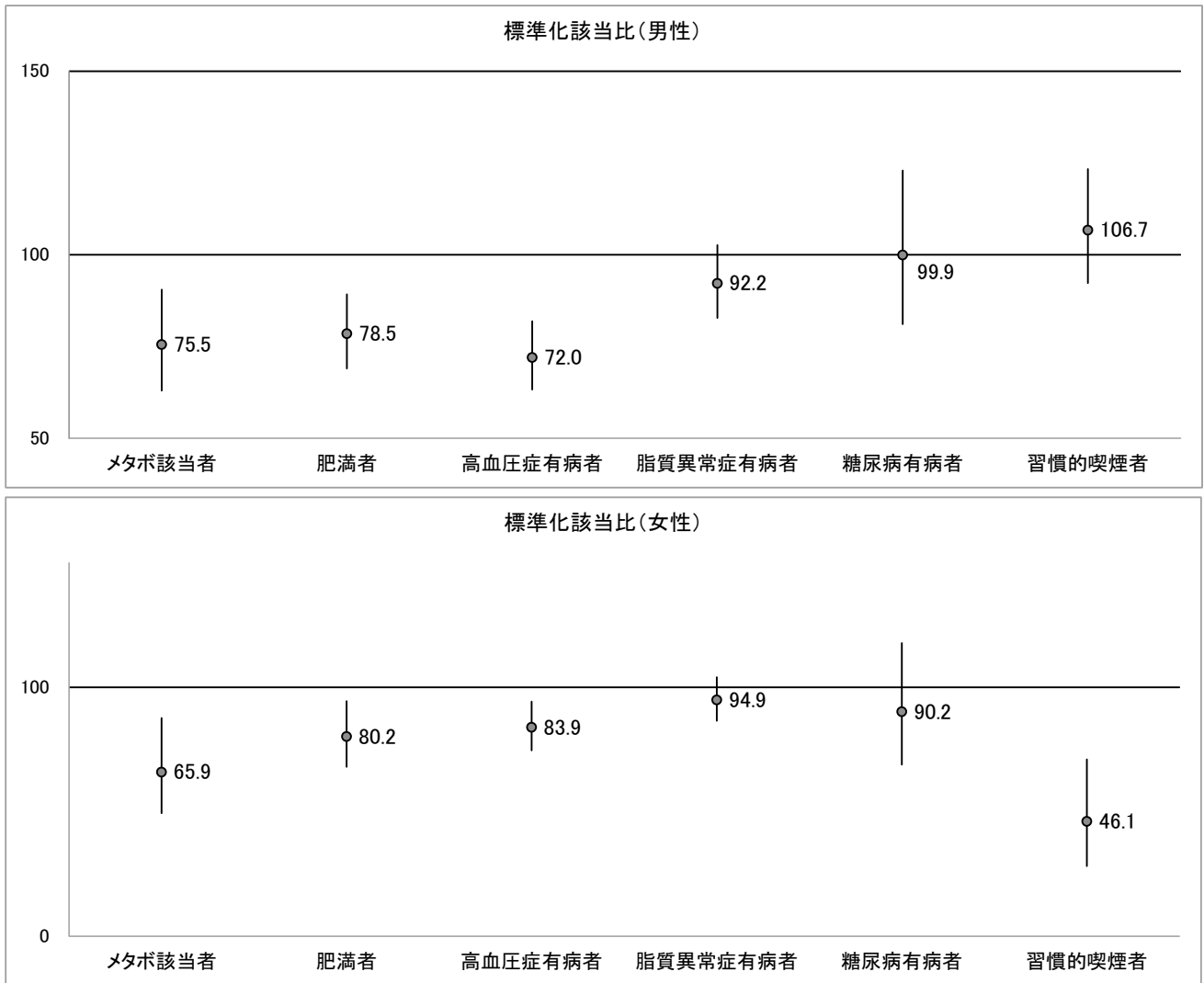
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	871	176	211.3	83.3	71.6	96.8	1	1392	86	124.6	69.0	55.5	85.6	1
メタボ予備群	871	110	129.0	85.3	70.4	103.2	2	1392	58	72.6	79.8	61.2	104.0	2
肥満者	871	349	395.9	88.2	79.3	98.0	1	1392	247	312.2	79.1	69.7	89.8	1
高血圧症有病者	871	396	440.6	89.9	81.3	99.3	1	1392	532	573.3	92.8	85.2	101.1	2
高血圧症予備群	871	133	120.6	110.3	92.7	131.1	3	1392	226	197.1	114.7	100.4	130.9	4
血圧を下げる薬服用者	871	262	287.7	91.1	80.5	103.0	2	1392	326	375.5	86.8	77.8	96.9	1
脂質異常症有病者	871	434	476.9	91.0	82.7	100.1	2	1392	732	820.6	89.2	82.9	96.0	1
コレステロールを下げる薬服用者	871	125	110.3	113.3	94.7	135.5	3	1392	319	295.5	107.9	96.6	120.6	3
糖尿病有病者	871	107	123.7	86.5	71.2	104.9	2	1392	92	105.0	87.6	71.0	108.0	2
糖尿病予備群	871	139	171.1	81.3	68.6	96.2	1	1392	265	266.7	99.4	87.9	112.3	2
血糖を下げる薬など服用者	871	67	65.7	101.9	79.6	130.3	3	1392	53	55.8	95.0	71.8	125.2	2
習慣的喫煙者	871	212	223.2	95.0	82.8	108.9	2	1392	53	77.1	68.8	52.0	90.7	1

森町



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

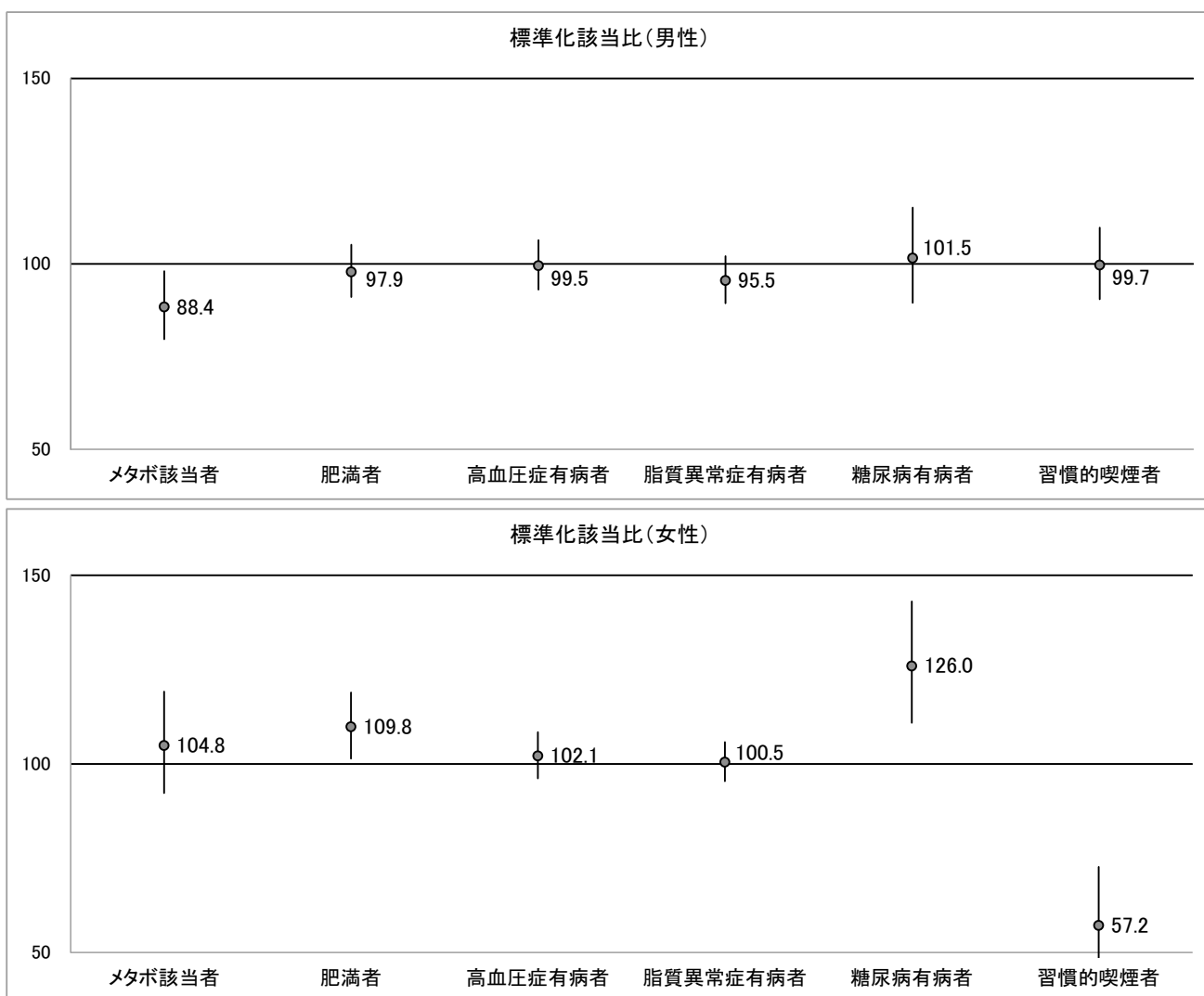
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	670	122	161.5	75.5	63.0	90.5	1	814	50	75.8	65.9	49.4	87.7	1
メタボ予備群	670	82	99.9	82.1	65.7	102.5	2	814	39	43.3	90.1	64.9	124.4	2
肥満者	670	240	305.8	78.5	69.0	89.2	1	815	149	185.8	80.2	68.1	94.4	1
高血圧症有病者	670	238	330.6	72.0	63.3	81.9	1	815	290	345.6	83.9	74.7	94.3	1
高血圧症予備群	670	83	93.1	89.2	71.5	111.1	2	815	64	115.7	55.3	43.0	71.1	1
血圧を下げる薬服用者	670	171	212.8	80.3	69.0	93.6	1	815	207	229.1	90.4	78.7	103.8	2
脂質異常症有病者	670	340	368.9	92.2	82.8	102.6	2	814	459	483.6	94.9	86.5	104.1	2
コレステロールを下げる薬服用者	670	71	82.6	85.9	67.6	109.1	2	815	160	178.3	89.7	76.6	105.1	2
糖尿病有病者	670	93	93.1	99.9	81.1	123.0	2	815	57	63.2	90.2	69.0	117.8	2
糖尿病予備群	670	169	129.4	130.6	112.0	152.2	4	815	216	157.6	137.1	119.7	157.0	4
血糖を下げる薬など服用者	670	44	48.9	89.9	66.1	121.9	2	815	34	33.9	100.2	70.5	141.7	3
習慣的喫煙者	670	189	177.1	106.7	92.3	123.3	3	815	20	43.3	46.1	28.2	71.1	1

湖西市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

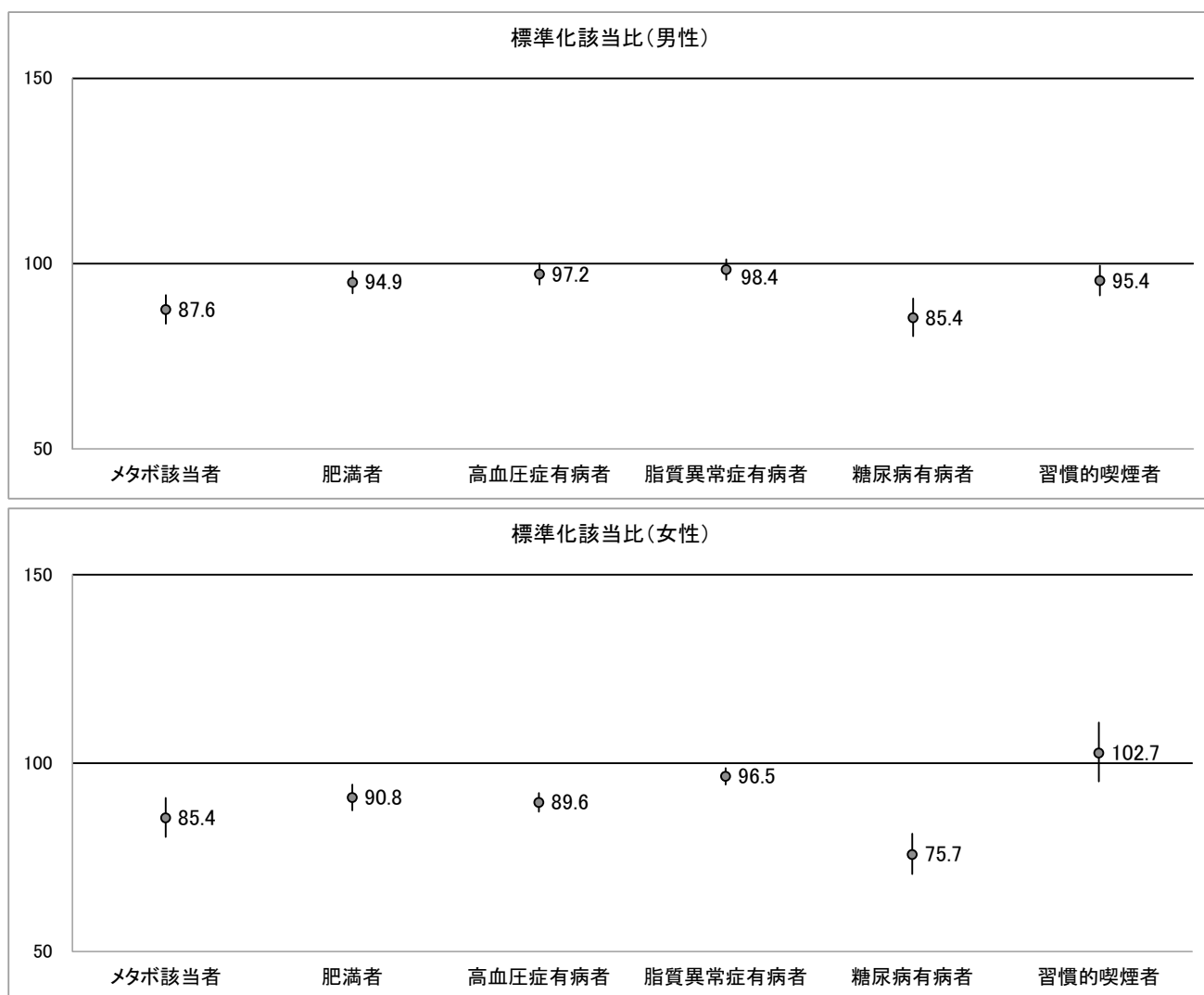
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1707	366	414.1	88.4	79.7	98.0	1	2443	242	230.8	104.8	92.2	119.1	3
メタボ予備群	1707	263	251.8	104.5	92.4	118.1	3	2443	149	130.6	114.1	96.9	134.4	3
肥満者	1705	755	771.6	97.9	91.1	105.2	2	2444	615	560.1	109.8	101.4	118.9	4
高血圧症有病者	1707	875	879.2	99.5	93.1	106.4	2	2444	1079	1056.8	102.1	96.1	108.4	3
高血圧症予備群	1707	256	234.6	109.1	96.4	123.6	3	2444	390	349.2	111.7	101.0	123.5	4
血圧を下げる薬服用者	1708	591	584.4	101.1	93.2	109.7	3	2445	691	704.1	98.1	91.0	105.8	2
脂質異常症有病者	1706	885	926.5	95.5	89.4	102.1	2	2443	1471	1464.3	100.5	95.4	105.8	3
コレステロールを下げる薬服用者	1708	166	221.4	75.0	64.2	87.5	1	2445	440	553.6	79.5	72.3	87.3	1
糖尿病有病者	1707	249	245.2	101.5	89.5	115.2	3	2444	244	193.7	126.0	110.9	143.1	4
糖尿病予備群	1707	363	337.2	107.7	97.0	119.5	3	2444	497	479.4	103.7	94.8	113.3	3
血糖を下げる薬など服用者	1708	113	132.2	85.5	70.8	103.2	2	2445	114	104.5	109.1	90.4	131.6	3
習慣的喫煙者	1708	419	420.4	99.7	90.5	109.8	2	2445	70	122.4	57.2	44.9	72.7	1

静岡市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

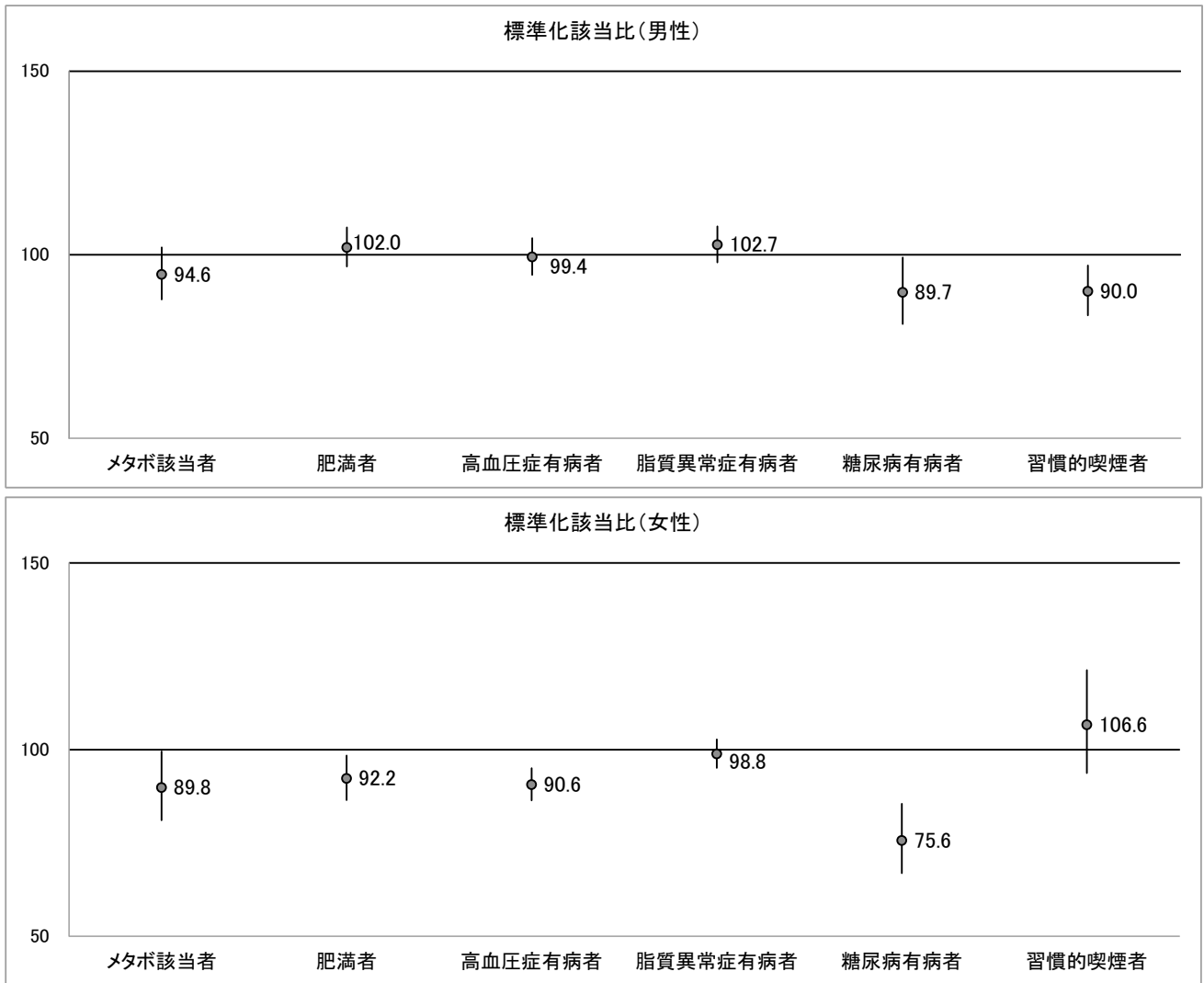
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	9103	1996	2279.3	87.6	83.8	91.5	1	13006	1058	1238.4	85.4	80.4	90.8	1
メタボ予備群	9103	1347	1402.8	96.0	91.0	101.3	2	13006	740	698.4	106.0	98.5	113.9	3
肥満者	9108	3926	4136.0	94.9	92.0	98.0	1	13010	2719	2993.6	90.8	87.5	94.3	1
高血圧症有病者	9106	4479	4609.9	97.2	94.3	100.1	2	13010	5047	5635.9	89.6	87.1	92.1	1
高血圧症予備群	9106	1389	1254.4	110.7	105.0	116.7	4	13010	1993	1849.7	107.7	103.1	112.6	4
血圧を下げる薬服用者	9110	2680	3038.6	88.2	84.9	91.6	1	13013	3119	3767.8	82.8	79.9	85.8	1
脂質異常症有病者	9105	4871	4952.3	98.4	95.6	101.2	2	13008	7478	7751.4	96.5	94.3	98.7	1
コレステロールを下げる薬服用者	9110	1157	1160.2	99.7	94.1	105.7	2	13013	2830	2946.1	96.1	92.6	99.7	1
糖尿病有病者	9105	1098	1286.3	85.4	80.4	90.6	1	13001	781	1031.5	75.7	70.5	81.3	1
糖尿病予備群	9105	1886	1770.1	106.5	101.8	111.5	4	13001	2592	2532.7	102.3	98.5	106.4	3
血糖を下げる薬など服用者	9110	488	689.5	70.8	64.7	77.4	1	13013	321	558.5	57.5	51.4	64.2	1
習慣的喫煙者	9110	2174	2279.5	95.4	91.4	99.5	1	13013	676	658.4	102.7	95.1	110.8	3

静岡市葵区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

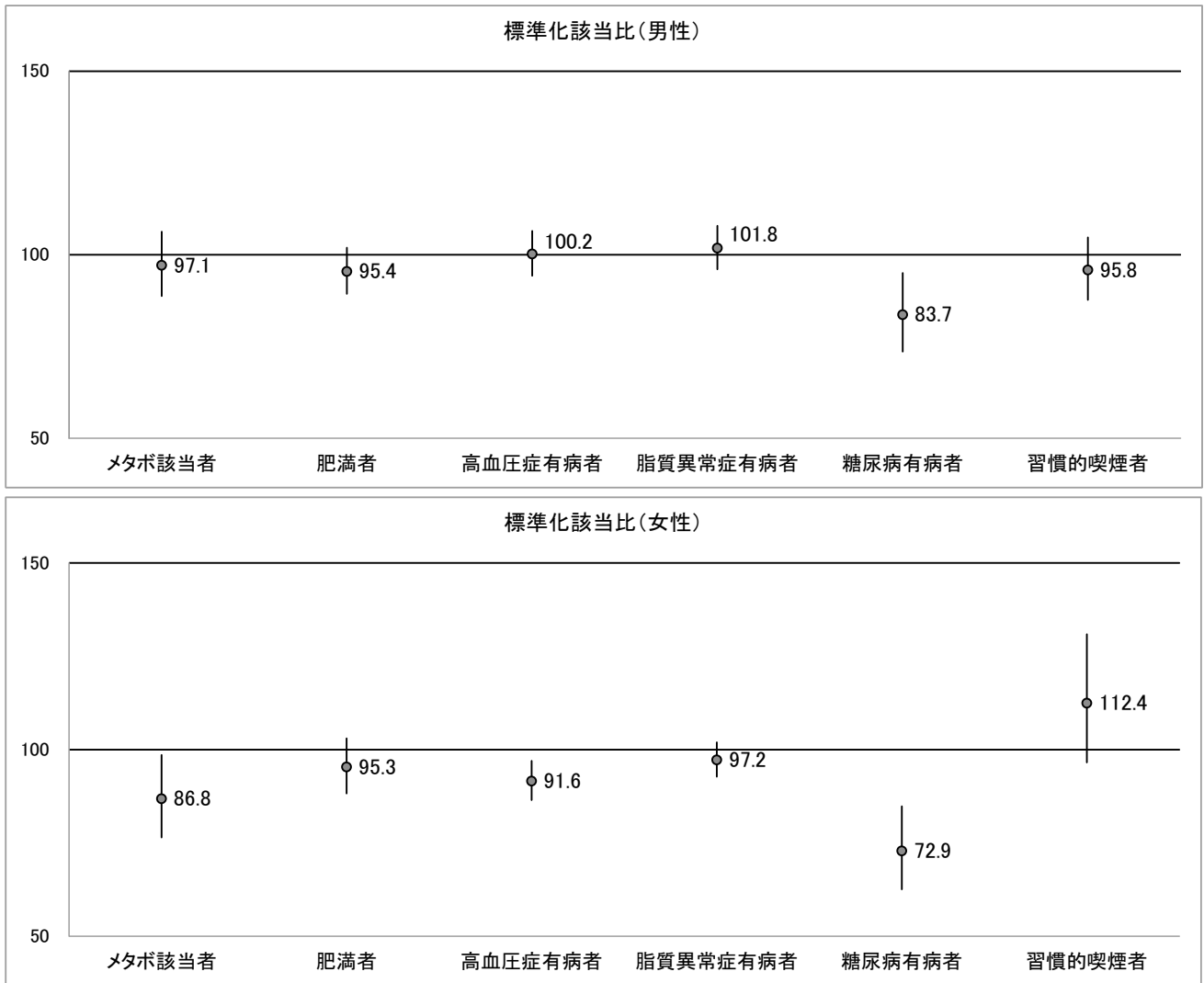
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	3060	699	738.6	94.6	87.8	102.0	2	4395	375	417.5	89.8	81.1	99.5	1
メタボ予備群	3060	522	455.0	114.7	105.2	125.1	4	4395	251	235.8	106.4	93.9	120.7	3
肥満者	3063	1420	1392.4	102.0	96.8	107.5	3	4395	932	1010.3	92.2	86.5	98.4	1
高血圧症有病者	3061	1539	1548.2	99.4	94.5	104.5	2	4397	1722	1900.8	90.6	86.4	95.0	1
高血圧症予備群	3061	494	421.3	117.3	107.2	128.2	4	4397	728	625.7	116.3	108.1	125.2	4
血圧を下げる薬服用者	3064	944	1020.9	92.5	86.7	98.6	1	4397	1074	1268.6	84.7	79.7	89.9	1
脂質異常症有病者	3062	1711	1665.8	102.7	97.9	107.7	3	4395	2590	2620.3	98.8	95.1	102.7	2
コレステロールを下げる薬服用者	3064	382	389.9	98.0	88.5	108.4	2	4397	979	991.8	98.7	92.7	105.1	2
糖尿病有病者	3063	388	432.4	89.7	81.1	99.2	1	4392	263	347.7	75.6	66.9	85.5	1
糖尿病予備群	3063	574	594.4	96.6	88.9	104.9	2	4392	764	855.5	89.3	83.1	95.9	1
血糖を下げる薬など服用者	3064	176	231.8	75.9	65.3	88.2	1	4397	113	188.0	60.1	49.8	72.5	1
習慣的喫煙者	3064	691	767.5	90.0	83.5	97.1	1	4397	238	223.2	106.6	93.7	121.3	3

静岡市駿河区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

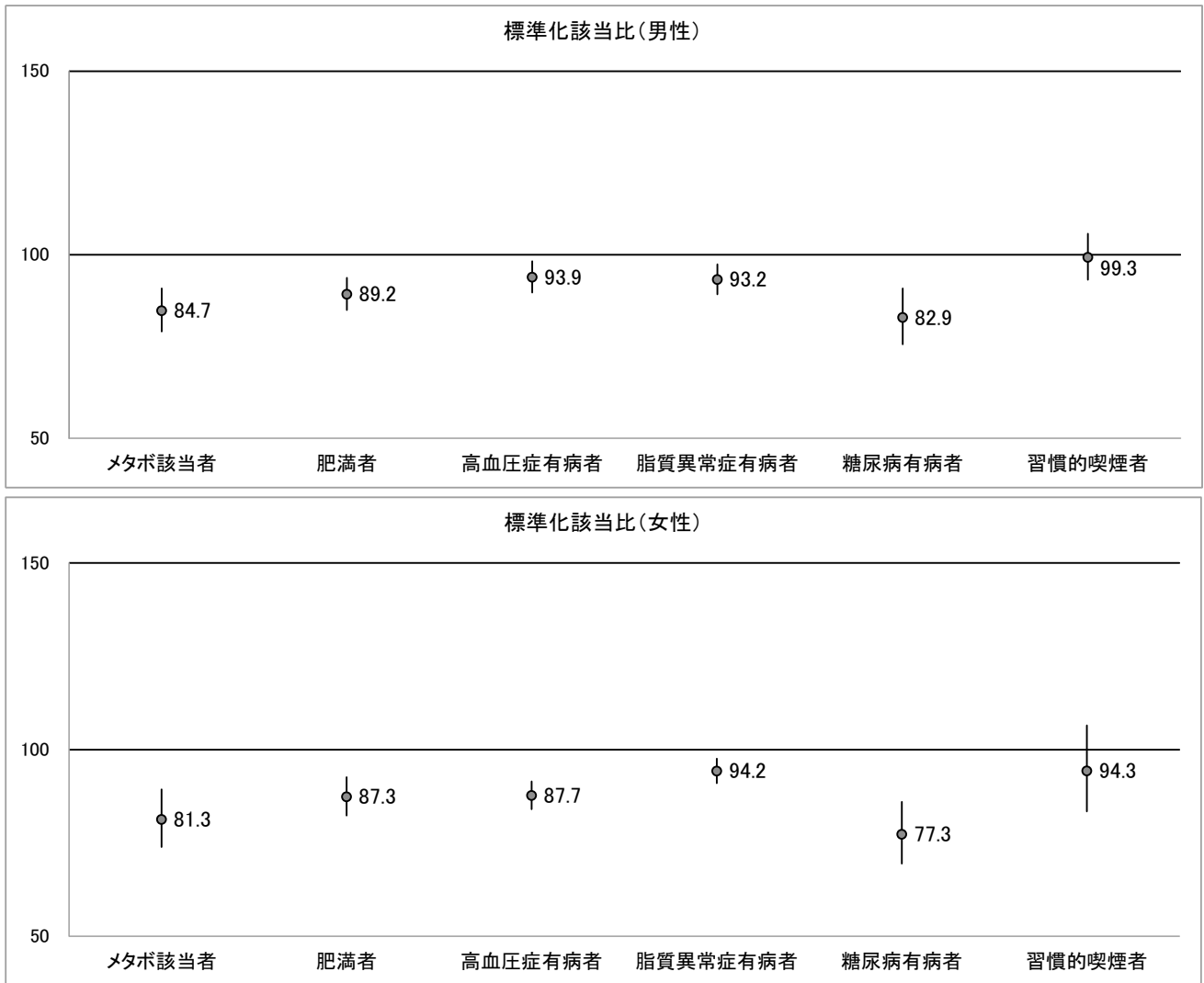
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2068	483	497.3	97.1	88.8	106.3	2	2991	246	283.3	86.8	76.5	98.6	1
メタボ予備群	2068	294	307.3	95.7	85.2	107.4	2	2991	180	160.1	112.4	96.9	130.4	3
肥満者	2069	896	938.9	95.4	89.3	101.9	2	2992	655	687.1	95.3	88.2	103.0	2
高血圧症有病者	2070	1045	1043.0	100.2	94.3	106.5	3	2992	1181	1289.8	91.6	86.5	97.0	1
高血圧症予備群	2070	328	285.1	115.0	103.1	128.4	4	2992	451	424.5	106.2	96.8	116.6	3
血圧を下げる薬服用者	2071	617	686.9	89.8	82.9	97.3	1	2993	713	861.5	82.8	76.9	89.1	1
脂質異常症有病者	2069	1145	1124.9	101.8	96.0	107.9	3	2992	1728	1777.4	97.2	92.7	101.9	2
コレステロールを下げる薬服用者	2071	286	262.5	108.9	96.9	122.5	3	2993	618	674.3	91.7	84.6	99.2	1
糖尿病有病者	2068	243	290.5	83.7	73.6	95.0	1	2990	172	236.1	72.9	62.6	84.8	1
糖尿病予備群	2068	431	400.2	107.7	97.9	118.5	3	2990	533	580.4	91.8	84.3	100.1	2
血糖を下げる薬など服用者	2071	112	155.8	71.9	59.5	86.8	1	2993	67	127.8	52.4	41.0	67.0	1
習慣的喫煙者	2071	498	519.6	95.8	87.7	104.7	2	2993	172	153.0	112.4	96.5	130.9	3

静岡市清水区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

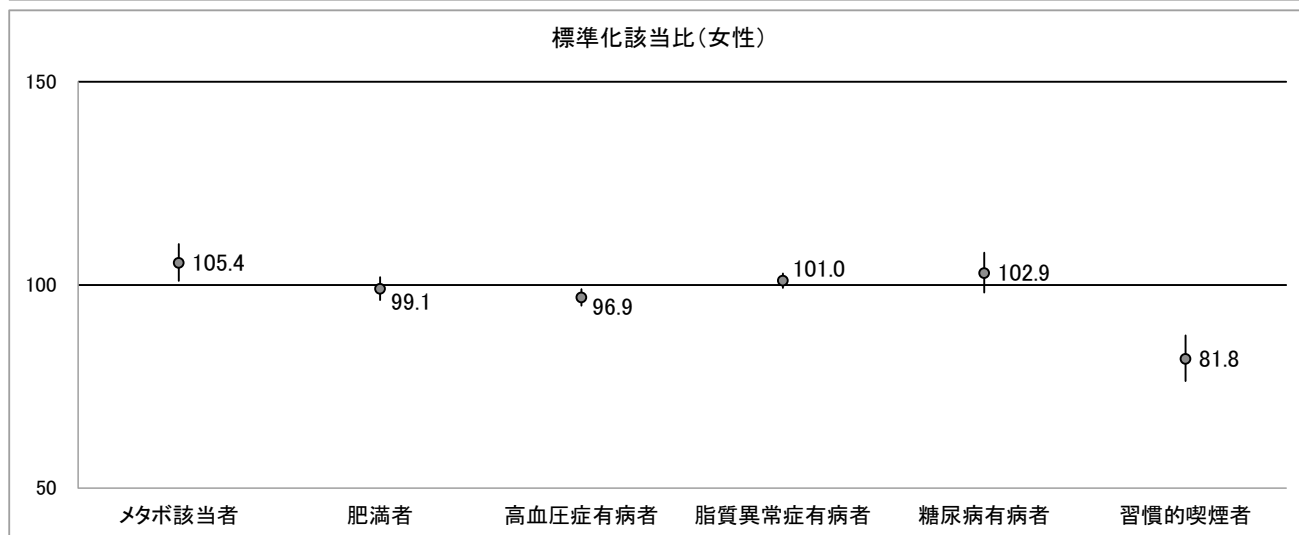
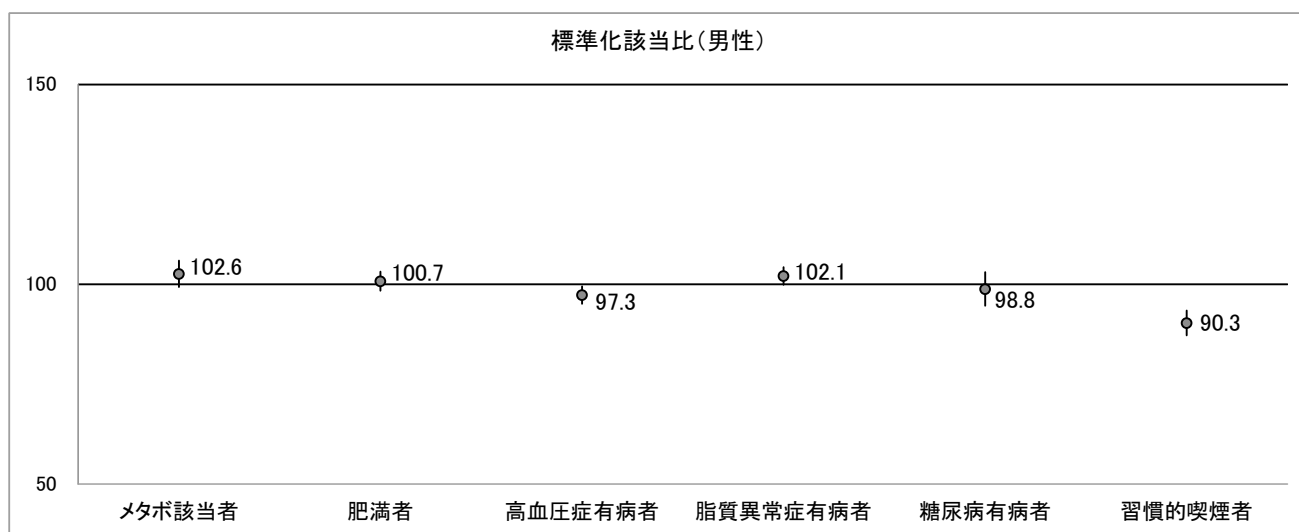
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	3975	814	960.6	84.7	79.1	90.8	1	5620	437	537.6	81.3	73.9	89.4	1
メタボ予備群	3975	531	589.5	90.1	82.7	98.2	1	5620	309	302.4	102.2	91.3	114.4	3
肥満者	3976	1610	1804.6	89.2	84.9	93.7	1	5623	1132	1296.2	87.3	82.4	92.6	1
高血圧症有病者	3975	1895	2018.6	93.9	89.7	98.2	1	5621	2144	2445.3	87.7	84.0	91.5	1
高血圧症予備群	3975	567	547.9	103.5	95.2	112.4	3	5621	814	799.4	101.8	95.0	109.1	3
血圧を下げる薬服用者	3975	1119	1330.8	84.1	79.3	89.2	1	5623	1332	1637.7	81.3	77.1	85.8	1
脂質異常症有病者	3974	2015	2161.6	93.2	89.2	97.4	1	5621	3160	3353.7	94.2	91.0	97.6	1
コレステロールを下げる薬服用者	3975	489	507.8	96.3	88.0	105.3	2	5623	1233	1280.1	96.3	91.1	101.9	2
糖尿病有病者	3974	467	563.5	82.9	75.6	90.8	1	5619	346	447.7	77.3	69.5	86.0	1
糖尿病予備群	3974	881	775.5	113.6	106.3	121.4	4	5619	1295	1096.7	118.1	111.8	124.7	4
血糖を下げる薬など服用者	3975	200	301.9	66.2	57.5	76.3	1	5623	141	242.7	58.1	49.1	68.7	1
習慣的喫煙者	3975	985	992.3	99.3	93.2	105.7	2	5623	266	282.2	94.3	83.4	106.5	2

浜松市



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

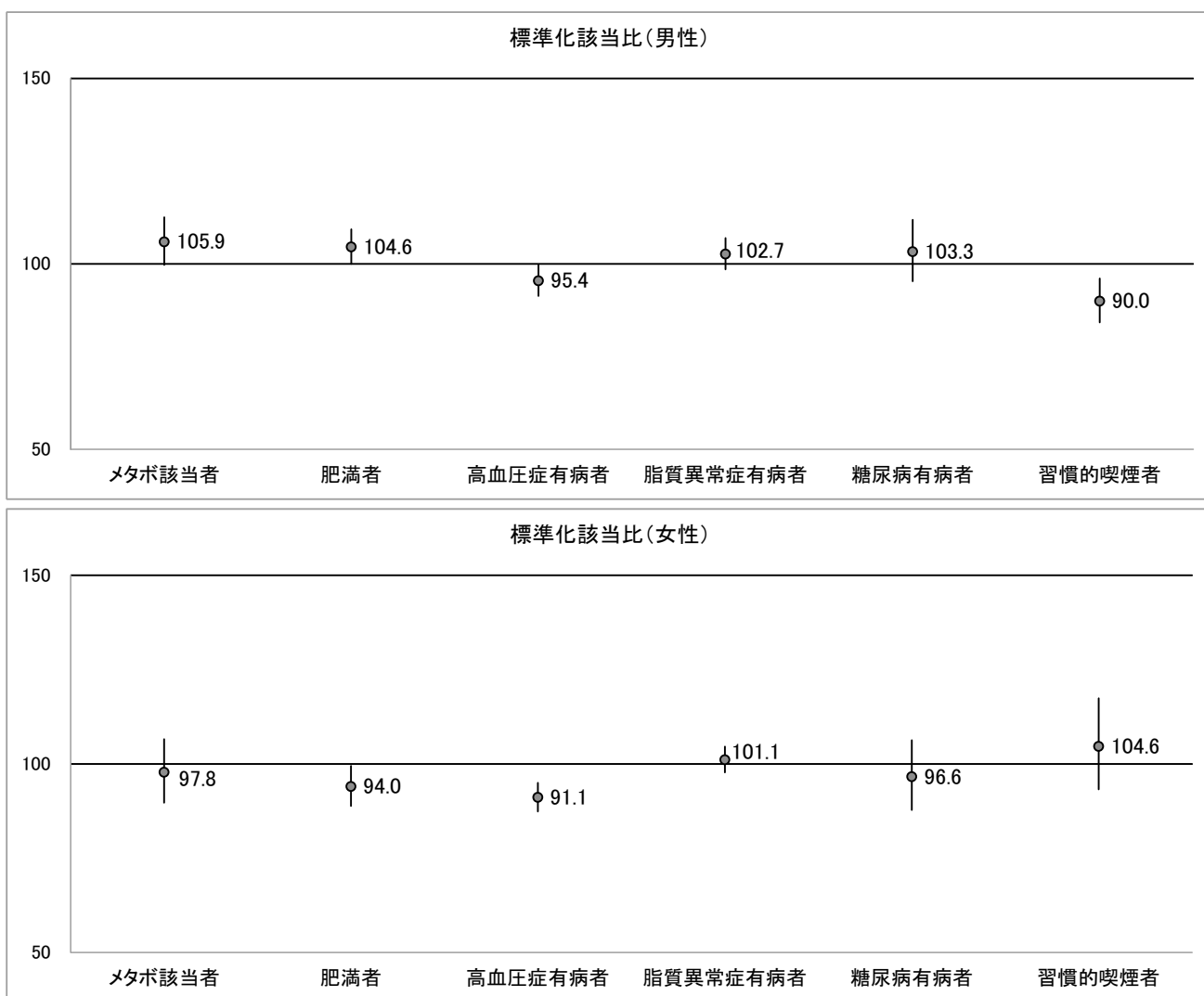
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	15080	3731	3637.9	102.6	99.3	105.9	3	20694	2105	1996.7	105.4	101.0	110.0	4
メタボ予備群	15080	2236	2212.1	101.1	97.0	105.4	3	20694	1101	1118.5	98.4	92.8	104.5	2
肥満者	15080	6887	6836.5	100.7	98.4	103.2	3	20697	4742	4787.4	99.1	96.3	101.9	2
高血圧症有病者	15080	7591	7804.6	97.3	95.1	99.5	1	20694	8793	9073.0	96.9	94.9	99.0	1
高血圧症予備群	15080	1935	2069.3	93.5	89.4	97.8	1	20694	2851	2954.6	96.5	93.0	100.1	2
血圧を下げる薬服用者	15080	5470	5200.2	105.2	102.4	108.0	4	20697	6254	6082.9	102.8	100.3	105.4	4
脂質異常症有病者	15080	8340	8172.0	102.1	99.9	104.3	3	20697	12554	12425.5	101.0	99.3	102.8	3
コレステロールを下げる薬服用者	15080	2083	1969.0	105.8	101.3	110.5	4	20697	4775	4740.7	100.7	97.9	103.6	3
糖尿病有病者	15078	2148	2175.1	98.8	94.6	103.0	2	20695	1709	1660.7	102.9	98.1	107.9	3
糖尿病予備群	15078	2998	2974.2	100.8	97.2	104.5	3	20695	4306	4066.8	105.9	102.8	109.1	4
血糖を下げる薬など服用者	15080	1170	1174.7	99.6	94.0	105.5	2	20697	937	900.6	104.0	97.5	111.0	3
習慣的喫煙者	15080	3305	3661.3	90.3	87.2	93.4	1	20697	836	1022.4	81.8	76.4	87.6	1

浜松市中区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

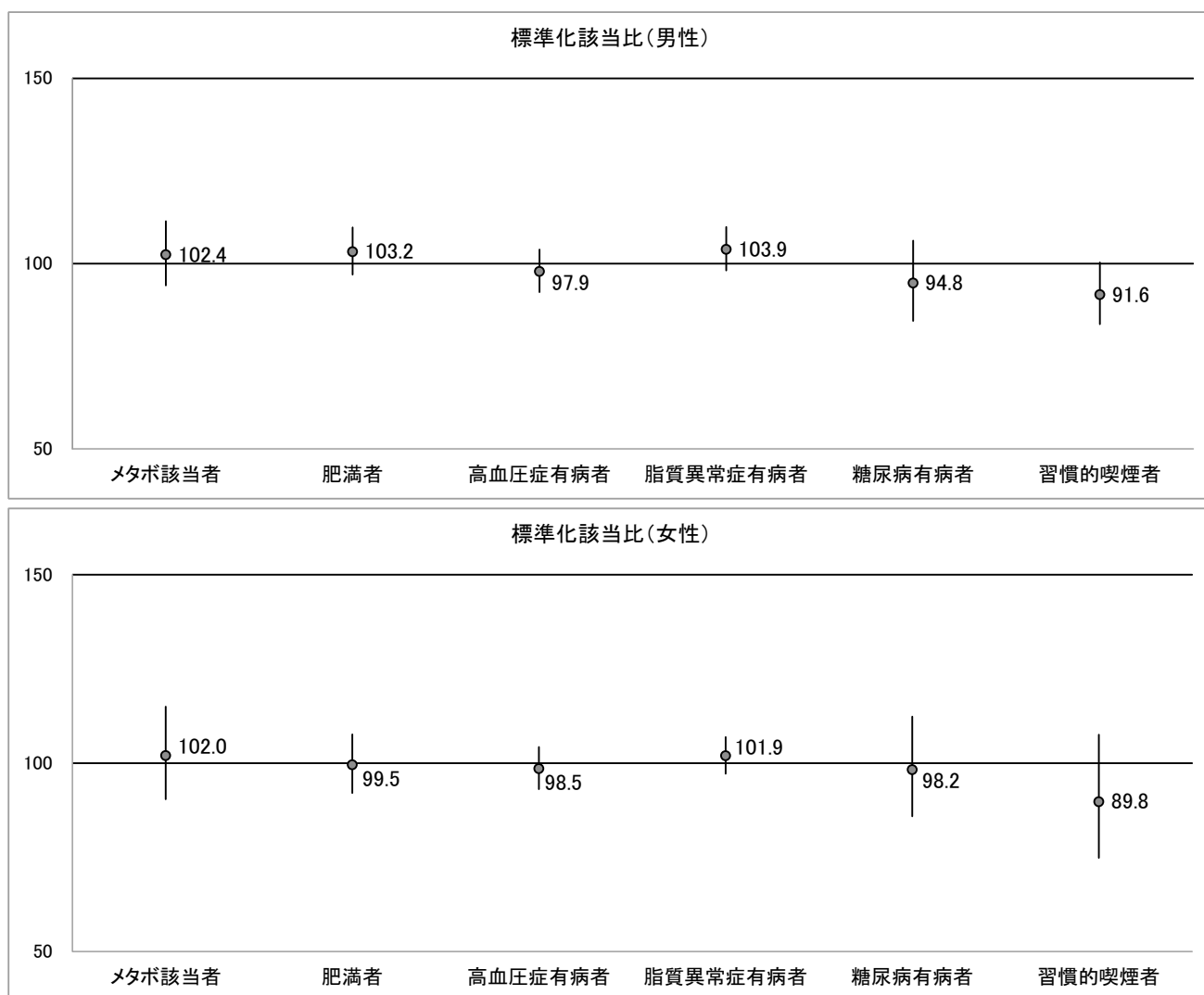
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	4117	1059	999.5	105.9	99.7	112.6	3	5604	527	539.0	97.8	89.7	106.6	2
メタボ予備群	4117	629	609.7	103.2	95.3	111.6	3	5604	302	302.5	99.8	89.0	111.9	2
肥満者	4117	1953	1867.7	104.6	100.0	109.3	4	5604	1218	1295.7	94.0	88.8	99.5	1
高血圧症有病者	4117	2023	2119.7	95.4	91.3	99.7	1	5604	2223	2440.2	91.1	87.4	95.0	1
高血圧症予備群	4117	501	564.7	88.7	81.2	96.9	1	5604	741	794.4	93.3	86.7	100.3	2
血圧を下げる薬服用者	4117	1442	1410.6	102.2	97.0	107.7	3	5604	1565	1637.5	95.6	90.9	100.5	2
脂質異常症有病者	4117	2291	2231.6	102.7	98.5	107.0	3	5604	3371	3334.8	101.1	97.7	104.6	3
コレステロールを下げる薬服用者	4117	517	534.8	96.7	88.6	105.5	2	5604	1175	1270.7	92.5	87.3	98.0	1
糖尿病有病者	4116	610	590.7	103.3	95.3	111.9	3	5603	431	446.2	96.6	87.8	106.3	2
糖尿病予備群	4116	855	807.8	105.8	98.9	113.2	3	5603	1241	1089.9	113.9	107.7	120.4	4
血糖を下げる薬など服用者	4117	316	318.9	99.1	88.6	110.8	2	5604	213	242.5	87.8	76.6	100.7	2
習慣的喫煙者	4117	904	1004.9	90.0	84.2	96.1	1	5604	298	284.8	104.6	93.2	117.4	3

浜松市東区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

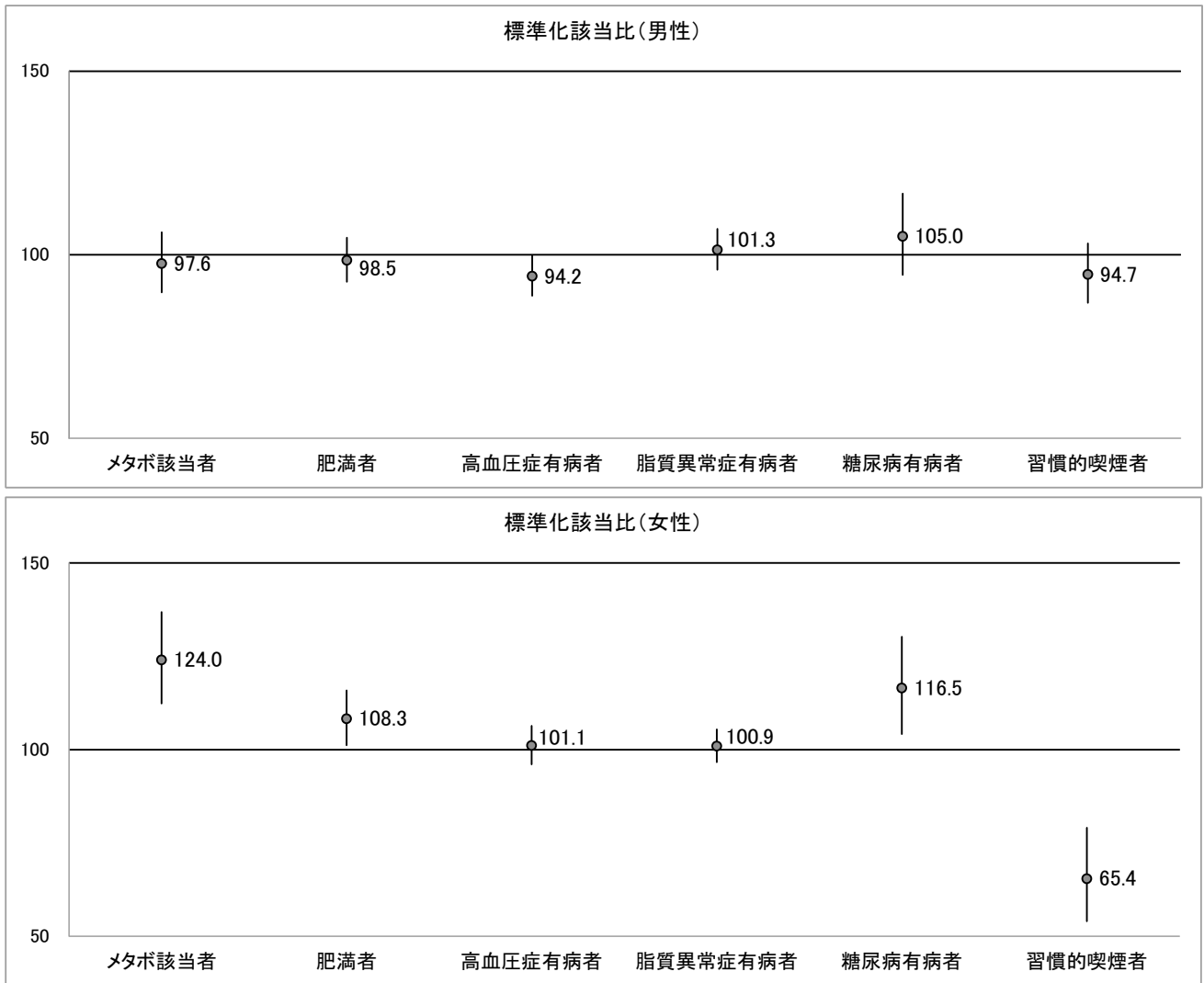
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2190	548	535.1	102.4	94.1	111.4	3	2783	274	268.7	102.0	90.4	115.0	3
メタボ予備群	2190	345	322.9	106.8	96.0	118.9	3	2783	146	150.4	97.1	82.3	114.5	2
肥満者	2190	1023	991.3	103.2	97.0	109.8	3	2784	641	643.9	99.5	92.1	107.6	2
高血圧症有病者	2190	1125	1149.2	97.9	92.3	103.8	2	2783	1205	1223.0	98.5	93.1	104.3	2
高血圧症予備群	2190	272	299.6	90.8	80.5	102.4	2	2783	370	398.1	93.0	83.8	103.0	2
血圧を下げる薬服用者	2190	841	771.8	109.0	101.8	116.7	4	2784	880	819.8	107.3	100.4	114.7	4
脂質異常症有病者	2190	1228	1182.4	103.9	98.2	109.9	3	2784	1707	1674.5	101.9	97.2	106.9	3
コレステロールを下げる薬服用者	2190	324	290.6	111.5	99.8	124.5	3	2784	693	640.9	108.1	100.3	116.6	4
糖尿病有病者	2190	303	319.8	94.8	84.5	106.2	2	2783	220	223.9	98.2	85.9	112.3	2
糖尿病予備群	2190	434	435.1	99.8	90.7	109.7	2	2783	545	548.4	99.4	91.3	108.2	2
血糖を下げる薬など服用者	2190	154	173.7	88.6	75.4	104.1	2	2784	115	121.4	94.7	78.5	114.1	2
習慣的喫煙者	2190	476	519.5	91.6	83.7	100.3	2	2784	122	135.9	89.8	74.8	107.6	2

浜松市西区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

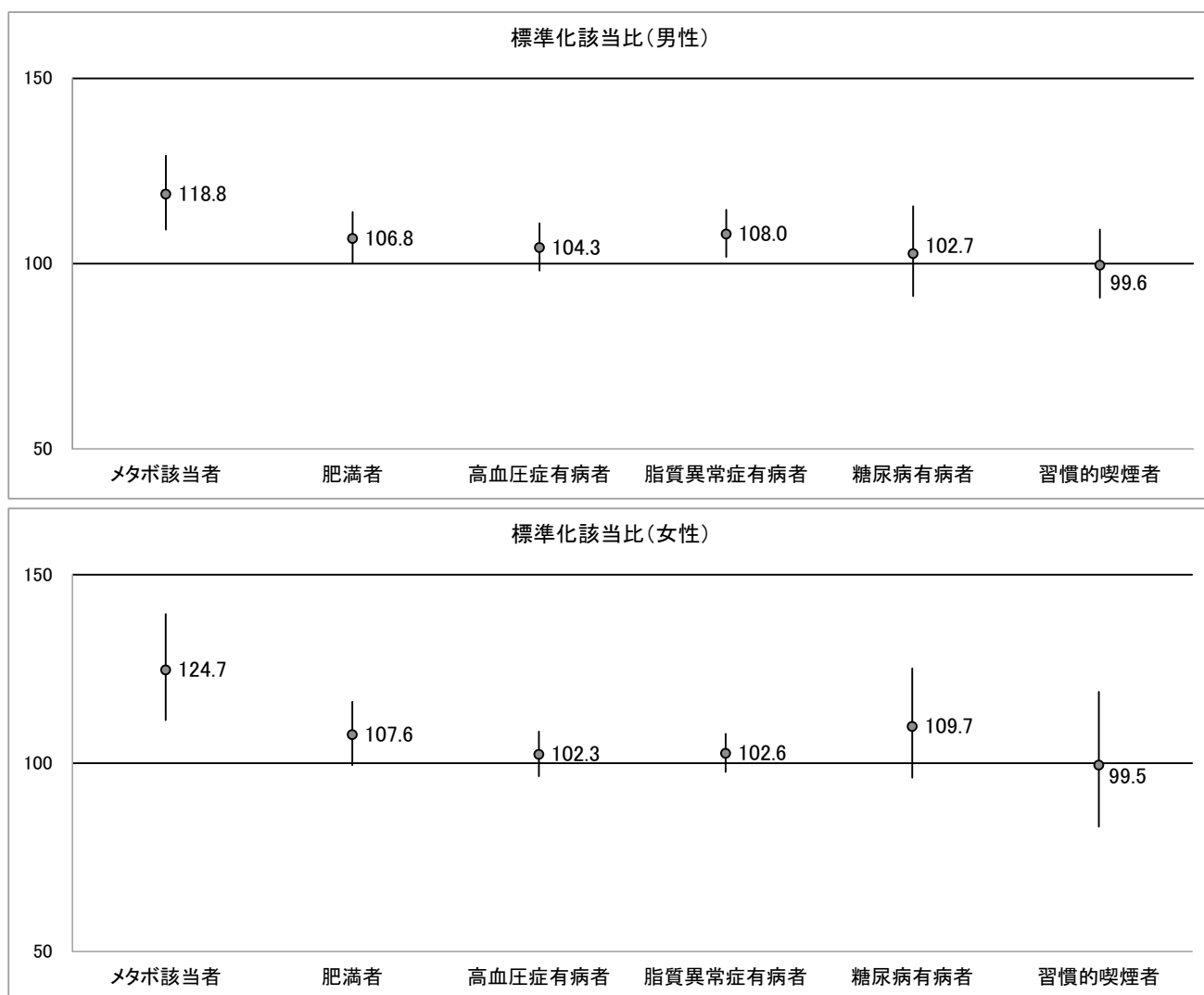
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	2345	557	570.7	97.6	89.7	106.1	2	3406	405	326.6	124.0	112.4	136.9	4
メタボ予備群	2345	340	346.4	98.1	88.1	109.3	2	3406	197	183.7	107.3	93.0	123.6	3
肥満者	2345	1047	1063.3	98.5	92.6	104.7	2	3407	851	786.1	108.3	101.2	115.8	4
高血圧症有病者	2345	1142	1212.7	94.2	88.8	99.8	1	3406	1502	1486.0	101.1	96.1	106.3	3
高血圧症予備群	2345	287	322.0	89.1	79.3	100.2	2	3406	459	486.2	94.4	86.1	103.5	2
血圧を下げる薬服用者	2345	847	807.1	104.9	98.1	112.3	3	3407	1122	994.7	112.8	106.3	119.6	4
脂質異常症有病者	2345	1289	1272.1	101.3	95.9	107.1	3	3407	2062	2042.8	100.9	96.7	105.4	3
コレステロールを下げる薬服用者	2345	328	305.9	107.2	96.1	119.7	3	3407	790	776.3	101.8	94.9	109.2	3
糖尿病有病者	2345	355	338.1	105.0	94.5	116.7	3	3407	317	272.2	116.5	104.2	130.2	4
糖尿病予備群	2345	490	462.9	105.9	96.8	115.8	3	3407	757	668.1	113.3	105.4	121.7	4
血糖を下げる薬など服用者	2345	191	182.3	104.8	90.7	121.0	3	3407	203	147.3	137.8	119.8	158.5	4
習慣的喫煙者	2345	540	570.5	94.7	86.9	103.1	2	3407	111	169.8	65.4	54.0	79.1	1

浜松市南区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

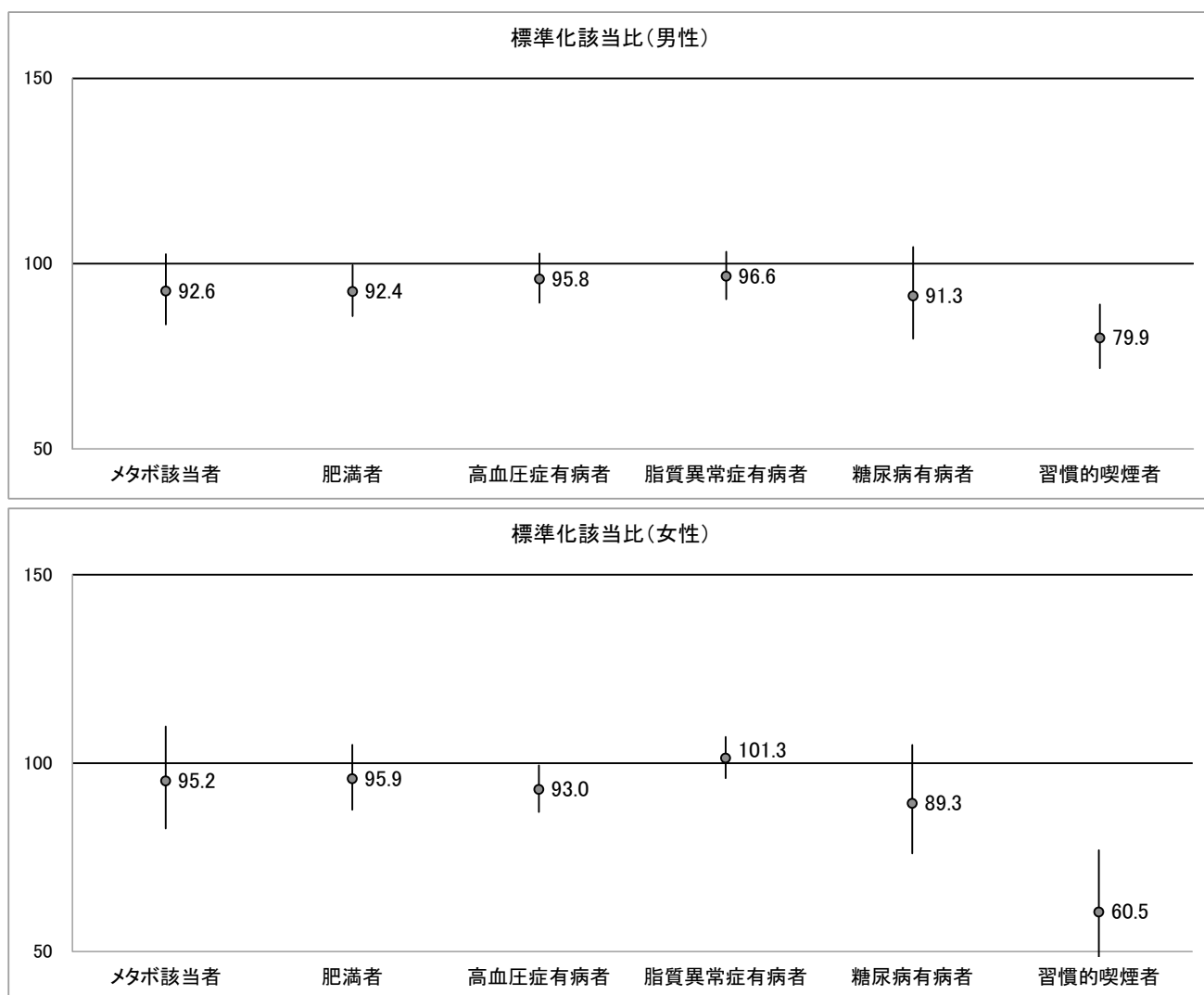
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1914	553	465.7	118.8	109.2	129.2	4	2580	311	249.4	124.7	111.4	139.6	4
メタボ予備群	1914	282	282.3	99.9	88.7	112.4	2	2580	151	139.5	108.2	91.9	127.3	3
肥満者	1914	925	866.3	106.8	100.1	113.9	4	2580	642	596.9	107.6	99.5	116.3	3
高血圧症有病者	1914	1037	994.1	104.3	98.1	110.9	3	2580	1161	1135.0	102.3	96.5	108.4	3
高血圧症予備群	1914	249	262.6	94.8	83.6	107.5	2	2580	366	369.3	99.1	89.3	109.9	2
血圧を下げる薬服用者	1914	720	663.8	108.5	100.8	116.8	4	2580	800	761.1	105.1	98.0	112.7	3
脂質異常症有病者	1914	1119	1036.2	108.0	101.8	114.6	4	2580	1594	1553.8	102.6	97.6	107.8	3
コレステロールを下げる薬服用者	1914	304	250.8	121.2	108.1	135.8	4	2580	615	594.7	103.4	95.5	112.0	3
糖尿病有病者	1913	284	276.6	102.7	91.2	115.5	3	2580	228	207.9	109.7	96.1	125.1	3
糖尿病予備群	1913	399	378.6	105.4	95.4	116.4	3	2580	565	508.9	111.0	102.1	120.7	4
血糖を下げる薬など服用者	1914	183	149.7	122.3	105.5	141.7	4	2580	130	112.7	115.4	96.8	137.5	3
習慣的喫煙者	1914	460	462.0	99.6	90.8	109.2	2	2580	125	125.7	99.5	83.1	118.9	2

浜松市北区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

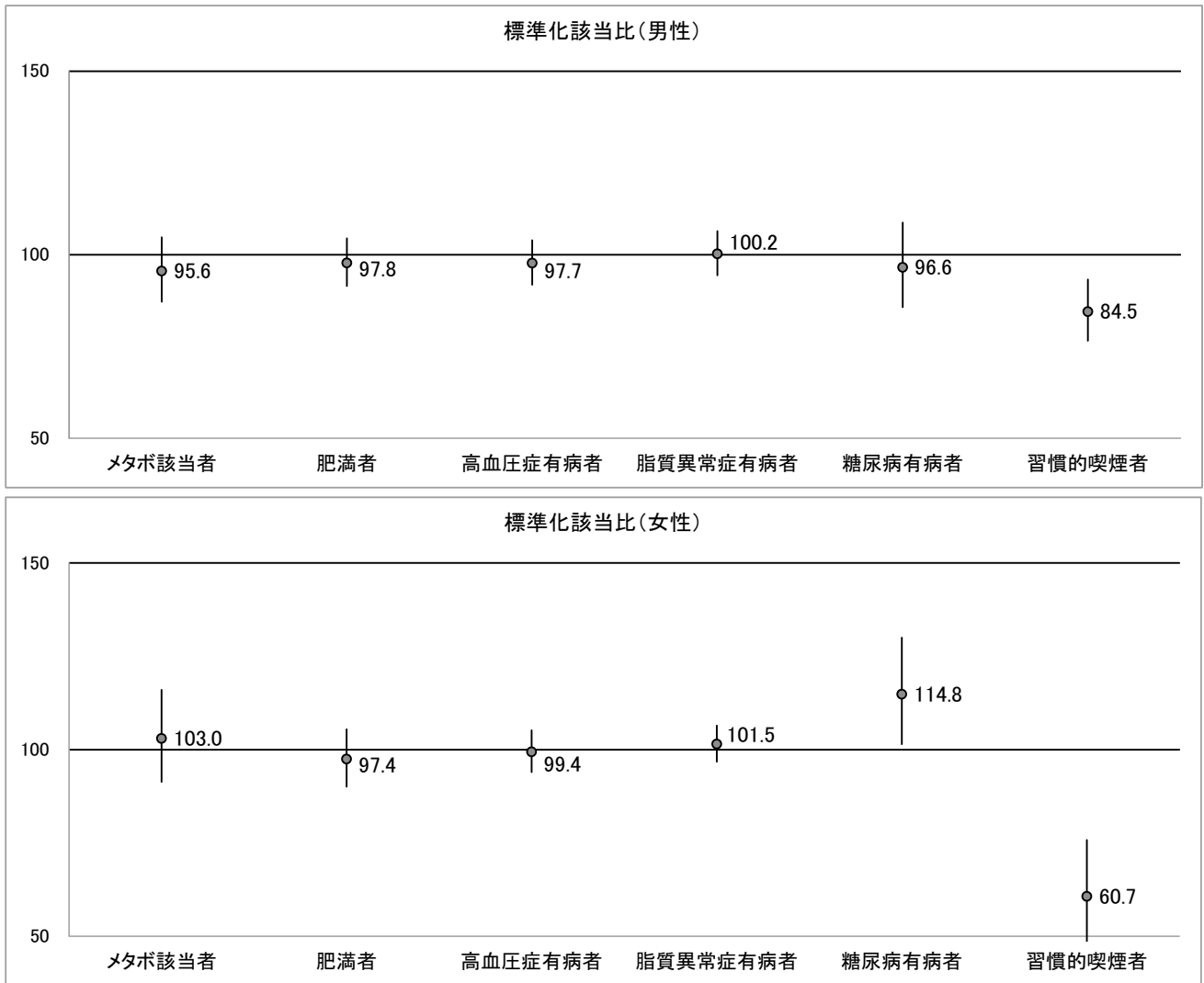
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1679	376	406.0	92.6	83.6	102.6	2	2220	198	207.9	95.2	82.7	109.7	2
メタボ予備群	1679	227	249.0	91.2	79.9	104.0	2	2220	115	118.3	97.2	80.6	117.2	2
肥満者	1679	705	762.6	92.4	85.8	99.6	1	2220	486	507.0	95.9	87.6	104.9	2
高血圧症有病者	1679	814	849.3	95.8	89.4	102.7	2	2220	882	948.4	93.0	87.0	99.4	1
高血圧症予備群	1679	223	232.1	96.1	84.1	109.8	2	2220	320	315.7	101.4	90.7	113.3	3
血圧を下げる薬服用者	1679	582	556.9	104.5	96.3	113.4	3	2220	632	630.2	100.3	92.7	108.5	3
脂質異常症有病者	1679	885	916.4	96.6	90.4	103.2	2	2220	1341	1323.3	101.3	96.0	106.9	3
コレステロールを下げる薬服用者	1679	191	213.1	89.6	77.6	103.5	2	2220	434	491.8	88.2	80.2	97.1	1
糖尿病有病者	1679	217	237.7	91.3	79.7	104.5	2	2220	155	173.5	89.3	76.1	104.8	2
糖尿病予備群	1679	332	328.3	101.1	90.7	112.8	3	2220	471	431.8	109.1	99.5	119.5	3
血糖を下げる薬など服用者	1679	111	126.8	87.5	72.3	105.8	2	2220	83	93.4	88.9	71.2	110.7	2
習慣的喫煙者	1679	340	425.4	79.9	71.8	89.0	1	2220	70	115.7	60.5	47.5	76.9	1

浜松市浜北区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

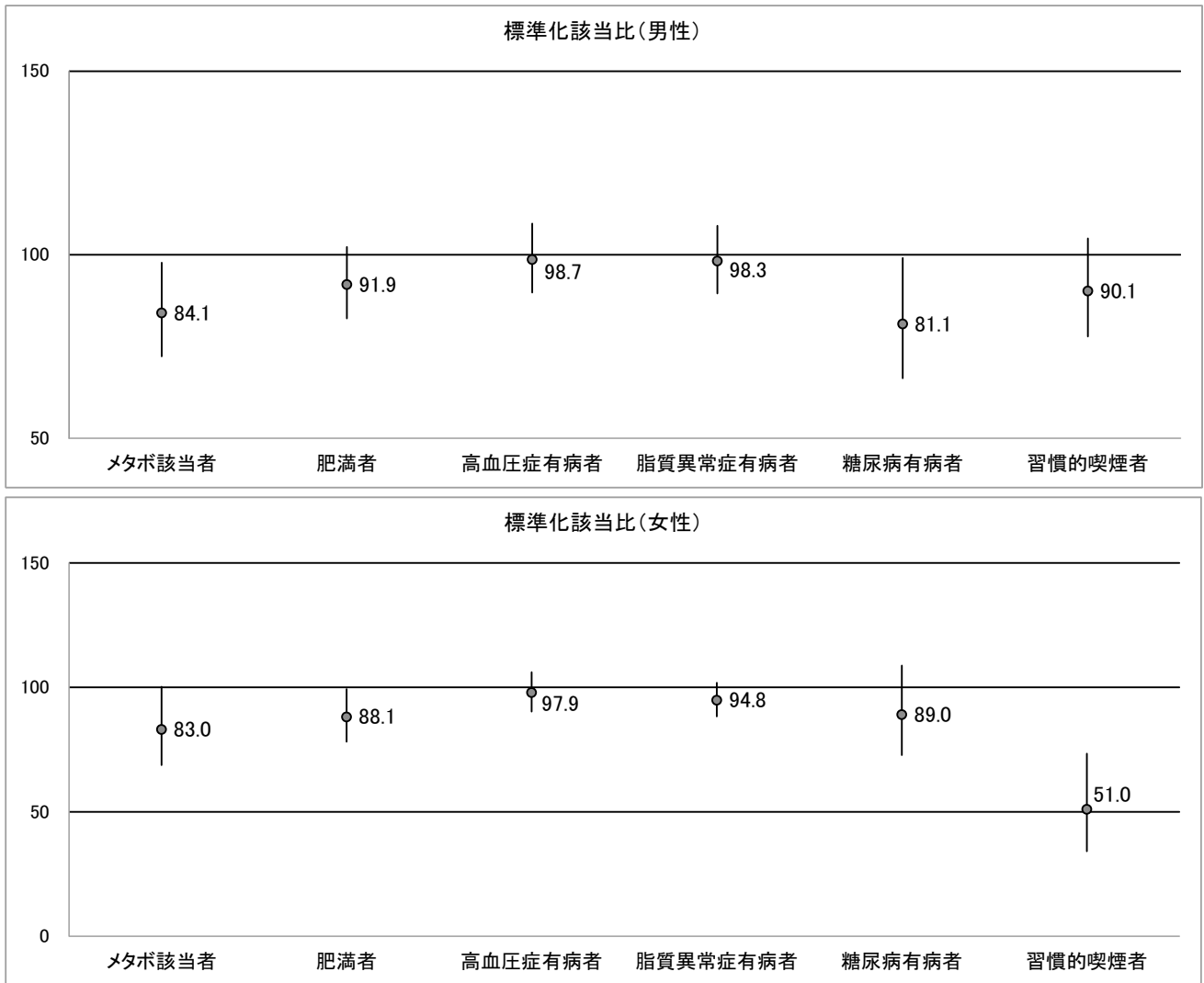
また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味、3 高いが無意味、4 有意に高いを示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	1991	464	485.5	95.6	87.2	104.8	2	2778	277	269.0	103.0	91.4	116.0	3
メタボ予備群	1991	291	294.1	98.9	88.0	111.2	2	2778	127	150.3	84.5	70.7	100.9	2
肥満者	1991	882	902.2	97.8	91.5	104.5	2	2779	627	643.4	97.4	90.0	105.5	2
高血圧症有病者	1991	1014	1037.7	97.7	91.8	104.0	2	2778	1219	1226.3	99.4	93.9	105.2	2
高血圧症予備群	1991	284	272.8	104.1	92.5	117.1	3	2778	388	399.1	97.2	87.9	107.5	2
血圧を下げる薬服用者	1991	741	694.3	106.7	99.2	114.8	3	2779	849	821.5	103.3	96.6	110.6	3
脂質異常症有病者	1991	1079	1076.3	100.2	94.4	106.5	3	2779	1706	1681.3	101.5	96.7	106.4	3
コレステロールを下げる薬服用者	1991	313	262.2	119.4	106.7	133.6	4	2779	763	642.6	118.7	110.5	127.5	4
糖尿病有病者	1991	279	288.9	96.6	85.7	108.8	2	2779	258	224.6	114.8	101.5	130.0	4
糖尿病予備群	1991	330	393.8	83.8	75.1	93.5	1	2779	463	551.2	84.0	76.6	92.1	1
血糖を下げる薬など服用者	1991	160	156.5	102.2	87.3	119.7	3	2779	144	121.6	118.4	100.2	139.8	4
習慣的喫煙者	1991	403	476.9	84.5	76.5	93.3	1	2779	81	133.5	60.7	48.5	75.8	1

浜松市天竜区



グラフ及び表の見方

標準化該当比は、静岡県(市町国保)の結果と当該保険者の結果を比較した値である。静岡県(市町国保)を100(基準)としているため、当該保険者の標準化該当比が100より大きい場合、当該保険者の該当者出現率は静岡県(市町国保)より高く、100より小さい場合、静岡県(市町国保)より低いことを示す。

なお、グラフ中の縦軸の大きさは、95%信頼区間を示す。

また、表中の結果は、1 有意に低い、2 低いが無意味でない、3 高いが無意味でない、4 有意に高い を示す。

「有意に高い」とは当該保険者の標準化該当比が、静岡県(市町国保)の結果(基準)と比べて高いということが95%以上の確率で正しいことを示す。

※ 異常値及び判定区分の設定は、「しずおか健康創造21アクションプラン」の指標定義を使用した。
(高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者には、服薬中の者を含む。)

項目	男性							女性						
	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果	判定可能者数	該当者数	期待者数	該当比	信頼区間		結果
					下限値	上限値						下限値	上限値	
メタボ該当者	844	174	206.8	84.1	72.3	97.8	1	1323	113	136.1	83.0	68.8	100.2	2
メタボ予備群	844	122	124.7	97.9	81.6	117.3	2	1323	63	73.8	85.4	66.1	110.0	2
肥満者	844	352	383.1	91.9	82.7	102.1	2	1323	277	314.4	88.1	78.2	99.3	1
高血圧症有病者	844	436	441.9	98.7	89.7	108.5	2	1323	601	614.1	97.9	90.3	106.1	2
高血圧症予備群	844	119	115.6	102.9	85.6	123.6	3	1323	207	191.8	107.9	93.9	123.9	3
血圧を下げる薬服用者	844	297	295.7	100.4	89.5	112.7	3	1323	406	418.1	97.1	88.0	107.1	2
脂質異常症有病者	844	449	457.0	98.3	89.5	107.9	2	1323	773	815.0	94.8	88.3	101.8	2
コレステロールを下げる薬服用者	844	106	111.7	94.9	78.1	115.3	2	1323	305	323.8	94.2	84.1	105.5	2
糖尿病有病者	844	100	123.2	81.1	66.4	99.1	1	1323	100	112.3	89.0	72.8	108.7	2
糖尿病予備群	844	158	167.7	94.2	80.4	110.4	2	1323	264	268.5	98.3	87.0	111.1	2
血糖を下げる薬など服用者	844	55	66.7	82.4	62.7	108.1	2	1323	49	61.7	79.5	59.4	106.0	2
習慣的喫煙者	844	182	202.0	90.1	77.7	104.4	2	1323	29	56.9	51.0	34.1	73.4	1

3 共済組合

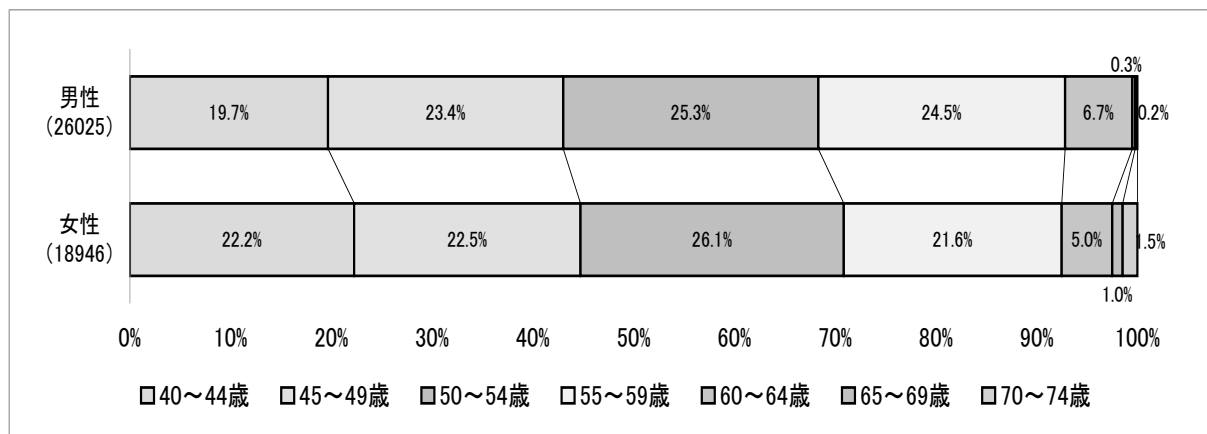
(1) 健診受診者の傾向

共済組合の特定健診受診を医療保険者ごとに、性別、年齢階級別に集計した。

共済組合の平成21年度の健診受診者数は、総数44,971名、男性26,025名、女性18,946名であり、男性が女性と比較して1.4倍であった。

共済組合は、40～59歳の健診受診者が約9割を占めた。

図81. 平成21年度健診受診者



平成21年度健診受診者数（性別、年齢階級別、共済組合別）

男性								
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
地方職員共済	983	1049	800	761	324	9	3	3929
	25.0%	26.7%	20.4%	19.4%	8.2%	0.2%	0.1%	100.0%
市町村職員共済	2299	2049	2717	3014	865	53	39	11036
	20.8%	18.6%	24.6%	27.3%	7.8%	0.5%	0.4%	100.0%
警察共済	560	696	867	806	45	1	3	2978
	18.8%	23.4%	29.1%	27.1%	1.5%	0.0%	0.1%	100.0%
公立学校共済	1273	2283	2205	1795	499	12	15	8082
	15.8%	28.2%	27.3%	22.2%	6.2%	0.1%	0.2%	100.0%

女性								
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
地方職員共済	729	525	459	326	84	25	20	2168
	33.6%	24.2%	21.2%	15.0%	3.9%	1.2%	0.9%	100.0%
市町村職員共済	1804	1662	2169	2088	556	114	138	8531
	21.1%	19.5%	25.4%	24.5%	6.5%	1.3%	1.6%	100.0%
警察共済	266	268	311	191	23	13	17	1089
	24.4%	24.6%	28.6%	17.5%	2.1%	1.2%	1.6%	100.0%
公立学校共済	1415	1803	2014	1492	285	46	103	7158
	19.8%	25.2%	28.1%	20.8%	4.0%	0.6%	1.4%	100.0%

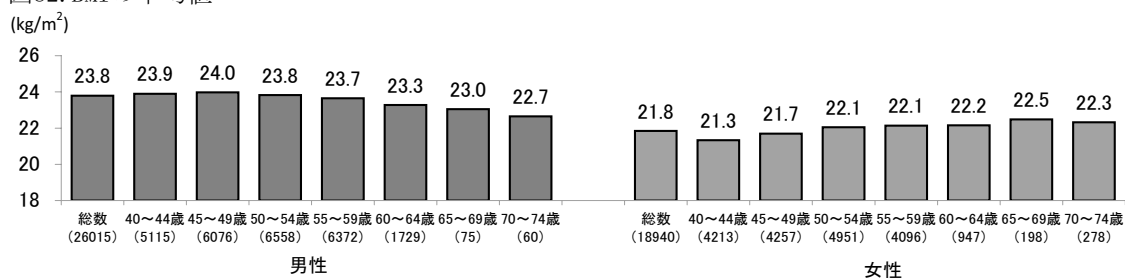
なお、健診受診者数には、被扶養者・任意継続者を含む。

(2) 検査項目別平均値

各項目について、平均値を性別、年齢階級別に示した。

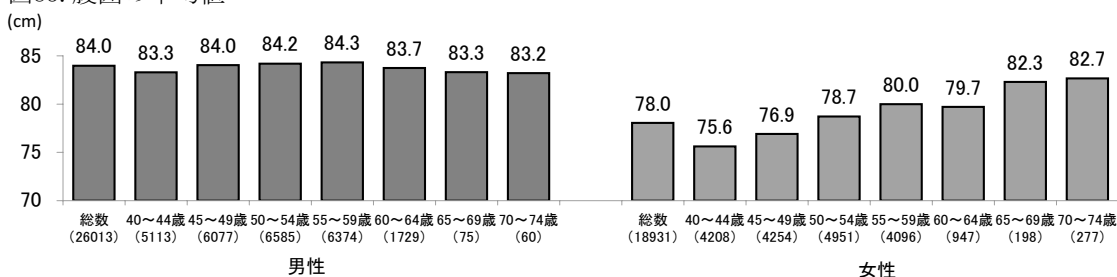
BMI平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって緩やかに低くなり、女性はほぼ横ばいであった。

図82. BMIの平均値



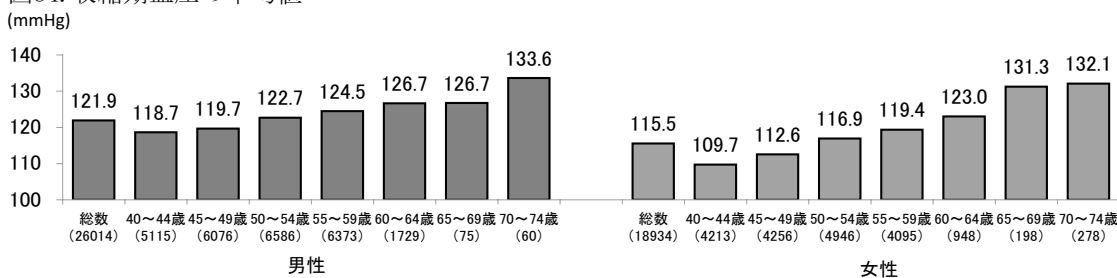
腹囲平均値は、男性は年齢による大きな違いはなかったが、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図83. 腹囲の平均値



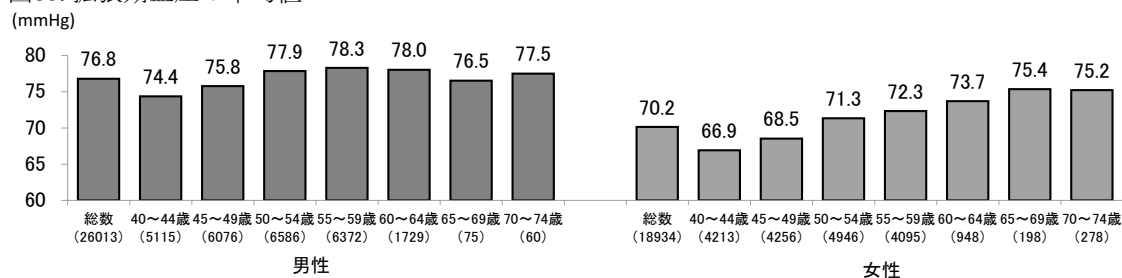
収縮期血圧平均値は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図84. 収縮期血圧の平均値



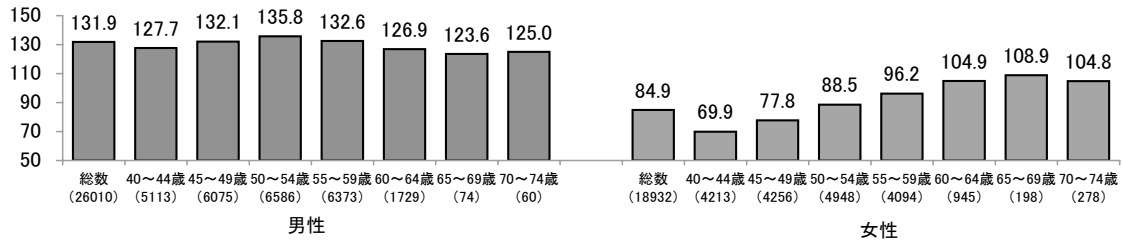
拡張期血圧平均値は、男女とも60歳頃までは高くなったが、その後はほぼ横ばいになった。

図85. 拡張期血圧の平均値



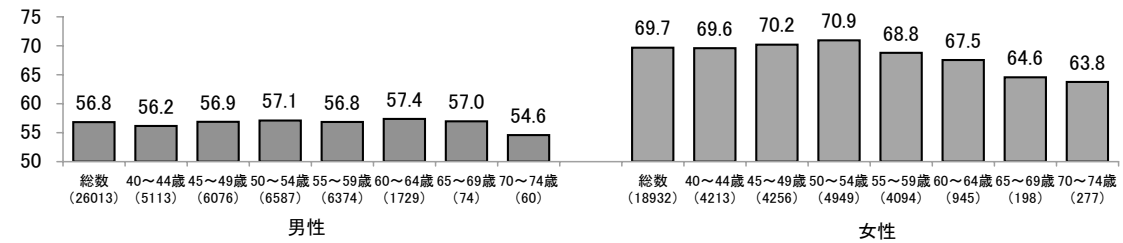
中性脂肪平均値は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図86. 中性脂肪（トリグリセリド）の平均値 (mg/dl)



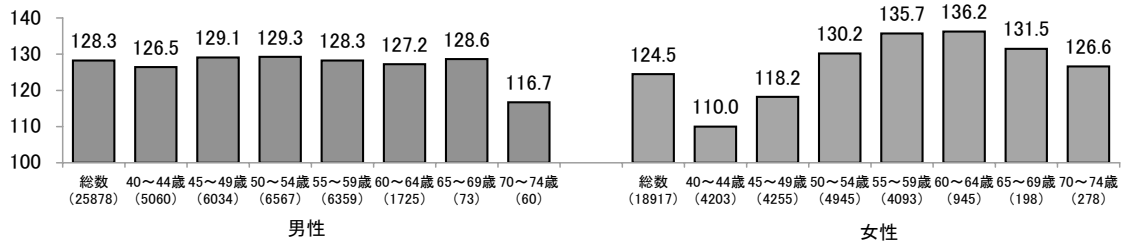
HDLコレステロール平均値は、男性はほぼ横ばいだった。女性は50～54歳が最も高く、その後は低くなった。男性は女性と比較して、全年齢階級で低かった。

図87. HDLコレステロールの平均値 (mg/dl)



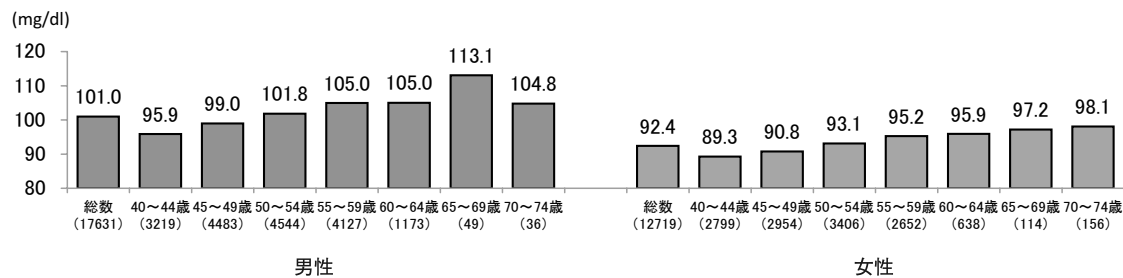
LDLコレステロール平均値は、男性はほぼ横ばい、女性は60～64歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後は低くなった。

図88. LDLコレステロールの平均値 (mg/dl)



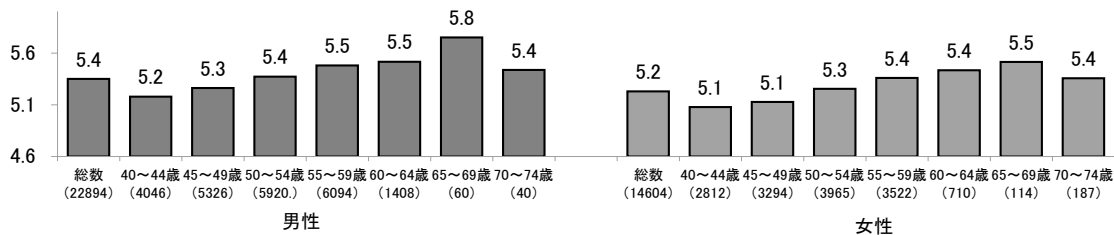
空腹時血糖平均値は、男性は65～69歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後低くなった。女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図89. 空腹時血糖の平均値 (mg/dl)



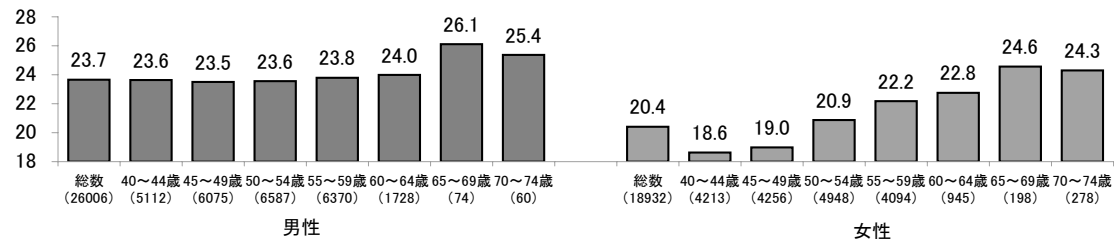
HbA1c平均値は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなり、70～74歳で低くなった。

図90. HbA1cの平均値 (%)



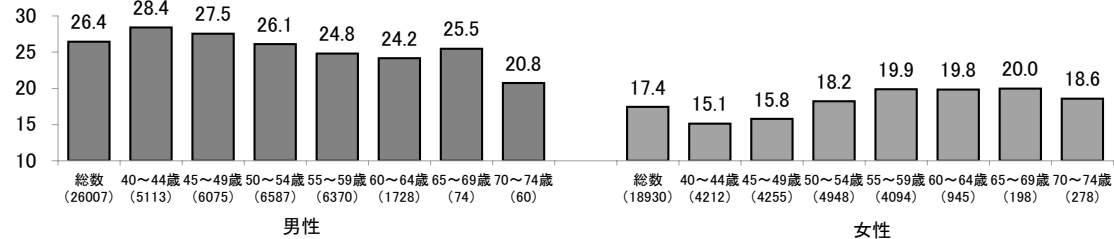
AST (GOT)の平均値は、男性は60～64歳まではほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図91. AST (GOT)の平均値 (IU/l)



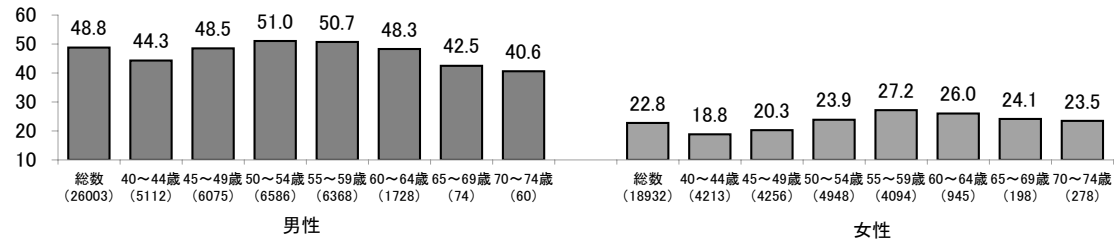
ALT (GPT)平均値は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は55～59歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後はほぼ横ばいだった。

図92. ALT (GPT)の平均値 (IU/l)



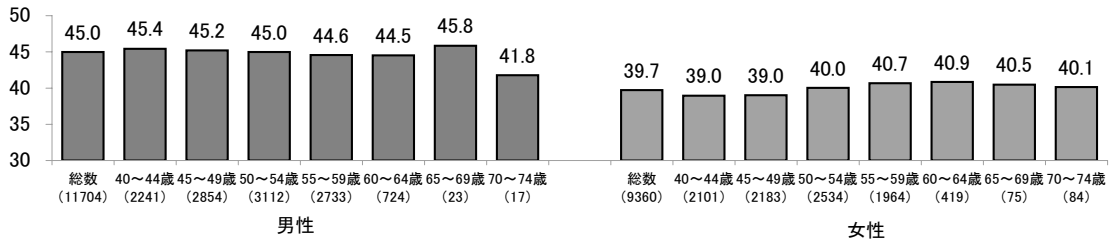
γ-GT (γ-GTP)平均値は、男性は50～54歳までは高くなりその後低くなった。女性は55～59歳までは高くなり、その後低くなった。女性は男性に比べ全年齢階級で低かった。

図93. γ-GT (γ-GTP)の平均値 (IU/l)



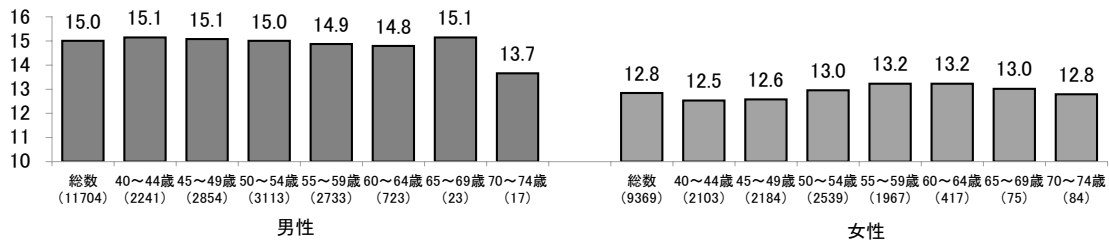
ヘマトクリット値平均値は、男女ともほぼ横ばいとなった。

図94. ヘマトクリット値の平均値 (%)



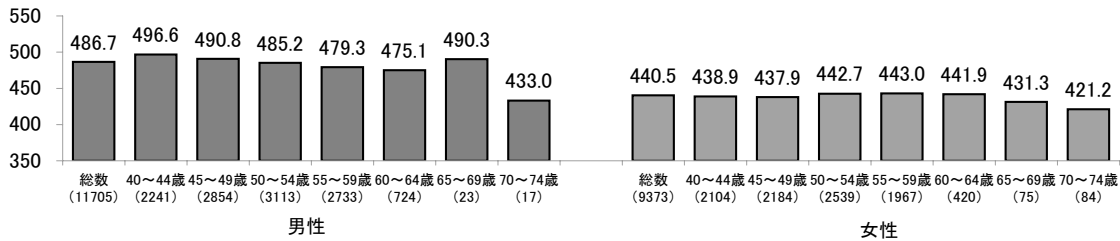
血色素量平均値は、男女ともほぼ横ばいとなった。

図95. 血色素量の平均値 (g/dl)



赤血球数平均値は、男女ともほぼ横ばい、70~74歳で低くなった。

図96. 赤血球数の平均値 (万/mm³)

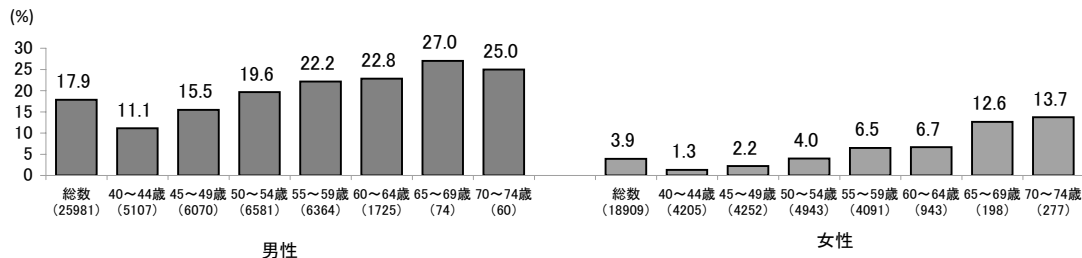


(3) 異常者等該当率

健診データ及び標準的な質問票について、性別、年齢階級別に示した。

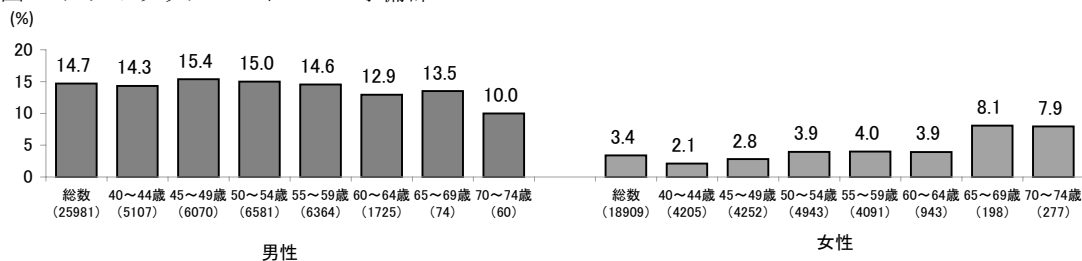
メタボリックシンドロームの該当者は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって、高くなった。

図97. メタボリックシンドローム該当者



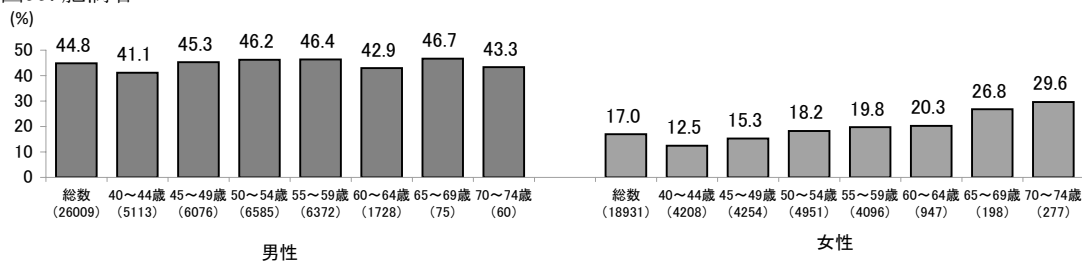
メタボリックシンドローム予備群は、男性は55~59歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。女性は60~64歳までは年齢階級が上がるにしたがって緩やかに上昇し、その後は高くなった。

図98. メタボリックシンドローム予備群



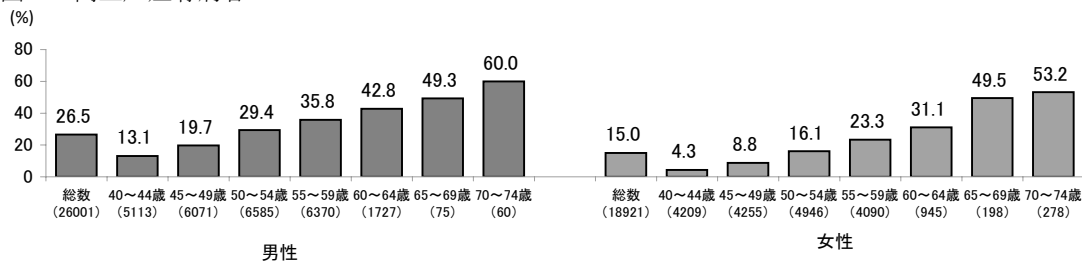
肥満者の割合は、男性はほぼ横ばい、女性は年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図99. 肥満者



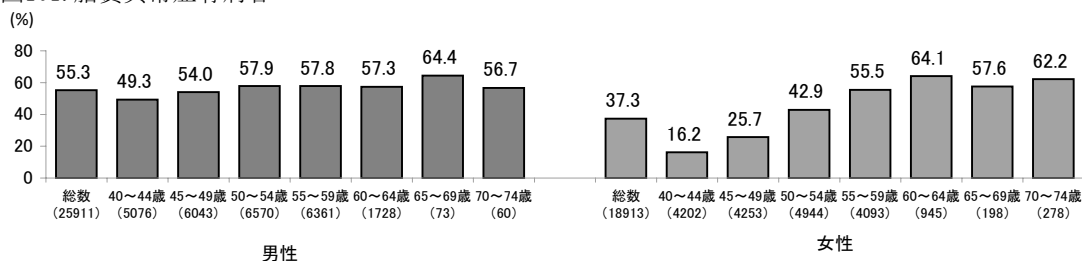
高血圧症有病者は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図100. 高血圧症有病者



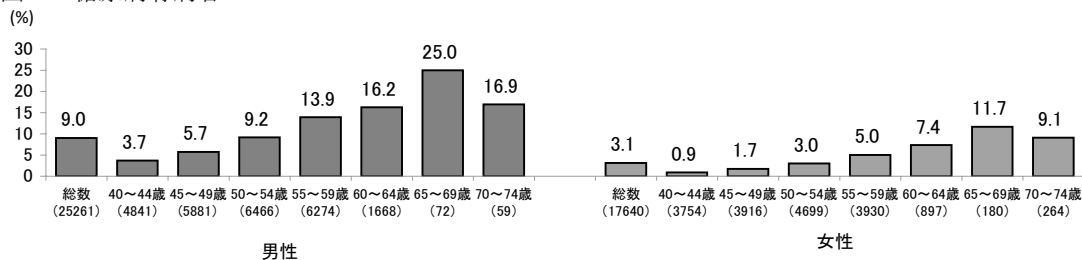
脂質異常症有病者は、男性はほぼ横ばい、女性は60～64歳までは高くなり、その後はほぼ横ばいとなった。

図101. 脂質異常症有病者



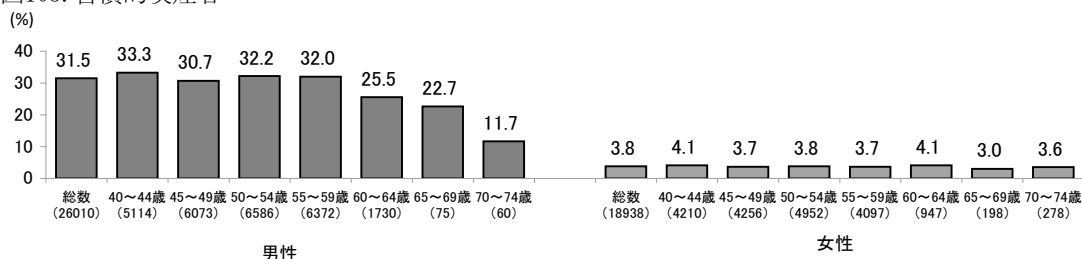
糖尿病有病者は、男女とも65～69歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後低くなった。

図102. 糖尿病有病者



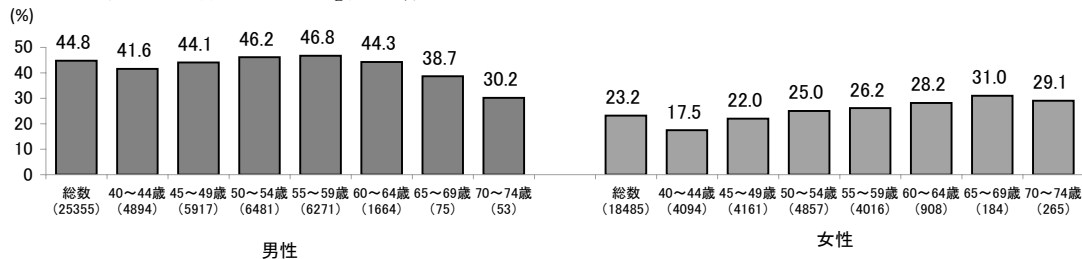
習慣的喫煙者は、男性は、55～59歳まではほぼ横ばい、その後低くなった。女性はほぼ横ばい。

図103. 習慣的喫煙者



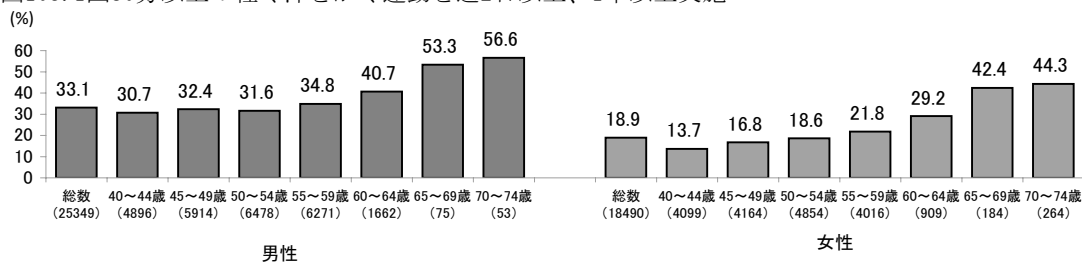
20歳の時の体重から10kg以上増加している割合は、男性は60～64歳まではほぼ横ばい、その後低くなった。女性は65～69歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなり、その後低くなった。

図104. 20歳の時の体重から10kg以上増加している



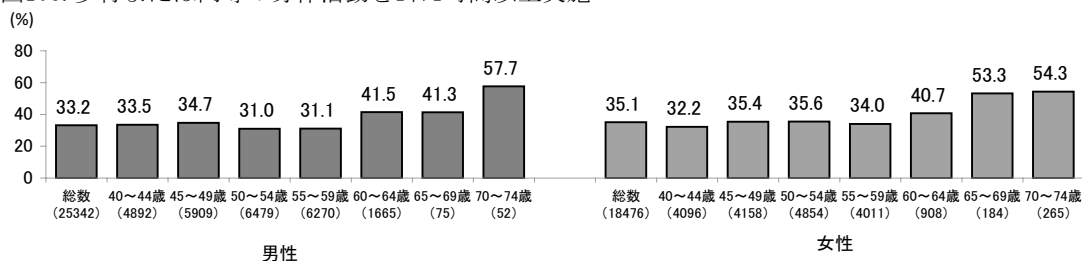
運動習慣のある割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図105. 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施



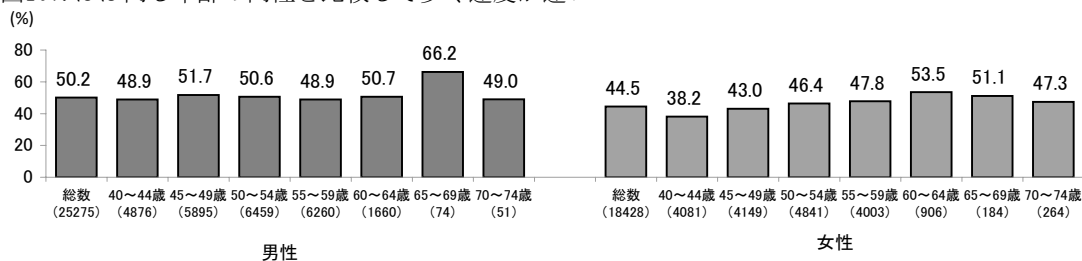
身体活動は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図106. 歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施



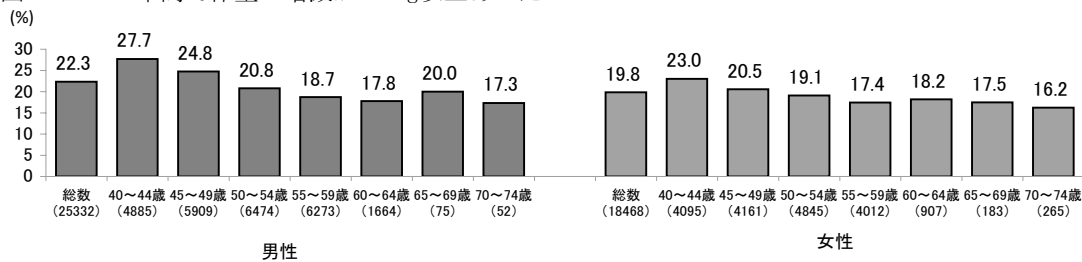
歩く速度は、男性は65~69歳を除く年齢階級でほぼ横ばい。女性は60~64歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図107. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い



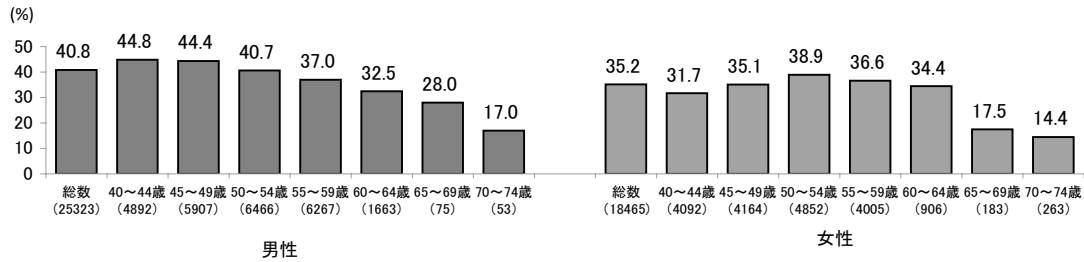
この1年間で体重の増減があった割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって低くなった。

図108. この1年間で体重の増減が±3kg以上あった



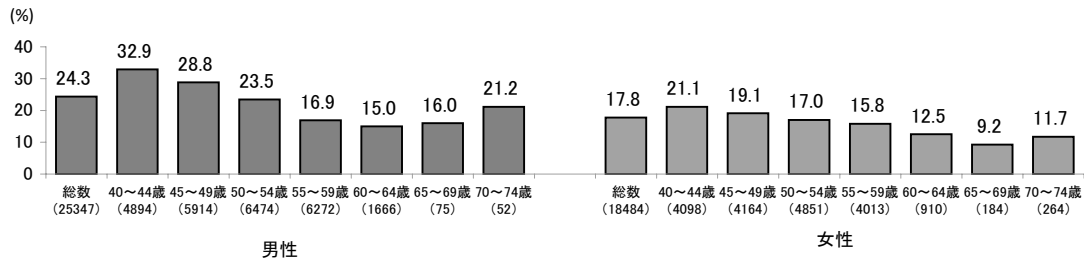
早食いの割合は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は60～64歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。

図109. 人と比較して食べる速度が速い



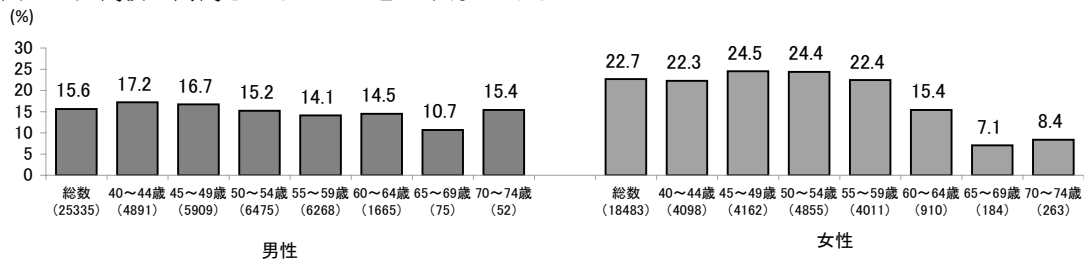
就寝前に夕食を食べる割合は、男女とも、60歳頃までは年齢階級が上がるにしたがって低くなり、その後は高くなった。

図110. 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある



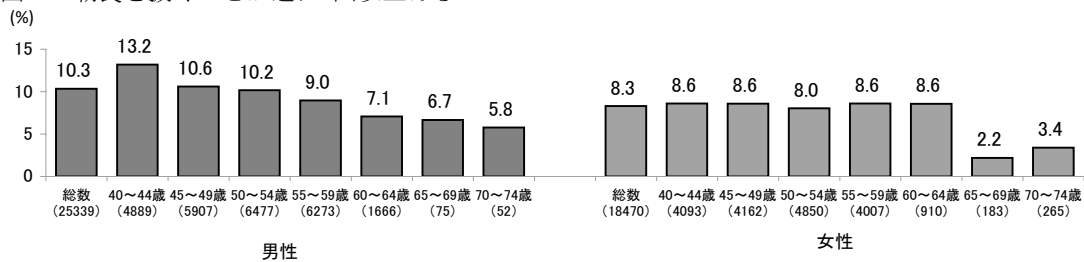
夕食後に間食をとる割合は、男性はほぼ横ばいだった。女性は55～59歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。男性と比べると女性は60歳頃までは、間食をとる割合が高かった。

図111. 夕食後に間食をとることが週に3回以上ある



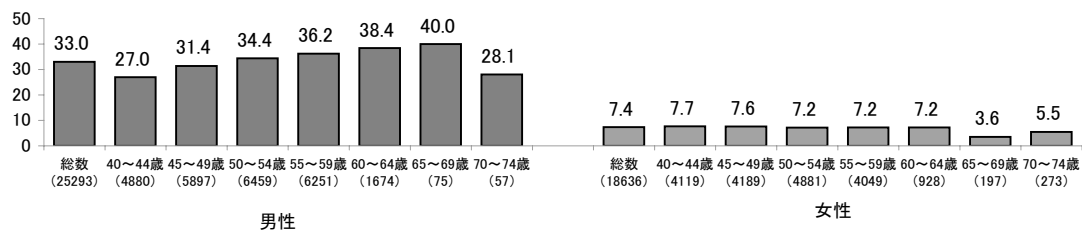
朝食を欠食する割合は、男性は年齢階級が上がるにしたがって低くなった。女性は60～64歳まではほぼ横ばい、その後は低くなった。

図112. 朝食を抜くことが週に3回以上ある



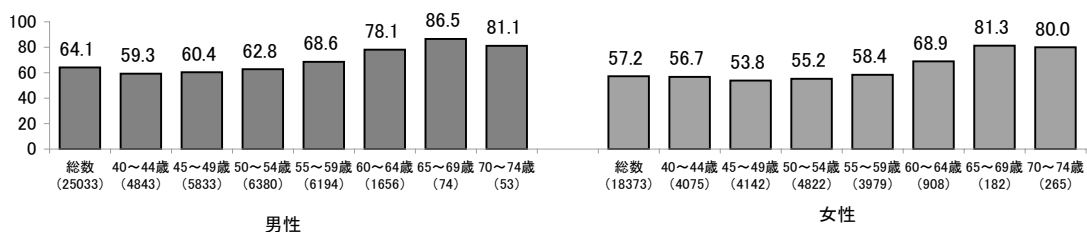
毎日飲酒する割合は、男性は65～69歳までは年齢階級が上がるにしたがって高くなりその後低くなった。女性は60～64歳まではほぼ横ばい、その後低くなった。

図113. お酒を毎日飲む (%)



睡眠で休養がとれている割合は、男女とも年齢階級が上がるにしたがって高くなった。

図114. 睡眠で休養が十分とれている (%)



IV 參考資料

Ⅲ 平成21年度の特定健診・特定保健指導の法定報3より受診率の比較

保険者が国に提出する特定健康診査等の実施状況（法定報3）の結果より、特定健診受診率についてとりまとめた。

【市町国保・国保組合】

医療圏域	保険者名	平成20年度				平成21年度			
		対象者数	受診者数	受診率	評価対象者数	対象者数	受診者数	受診率	評価対象者数
賀茂	下田市	6,784	2,256	33.3%	2,256	6,697	1,916	28.6%	1,917
	東伊豆町	4,369	931	21.3%	931	4,120	1,143	27.7%	1,164
	河津町	2,184	628	28.8%	628	2,127	662	31.1%	662
	南伊豆町	2,668	1,073	40.2%	1,073	2,662	1,041	39.1%	1,041
	松崎町	2,318	847	36.5%	847	2,256	873	38.7%	873
	西伊豆町	2,848	1,322	46.4%	1,322	2,793	1,136	40.7%	1,176
熱海伊東	熱海市	11,334	3,119	27.5%	3,120	11,078	3,291	29.7%	3,291
	伊東市	20,884	6,029	28.9%	6,033	20,832	6,109	29.3%	6,149
駿東田方	沼津市	40,550	11,369	28.0%	11,406	40,619	13,880	34.2%	13,880
	三島市	20,962	7,391	35.3%	7,394	21,125	8,174	38.7%	8,174
	御殿場市	13,230	4,863	36.8%	4,872	13,334	5,600	42.0%	5,615
	裾野市	8,290	2,638	31.8%	2,640	8,476	3,539	41.8%	3,540
	伊豆市	8,406	3,180	37.8%	3,274	8,493	3,503	41.2%	3,503
	伊豆の国市	10,917	2,487	22.8%	4,037	11,047	4,581	41.5%	4,582
	函南町	7,914	2,898	36.6%	2,898	8,102	3,058	37.7%	3,059
	清水町	5,521	1,784	32.3%	1,795	5,535	2,033	36.7%	2,033
	長泉町	6,151	2,301	37.4%	2,301	6,112	2,776	45.4%	2,776
富士	富士宮市	24,489	7,245	29.6%	7,338	24,994	7,507	30.0%	7,507
	富士市	45,941	13,343	29.0%	13,344	46,619	11,201	24.0%	11,201
中部	静岡市	131,916	19,044	14.4%	19,114	132,006	21,769	16.5%	21,782
志太榛原	島田市	18,398	6,164	33.5%	6,171	18,570	5,890	31.7%	5,890
	焼津市	25,374	7,027	27.7%	7,307	25,792	7,437	28.8%	7,445
	藤枝市	25,833	12,116	46.9%	12,453	26,146	12,432	47.5%	12,435
	牧之原市	10,051	2,471	24.6%	2,478	10,143	2,828	27.9%	2,829
	吉田町	4,666	1,686	36.1%	1,687	4,806	2,058	42.8%	2,061
	川根本町	2,127	885	41.6%	885	1,982	994	50.2%	996
中東遠	磐田市	28,670	13,867	48.4%	13,868	29,376	13,522	46.0%	13,522
	掛川市	18,896	4,359	23.1%	4,360	19,177	6,351	33.1%	6,351
	袋井市	12,844	5,885	45.8%	5,885	12,936	6,361	49.2%	6,361
	御前崎市	6,776	2,259	33.3%	2,259	6,836	2,022	29.6%	2,098
	菊川市	7,866	2,527	32.1%	2,527	8,058	2,230	27.7%	2,230
	森町	3,592	1,134	31.6%	1,134	3,574	1,447	40.5%	1,453
西部	浜松市	137,115	35,667	26.0%	35,689	138,131	34,006	24.6%	34,010
	湖西市	9,909	4,140	41.8%	4,149	10,025	3,892	38.8%	3,900
国保組合	食品国保	3,663	758	20.7%	759	3,595	797	22.2%	797
	医師国保	4,529	1,793	39.6%	1,793	4,646	1,946	41.9%	1,947
	薬剤師国保	1,156	342	29.6%	342	1,171	337	28.8%	337
	歯科医師国保	3,392	1,248	36.8%	1,248	3,489	1,392	39.9%	1,393
	建設産業国保	6,769	2,014	29.8%	2,015	6,433	2,080	32.3%	2,080
合計		712,503	202,497	28.4%	205,055	717,118	213,254	29.7%	213,500

※「別表6 特定健診等実施及び成果の集計情報ファイル」より

【共済組合】

保険者名	平成21年度			
	対象者数	受診者数	受診率	評価対象者数
地方職員共済	7,187	6,097	84.8%	6,097
市町村職員共済	29,518	18,850	63.9%	19,543
警察共済	5,154	3,585	69.6%	4,013
公立学校共済	23,384	13,282	56.8%	15,240

※「別表6 特定健診等実施及び成果の集計情報ファイル」より
なお、集計情報は、被扶養者・任意継続者を含む。

IV 参考資料

1 データ範囲のチェック

番号	項目名	データタイプ	入力最小値	入力最大値	少数点以下の桁数	単位	基準範囲外 ※1	検査の実施 ※2	備考
1	身長	数字	100.0	250.0	1	cm			
2	体重	数字	20.0	250.0	1	kg			
3	BMI	数字	10.0	100.0	1	kg/m ²			
4	腹囲	数字	40.0	250.0	1	cm			
6	血圧（収縮期）	数字	60	300	0	mmHg			
7	血圧（拡張期）	数字	30	150	0	mmHg			
8	中性脂肪	数字	10	2000	0	mg/dl			
9	HDLコレステロール	数字	10	500	0	mg/dl			
10	LDLコレステロール	数字	20	1000	0	mg/dl			
11	GOT（AST）	数字	0	1000	0	IU/l 37°C			
12	GPT（ALT）	数字	0	1000	0	IU/l 37°C			
13	γ-GT（γ-GTP）	数字	0	1000	0	IU/l 37°C			
14	空腹時血糖	数字	20	600	0	mg/dl			
15	HbA1c	数字	3.0	20.0	1	%			
18	ヘマトクリット値	数字	0.0	100.0	1	%			
19	血色素量[ヘモグロビン値]	数字	0.0	30.0	1	g/dl			
20	赤血球数	数字	0	1000	0	万/mm ³			
1002	実施度（コンプライアンス）	数字	0	100	0	%			
1003	効果1（腹囲）	数字			1	cm			
1004	効果2（体重）	数字			1	kg			

（表の説明）

※1 基準範囲外：健診データが入力最小値以下の場合は「L」、入力最大値以上の場合は「H」を入力する。

※2 検査の実施：健診データが未入力で検査未実施の場合は「未実施」を入力する。

[標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)平成19年4月厚生労働省健康局 『別紙8-2』より]

2 標準的な質問票

標準的な質問票

	質問項目	回答	リソース
1-3	現在、aからcの薬の使用の有無		国民健康・栄養調査（H16）の問診項目に準拠
1	a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ	
2	b. インスリン注射又は血糖を下げる薬	①はい ②いいえ	
3	c. コレステロールを下げる薬	①はい ②いいえ	
4	医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	糖尿病実態調査（H14）の問診項目に準拠
5	医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	糖尿病実態調査（H14）の問診項目に準拠
6	医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析）を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	糖尿病実態調査（H14）の問診項目に準拠
7	医師から、貧血といわれたことがある。	①はい ②いいえ	
8	現在、たばこを習慣的に吸っている。 （※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者）	①はい ②いいえ	国民健康・栄養調査（H16）の問診項目に準拠
9	20歳の時の体重から10kg以上増加している。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
10	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	①はい ②いいえ	保健指導分科会
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	①はい ②いいえ	保健指導分科会
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
13	この1年間で体重の増減が±3kg以上あった。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
14	人と比較して食べる速度が速い。	①速い ②ふつう ③遅い	保健指導分科会
15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
16	夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
17	朝食を抜くことが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
18	お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない（飲めない）	保健指導分科会
19	飲酒日の1日当たりの飲酒量 清酒1合（180ml）の目安：ビール中瓶1本（約500ml）、焼酎35度（80ml）、ウイスキーダブル杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）	①1合未満 ②1～2合未満 ③2～3合未満 ④3合以上	保健指導分科会
20	睡眠で休養が十分とれている。	①はい ②いいえ	保健指導分科会
21	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思えますか。	①改善するつもりはない ②改善するつもりである（概ね6か月以内） ③近いうちに（概ね1か月以内）改善するつもりであり、少しずつ始めている ④既に改善に取り組んでいる（6か月未満） ⑤既に改善に取り組んでいる（6か月以上）	保健指導分科会
22	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。	①はい ②いいえ	保健指導分科会

3 指標の定義一覧

指標	定義
メタボリックシンドローム 該当者の推定数	腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上かつ 2 つ以上に該当 ①中性脂肪 150mg/dl 以上、 または HDL コレステロール 40mg/dl 未満、 もしくはコレステロールを下げる薬服用 ②収縮期血圧 130mmHg 以上、 または拡張期血圧 85mmHg 以上、 もしくは血圧を下げる薬服用 ③空腹時血糖 110mg/dl 以上、 または HbA1c5.5 以上、 もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用
メタボリックシンドローム 予備群の推定数	上記と同様で、3 項目のうち 1 つに該当するもの
肥満者の推定数	次の 3 項目に該当する者の割合をそれぞれ求める。 ①BMI25 以上で腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上 ②BMI のみ 25 以上 ③腹囲のみ男性 85cm 以上、女性 90cm 以上
糖尿病有病者の推定数	空腹時血糖 126mg/dl 以上、または HbA1c6.1 以上、 もしくは、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者
糖尿病予備群の推定数	空腹時血糖 110mg/dl 以上 126mg/dl 未満、 または HbA1c5.5 以上 6.1 未満の者 ただし、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者を除く
高血圧症有病者の推定数	収縮期血圧が 140mmHg 以上、 または拡張期血圧が 90mmHg 以上の者 もしくは、血圧を下げる薬服用者
高血圧症予備群の推定数	①収縮期血圧が 130mmHg 以上 140mmHg 未満、 かつ拡張期血圧が 90mmHg 未満である者 ②収縮期血圧が 140mmHg 未満 かつ拡張期血圧が 85mmHg 以上 90mmHg 未満である者 ただし、血圧を下げる薬服用者を除く
脂質異常症有病者の推定数	中性脂肪 150mg/dl 以上、 または HDL コレステロール 40mg/dl 未満 または LDL140mg/dl 以上、 もしくはコレステロールを下げる薬服用者

(出典：しずおか健康創造 21 アクションプラン)

4 平成21年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データの使用について

医 健 第 282 号
平成22年10月28日

各市町長 様
各国民健康保険組合 理事 様

静岡県健康福祉部長

平成21年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データの使用について(依頼)

日ごろ、厚生行政の推進に御理解、御協力を頂きお礼申し上げます。
さて、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)に基づき特定健康診査及び特定保健指導(以下「特定健診等」という。)については、平成20年度以降、市町、国民健康保険組合等関係者の御尽力により着実に実施されていることと存じます。

特定健診等に関しては、「標準的な健診・保健指導プログラム」において、都道府県の役割として、医療保険者等の協力を得て特定健診等のデータを分析・評価し、都道府県における健康づくり施策等に反映させることとされています。(プログラム P136 参照)

また、「健康診査管理指導等事業実施のための指針(平成20年3月31日付け健総発第0331012号 厚生労働省健康局総務課長通知)」では、循環器疾患等会において特定健診等の効果や効率を評価することとされており、

このように、特定健診等のデータは、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策を行う上で非常に重要なデータであるため、静岡県といたしましては、このデータを市町単位、保健所単位及び医療保険者単位で総合的に分析・評価することにより、地域の健康課題を明確にして予防すべき疾病及び対象集団を明らかにし、効果的な生活習慣病予防策に活用したいと考えております。

については、平成20年度健診データ報3書に引き続き、平成21年度健診データについても分析・評価を行いたいと考えておりますので、県が下記により平成21年度特定健診等データを使用することについて、別紙「健診等データの使用について」により、御了承いただき、平成22年11月24日(水)までに、県健康増進課(住所：静岡市葵区追手町9-6)あて送付くださるようお願いいたします。

なお、特定健診等データ管理システムにおける健診等のデータについては、平成22年11月24日(水)までに、スターオフィスメールにより静岡県国民健康保険団体連合会(以下「国保連」という。)あて提出願います。

記

1 健診等データの使用目的

静岡県では、特定健診等のデータを活用し、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策をするための基礎資料とする。

2 健診等データの使用者の範囲

健診等データの使用者は、県の健康福祉センター、医療健康局健康増進課及び国民健康保険課並びに静岡県総合健康センター(以下「県関係課等」という。)の職員とする。

使用する健診等データ

特定健診等データ管理システムにおける「FKAC167」ファイルの次の項目。

①保険者番号、②生年月日元号、③生年月日、④性別、⑤データ値。

※ 個人情報データの生年月日の提出が難しい保険者においては、「年度内年齢」に置き換えて提出をお願いします。

※ ファイルの作成及びダウンロードの方法については、別添資料「静岡県が行うデータ分析に係るFKAC167ファイルの作成方法等」の手順通りに処理してください。

4 使用方法

国保連に提出していただいた「FKAC167」ファイルデータを、前記健診等データの使用者のうち静岡県総合健康センター職員がとりまとめ、県関係課等の職員が分析をする。

5 結果の公表方法及び公表時期

特定健診等データの分析後、「平成21年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報3書」として公表する。

ただし、個人や世帯を特定可能となる属性については秘匿措置を講じる。

担 当 健康増進課総合健康班
電話番号 055-973-7002

担 当 健康増進課健康増進班
電話番号 054-221-2779
FAX 番号 054-251-7188

担 当 国民健康保険課助成班
電話番号 054-221-2332

別紙

医 健 第 3 2 3 号
平成 22 年 11 月 30 日

第 号
平成 年 月 日

各共済組合理事（支部）長 様

静岡県健康福祉部長 様

静岡県健康福祉部長

{
 ○○市長
 ○○町長
 ○○国民健康保険組合理事長
 }

平成 20 年度及び 21 年度特定健診に係る健診等データの
使用について(依頼)

平成 21 年度特定健診・特定保健指導に
係る健診等データの使用について(通知)

平成 22 年 10 月 28 日付け医健第 282 号で依頼があったこのことについては、
使用して差し支えないので通知します。

特定健診・特定保健指導に係る健診等データの使用に当たっては、個人が特
定されることのないよう秘密の保護に十分留意願います。

日ごろ、本県の健康福祉行政の推進に御理解、御協力を頂きお礼申し上げま
す。
さて、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和 57 年法律第 80 号)に基づく特
定健康診査及び特定保健指導(以下「特定健診等」という。)については、平成
20 年度以降、共済組関係者の皆様の御尽力により着実に実施されていること
と存じます。

特定健診等に関しては、「標準的な健診・保健指導プログラム」において、都
道府県の役割として、医療保険者等の協力を得て特定健診等のデータを分析・
評価し、都道府県における健康づくり施策等に反映させることとされています。
(プログラム P136 参照)

また、「健康診査管理指導等事業実施のための指針(平成 20 年 3 月 31 日付け
健総発第 0331012 号 厚生労働省健康局総務課長通知)」では、循環器疾患等部
会において特定健診等の効果や効率を評価することとされており。

このように、特定健診等のデータは、県民の健康づくり、生活習慣病予防対
策を行う上で非常に重要なデータであるため、静岡県といたしましては、この
データを市町単位、保健所単位及び医療保険者単位で総合的に分析・評価する
ことにより、地域の健康課題を明確にして予防すべき疾病及び対象集団を明ら
かにし、効果的な生活習慣病予防対策に活用したいと考えております。

ついでには、平成 20 年度及び 21 年度特定健診等データについて、県が下記に
より使用することについて、御了承いただき、別紙「健診等データの使用につ
いて」及び特定健診等データを、平成 22 年 12 月 17 日(金)までに、県健康増
進課(総合健康班)あて送付くださるようお願いいたします。

記

- 1 特定健診等データの使用目的
特定健診等データを活用し、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策の基

礎資料とする。

- 2 特定健診等データの使用者の範囲
 特定健診等データの使用者は、各健康福祉センター、医療健康局健康増進課及び静岡県総合健康センター（以下「県関係課等」という。）の職員とする。

使用する特定健診等データの項目

次の項目とする。

- ①保険者番号、②生年月日、③性別、④受診者の郵便番号、
 ⑤データ値（プログラム（確定版）P58「別紙8-1⑤」の項目）。

※ 個人情報データの生年月日の提出が難しい保険者においては、「年度内年齢」に置き換えて提出をお願いします。

※ プログラム（確定版）P61「別紙8-2」を参照し、データタイプ及びデータ範囲のチェックを行ったうえでの提出をお願いします。

※ 該当のない項目については、空白のまま提出してください。

※ ファイル形式は、エクセルまたはCSVで保存してください。

4 使用方法

提出いただいた特定健診等ファイルデータを、前記2の使用者のうち静岡県総合健康センター職員がとりまとめ、県関係課等の職員が分析する。

5 結果の公表方法及び公表時期

特定健診等データの分析後、「特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報3書」として公表する。

別紙

第 号
 平成 年 月 日

静岡県健康福祉部長 様

〇〇共済組合理事（支部）長

平成20年度及び21年度特定健診等データの使用について(回答)

平成22年11月30日付け医健第323号で依頼があったこのことについては、使用して差し支えない旨、回答します。

つきましては、特定健診に係る健診等データを添付しますので、取り扱いには十分留意の上使用願います。

5 法定報告

2009年度 特定健診・特定保健指導情報の集計情報(年代一覽)

1【男性】【市町国保・国保組合 計】

No	項目	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計	割合(%)
1	健康診査対象者数※1	26,705	24,083	27,263	38,413	60,982	88,510	78,741	344,697	100.0
2	健康診査受診者数(人)	3,483	3,570	4,568	7,131	15,143	27,748	26,777	88,420	100.0
3	健診受診率(%)	13.0	14.8	16.8	18.6	24.8	31.4	34.0	25.7	
4	評価対象者数(人)	3,489	3,576	4,577	7,143	15,167	27,786	26,806	88,544	100.0
5	内臓脂肪症候群該当者数(人)	480	642	975	1,539	3,606	6,062	6,544	19,848	100.0
6	内臓脂肪症候群該当者割合(%)	13.8	18.0	21.3	21.5	23.8	21.8	24.4	22.4	
7	内臓脂肪症候群予備群者数(人)	648	642	765	1,188	2,395	4,194	4,347	14,179	100.0
8	内臓脂肪症候群予備群割合(%)	18.6	18.0	16.7	16.6	15.8	15.1	16.2	16.0	
9	血圧を下げる薬服用者の数(人)	149	353	697	1,536	4,698	10,059	11,767	29,259	100.0
10	血圧を下げる薬服用者の割合(%)	4.3	9.9	15.2	21.5	31.0	36.2	43.9	33.0	
11	コレステロールを下げる薬服用者の数(人)	112	216	394	686	1,837	3,753	4,171	11,169	100.0
12	コレステロールを下げる薬服用者の割合(%)	3.2	6.0	8.6	9.6	12.1	13.5	15.6	12.6	
13	インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の数(人)	58	86	202	379	1,097	2,177	2,593	6,592	100.0
14	インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の割合(%)	1.7	2.4	4.4	5.3	7.2	7.8	9.7	7.4	
15	昨年度の内臓脂肪症候群該当者数(人)	316	521	829	1,354	2,632	5,373	6,358	17,383	100.0
16	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数(人)	41	72	90	165	292	574	703	1,937	100.0
17	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合(%)	13.0	13.8	10.9	12.2	11.1	10.7	11.1	11.1	
18	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数(人)※2	36	46	63	105	273	706	728	1,957	100.0
19	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合(%)	11.4	8.8	7.6	7.8	10.4	13.1	11.5	11	
20	内臓脂肪症候群該当者の減少率(%)	24.4	22.6	18.5	19.9	21.5	23.8	22.5	22.4	
21	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数(人)	436	547	701	983	1,810	3,860	4,101	12,438	100.0
22	21のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の数(人)	89	103	137	195	359	861	842	2,586	100.0
23	21のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の割合(%)	20.4	18.8	19.5	19.8	19.8	22.3	20.5	20.8	
24	昨年度の特定保健指導の対象者数(人)	753	946	1,182	1,599	2,509	4,602	4,365	15,956	100.0
25	24のうち、今年度は特定保健指導対象でなかった者の数(人)※3	121	143	160	247	420	989	889	2,969	100.0
26	特定保健指導対象者の減少率(%)	16.1	15.1	13.5	15.4	16.7	21.5	20.4	18.6	
27	昨年度の特定保健指導の利用者数(人)	146	177	237	323	589	1,327	1,168	3,967	100.0
28	27のうち、今年度は特定保健指導の対象でなかった者の数(人)※3	32	36	48	79	157	362	324	1,038	100.0
29	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(%)	21.9	20.3	20.3	24.5	26.7	27.3	27.7	26.2	
30	特定保健指導の対象者数(積極的支援)(人)	698	750	905	1,217	2,108	0	0	5,678	100.0
31	特定保健指導の対象者の割合(積極的支援)(%)	20.0	21.0	19.8	17.0	13.9	0.0	0.0	6.4	
32	服薬中のため特定保健指導(積極的支援)の対象者から除外した者の数	149	305	562	1,017	2,804	0	0	4,837	100.0
33	特定保健指導の利用者数(積極的支援)(人)	133	139	170	302	597	0	0	1,341	100.0
34	特定保健指導の利用者の割合(積極的支援)(%)	19.1	18.5	18.8	24.8	28.3	0.0	0.0	23.6	
35	特定保健指導の終了者数(積極的支援)(人)	67	75	97	155	381	0	0	775	100.0
36	特定保健指導の終了者の割合(積極的支援)(%)	9.6	10.0	10.7	12.7	18.1	0.0	0.0	13.6	
37	特定保健指導の対象者数(動機付け支援)(人)	383	339	376	546	999	4,715	4,049	11,407	100.0
38	特定保健指導の対象者の割合(動機付け支援)(%)	11.0	9.5	8.2	7.6	6.6	17.0	15.1	12.9	
39	服薬中のため特定保健指導(動機付け支援)の対象者から除外した者の数	29	57	106	212	559	6,396	7,527	14,886	100.0
40	特定保健指導の利用者数(動機付け支援)(人)	113	76	93	153	319	1,540	1,169	3,463	100.0
41	特定保健指導の利用者の割合(動機付け支援)(%)	29.5	22.4	24.7	28.0	31.9	32.7	28.9	30.4	
42	特定保健指導の終了者数(動機付け支援)(人)	95	58	81	132	286	1,405	1,099	3,156	100.0
43	特定保健指導の終了者の割合(動機付け支援)(%)	24.8	17.1	21.5	24.2	28.6	29.8	27.1	27.7	
44	特定保健指導対象者数(小計)(人)	1,081	1,089	1,281	1,763	3,107	4,715	4,049	17,085	100.0
45	特定保健指導終了者数(小計)(人)	162	133	178	287	667	1,405	1,099	3,931	100.0
46	特定保健指導の終了者の割合(小計)(%)	15.0	12.2	13.9	16.3	21.5	29.8	27.1	23.0	

※1 健診対象者数は当該年度で毎年4月1日を基準とし、その年度中に異動した者を除く。

※2 標準プログラム上は「動機付け支援の受診者、積極的支援の受診者、すべての健診受診者ごとに集計」とあるが、この実績報告では、全て健診受診者(No4評価対象者)とする。

※3 検査結果の改善により、特定保健指導の対象から外れたのみをカウントする(服薬中の者となることにより、特定保健指導の対象から外れたものを除く)。

※ 網掛部分は、当面は算出可能な保険者のみ入力(当面は必須項目とはしない。但しNo30以降はNo44-46を算出するために入力しなくとも値は必要。)

※ 「割合(%)」欄については、各項目の累計【男性】数値における占める割合をパーセント表示

※ 受診率等少数点以下の数値が生ずる項目の端数整理について、小数点以下第2位で四捨五入を行い数値を表示(参考:平成20年7月10日付保発第0710003号厚生労働省保険局長通知より)

2009年度 特定健診・特定保健指導情報の集計情報(年代一覽)

2【女性】【市町国保・国保組合 計】

No	項目	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	計	割合(%)
1	健康診査対象者数※1	22,783	21,537	25,192	40,588	77,466	97,969	86,886	372,421	100.0
2	健康診査受診者数(人)	4,039	4,431	6,035	11,835	27,195	37,542	33,757	124,834	100.0
3	健診受診率(%)	17.7	20.6	24.0	29.2	35.1	38.3	38.9	33.5	
4	評価対象者数(人)	4,045	4,440	6,045	11,851	27,225	37,576	33,774	124,956	100.0
5	内臓脂肪症候群該当者数(人)	71	127	247	676	1,885	3,340	4,097	10,443	100.0
6	内臓脂肪症候群該当者割合(%)	1.8	2.9	4.1	5.7	6.9	8.9	12.1	8.4	
7	内臓脂肪症候群予備群者数(人)	128	146	263	546	1,423	2,292	2,422	7,220	100.0
8	内臓脂肪症候群予備群割合(%)	3.2	3.3	4.4	4.6	5.2	6.1	7.2	5.8	
9	血圧を下げる薬服用者の数(人)	86	222	628	2,011	6,500	11,554	13,680	34,681	100.0
10	血圧を下げる薬服用者の割合(%)	2.1	5.0	10.4	17.0	23.9	30.7	40.5	27.8	
11	コレステロールを下げる薬服用者の数(人)	54	112	382	1,516	5,636	9,598	10,056	27,354	100.0
12	コレステロールを下げる薬服用者の割合(%)	1.3	2.5	6.3	12.8	20.7	25.5	29.8	21.9	
13	インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の数(人)	22	36	101	287	988	1,685	2,045	5,164	100.0
14	インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の割合(%)	0.5	0.8	1.7	2.4	3.6	4.5	6.1	4.1	
15	昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数(人)	62	107	194	558	1,624	3,087	3,921	9,553	100.0
16	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数(人)	7	13	23	43	120	232	304	742	100.0
17	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合(%)	11.3	12.1	11.9	7.7	7.4	7.5	7.8	7.8	
18	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数(人)※2	8	12	34	78	346	618	799	1,895	100.0
19	15のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合(%)	12.9	11.2	17.5	14.0	21.3	20.0	20.4	20	
20	内臓脂肪症候群該当者の減少率(%)	24.2	23.4	29.4	21.7	28.7	27.5	28.1	27.6	
21	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数(人)	73	136	237	501	1,245	2,252	2,427	6,871	100.0
22	21のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の数(人)	18	29	60	140	385	725	705	2,062	100.0
23	21のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の割合(%)	24.7	21.3	25.3	27.9	30.9	32.2	29.0	30.0	
24	昨年度の特定保健指導の対象者数(人)	206	356	499	935	2,007	2,980	2,672	9,655	100.0
25	24のうち、今年度は特定保健指導対象でなかった者の数(人)※3	34	64	91	200	493	758	629	2,269	100.0
26	特定保健指導対象者の減少率(%)	16.5	18.0	18.2	21.4	24.6	25.4	23.5	23.5	
27	昨年度の特定保健指導の利用者数(人)	52	97	153	292	669	976	818	3,057	100.0
28	27のうち、今年度は特定保健指導の対象でなかった者の数(人)※3	13	19	37	86	227	334	259	975	100.0
29	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(%)	25.0	19.6	24.2	29.5	33.9	34.2	31.7	31.9	
30	特定保健指導の対象者数(積極的支援)(人)	88	107	194	368	734	0	0	1,491	100.0
31	特定保健指導の対象者の割合(積極的支援)(%)	2.2	2.4	3.2	3.1	2.7	0.0	0.0	1.2	
32	服薬中のため特定保健指導(積極的支援)の対象者から除外した者の数	40	86	191	641	2,001	0	0	2,959	100.0
33	特定保健指導の利用者数(積極的支援)(人)	23	29	54	115	227	0	0	448	100.0
34	特定保健指導の利用者の割合(積極的支援)(%)	26.1	27.1	27.8	31.3	30.9	0.0	0.0	30.0	
35	特定保健指導の終了者数(積極的支援)(人)	18	20	26	61	151	0	0	276	100.0
36	特定保健指導の終了者の割合(積極的支援)(%)	20.5	18.7	13.4	16.6	20.6	0.0	0.0	18.5	
37	特定保健指導の対象者数(動機付け支援)(人)	182	243	352	618	1,328	2,655	2,274	7,652	100.0
38	特定保健指導の対象者の割合(動機付け支援)(%)	4.5	5.5	5.8	5.2	4.9	7.1	6.7	6.1	
39	服薬中のため特定保健指導(動機付け支援)の対象者から除外した者の数	27	52	130	333	989	5,318	6,264	13,113	100.0
40	特定保健指導の利用者数(動機付け支援)(人)	62	78	126	231	520	971	700	2,688	100.0
41	特定保健指導の利用者の割合(動機付け支援)(%)	34.1	32.1	35.8	37.4	39.2	36.6	30.8	35.1	
42	特定保健指導の終了者数(動機付け支援)(人)	49	64	95	201	470	905	681	2,465	100.0
43	特定保健指導の終了者の割合(動機付け支援)(%)	26.9	26.3	27.0	32.5	35.4	34.1	29.9	32.2	
44	特定保健指導対象者数(小計)(人)	270	350	546	986	2,062	2,655	2,274	9,143	100.0
45	特定保健指導終了者数(小計)(人)	67	84	121	262	621	905	681	2,741	100.0
46	特定保健指導の終了者の割合(小計)(%)	24.8	24.0	22.2	26.6	30.1	34.1	29.9	30.0	

※1 健診対象者数は当該年度で毎年4月1日を基準とし、その年度中に異動した者を除く。
 ※2 標準プログラム上は「動機付け支援の受診者、積極的支援の受診者、すべての健診受診者ごとに集計」とあるが、この実績報告では、全て健診受診者(No4評価対象者)とする。
 ※3 検査結果の改善により、特定保健指導の対象から外れたのみをカウントする(服薬中の者となることにより、特定保健指導の対象から外れたものを除く)。
 ※ 網掛部分は、当面は算出可能な保険者のみ入力(当面は必須項目とはしない。但しNo30以降はNo44-46を算出するために入力しなくとも値は必要。)
 ※ 「割合(%)」欄については、各項目の累計【女性】合計数における占める割合をパーセント表示
 ※ 受診率等少数点以下の数値が生ずる項目の端数整理について、小数点以下第2位で四捨五入を行い数値を表示(参考:平成20年7月10日付保発第0710003号厚生労働省保険局長通知より)

2009年度 特定健診・特定保健指導情報の集計情報(年代一覧)

3【合計】【市町国保・国保組合 計】

No	項目	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計	割合(%)	昨年度	
1	全体的事項	健康診査対象者数※1	49,488	45,620	52,455	79,001	138,448	186,479	165,627	717,118	100.0	712,503
2		健康診査受診者数(人)	7,522	8,001	10,603	18,966	42,338	65,290	60,534	213,254	100.0	202,497
3		健診受診率(%)	15.2	17.5	20.2	24.0	30.6	35.0	36.5	29.7		28.4
4		評価対象者数(人)	7,534	8,016	10,622	18,994	42,392	65,362	60,580	213,500	100.0	205,055
5	内臓脂肪症候群に関する事項	内臓脂肪症候群該当者数(人)	551	769	1,222	2,215	5,491	9,402	10,641	30,291	100.0	29,622
6		内臓脂肪症候群該当者割合(%)	7.3	9.6	11.5	11.7	13.0	14.4	17.6	14.2		14.4
7		内臓脂肪症候群予備群者数(人)	776	788	1,028	1,734	3,818	6,486	6,769	21,399	100.0	21,050
8		内臓脂肪症候群予備群割合(%)	10.3	9.8	9.7	9.1	9.0	9.9	11.2	10.0		10.3
9	服薬中のものに関する事項	血圧を下げる薬服用者の数(人)	235	575	1,325	3,547	11,198	21,613	25,447	63,940	100.0	60,498
10		血圧を下げる薬服用者の割合(%)	3.1	7.2	12.5	18.7	26.4	33.1	42.0	29.9		29.5
11		コレステロールを下げる薬服用者の数(人)	166	328	776	2,202	7,473	13,351	14,227	38,523	100.0	34,274
12		コレステロールを下げる薬服用者の割合(%)	2.2	4.1	7.3	11.6	17.6	20.4	23.5	18.0		16.7
13		インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の数(人)	80	122	303	666	2,085	3,862	4,638	11,756	100.0	11,160
14		インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の割合(%)	1.1	1.5	2.9	3.5	4.9	5.9	7.7	5.5		5.4
15	内臓脂肪症候群該当者の減少率※2	昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数(人)	378	628	1,023	1,912	4,256	8,460	10,279	26,936	100.0	
16		15のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数(人)	48	85	113	208	412	806	1,007	2,679	100.0	
17		15のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合(%)	12.7	13.5	11.0	10.9	9.7	9.5	9.8	9.9		
18		15のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数(人)	44	58	97	183	619	1,324	1,527	3,852	100.0	
19		15のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合(%)	11.6	9.2	9.5	9.6	14.5	15.7	14.9	14.3		
20		内臓脂肪症候群該当者の減少率(%)	24.3	22.8	20.5	20.4	24.2	25.2	24.7	24.2		
21	内臓脂肪症候群予備群の減少率	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数(人)	509	683	938	1,484	3,055	6,112	6,528	19,309	100.0	
22		21のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の数(人)	107	132	197	335	744	1,586	1,547	4,648	100.0	
23		21のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の割合(%)	21.0	19.3	21.0	22.6	24.4	25.9	23.7	24.1		
24	保健指導対象者の減少率	昨年度の特定保健指導の対象者数(人)	959	1,302	1,681	2,534	4,516	7,582	7,037	25,611	100.0	
25		24のうち、今年度は特定保健指導対象でなかった者の数(人)※3	155	207	251	447	913	1,747	1,518	5,238	100.0	
26		特定保健指導対象者の減少率(%)	16.2	15.9	14.9	17.6	20.2	23.0	21.6	20.5		
27		昨年度の特定保健指導の利用者数(人)	198	274	390	615	1,258	2,303	1,986	7,024	100.0	
28		27のうち、今年度は特定保健指導の対象でなかった者の数(人)※3	45	55	85	165	384	696	583	2,013	100.0	
29		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(%)	22.7	20.1	21.8	26.8	30.5	30.2	29.4	28.7		
30	特定保健指導	特定保健指導の対象者数(積極的支援)(人)	786	857	1,099	1,585	2,842	0	0	7,169	100.0	7,389
31		特定保健指導の対象者の割合(積極的支援)(%)	10.4	10.7	10.3	8.3	6.7	0.0	0.0	3.4		3.6
32		服薬中のため特定保健指導(積極的支援)の対象者から除外した者の数	189	391	753	1,658	4,805	0	0	7,796	100.0	7,289
33		特定保健指導の利用者数(積極的支援)(人)	156	168	224	417	824	0	0	1,789	100.0	1,655
34		特定保健指導の利用者の割合(積極的支援)(%)	19.8	19.6	20.4	26.3	29.0	0.0	0.0	25.0		22.4
35		特定保健指導の終了者数(積極的支援)(人)	85	95	123	216	532	0	0	1,051	100.0	878
36		特定保健指導の終了者の割合(積極的支援)(%)	10.8	11.1	11.2	13.6	18.7	0.0	0.0	14.7		11.9
37		特定保健指導の対象者数(動機付け支援)(人)	565	582	728	1,164	2,327	7,370	6,323	19,059	100.0	20,080
38		特定保健指導の対象者の割合(動機付け支援)(%)	7.5	7.3	6.9	6.1	5.5	11.3	10.4	8.9		9.8
39		服薬中のため特定保健指導(動機付け支援)の対象者から除外した者の数	56	109	236	545	1,548	11,714	13,791	27,999	100.0	26,690
40		特定保健指導の利用者数(動機付け支援)(人)	175	154	219	384	839	2,511	1,869	6,151	100.0	5,796
41		特定保健指導の利用者の割合(動機付け支援)(%)	31.0	26.5	30.1	33.0	36.1	34.1	29.6	32.3		28.9
42		特定保健指導の終了者数(動機付け支援)(人)	144	122	176	333	756	2,310	1,780	5,621	100.0	4,073
43		特定保健指導の終了者の割合(動機付け支援)(%)	25.5	21.0	24.2	28.6	32.5	31.3	28.2	29.5		20.3
44	特定保健指導対象者数(小計)(人)	1,351	1,439	1,827	2,749	5,169	7,370	6,323	26,228	100.0	27,469	
45	特定保健指導終了者数(小計)(人)	229	217	299	549	1,288	2,310	1,780	6,672	100.0	4,951	
46	特定保健指導の終了者の割合(小計)(%)	17.0	15.1	16.4	20.0	24.9	31.3	28.2	25.4		18.0	

※1 健診対象者数は当該年度で毎年4月1日を基準とし、その年度中に異動した者を除く。
 ※2 標準プログラム上は「動機付け支援の受診者、積極的支援の受診者、すべての健診受診者ごとに集計」とあるが、この実績報告では、全て健診受診者(No4評価対象者)とする。
 ※3 検査結果の改善により、特定保健指導の対象から外れたのみをカウントする(服薬中の者となることにより、特定保健指導の対象から外れたものを除く)。
 ※ 網掛部分は、当面は算出可能な保険者のみ入力(当面は必須項目とはしない。但しNo30以降はNo44-46を算出するため入力しなくとも値は必要。)
 ※ 「割合(%)」欄については、各項目の累計【合計】数値における占める割合をパーセント表示
 ※ 受診率等少数点以下の数値が生ずる項目の端数整理について、小数点以下第2位で四捨五入を行い数値を表示(参考:平成20年7月10日付保発第0710003号厚生労働省保険局長通知より)

特定健診・特定保健指導情報の集計情報(年代一覽)

1【男性】【共済組合 計】

No	項目	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	計	備考
1	特定健康診査対象者数	6,407	7,438	8,097	7,815	2,750	160	179	32,846	当該年齢層における対象者数
4	特定健康診査受診者数	4,578	5,623	6,090	6,145	1,623	75	59	24,193	1のうち、定められた健診項目を全て受診した者の数
5	健診受診率	71.5	75.6	75.2	78.6	59.0	46.9	33.0	73.7	= 4 / 1 * 100
6	評価対象者数	5,101	6,073	6,581	6,371	1,718	75	60	25,979	4の健診完了者に加え、全ての健診は受診できなかったものの、階層化が可能な対象者も含んだ数
7	内臓脂肪症候群該当者数	533	824	1,181	1,290	366	21	14	4,229	
8	内臓脂肪症候群該当者割合	10.4	13.6	17.9	20.2	21.3	28.0	23.3	16.3	= 7 / 6 * 100
9	内臓脂肪症候群予備群者数	728	985	1,024	985	234	11	7	3,974	
10	内臓脂肪症候群予備群者割合	14.3	16.2	15.6	15.5	13.6	14.7	11.7	15.3	= 9 / 6 * 100
11	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数	199	525	1,041	1,412	504	25	24	3,730	
12	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合	3.9	8.6	15.8	22.2	29.3	33.3	40.0	14.4	= 11 / 6 * 100
13	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数	146	336	560	679	220	8	8	1,957	
14	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合	2.9	5.5	8.5	10.7	12.8	10.7	13.3	7.5	= 13 / 6 * 100
15	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数	58	147	275	406	137	11	5	1,039	
16	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合	1.1	2.4	4.2	6.4	8.0	14.7	8.3	4.0	= 15 / 6 * 100
17	昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数	442	731	1,007	1,066	235	10	6	3,497	
18	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数	93	141	138	144	26	1	1	544	
19	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合	21.0	19.3	13.7	13.5	11.1	10.0	16.7	15.6	= 18 / 17 * 100
20	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数	59	90	149	151	35	0	1	485	
21	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合	13.3	12.3	14.8	14.2	14.9	0.0	16.7	13.9	= 20 / 17 * 100
22	内臓脂肪症候群該当者の減少率	34.4	31.6	28.5	27.7	26.0	10.0	33.3	29.4	=(18+20)/17*100
23	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数	612	893	877	875	146	10	5	3,418	
24	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数	196	273	245	250	32	4	1	1,001	
25	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合	32.0	30.6	27.9	28.6	21.9	40.0	20.0	29.3	= 24 / 23 * 100
26	昨年度の特定保健指導の対象者数	1,148	1,568	1,513	1,406	215	14	6	5,870	
27	26のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	254	332	312	284	46	3	1	1,232	
28	特定保健指導対象者の減少率	22.1	21.2	20.6	20.2	21.4	21.4	16.7	21.0	= 27 / 26 * 100
29	昨年度の特定保健指導の利用者数	152	226	177	175	13	1	0	744	
30	29のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	48	57	50	50	6	0	0	211	
31	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	31.6	25.2	28.2	28.6	46.2	0.0	0.0	28.4	= 30 / 29 * 100
32	特定保健指導(積極的支援)の対象者数	837	1,052	1,099	993	207	1	0	4,189	6のうち、実施基準第8条第2項の規定に該当する者
33	特定保健指導(積極的支援)の対象者の割合	16.4	17.3	16.7	15.6	12.0	1.3	0.0	16.1	= 32 / 6 * 100
34	服薬中のため特定保健指導(積極的支援)の対象者から除外した者の数	173	411	715	873	267	0	0	2,439	
35	特定保健指導(積極的支援)の利用者数	114	150	148	113	12	0	0	537	
36	特定保健指導(積極的支援)の利用者の割合	13.6	14.3	13.5	11.4	5.8	0.0	0.0	12.8	= 35 / 32 * 100
37	特定保健指導(積極的支援)の終了者数	54	79	53	78	8	0	0	272	6か月後評価まで完了した者(6ヶ月後の評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
38	特定保健指導(積極的支援)の終了者の割合	6.5	7.5	4.8	7.9	3.9	0.0	0.0	6.5	= 37 / 32 * 100
39	特定保健指導(動機付け支援)の対象者数	495	643	587	525	96	19	9	2,374	6のうち、実施基準第7条第2項の規定に該当する者
40	特定保健指導(動機付け支援)の対象者の割合	9.7	10.6	8.9	8.2	5.6	25.3	15.0	9.1	= 39 / 6 * 100
41	服薬中のため特定保健指導(動機付け支援)の対象者から除外した者の数	42	102	189	216	81	15	14	659	
42	特定保健指導(動機付け支援)の利用者数	95	139	107	88	13	1	1	444	
43	特定保健指導(動機付け支援)の利用者の割合	19.2	21.6	18.2	16.8	13.5	5.3	11.1	18.7	= 42 / 39 * 100
44	特定保健指導(動機付け支援)の終了者数	62	103	74	69	11	1	0	320	6か月後評価まで完了した者(6ヶ月後の評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
45	特定保健指導(動機付け支援)の終了者の割合	12.5	16.0	12.6	13.1	11.5	5.3	0.0	13.5	= 44 / 39 * 100
46	特定保健指導の対象者数(小計)	1,332	1,695	1,686	1,518	303	20	9	6,563	= 32 + 39
47	特定保健指導の終了者数(小計)	116	182	127	147	19	1	0	592	= 37 + 44
48	特定保健指導の終了者の割合	8.7	10.7	7.5	9.7	6.3	5.0	0.0	9.0	= 47 / 46 * 100

特定健診・特定保健指導情報の集計情報(年代一覧)

2【女性】【共済組合 計】

No	項目	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	計	備考
1	全体的事項 特定健康診査対象者数	7,464	7,204	8,154	6,514	1,781	512	768	32,397	当該年齢層における対象者数
4	特定健康診査受診者数	3,727	3,944	4,618	3,954	906	198	274	17,621	1のうち、定められた健診項目を全て受診した者の数
5	健診受診率	49.9	54.7	56.6	60.7	50.9	38.7	35.7	54.4	= 4 / 1 * 100
6	評価対象者数	4,207	4,252	4,949	4,092	938	198	278	18,914	4の健診完了者に加え、全ての健診は受診できなかったものの、階層化が可能な対象者も含んだ数
7	内臓脂肪症候群該当者数	47	77	175	232	55	25	37	648	
8	内臓脂肪症候群に 関する事項 内臓脂肪症候群該当者割合	1.1	1.8	3.5	5.7	5.9	12.6	13.3	3.4	= 7 / 6 * 100
9	内臓脂肪症候群予備群者数	89	120	182	181	41	16	23	652	
10	内臓脂肪症候群予備群者割合	2.1	2.8	3.7	4.4	4.4	8.1	8.3	3.4	= 9 / 6 * 100
11	服薬中の ものに関する 事項 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数	41	145	408	605	202	60	107	1,568	
12	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合	1.0	3.4	8.2	14.8	21.5	30.3	38.5	8.3	= 11 / 6 * 100
13	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数	28	90	300	544	190	50	96	1,298	
14	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合	0.7	2.1	6.1	13.3	20.3	25.3	34.5	6.9	= 13 / 6 * 100
15	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数	11	33	60	94	35	15	11	259	
16	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合	0.3	0.8	1.2	2.3	3.7	7.6	4.0	1.4	= 15 / 6 * 100
17	内臓脂肪症候群該当者の減少率 昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数	34	74	121	163	31	10	23	456	
18	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数	3	10	14	12	6	2	2	49	
19	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合	8.8	13.5	11.6	7.4	19.4	20.0	8.7	10.7	= 18 / 17 * 100
20	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数	2	13	22	36	10	2	4	89	
21	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合	5.9	17.6	18.2	22.1	32.3	20.0	17.4	19.5	= 20 / 17 * 100
22	内臓脂肪症候群該当者の減少率	14.7	31.1	29.8	29.4	51.6	40.0	26.1	30.3	= (18+20)/17*100
23	内臓脂肪症候群予備群の減少率 昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数	69	101	164	158	28	9	14	543	
24	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数	19	34	56	59	10	1	1	180	
25	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合	27.5	33.7	34.1	37.3	35.7	11.1	7.1	33.1	= 24 / 23 * 100
26	保健指導対象者の減少率 昨年度の特定保健指導の対象者数	174	262	378	286	49	14	15	1,178	
27	26のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	43	56	82	80	12	1	3	277	
28	特定保健指導対象者の減少率	24.7	21.4	21.7	28.0	24.5	7.1	20.0	23.5	= 27 / 26 * 100
29	昨年度の特定保健指導の利用者数	13	33	36	35	3	0	0	120	
30	29のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	3	13	11	16	1	0	0	44	
31	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	23.1	39.4	30.6	45.7	33.3	#DIV/0!	0.0	36.7	= 30 / 29 * 100
32	特定保健指導(積極的支援)の対象者数	61	72	140	103	26	0	0	402	6のうち、実施基準第8条第2項の規定に該当する者
33	特定保健指導(積極的支援)の対象者の割合	1.4	1.7	2.8	2.5	2.8	0.0	0.0	2.1	= 32 / 6 * 100
34	服薬中のため特定保健指導(積極的支援)の対象者から除外した特定保健指導(積極的支援)の利用者数	14	46	110	182	43	0	0	395	
35	特定保健指導(積極的支援)の利用者の割合	3	14	17	11	1	0	0	46	
36	特定保健指導(積極的支援)の利用者の割合	4.9	19.4	12.1	10.7	3.8	0.0	0.0	11.4	= 35 / 32 * 100
37	特定保健指導(積極的支援)の終了者数	1	5	5	4	1	0	0	16	6ヵ月後評価まで完了した者(6ヶ月後の評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
38	特定保健指導(積極的支援)の終了者の割合	1.6	6.9	3.6	3.9	3.8	0.0	0.0	4.0	= 37 / 32 * 100
39	特定保健指導(動機付け支援)の対象者数	182	249	303	229	50	22	19	1,054	6のうち、実施基準第7条第2項の規定に該当する者
40	特定保健指導(動機付け支援)の対象者の割合	4.3	5.9	6.1	5.6	5.3	11.1	6.8	5.6	= 39 / 6 * 100
41	服薬中のため特定保健指導(動機付け支援)の対象者から除外した者の数	16	28	102	141	47	23	55	412	
42	特定保健指導(動機付け支援)の利用者数	22	23	65	36	1	1	0	148	
43	特定保健指導(動機付け支援)の利用者の割合	12.1	9.2	21.5	15.7	2.0	4.5	0.0	14.0	= 42 / 39 * 100
44	特定保健指導(動機付け支援)の終了者数	14	19	47	27	1	0	0	108	6ヵ月後評価まで完了した者(6ヶ月後の評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
45	特定保健指導(動機付け支援)の終了者の割合	7.7	7.6	15.5	11.8	2.0	0.0	0.0	10.2	= 44 / 39 * 100
46	特定保健指導の対象者数(小計)	243	321	443	332	76	22	19	1,456	= 32 + 39
47	特定保健指導の終了者数(小計)	15	24	52	31	2	0	0	124	= 37 + 44
48	特定保健指導の終了者(小計)の割合	6.2	7.5	11.7	9.3	2.6	0.0	0.0	8.5	= 47 / 46 * 100

特定健診・特定保健指導情報の集計情報(年代一覧)

3【合計】【共済組合 計】

No	項目	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計	備考
1	特定健康診査対象者数	13,871	14,642	16,251	14,329	4,531	672	947	65,243	当該年齢層における対象者数
4	特定健康診査受診者数	8,305	9,567	10,708	10,099	2,529	273	333	41,814	1のうち、定められた健診項目を全て受診した者の数
5	健診受診率	59.9	65.3	65.9	70.5	55.8	40.6	35.2	64.1	= 4 / 1 * 100
6	評価対象者数	9,308	10,325	11,530	10,463	2,656	273	338	44,893	4の健診完了者に加え、全ての健診は受診できなかったものの、階層化が可能な対象者も含んだ数
7	内臓脂肪症候群該当者数	580	901	1,356	1,522	421	46	51	4,877	
8	内臓脂肪症候群該当者割合	6.2	8.7	11.8	14.5	15.9	16.8	15.1	10.9	= 7 / 6 * 100
9	内臓脂肪症候群予備群者数	817	1,105	1,206	1,166	275	27	30	4,626	
10	内臓脂肪症候群予備群者割合	8.8	10.7	10.5	11.1	10.4	9.9	8.9	10.3	= 9 / 6 * 100
11	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数	240	670	1,449	2,017	706	85	131	5,298	
12	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合	2.6	6.5	12.6	19.3	26.6	31.1	38.8	11.8	= 11 / 6 * 100
13	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数	174	426	860	1,223	410	58	104	3,255	
14	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合	1.9	4.1	7.5	11.7	15.4	21.2	30.8	7.3	= 13 / 6 * 100
15	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数	69	180	335	500	172	26	16	1,298	
16	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合	0.7	1.7	2.9	4.8	6.5	9.5	4.7	2.9	= 15 / 6 * 100
17	昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数	476	805	1,128	1,229	266	20	29	3,953	
18	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数	96	151	152	156	32	3	3	593	
19	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合	20.2	18.8	13.5	12.7	12.0	15.0	10.3	15.0	= 18 / 17 * 100
20	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数	61	103	171	187	45	2	5	574	
21	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合	12.8	12.8	15.2	15.2	16.9	10.0	17.2	14.5	= 20 / 17 * 100
22	内臓脂肪症候群該当者の減少率	33.0	31.6	28.6	27.9	28.9	25.0	27.6	29.5	=(18+20)/17*100
23	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数	681	994	1,041	1,033	174	19	19	3,961	
24	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数	215	307	301	309	42	5	2	1,181	
25	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合	31.6	30.9	28.9	29.9	24.1	26.3	10.5	29.8	= 24 / 23 * 100
26	昨年度の特定保健指導の対象者数	1,322	1,830	1,891	1,692	264	28	21	7,048	
27	26のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	297	388	394	364	58	4	4	1,509	
28	特定保健指導対象者の減少率	22.5	21.2	20.8	21.5	22.0	14.3	19.0	21.4	= 27 / 26 * 100
29	昨年度の特定保健指導の利用者数	165	259	213	210	16	1	0	864	
30	29のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数	51	70	61	66	7	0	0	255	
31	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	30.9	27.0	28.6	31.4	43.8	0.0	0.0	29.5	= 30 / 29 * 100
32	特定保健指導(積極的支援)の対象者数	898	1,124	1,239	1,096	233	1	0	4,591	6のうち、実施基準第8条第2項の規定に該当する者
33	特定保健指導(積極的支援)の対象者の割合	9.6	10.9	10.7	10.5	8.8	0.4	0.0	10.2	= 32 / 6 * 100
34	服薬中のため特定保健指導(積極的支援)の対象者から除外した特定保健指導(積極的支援)の利用者数	187	457	825	1,055	310	0	0	2,834	
35	特定保健指導(積極的支援)の利用者数	117	164	165	124	13	0	0	583	
36	特定保健指導(積極的支援)の利用者の割合	13.0	14.6	13.3	11.3	5.6	0.0	0.0	12.7	= 35 / 32 * 100
37	特定保健指導(積極的支援)の終了者数	55	84	58	82	9	0	0	288	6か月後評価まで完了した者(6ヶ月後の評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
38	特定保健指導(積極的支援)の終了者の割合	6.1	7.5	4.7	7.5	3.9	0.0	0.0	6.3	= 37 / 32 * 100
39	特定保健指導(動機付け支援)の対象者数	677	892	890	754	146	41	28	3,428	6のうち、実施基準第7条第2項の規定に該当する者
40	特定保健指導(動機付け支援)の対象者の割合	7.3	8.6	7.7	7.2	5.5	15.0	8.3	7.6	= 39 / 6 * 100
41	服薬中のため特定保健指導(動機付け支援)の対象者から除外した者の数	58	130	291	357	128	38	69	1,071	
42	特定保健指導(動機付け支援)の利用者数	117	162	172	124	14	2	1	592	
43	特定保健指導(動機付け支援)の利用者の割合	17.3	18.2	19.3	16.4	9.6	4.9	3.6	17.3	= 42 / 39 * 100
44	特定保健指導(動機付け支援)の終了者数	76	122	121	96	12	1	0	428	6か月後評価まで完了した者(6ヶ月後の評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
45	特定保健指導(動機付け支援)の終了者の割合	11.2	13.7	13.6	12.7	8.2	2.4	0.0	12.5	= 44 / 39 * 100
46	特定保健指導の対象者数(小計)	1,575	2,016	2,129	1,850	379	42	28	8,019	= 32 + 39
47	特定保健指導の終了者数(小計)	131	206	179	178	21	1	0	716	= 37 + 44
48	特定保健指導の終了者の割合	8.3	10.2	8.4	9.6	5.5	2.4	0.0	8.9	= 47 / 46 * 100

IV 参考資料

特定健診受診率と健診結果の関連

○宇津木志のぶ^{*1}、土屋厚子^{*2}、永田順子^{*1}、石塚貴美枝^{*1}、尾島俊之^{*3}

^{*1} 静岡県健康福祉部健康増進課総合健康班（静岡県総合健康センター駐在）、

^{*2} 静岡県健康福祉部健康増進課健康増進班、^{*3} 浜松医科大学健康社会医学講座

【背景・目的】各都道府県は、生活習慣病予防対策を推進していく上で、特定健診データを活用し、健康増進計画の目標の達成状況について評価し、その後の取り組みに反映させていくこととされている。

「都道府県健康増進計画改定ガイドライン（確定版）」（平成19年4月厚生労働省健康局）では、「評価における性・年齢調整の方法」として、生活習慣病・予備群の割合に実際の年齢構成をかけて、推計数を算出する方法を示しているが、静岡県の平成20年度特定健診受診率をみると、市町国保では平均受診率が28.3%と低く、単純に生活習慣病・予備群の割合をかけて推計数を算出する方法には課題がある。そこで、健診受診率を考慮した評価方法について検討することを目的とした。

【方法・結果】①男女別に、平成20年度特定健診（法定報3）における市町国保の受診率と、「平成20年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報3書（静岡県）」における種々の健診結果の標準化該当比との相関を検討した。標準化該当比とは、健診結果を標準化死亡比（SMR）と同様に間接法で年齢調整して算出した値とした。相関係数は、メタボリックシンドローム該当者（男：0.09、女：0.34）、肥満（男：-0.03、女：0.35）、高血圧症該当者（男：0.00、女：0.22）、脂質異常症（男：0.04、女：0.12）、糖尿病該当者（男：0.13、女：0.54）、習慣的喫煙者（男：0.17、女：-0.24）であり、もっとも相関係数の高かった糖尿病（女）について結果を検討した。（結果を図1に示す。）②各市町国保の標準化該当比をその市町国保の回帰直線から期待される数値で割り、受診率調整比を求めた。（結果の抜粋を表1に示す。）③推計数は、回帰直線を受診率100%まで伸ばした時の標準化該当比を静岡県の該当者割合にかけ、静岡県民の推計数（参考値）として算出した。（結果を表2に示す。）

【考察・結論】年齢構成を調整した標準化該当比に、受診率を考慮することで、各市町国保の受診率調整比や静岡県民の推計数（参考値）を求めることができた。今後、受診率を考慮した受診率調整比や推計数の解釈の仕方等について検討する必要がある。

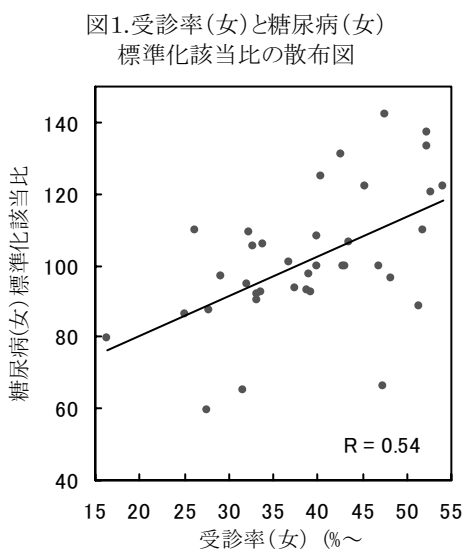


表1. 受診率(女)と糖尿病(女)の標準化該当比と受診率調整比

保険者名	受診率(女)	糖尿病(女) 標準化該当比	糖尿病(女) 受診率調整比
A	25.0	86.2	100.4
B	51.9	109.9	94.9
C	32.1	94.5	100.7
D	16.3	79.9	104.7
E	46.8	100.0	90.7
F	29.2	96.9	106.9

※ 標準化該当比と受診率調整比が逆転している6保険者を抜粋して掲載
 ※ 標準化該当比及び受診率調整比は、静岡県(市町国保)を100(基準)とする

表2. 静岡県民の糖尿病(女)の推計数

	糖尿病(女)該当者数
従来の方法	50,515人
今回の方法	85,519人

※ 該当者数は、平成20年10月1日付け推計人口の40～74歳女性の数値を使用して計算

メタボリックシンドロームと生活習慣の関連

○宇津木志のぶ¹⁾、平山朋²⁾、永田順子¹⁾、土屋厚子¹⁾、石塚貴美枝¹⁾、尾島俊之³⁾

1)医療健康局健康増進課、2)医療健康局地域医療課、3)浜松医科大学健康社会学講座

【要旨】

メタボリックシンドロームを予防するために役立つ保健指導内容を明らかにするために、生活習慣との関連性について検討した。20歳の時の体重から10kg以上増加していると、メタボリックシンドロームであるオッズ比は男性5.8倍（95%信頼区間5.6-6.0）、女性9.7倍（95%信頼区間9.3-10.2）になった。若年期からの体重管理によって、メタボリックシンドローム予防の有用性が示唆された。

【目的】

メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満を共通の要因として、高血糖、脂質異常、高血圧を呈する病態であり、それぞれが重複した場合、虚血性心疾患、脳血管疾患等の発症リスクが高くなる。メタボリックシンドロームと関連の強い生活習慣が明らかになれば、特定保健指導においても、生活習慣の改善の支援に役立つと考えられる。そこで、メタボリックシンドロームを予防するために役立つ保健指導内容を明らかにするために、生活習慣との関連性について検討することを目的とした。

【方法】

本研究の対象は、県内の市町国保及び国保組合加入者の40歳～74歳のうち平成20年度特定健診を受診した204,785人（男性83,406人、女性121,379人）とし、健診データ及び標準的な質問票¹⁾を用いた（表1）。

メタボリックシンドローム該当者の定義は、「しずおか健康創造21アクションプラン」²⁾の指標定義と同様に、腹囲基準値以上（男性 ≥ 85 cm、女性 ≥ 90 cm）で、構成因子3項目（①中性脂肪150mg/dl以上又はHDLコレステロール40mg/dl未満若しくはコレステロールを下げる薬服用、②収縮期血圧130mmHg以上又は拡張期血圧85mmHg以上若しくは血圧を下げる薬服用、③空腹時血糖110mg/dl又はHbA1c5.5以上若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用）のうち2項目以上に該当する者

とした。

メタボリックシンドローム及びその構成因子に影響する要因として、健診に用いた標準的な質問票のうち、生活習慣に関する12項目との関連について、それぞれ5歳ごとの年齢階級を層とした層別解析（マンテル・ヘンツェル法）を行い、オッズ比とその95%信頼区間を求めた。解析にはSPSS ver17.0を用いた。

【結果】

メタボリックシンドロームとその構成因子について、生活習慣との関連の結果を示す（表2,3）。オッズ比が1.5以上又は0.7以下で、比較的強い関係にあると判断した。

メタボリックシンドロームについて、「20歳の時の体重から10kg以上増加している」「この1年間で体重の増減が ± 3 kg以上あった」「人と比較して食べる速度が速い」と回答した場合、男女ともオッズ比が高かった。女性で「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」と回答した場合、オッズ比が低かった。

腹囲については、「20歳の時の体重から10kg以上増加している」「この1年間で体重の増減が ± 3 kg以上あった」「人と比較して食べる速度が速い」と回答した場合、男女ともオッズ比が高かった。女性では、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」と回答した場合、オッズ比が低かった。

脂質異常については、「20歳の時の体重から

10kg以上増加している」と回答した場合、男女ともオッズ比が高かった。「お酒を毎日飲む」と回答した場合、男女ともオッズ比が低かった。

高血圧については、「20歳の時の体重から10kg以上増加している」と回答した場合、男女ともオッズ比が高かった。男性では、「お酒を毎日飲む」と回答した場合、オッズ比が高かった。

糖尿病については、「20歳の時の体重から10kg以上増加している」と回答した場合、男女ともオッズ比が高かった。女性では、「お酒を毎日飲む」と回答した場合、オッズ比が低かった。

【考察】

男女とも、「20歳の時の体重から10kg以上増加している」とメタボリックシンドロームやその構成因子のオッズ比が1.6～9.8倍になった。肥満や運動不足により、インスリン抵抗性が惹起されることが明らかとなっている³⁾。インスリンは肝臓や筋肉に作用して血糖を調整したり、腎臓、自律神経系、血管壁に作用して血圧を調整したりする。若年からの体重増加によって、インスリン抵抗性をきたすことにより、高血糖や高血圧になることが考えられる。特定健診は40歳以上の者に対する健診であるが、若年から体重管理を行うように促すことで、メタボリックシンドロームや高血圧症、糖尿病、脂質異常症の発症予防の可能性はある。

食事では、「人と比較して食べる速度が速い」と回答した男女とも、メタボリックシンドローム及び腹囲のオッズ比が約2倍になった。脳の満腹中枢は血糖値の上昇で刺激を受けるため、食べる速度が速いと血糖値の上昇が伝わる前に食べ過ぎてしまい、結果として、エネルギーを過剰に摂取してしまうことが考えられる³⁻⁵⁾。摂取エネルギーの過剰を防ぐためには、食事内容の指導とともに、食べる速度が速い人には、よく噛んで、ゆっくり食べるような指導が重要であると考えられる。

運動では、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」と回答した女性では、メタボリック

シンドロームのオッズ比が0.6倍、腹囲基準値以上のオッズ比が0.7倍になった。特別に何か運動を始めようとしなくても、毎日の生活の中で、速く歩く等身体活動量を上げるような支援をすることで、肥満予防の可能性はある。

また、「お酒を毎日飲む」と回答した者は、男女とも脂質異常のオッズ比が0.6倍、女性では糖尿病のオッズ比が0.6倍になった。この研究は横断研究であるため、脂質異常や糖尿病だから、毎日お酒を飲むのをやめた等、「因果の逆転」が考えられた。また、市町国保の健診受診率は28.3%と低いため、脂質異常症や糖尿病の者で、お酒を毎日飲んでいる人が健診を受けていない等、「選択バイアス」の影響も考えられた。

喫煙や睡眠の項目は強い関連は認められなかった。

本研究は、特定健診データと標準的な質問票を用いて、メタボリックシンドロームと生活習慣の関連を検討した。単年度の健診データを用いた横断研究であるため、分析に限界はあるが、これほど多くのデータから得られた知見は希少であり、県民への一般化の可能性も高く、保健指導の現場で役立つ結果であると考えられる。

【参考文献】

- 1) 厚生労働省健康局，標準的な健診・保健指導プログラム（確定版），2007，
- 2) 静岡県，しずおか健康創造 21 アクションプラン（追補版），2008，
- 3) 田中逸，セミナー生活習慣病．日本医事新報社，2008，
- 4) 奈倉淳子，他．吹田市基本健診での生活習慣とメタボリックシンドロームに関する研究．厚生指針．2007，54，3，p.1-6
- 5) 宗像正徳．日本人メタボリックシンドローム患者の行動学的特徴 J-STOP-MetS1 結果報 3．血圧．2008，15，10，P.884-885．

表1. 対象の属性

	男性		女性	
	メタボ該当者	メタボ非該当者	メタボ該当者	メタボ非該当者
20歳の時の体重から10kg以上増加している	67.2%	27.2%	71.1%	20.5%
この1年間で±3kg以上の体重変化があった	26.0%	18.9%	29.5%	17.1%
人と比較して食べる速度が速い	33.5%	25.1%	29.2%	20.2%
朝食を抜くことが週に3回以上ある	8.0%	7.1%	5.5%	4.8%
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある	18.9%	16.0%	10.0%	8.4%
夕食後に間食をとることが週に3回以上ある	12.1%	10.6%	11.8%	10.7%
睡眠で休養が十分とれている	80.6%	79.3%	74.3%	73.2%
現在、たばこを習慣的に吸っている	24.9%	25.8%	4.8%	5.3%
お酒を毎日飲む	43.0%	43.8%	4.3%	6.6%
1回30分以上の運動を週2日以上1年以上実施	43.0%	44.1%	35.5%	37.3%
ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い	46.3%	51.8%	37.4%	47.4%
歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施	48.0%	53.3%	44.2%	48.7%

表2. メタボリックシンドロームに対する各要因のオッズ比

	男性		女性	
	オッズ比	95% 信頼区間	オッズ比	95% 信頼区間
20歳の時の体重から10kg以上増加している	5.80 *	5.59	9.74 *	9.29
この1年間で±3kg以上の体重変化があった	1.88 *	1.52	2.23 *	2.13
人と比較して食べる速度が速い	1.57 *	1.51	1.76 *	1.68
朝食を抜くことが週に3回以上ある	1.27 *	1.19	1.39 *	1.27
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある	1.27 *	1.22	1.27 *	1.18
夕食後に間食をとることが週に3回以上ある	1.22 *	1.15	1.33 *	1.24
睡眠で休養が十分とれている	1.05 *	1.00	1.00	1.04
現在、たばこを習慣的に吸っている	1.00	0.96	1.19 *	1.09
お酒を毎日飲む	0.97 *	0.93	0.76 *	0.69
1回30分以上の運動を週2日以上1年以上実施	0.91 *	0.88	0.81 *	0.78
ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い	0.80 *	0.77	0.63 *	0.61
歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施	0.78 *	0.75	0.76 *	0.73

表3. メタボリックシンドローム構成因子異常に対する各要因のオッズ比

	男性					
	腹囲		①脂質異常		②高血圧	
	オッズ比	95% 信頼区間	オッズ比	95% 信頼区間	オッズ比	95% 信頼区間
20歳の時の体重から10kg以上増加	9.12 *	8.80	2.17 *	2.10	1.86 *	1.80
1年間で±3kg以上の体重変化	1.64 *	1.58	1.16 *	1.12	1.16 *	1.12
食べる速度が速い	1.70 *	1.64	1.23 *	1.19	1.18 *	1.14
朝食を抜くことが週3回以上	1.18 *	1.11	1.25 *	1.16	1.13 *	1.06
就寝前に夕食をとることが週3回以上	1.30 *	1.25	0.95 *	0.91	1.35 *	1.29
夕食後に間食をとることが週に3回以上	1.25 *	1.19	1.16 *	1.11	1.22 *	1.17
睡眠で休養が十分とれている	1.04 *	1.00	1.07 *	1.03	0.85 *	0.81
たばこを習慣的に吸っている	0.89 *	0.86	1.00 *	1.07	1.10 *	1.05
お酒を毎日飲む	1.04 *	1.01	0.64 *	0.62	0.83 *	0.81
30分以上の運動を週2日以上1年以上実施	0.88 *	0.85	0.96 *	0.93	1.72 *	1.67
歩く速度が速い	0.81 *	0.78	0.94 *	0.92	1.00	0.97
歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施	0.76 *	0.74	0.84 *	0.82	0.92 *	0.90
Mantel-Haenszel の共通オッズ比の推定値, *p<0.05					0.95 *	0.92

	女性					
	腹囲		①脂質異常		②高血圧	
	オッズ比	95% 信頼区間	オッズ比	95% 信頼区間	オッズ比	95% 信頼区間
20歳の時の体重から10kg以上増加	9.80 *	9.45	2.02 *	1.96	2.25 *	2.18
1年間で±3kg以上の体重変化	2.26 *	2.18	1.14 *	1.10	1.29 *	1.25
食べる速度が速い	1.80 *	1.73	1.87 *	1.20	1.12 *	1.08
朝食を抜くことが週3回以上	1.40 *	1.30	1.50 *	1.05	1.05	0.98
就寝前に夕食をとることが週3回以上	1.35 *	1.27	0.89 *	0.85	1.16 *	1.11
夕食後に間食をとることが週に3回以上	1.34 *	1.27	1.42 *	1.06	1.09 *	1.04
睡眠で休養が十分とれている	0.97	0.94	1.01 *	1.04	0.93 *	0.90
たばこを習慣的に吸っている	1.05	0.98	1.13	1.07	0.90 *	0.85
お酒を毎日飲む	0.87 *	0.81	0.93 *	0.55	1.21 *	1.15
30分以上の運動を週2日以上1年以上実施	0.81 *	0.78	0.84 *	1.02	0.97 *	0.94
歩く速度が速い	0.66 *	0.64	1.00	0.97	0.86 *	0.84
歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施	0.77 *	0.74	0.79 *	0.91	0.97 *	0.94
Mantel-Haenszel の共通オッズ比の推定値, *p<0.05					0.98 *	0.95